

演習林年報

2013年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
2014.7

はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は、森林や樹木、林業に関する基礎的・応用的研究を行うとともに、森林を学習する学生たちに教育の場を提供することを目的として設置されています。大学演習林は、森林科学分野の講座を持つ大学に設置することが定められており、今から 120 年前の 1894 年 11 月 29 日に、当時の東京帝国大学に千葉演習林が設置されて以来その歴史を刻んできました。現在、東京大学演習林は全国 7 ヶ所の地方演習林と弥生キャンパスにある企画部および教育研究センターからなる組織で、その総面積は東京山手線内面積の 5 つ分に当たる 32,300 ha におよびます。各地方演習林には、それぞれの地域の気候、地質と地形、歴史を背景とした特徴ある森林が生育しています。林業・森林教育の実践の場として農学教育の発展に貢献するとともに、木材生産、国土保全、温暖化防止、生物多様性保全など多くの森林研究の場として学術的にも成果をあげてきました。近年は、大学関係者だけでなく一般の方を対象に、森に親しみ森林に関する最新の知識を伝える役割も大きくなっています。

国立大学法人の活動は 6 年を 1 期とする中期計画の下に進められていますが、森林の管理運営を含めた東京大学演習林の活動はより長期的な視野を必要とするため、従来から 10 年を 1 期とする試験研究計画のもとで進められてきました。2011 年度からは、新たな 10 年計画である「演習林教育研究計画 2011～2020」の期間となりました。

この「年報」で報告の対象とする 2013 年度は、「演習林教育研究計画 2011～2020」の 3 年目に当たり、10 年計画前半の成果が問われ始める時期にあたります。新たな 10 年計画の開始とともに、特定テーマへの個性化を図るものとして改称された生態水文学研究所、富士癒しの森研究所の名称も次第になじまれてきています。しかし、大学関係の予算縮減と教職員定数削減の中にあって、高い研究倫理を保持し、森林内での教育研究活動と森林管理作業の安全を確保しつつ、学術的な成果を蓄積し、「演習林教育研究計画」がめざす成果を達成するためには、更に真摯な取り組みが必要です。

本冊子は「演習林教育研究計画」にそった着実な活動がなされているかを振り返るための基礎資料として作成しています。学生・院生の研究フィールドや学内外の実習、全学体験ゼミナールでの利用をはじめ、附属演習林全体の活動、記録を掲載しました。有効な利用を期待しています。

2014 年 5 月

東京大学大学院 農学生命科学研究科
演習林長 鈴木雅一

目次

はじめに	
演習林の概要	1
組織図	3
演習林の活動	
各地方演習林活動	
千葉演習林	6
北海道演習林	8
秩父演習林	10
田無演習林	12
生態水文学研究所	14
富士癒しの森研究所	16
樹芸研究所	18
教育研究センター	20
各委員会活動	
各常置委員会報告	22
その他委員会報告	38
演習林活動の統計	40
資料	
教育活動	
大学院講義等	44
学部講義等	45
他大学の非常勤講師	47
小中高等学校への対応	48
その他の講義・実習対応	50
森林生態圏管理学大講座ゼミ	51
演習林教育研究センターゼミ	52
実習等	53
研究活動	
演習林技術職員等試験研究・研修会議	55
教職員の論文等	57
学会発表等	60
著書	64
外部資金によって行われた研究	65
学外各種委員会等委員	69
社会連携	
公開講座・セミナー等	71
講師の派遣等	75
国際交流	
交流事業・国際シンポジウム・共同研究	77
海外渡航	78
出版広報活動	
演習林報告・演習林	79
科学の森ニュース	80
演習林出版物	81
新聞・雑誌・放送等	84

利用状況	
演習林を利用して行った論文等	86
全利用者	89
研修	
技術職員・事務職員	130
安全衛生	
安全・防災のための講習会等	131
資格取得のための講習等	131
災害統計・山火事予防活動	132
人事異動	133
予算配分と収入	
予算配分・収入	134
演習林林産収入細分表	134
組織図	
企画部・教育研究センター	135
千葉演習林	136
北海道演習林	137
秩父演習林	138
田無演習林	138
生態水文学研究所	139
富士癒しの森研究所	139
樹芸研究所	139
管理	
管理業務実行位置図	142
管理面積集計表	145
林相別蓄積集計表	145
植栽樹種	145
立木伐採量	146
育林実行量	147
素材生産総括表	149
土木実行総括表	149
道路現況	149
各演習林所在地及び連絡先	150

東京大学演習林の概要

1890年に東京農林学校が帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899年)、秩父演習林(1916年)、生態水文学研究所(1922年)、富士癒しの森研究所(1925年)、樹芸研究所(1943年)、田無演習林(1929年(演習林への移管は1982年))が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科の他の附属施設(農場、牧場、水産実験所、動物医療センター、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林は7つの地方演習林と研究部から構成され、企画部・教育研究センター(旧研究部)を中心に演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、各地方演習林独自の試験研究計画にもとづいて多くの教職員等が共同で管理する森林や多数の試験地によって支えられ教育研究および社会連携を進めている。

千葉演習林は暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査、研究を幅広く行っている。

北海道演習林は亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動物に関する各種の調査・研究に利用している。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」が実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあり、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

田無演習林は本学農学部キャンパスに近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。大学に近いことや、土地が平坦なことから造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系の

2013年度 演習林の概要

圃場実習や室内実験に多く利用されている。

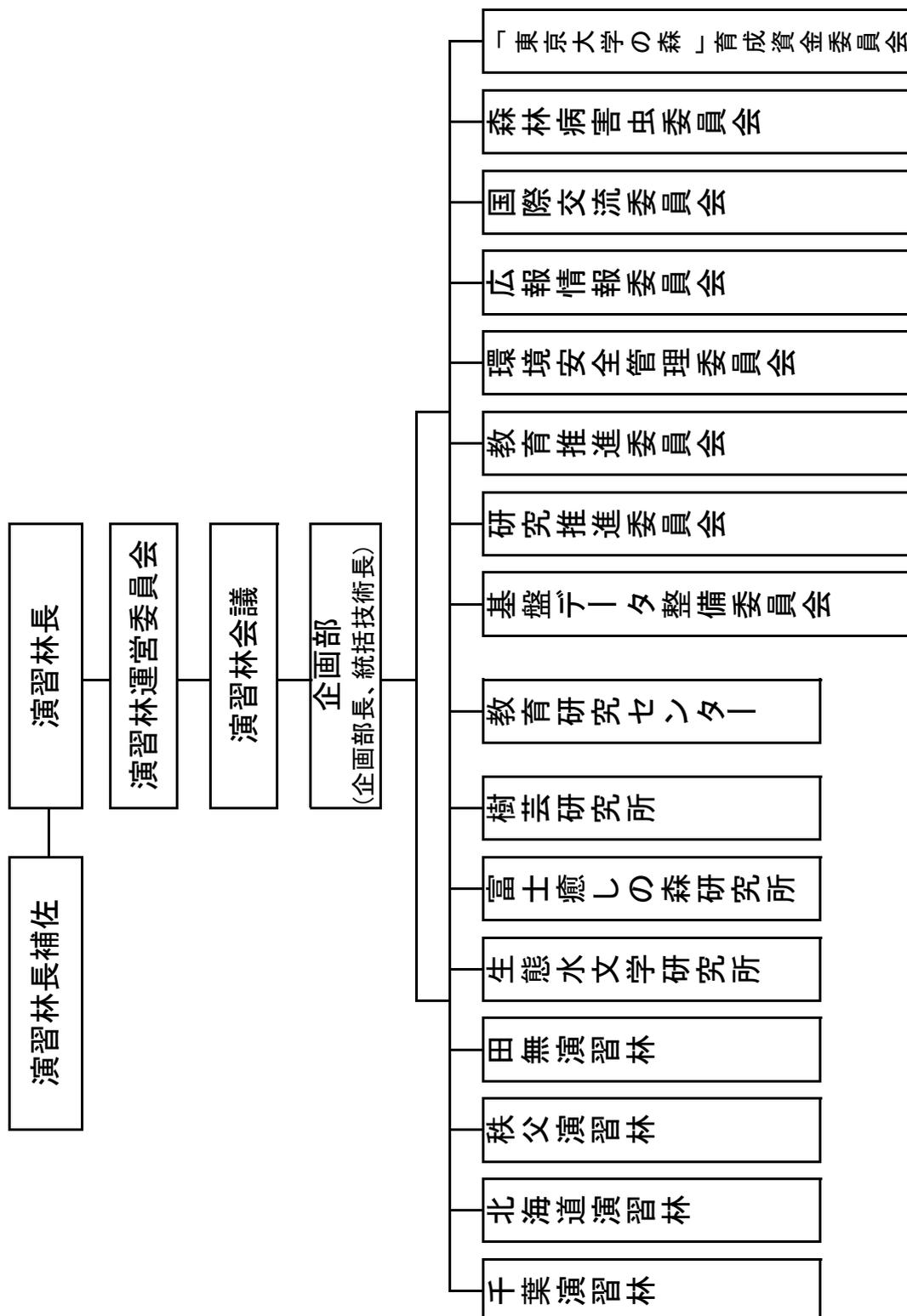
生態水文学研究所は崩壊の起きやすい花崗岩地域に設けられた総面積1,300haの演習林である。生産性の低い立地における森林水文ならびに森林植生回復に関する研究を主に行っている。70年にわたる量水観測は、わが国における土壌保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割を果たしてきた。また今日では、都市近郊林としての保健休養・環境保全機能や、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力面でも貢献が出来ると考えている。

富士癒しの森研究所は富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。特用樹木の利用と育成に関する基礎研究や演習林内に泉源を持つ温泉熱を利用した温室における熱帯・亜熱帯産樹木の育成と展示を行っている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは東京大学演習林の教育研究活動の中心であり、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、森林科学関連学術雑誌の図書館機能、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。

組織図



■ 演習林の活動 ■

■各地方演習林活動■

千葉演習林

【教育】

東京大学における専門教育として、農学部対象の5科目（造林学実験、森林植物学実験、森林経理学実習、森圏管理学実習、森林計測学実習）と理学部対象の1科目（地球惑星環境学野外調査Ⅰ）、および大学院各研究科対象の3科目（農学生命科学研究科：フィールド科学総合演習、新領域創成科学研究科：地域自然誌論・自然環境学野外総合実習）でのべ430人日の利用を受け入れた。また教養教育として、全学体験ゼミナール3科目（危険生物の知識、フィールドで考える野生動物の保護管理、房総の森林と生業を学ぶ）でのべ191人日、また他大学の実習8科目（サバ大学：国際学生実習、宇都宮大学：樹木学実習、京都大学：地質調査法野外実習、立正大学：フィールドワークA、千葉大学：地質学野外実験Ⅱ・地殻構造学野外実験Ⅰ、静岡大学：地質調査法実習Ⅱ、東京学芸大学：地質学調査法実習）でのべ536人日の利用を受け入れた。

【研究】

研究課題のうち①「持続可能な人工林経営を实践する理論と技術の高度化」では、状況の変化に対応し、森林組合と共同で2014～18年の森林経営計画を策定し千葉県に申請した。また、急傾斜再造林地における簡易的な表土保全工・補植方法の試行試験を実施した。②「林木の育種と増殖技術の開発」では、アカマツおよびクロマツ抵抗性育種に関わるさし木増殖を行った。外部形態および遺伝解析により採種園アイグロマツ家系の雑種性を検討した。東日本大震災で被災した海岸マツ林復旧のため宮城県へ提供した苗木の現地生育調査を行った。非赤枯性溝腐病について少雄花スギ家系の成木への接種試験を行った。ヒノキ漏脂病について微気象・環境条件の異なるヒノキ林分における気象データから発生要因を検証した。キヨスミミツバツツジのさし木試験では、摘葉した大葉1枚のさし穂の7月さし付けで発根率が50%以上と最大になった。スギ・ヒノキのポットさし木試験では、前年春にさし付けるポットさし木方法が通常さし木方法よりも生存数、発根数ともに高かった。③「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では、ヒメコマツのさし木増殖で遮光率の違いが発根率に顕著に影響することを示した。④「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」では、ヤマビル駆除剤の開発を目的に野外での薬剤散布試験を行い、有効成分リンゴ酸10%溶液が市販の液体駆除剤とほぼ同等の効果を示すことを明らかにした。

「基盤データ整備」として、気象部門では、札郷・清澄・新田観測所において観測を実施した。水文・水質部門では、袋山沢・新田観測点において水質サンプルを回収し、袋山沢観測点で水位データを収集した。生物部門の植物分野では、森林博物資料館収蔵の旧植物標本の画像撮影とリスト作成を進め、保有標本の約1/4のリスト化を終了した。保護樹について、樹種・位置情報をデータベース化するとともに、案内板の再設置を進めた。脊椎動物分野では、4月から開始したセンサーカメラによる定点観察で6種を確認した。また、両生類・爬虫類および魚類調査を行い、22種を確認した。鳥類分野では、4～6月にポイントセンサスを5地点7回ずつ実施した。また、年間を通して目撃や調査捕獲の情報を集め、千葉演習隣も含めた確認種は29科44種（外来1科1種含）であった。さらに11月に鴨川市との交流事業で作製した巣箱の定点観察を前年度3月から6月に計22回実施し、シジュウカラの産卵から巣立ちまでの営巣状況を確認した。昆虫分野では、千葉県立中央博物館と共同で任意採集を月2回実施し、少なくとも16種の甲虫が清澄山系での初記録（うち12種類が千葉県初記録）であることが分かった。また今年度よりピットフォールトラップの設置場所を楢ノ木台から独鈷山に変更し定期的に回収した。GIS部門では、当部門の

全演的な支援のため田無演習林への技術支援をおこなった。また新規 GIS オペレータを養成した。

【社会連携】

毎年好評を得ている春の新緑と秋の紅葉時期の一般公開を開催した（合計 5,666 名参加）。また人の沢山集まる清澄寺の節分会に合わせて森林博物資料館の公開を実施（23 名来館）した。さらに地域交流協定を結んでいる鴨川市と「野鳥の巣箱をかけよう」、「東大キャンパスツアー」を開催するとともに、毎年恒例となっている鴨川市立天津小学校 5 年生を対象とした「緑の教室」を開催し、子供たちは木登りや丸太切り体験、また森林散策などを通して森林の役割と生活への関わりについて学んだ。君津市では「スクールミュージアム」と題し、君津市立坂畑小学校 5, 6 年生を対象に猪ノ川林道において水生生物や地層の観察、郷台作業所構内の見学を行うなど地域と密着した活動を行った。その他ボランティア団体と連携して数多くの観察会を実施した。

【施業管理】

伐採：主伐は小屋ノ沢（23 林班 C3 小班）で実施し、2014 年 4 月末に終了した。2014 年度伐採予定地である下馬不動下（44 林班 C11 小班）の立木販売を行い、2015 年 2 月末日までに伐採終了予定である（表-1）。収入間伐は今澄（40 林班 C6 小班）で実施し終了した（表-2）。2015 年度まで収入間伐予定は無い。

育林：新植、下刈り、除伐、枝打ちに関しては、直営により実施した（表-3）。新植地では地拵えを実施し、周囲（612m）に防獣柵を設置した。保育間伐は、補助金を活用し実施した。

(表-1) 主伐実行量

年度	2013	2014(予定)
伐採面積(ha)	1.64	1.39
伐採材積(m ³)	714	866

(表-2) 収入間伐実行量

年度	2013
伐採面積(ha)	2.6
伐採材積(m ³)	318

(表-3) 2014年度育林実行量

作業種	新植	下刈り	除伐	枝打ち	保育間伐
林齢		1~4	24	24	22~49
面積(ha)	0.52	1.25	1.23	0.8	7.12

【その他】

安全衛生：今年度の千葉演習林では 4 件の災害が発生し、その内 1 件は残念ながら転落による死亡事故災害であった。シカ生息数調査に NPO 法人房総の野生生物調査会（ボランティア）として参加していた千葉演習林 OB が調査終了直後に林道脇まで 10m ほど転落し、心肺停止状態で病院に運ばれたが、その後死亡が確認された。二度とこのような災害を起こさないため、教育・研究への対応、身の回りの安全確認・整理整頓、また日頃の健康管理等について再確認を行うよう周知を行い再発防止に取組み、更なる安全意識の向上に努めている。その他の災害としては 2 件がマダニに咬まれる災害であり、もう 1 件はハチ刺されによる災害であった。また主だった活動として、5 月に鴨川警察署に講師を依頼しての交通安全講習会、および林内等で倒れた者を搬送するための担架（千葉演習林）の使い方についての講習会を実施した。11 月には、安房消防署職員の指導の元、清澄学生宿舎（特定防火対象物）を中心とした総合消防訓練（通報・消火・避難）と人工呼吸や心臓マッサージ、AED の取扱い等についての講習会を実施した。

北海道演習林

【教育】

学部・大学院の専門教育として、農学部授業科目「森林科学総合実習」を担当実施するとともに、大学院の授業科目2件（新領域、筑波大学）を受け入れた。また、卒業論文研究4件（東大1件、帯広畜産大3件）、修士論文研究6件（東大5件、帯広畜産大1件）、博士論文研究4件（東大2件、北海道大1件、筑波大1件）を受け入れ、支援した。この中から、卒業論文4篇（東大1篇、帯広畜産大3篇）、修士論文2篇（東大）、博士論文1篇（東大）が作製された。また、他大学の授業科目3件（同志社女子大、東北芸術工科大学、愛知県立芸術大学）を受け入れ指導を行った。その他、研究室のゼミ合宿等3件を受け入れた。教養教育として、教養学部授業科目「全学体験ゼミナール：雪の森林に学ぶ～北海道演習林」を開講するとともに、1件の全学体験ゼミナールを受け入れ実施を支援した。体験的な機会の提供として、本学の体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」を実施してPEAKコースの学生2名を受け入れたほか、マレーシア・サバ大学の学生2名のインターンシップを3週間にわたり受け入れた。

初等・中等教育支援として、科学技術振興機構が主催するサマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」を開催した。また、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による校外研修（札幌啓成高）、教育学部附属中等教育学校の宿泊研修を受け入れ、それぞれプログラムを作成・提供するとともに指導を行った。帯広農業高（森林科学科）、とわの森三愛高（獣医進学コース）の2件の研修、および富良野市内小学校の総合的な学習の時間（1件2回）を受け入れ、指導を行った。

技術者教育として、国際協力機構（JICA）、地球環境戦略研究機関（IGES）、北海道造林協会森林整備担い手支援センター、北海道水源林造林協議会、および行政や木材企業、NPO法人等の研修会計10件を受け入れ、それぞれ指導を行った。

【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ、森林生態、森林経営、森林生態系保全の3分野のもと活動を行った。主なトピックは以下の通りである。

森林生態分野では、微生物の生態と生物間相互作用に関して、ヤツバキクイムシが伝播するエゾマツ青変病の萎凋機構に関する実験を行った。また、一斉二次林を中心とするウダイカンバ林において、クスサンの食害による枝枯れ被害とクイムシ類の穿孔加害状況を調査した。野生動物の生態に関して、エゾシカのライトセンサスとナキウサギの自動撮影装置によるモニタリングを継続実施した。大規模自然攪乱後の森林回復過程に関して、1981年の台風被害後に復旧植栽・播種を行った風害復旧試験地の一斉測定を行った。施業に伴う攪乱と森林構造の変化に関して、天然林施業試験地の測定を継続するとともに、これまでに蓄積された測定データをもとに択伐作業に伴う支障木の発生を定量化した。生態遺伝特性と遺伝子資源の保全に関して、エゾマツ遺伝子資源の収集と接木増殖を林木育種センター北海道育種場と共同で継続実施した。森林生態系の基礎情報の収集に関して、基盤データ整備委員会の活動と連携しつつ気象観測、水文・水質観測、主要樹種のフェノロジー観測、および動植物の生物相・分布域など生物情報の収集を継続した。

森林経営分野では、林分施業法の科学的・技術的基盤の強化に関して、ハンディGNSS受信機の測位精度試験を夏季と冬季との比較から行い、林種区分測量に本格的に導入した。さらに、デジタル空中写真立体視システムとVRS-RTK方式による高精度GNSS測量を試験的に導入した。更新保育施業による天然林再生技術の確立に関して、ヨーロッパトウヒ高齢人工林における帯状皆伐後の天然更新について取りまとめた。また、独自に製作したバケットレーキを用いて土壌を

保全しながらササを除去する地拵え作業を試行した。エゾマツ苗生産システムに関して、苗畑病害（リゾクトニア苗立枯病および暗色雪腐病）に対して使用可能な農薬製剤を確保するための薬効・薬害試験を継続し、適用登録拡大申請に必要な成績書を取りまとめた。また、マルチキャビティコンテナを用いたコンテナ苗の育成に及ぼす施肥・冬期屋内冷蔵の効果、植栽に及ぼす植栽時期・コンテナ容量・地がき強度の影響について調査を継続した。

【社会連携】

一般公開事業として、公開セミナー「森林環境の保全と持続的な木材生産を学ぶ」、大麓山ハイキング登山会、および神社山自然観察路一般公開（春季・秋季に各1日）を開催した。また、4年目となる富良野地区合同ワークショップ「富良野地方の美しい農山村景観維持のために」を中富良野町において開催した。その他、富良野市教育委員会による生涯学習事業1件を受け入れた。

【施業管理】

立木伐採は27,050 m³（うち天然林16,154m³、人工林10,896m³）を実行した。このうち、人工林の2,798m³は森林整備加速化・林業再生基金による間伐事業として実施した。伐採量のうち4,056m³については素材生産・販売を行った（直営533m³、再生林請負582m³、基金間伐2,798m³、末無沢治山工事関連58m³、委託販売85m³）。立木および素材の販売額は合計82,335,560円で、うち立木が38,869,000円、素材（委託販売を除く）が26,273,722円、委託販売（銘木市売）が17,192,838円であった。山出苗生産本数は27.8千本（トドマツ9.4(0.7)、エゾマツ11.2(2.2)、アカエゾマツ7.2(0.3)千本、括弧内はコンテナ苗等の内数）、地拵、植付、下刈の実行面積はそれぞれ23.9、24.7、90.0haで、林道の改良距離は50.0kmであった。森林保護に関して、春期に山火予消防活動（監視および啓発）、春と秋に野鼠発生予察調査、冬期に北海道猟友会富良野支部および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除（2回）を実施した。また、新たな試みとして、森林被害巡林調査を計3回実施した。特定試験林（試験地）の測定を計画に則って実行した。その他、東山地区の74林班Y小班に土砂流出防備保安林13.61haが指定され、土砂流出復旧のための治山工事が行われる予定である。また、末無沢において北海道による治山工事（床固工）が継続された。特筆すべき事項として、10月16日の降雪により激甚な冠雪害が発生した。落葉前の湿雪であったため林道脇の広葉樹を中心に大量の倒伏・折損木が発生し、ほぼ全ての林道が通行不能となる大被害となった。伐開により延長215kmの路線について復旧を完了し（直営130km、請負80km、富良野市5km）、次年度に延長225kmの路線（直営35km、請負190km）の復旧を予定している。なお、一部のカラマツ、シラカンバ造林地にも激害が発生した。

土地資産に関して、国道38号線用地325m²、誤信越境地6,976m²を売却した。立木補償は931本、828,118円であった。昨年度より平沢地区と老節布地区の一部で開始された国土調査法にもとづく地籍調査事業の過程で、不要資産や農地の越境が認められた。現在これらの解消に向けて、その他の越境案件とともに協議を進めている。その他、東郷ダムの湛水敷地減少に伴って発生する未利用地（約280,000m²）の取り扱いについて協議を開始した。また、岩屋地区の道道544号線（麓郷街道）未改良区間（1.3km）で、周辺環境および地質調査の結果を踏まえて線形設計が検討されている。

【その他】

環境安全管理について、本年度は蜂刺され災害が多かったが、保護具（防蜂網・皮手袋）を全員に配布して着用を励行するなど、対策を推進した。重機関係の事故が連続して発生したことから、根本的な対策に向けて作業方法の改善や教育訓練のあり方などについて、検討を進めている。

秩父演習林

【教育】

(1) 学位研究の受け入れ

本学の学部課程 5 名，修士課程 7 名，博士課程 2 名，他大学の学部課程 1 名，修士課程 6 名，博士課程 0 名が学位取得のための研究を行った。秩父演習林は研究計画の助言，研究地への送迎，野外調査の補助，試験地の維持管理などの協力を行った。

(2) 大学実習の受け入れ

本年度，秩父演習林で実施された本学の实習は，森林科学専攻の実習 4 件，他専攻の実習 1 件，他研究科の実習 4 件，教養課程の全学体験ゼミナール 4 件，総合科目 1 件であった。他大学の实習として，早稲田大学秩父演習林シカプロジェクト，首都大学東京動物系統学野外実習，マレーシアサバ大学国際学生実習，東邦大学野外生態学実習が行われた。川俣学生宿舎ののべ利用人数は 727 人，のべ利用日数は 47 日間であった。

(3) K-12 (幼稚園～高校) 活動の受け入れ

K-12 活動として，埼玉県立秩父農工科学高等学校樹木採取，東京都立墨田川高校生物実習・埼玉県立熊谷高校 SSH 講義・野外実習への講師派遣および実習地提供，埼玉県立川越女子高校 SSH 高大連携等林間実習への実習地提供，秩父市立秩父第一中学校・秩父第二中学校の職場体験「仕事発見 DAY」の実習生受け入れ，秩父市立大滝小学校ふるさと体現学習を行った。

【研究】

(1) 冷温帯森林生態系に関する研究

成果として，再生林固定試験地（15 箇所）の 2007～2012 年度の成長データと人工林固定試験地（23 箇所）の 2011～2012 年度の成長データを発表した。定期調査として，ケヤキ人工林試験地の毎木調査・ライトセンサス・気象水文観測を実施した。2012 年度に引き続き，大面積長期生態系観測プロット（27・28 林班ろ小班）の立木位置測定を実施した。また，民間企業との連携によって，シカ排除試験地（60 箇所）の毎木調査・下層植生調査を行い，シカ排除柵（12 基）を設置した。さらに，木本種・草本種の硝酸還元酵素活性を計測するとともに，シカ GPS テレメトリーの実施など，植生保護に向けた実証研究を実施した。

(2) 情報工学分野との融合研究

前年度に続き，ロボットカメラによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録，鳥類相の遠隔調査，環境教育教材の開発に関する研究が行われた。

(3) 山村社会に関する研究

前年度に続き，山村社会の変化と資源，山村振興に関する研究が行われた。

(4) 基盤データ整備

引き続き各部門分野の情報収集が進められた。生物部門植物分野では，秩父演習林維管束植物目録が編集された。また，生物部門脊椎動物分野では，コウモリ類・両生類の捕獲調査を実施した。GIS 部門では，GIS データの整備・充実や栃本作業所での GIS 活用手法の検討とともに，富士癒しの森研究所の GIS 技術指導研修に講師を派遣した。

【社会連携】

公開講座・セミナー等として，公開講座を「東大の森林で昆虫採集」（8 月，参加者 19 名）を開催した。冬に企画していた「水源の山を訪ねて～森林と水の研究～」は豪雪のため中止とな

った。この他に、自由見学日（5,11月、参加者 81名）、ワサビ沢展示室特別開室（11月、来場者 50名）、東大教職員ガイド（11月、参加者 16名）を実施した。また、秩父市木材加工業者主催の「木が香る秩父フェスティバル」（5月、道の駅ちちぶ）に参加、秩父演習林の恒例行事となっている「影森祭」（12月、来場者約 80名）を秩父演習林ボランティア「しおじの会」の協力を得て実施した。「ニホンジカ被害対策講演会」を関東森林管理局、埼玉森林管理所と共催で行った。また、教職員等の講師の派遣は、ニューギニア国昆虫研究所へ行った。学外各種委員会など委員は、埼玉県森林審議会委員、特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員、埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会、秩父地域獣害対策協議会幹事会（以上、埼玉県）、関東山地ニホンジカ広域協議会、モニタリングサイト 1000 検討会（以上、環境省）、兼六園マツ等樹木保全対策指導者（石川県）、技術部会（日本樹木医会）、ナラ枯れ被害防止技術開発事業（林野庁補助事業）にかかる検討委員会委員、秩父山地緑の回廊等におけるニホンジカ等野生動物による樹木の樹皮剥離被害モニタリング調査事業検討委員会委員、JaLTER 運営委員会委員などをはじめ様々な活動を実施した。

【施業管理】

植伐実行量は、立木伐採、植栽ともに実施しなかった。

育林実行量は下刈り 1.40ha、枝打ち 1.61ha、撫育間伐 4.61ha であった。撫育間伐は 2010 年度から「埼玉県水源地域の森づくり事業」により実施してきた。この事業による撫育間伐の箇所が 2012 年度にほぼ完了したことから、2013 年度は直営による間伐のみであった。この他に、獣害対策として、シカ防護柵（2箇所、1.40ha）とクマ剥皮防除樹皮ガード（2箇所、7.48ha）、の保守管理をボランティアの協力を得て実施した。

土木実行量は車道維持 13,859m、歩道維持 51,606m、モノレール維持 3,067m（3路線）であった。また、サントリーホールディングス株式会社との間で締結した森林整備に関連して作業道 2 路線の新設を 1,201m 実施した。工事は東谷林道が拡幅工事に伴う改良工事を 2 か所実施した。

災害関連では、大雨などにより林道の一部に、土砂の流出や落石が発生したが（直営作業で除去）、特に大きな被害はなかった。2月 14・15 の豪雪では、建物等には大きな被害はなかったものの、3 月末の時点で、まだ沢筋に多くの積雪が残っており全容がわからない状況であるが、獣害防止策の倒壊、滝川軌道木橋の消失、入川軌道鉄橋の破損など林内の構造物に大きな被害があったことを確認している。

土地資産に関しては、国道 140 号線沿いの敷地のうち、黒文字橋周辺の 582.42m²および天狗岩トンネル周辺の 261.63m²を、国土交通省（契約手続きは県が担当）に売却した。2014 年 3 月所有権移転登記も完了した。当該箇所には斜面崩落箇所がいくつか存在し、崩落箇所の拡大及び落石の危険性が高いことから、道路利用者の安全確保のため道路災害防御工事をする必要があり、国道 140 号線の管理を担当する埼玉県より売払いの依頼があったものである。なお、当該工事は緊急を有したことから、当該箇所については 2012 年 9 月より売却完了までの間、先行して土地貸付契約を締結しており、同契約期間内に工事自体は完了している。

田無演習林

【教育】

農学部の実習を6件、教養学部の実習（全学体験ゼミナール）を2件、大学院講義を1件実施した。農学部実習のうち2件は連携する生態調和農学機構によるものである。全学体験ゼミナールの1件は田無演の教職員が主体的に関わって実施した、小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」である。

卒業論文研究等では卒業論文5件（うち本学5件）、修士論文5件（うち本学4件）、博士論文1件（うち本学1件）の利用があった。

【研究】

単回・通年利用を含め48件の申請があり、延べ874人の研究利用があった。内容別には生物の生態的特性に関する研究が約4割、樹木の生理に関する研究が約4割、物質の動態に関する研究が1割、その他が1割となっている。

分野の異なる利用者との交流を深め、研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を6月4日に開催し、5題の報告がなされた。

【社会連携】

小中学生向け講座を2件、休日公開を5件実施した。小中学生向け講座1件は全学体験ゼミナールの一部としても実施し、効率性を高めた。近隣の中学校から3件延べ7日間職場体験を受け入れたほか、演習林資源を有効活用できるように学内教職員向けのリース作り講習会を今年度1件実施した。

地元の科学館である多摩六都科学館と小中学生向け講座を3件共催した。また、成人向けの市民講座を復活させ、1件実施した。

【施業管理】

実習及び研究用としてアカマツ、クロマツ、スギ、ヒノキの実生苗の育成を行った。そのほか、研究者から委託された様々な苗木育成のための苗畑管理（灌水や除草）を技術職員と技能補佐員で行った。また、試験地として実験用に植栽された林の適切な管理を行うため、下草刈り等の作業を行った。

年間を通して多数の見学者が来演するため、見学コース沿いの腐朽木、枯損木、傾斜木等の危険木の伐倒を直営、請負で行い、その他枯損枝、掛り枝の処理を、スローラインや高枝のこぎりを用いて職員が処理した。その他に、見学路柵の修繕を定期的に行った。

また、2月に記録的な大雪が2回あり、重機による除雪、落下枝等の処理など、突発的な業務に多くの日数を要した。

その他、敷地境界からはみ出した枝の処理を適宜行い、第4期教育研究計画で示した、隣接する民地にかかる支障樹木の伐採を請負で12本行った。

【その他】

10月1日付けで竹本特任助教が着任した。

6月に開催した利用者交流会において、田無演から環境安全管理についての情報提供を行い、

利用者の安全管理に努めた。兼務先の生態調和農学機構からの MS ユニットを独立させ、単独で MS を実施した。5 月にアジアセンターと非常時設備の確認を兼ねた環境整備を、1 月に機構と防災訓練を、それぞれ共同で実施した。

「東京大学の森」育成資金に 1 名の方から寄付をいただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の 80 年～」を 31 冊販売 (3 冊寄贈)、「森たび 東京大学演習林の見どころ 100」を 17 冊販売した。

生態水文学研究所

【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の森林保全学実習を6月5～7日、測量学実習を9月24～28日に田中延亮助教、蔵治光一郎准教授、岩井紀子助教らが行った。田中はこのほか弥生キャンパスで夏学期毎週木曜日午後に行われた測量学実習もすべて受け持った。教養学部前期課程夏学期総合科目「ダムと森林」のフィールドワーク、および冬学期全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」を蔵治、田中、岩井らがそれぞれ6月1～2日、2月28～3月3日に行った。「ダムと土砂と海」については水産実験所とのコラボレーションにより行った。南山大学（6月29～30日）、名古屋大学（11月28日）の講義、実習を受け入れた。蔵治、岩井が生圏システム学専攻の修士課程の学生1名の修士論文研究、森林生物科学専修の学部学生1名の卒業研究をそれぞれ指導した。東京農工大学から農学実験研習生1名を岩井が受け入れ、奄美大島における野外調査を指導した。岩井が12月末日をもって退職した（1月1日より東京農工大へ）。

【研究】

4月1日付で畑憲治を特任研究員として雇用した。5月1日付で学振PD・森林総合研究所所属の五名美江が農学共同研究員となった。9月31日付で畑が退職し、その後任として10月1日付で今村直広を雇用した。11月1日付で首都大学東京所属の畑が農学共同研究員となった。8月31日に特任専門職員の乙部みどりが退職し、その後任として9月1日に学術支援職員として加藤純子を雇用した。タイ王立灌漑局の Nilobol Aranyabhaga を8～10月の3か月間、農学共同研究員として受け入れ、共同研究を推進した。

白坂・穴の宮・東山・犬山にて気象、水文観測、雨水・渓流水サンプリング、水質分析を継続した。水質分析のうちアニオンの分析についてはイオンクロマトグラフ分析機器が故障したため、樹芸研究所に分析を依頼した。イオンクロマトグラフ分析機器の新規購入予算を特別配分枠内で新規購入・設置した。長期生態系プロットにおける毎木調査、リター調査、種子調査、地上徘徊性昆虫調査、鳥類調査を継続し、その結果の一部を環境省モニタリング1000事務局に提出した。

過去の記録紙の読み取り、マイクロフィルム化されていない最近の記録紙のPDF化、過去のデジタルデータをCD-Rと紙媒体で永久保存する作業を進めた。白坂（1997～1999・2002年、このうち1997～1999年は再計算）・穴の宮（1991～1999・2002～2010年、このうち1991～1999年は再計算）、東山（1991～2010年、このうち1991～2001年は再計算）の日降水量・日流出量観測結果報告、白坂（1929～1990年）および穴の宮（1923～1982年）のサイホン式自記雨量計の記録紙の読み取り結果が「演習林」に掲載された（なお白坂の2003～2011年については基盤データ整備委員会水文水質部門によって「演習林」に掲載された）。岩井らによって戦前の樹木フェノロジー観測データが、畑らによって2012年度のリタートラップ調査手順記録が「演習林」に掲載された。

穴の宮のピーク流出量の五名らの短報が日本森林学会誌に掲載された。中部森林学会にて、コナラへのカシノナガキクイムシの侵入とコナラの成長との関係の研究を岩井らが発表した。ナラ枯れが森林構成樹種の肥大成長に及ぼす影響に関する研究を、第125回日本森林学会にて畑らが発表した。韓国ソウル市高麗大学にて開催されたアジア太平洋水文水資源協会（APHW）第6回国際会議国際会議にて、穴の宮の水収支を蔵治ら、穴の宮のピーク流出量の変化を五名らがそれぞれ発表し、蔵治らの発表が **Outstanding Presentation** として表彰された。森林水文ワークショップ2014 公開シンポジウムにおいて、間伐による樹冠遮断量と表面流の変化について田中らが

発表した。基礎生物学研究所第 25 回生物学技術研究会にて、70 年前と現在のフェノロジー観測データの比較結果を松井らが発表した。農学生命科学研究科技術職員研修会にて、生態水文学研究所における公開講座の歴史について荒木田が、70 年前と現在のフェノロジー観測データの比較結果を松井らがそれぞれ発表した。技術職員等研究・研修会議にて生態水文学研究所における公開講座の歴史について荒木田が、北海道内陸部におけるオオワシ・オジロワシ越冬個体の飛来実態について松井が発表した。2013 年度第一回分析技術グループ研修「pH 測定技術」に松井が参加した。

データ利用規則に基づき、名城大学の日野輝明氏、京都大学の糸数哲氏、東京大学の竹田和成氏、松尾理人氏からのデータ利用申請を許可しデータを提供した。これらのデータを用いた研究は、森林生物科学専修および森林資源環境科学専修の卒業論文となったほか、第 125 回日本森林学会で発表された。今後、砂防学会、Interprevent2014 等で発表される予定である。5 月 10 日に利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会を開催し、17 件のポスター発表があった。

【社会連携】

豊田東高等学校とのサイエンスパートナーシッププログラム（SPP）を赤津研究林にて 11 月 13 日に実施した。海城中学・高校の地学部の生徒と引率教員が 7 月 31 日～8 月 2 日に来訪し、8 月 1 日に量水堰の堆積土砂量測定と排土作業を体験した。犬山市立今井小学校の探鳥会と犬山市立城東小学校の探鳥会にて松井がそれぞれ 3 回ずつ講師をつとめた。東京大学赤津研究林サポーターズクラブ「シデコブシの会」、犬山研究林利用者協議会による赤津研究林、犬山研究林の見学を希望する団体のガイドや主催行事がそれぞれ 13 件、5 件行われた。シデコブシの会の主催で赤津研究林案内人養成講習が、犬山市が主催で案内人養成講習が実施され、それぞれ 11 名、7 名が補助者として認定された。シデコブシの会との協働で、赤津研究林ふれあいゾーンの見学コースに道標と看板を設置した。瀬戸市との共催で、せと環境塾 2013 講座「森と水のエネルギー」を赤津宿泊施設に宿泊して開催した。遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会の 2013 年度講演会が 9 月 6 日に湖西市で行われ、蔵治が遠州灘の海岸林に関する講演を行った。瀬戸市環境審議会、「せと環境塾」運営委員会、犬山市環境審議会に蔵治が委員として参加した。ローカル FM 局「尾張東部放送」の生放送番組「蔵治先生の環境講座」に蔵治が毎月一回出演した。

【施業管理】

第 5 期生態水文学研究所教育研究計画において 4 つにゾーニングした研究林を、それぞれの施業方針に従って管理した。1929 年植栽のヒノキ林の皆伐 0.2ha, 193 本, 材積 108m³, 間伐 0.2ha, 112 本, 材積 50m³の立木処分を行った。危険の未然防止の観点から、瀬戸市と犬山市の公道沿いに発生したナラ枯れ木を伐採した。74 林班においてマツ枯れ対策として湖西市と協働で地上からの予防散布（6 月 1 日）、静岡県によるマツ枯れ被害木の伐採搬出（材積 14.34m³, 2012 年夏以降の枯木はすべて処理済）、枯死木調査（11 月 6 日、被害本数 39 本、うち今年度被害 12 本、材積 10.18m³, うち今年度被害 3.52m³）、処理木を搬出するための作業道開設のための現地検討（2 月 6 日）を行った。静岡県西部農林事務所森林整備課と協議し、今後のマツ枯れ防除のための伐倒処理の手順について確認した。

【その他】

マレーシアサバ大学の 4 年生 2 名をインターンとして 2 週間受入れた。

富士癒しの森研究所

2013年度は、第4期教育研究計画の3年度目として、「癒しの森プロジェクト」に基づく研究、社会貢献事業を本格的に実施した。昨年度までに引き続き、「癒しの森」をテーマとした教育プログラムを実施した。

【教育】

大学の実習として、農学部の実習3件，大学院の実習3件，教養学部6件，工学部1件，理学研究科1件，他大学4件を受け入れた。マレーシアサバ大学のインターン生を実地指導した。学生体験活動プログラムとして「癒しの森の落ち葉たき」を企画した。昨年度に引き続き、「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として、全学体験ゼミ「癒しの森をつくる（夏）（冬）」を開講・実施した。同様に、関連科目として、森林圏生態社会学研究室提供による総合科目「癒しの森を考える」の現地講義を実施した。引き続き、ゼミ合宿を誘致した。運動会学生との共同作業として、ヒノキ間伐材とカラマツ間伐材を用いた多目的物干し台を作成し、山中寮中庭に設置した。当研究所を利用して4件の卒業・修士論文研究が行われた。

【研究】

実証林において、間伐前・後に、森林内の景観が及ぼす生理的・心理的影響に関する調査研究をおこなった（写真1）。この研究は、山梨県環境科学研究所、独立行政法人森林総合研究所の研究者との共同研究としておこない、共同研究者による研究会を実施し、成果は関東森林学会、日本生理人類学会、日本造園学会などに発表した。住民と連携したフットパス設置に向けた情報収集のため、東京・町田市での研修旅行を実施した。特別ガイドにおけるアンケート調査を継続的に行なった。利用申込データと湖畔広場における利用実態を調査、検討し、技術職員等試験研究・研修会議で発表を行った。また、農学生命科学研究科技術職員研修では、当研究所でおこなってきた公開企画について整理した結果をポスター発表した。基盤データ整備委員会気象部門における気象観測を2013年12月末で終了した。キノコ放射性物質調査に参加し、サンプリングをおこなった。ブナ産地別試験地の廃止を前に、同地を活用した研究募集をおこなった。I林班におけるリアルタイムモニタリングシステムの試用が開始された。第3回山梨県美しい県土づくり推進大会、龍谷大学里山オープンリサーチセンターにおいて「癒しの森プロジェクト」の取り組みについて報告した。日本森林学会大会において住民と連携した癒しの森研究について発表した。



写真1 実証林で「森林内の景観が及ぼす生理的・心理的影響」について調査

【社会連携】

地域住民を対象とした公開講座「フットパスってなんだろう？ーみんなのできる道づくりー」を山中湖村と共催で実施した(写真2)。また、その後の意見交換をもとに、地域住民と合同の勉強会を立ち上げた。これまでの寄付者に対して年賀状送付などのサービスを行った。ウェブサイトおよびブログを活用し、イベントの通知他情報発信を効果的に行った。古い情報の整理は十分にできなかった。やまなしバイオマス協議会、山梨県美しい県土づくり推進協議会の一員として会議等に参加した。



写真2 公開講座「フットパスってなんだろう？ーみんなのできる道づくりー」開催

【施業管理】

森林整備では、刈払いは一部を除き、おおむね計画通り実施した。除伐はすべての予定区で実施できなかった。境界危険木処理は、市町村交付金相当額予算で外注により実施した。枯損木伐採は、気象条件が整わず予定区では実施できなかったが、整備の緊急性にかんがみ予定外の区や大風や台風被害による風倒木処理作業を各所で行った。小班界の杭打ち作業を予定していたが実施できなかった。埋没標石の確認を、富士癒しの森研究所GIS技術研修にて秩父演習林技術職員の指導のもと行った。I林班境界柵改修を市町村交付金相当額予算で外注により実施した。

施設整備では、歩道、車道共に全線の整備を行った。特に車道については、市町村交付金相当額予算で砂利敷設整備を外注により実施した。II林班野外トイレの防犯対策として、扉の改修を市町村交付金相当額予算で外注により実施した。事務所の外壁補修を市町村交付金相当額予算で外注により実施した。湖畔広場四阿の壁材丸太の入れ替えを行った。

実証林整備は、刈払い、整理伐、伐採木搬出を行った。整理伐作業では、企画部、秩父演習林、樹芸研究所から計4名の技術職員の作業協力を得て完了することができた。名称変更に伴うパネル式看板の設置は、国道沿いの看板について設置を完了した。

【その他】

計画通り春・秋・冬の3回、東大教職員向け特別ガイドを企画したが、冬に関しては悪天候のため中止となった。老朽化が著しい自炊宿舍の改修にむけて、検討を開始した。今後、予算の確保が課題である。山中湖村の学校用地新規取得計画について、事情説明の場が持たれた。研究所の英語名称の改正について検討した。

樹芸研究所報告

第4期教育研究計画において樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割くこととした。特に2006年度に開始した前期教養課程の主題科目・全学体験ゼミナールの実施に大きなエフォートを割いている。教育内容の充実と実施体制の効率化の両立が今後の課題であると認識している。研究では、ユーカリ適応試験等の財産を活かしてユーカリを林業樹種として検討する事業展開に取り組んでいる。温室では、原料植物の現物を用いる教育プログラム開発に意欲的に取り組むこととしている。なお、日本森林学会の100周年記念事業の一環として今年度から始められた「林業遺産認定事業」において岩樟園クスノキ林が認定され、3月の日本森林学会大会で発表された。

【教育】

- ・農学部 国際開発農学専修3年生
「森林実習」
- ・教養学部前期課程1,2年生 総合科目 人間・環境一般D
「伊豆に学ぶプラス1」
「伊豆に学ぶプラス2」
- ・教養学部前期課程1,2年生 主題科目 全学体験ゼミナール
「伊豆に学ぶ1」
「伊豆に学ぶ2」
「夏版伊豆に学ぶ1」
「夏版伊豆に学ぶ2」
「森に学ぶ(伊豆)」
「企画系さらに伊豆に学ぶ1」
「企画系さらに伊豆に学ぶ2」
- ・東京大学体験活動
「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」
南伊豆地域で竹林や獣害問題に向き合うNPOの方々と連携して実物の問題にあたる

【研究】

- (1) 適応試験で選抜されたユーカリ10種を林業樹種として再検討
 - ・ *E. bicostata, radiata* を伐採し、製材加工特性を試験し、その材を用いて家具を試作した。
 - ・ *E. saligna* の実生苗を植栽し、成長調査を実施
 - ・ 樹芸に生育した *E. elata, piperita* の株からクローン苗を作り、今春植栽予定。
 - ・ *E. smithii* の実生苗を作り、今春植栽予定。
- (2) シカ等野生生物の調査とその影響を定点観測
 - ・ 糞粒法と区画法によるシカ生息数の調査を行った。
- (3) 2つある長期生態系プロットのうち1つの毎木調査を実施
- (4) 初めて発生が観察されたカシナガキクイムシの被害調査を実施

【社会連携】（市民向け公開講座）

- ・ 温室特別公開（樹芸産バニラを使ったアイス，精油成分に富む葉を使ったにおい袋）
- ・ 春の森を歩こう
- ・ 子ども樹木博士

【施業管理】

- ・ オフセット・クレジット(J-VER)制度を利用しての間伐事業の取り組み
- ・ 静岡県の助成制度による間伐・作業道開設
- ・ 2014年度より森林施業計画から森林経営計画に移行

【その他】

- ・ 2013年4月，非常勤職員を雇用した（辞職に伴う補充）。
- ・ セレナ1台を廃し，秩父演よりハイエースを移管
- ・ 軽トラックを購入

教育研究センター

【教育】

週1回のゼミ（演習林ゼミと教育研究センターゼミ）と指導教員との連携による個別指導を通じて、演習林に所属する学生（博士課程学生5名、修士課程学生6名、4年生4名、研究生1名、合計16名）の卒論、修論、博論研究等の指導・支援を行うとともに、学生生活全般のケアを行った。教育研究センターゼミでは、Rを使った統計解析、プレゼン、論文執筆の基本などに関する基礎的な演習を行った。

学部・大学院のガイダンス等で演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整、教養学部講義、演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて、演習林の教育活動を支援した。また、学内の各種委員会に出席した。

広報情報委員会と連携し、各演の教育利用実績を取りまとめた。また、教育目的での演習林利用希望者に対して、各地方演習林との連絡調整を行い、必要な情報を提供した。

【研究】

演習林編集委員会と連携し、「演習林」、「演習林報告」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう、農学系事務との連絡調整を行うとともに、経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し、各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。

国際交流委員会と連携して、4月10日にマレーシアサバ大学の訪問・受け入れを行い、森林科学専攻と協力して学生交流を行った。また、5月1日から6月4日に特任教員としてNovotny博士の招聘手続き、受け入れを行った。また、マレーシアサバ大学からインターンシップとして学生2名を受け入れ（写真1）、演習林の概要説明、田無での森林保護実験、三富新田での里山研修などを企画したほか、主に生態水文学研究所、北海道演習林などの地方演習林での受け入れの手配等を行った。また、9月27

日（金）に訪問した中国北華大学の劉先生の講演会を主催した。さらに、2014年5月1日から9月31日までの期間に特任教員として招聘予定のインドのKumar博士について、招聘に関わる準備を行った。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し、全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文（英文要旨含む）の英文、演習林報告の目次、地方演習林の各種施設等の英文英文チェックを行った。



写真1 マレーシアサバ大学から来演したスーさんとタンさん

その他、所属する教員がそれぞれ関連するプロジェクトとして、農林水産技術会議による農林水産政策を推進する実用技術開発事業「北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立」、地方演習林のレーザー計測に関する支援、そのデータ解析に向けた準備を行った。また、各自の科研費、運営費等で、個別テーマの研究に取り組んだ。



写真2 農学生命科学研究科技術職員研修会
におけるポスターセッションの様子

2014年2月27日・28日の農学生命科学研究科技術職員研修会の事務局として準備・当日の運営にあたった(写真2)。

【社会連携】

広報情報委員会と連携し、ホームページ、科学の森ニュース、学内広報・弥生等の機関紙を通じて、演習林の社会貢献に関する広報活動を行った。また、各演習林の広報活動を取りまとめ、専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに、演習林の活動報告の情報を取りまとめ、演習林年報を発行した。一般公開、教職員向け特別ガイドの補助・支援を行った。また、各種問い合わせ等に対応した。

【施業管理】

地方演習林の施業管理、苗畑作業への補助を行った。

【その他】

農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに、連絡調整を行った。安全衛生活動として、ハチ毒アレルギーの検査を行い、必要に応じてエピペンの処方をしてもらった。地震時の緊急避難について、教職員、学生ともに緊急避難場所を1号館と2号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後、農学部グラウンドに集合することを確認した。

■2013 年度常置委員会活動報告■

【基盤データ整備委員会】

<気象観測部門>

東京大学演習林では、これまで最長で 100 年を超える期間気象観測を継続してきた。現在の観測システムは 2001 年から稼働し、7 地方演習林を網羅する合計 17 か所の観測地を基盤データ整備委員会気象部門で責任をもって観測を続けてきた。

2012 年 1 月 1 日からは「教育研究計画 2011～2020」に基づいた新体制の下での観測を継続している。すなわち、基盤データ整備委員会気象部門で責任をもつ I 種観測地は札幌（千葉）、前山（北海道）、小赤沢（秩父）、白坂（生態水文）、青野（樹芸）の 5 か所、観測項目は気温、湿度、降水量、日射量、風速、風向である。I 種以外の観測地は II 種として各地方演習林の裁量で観測や全演でのデータ公開を行っているが、気象部門として各地方演習林で対応の困難な案件についてのサポートは継続している。

気象担当者会議は隔年開催であるため 2013 年度は開催しなかったが、観測機器やその部品についてはメンテナンス計画に基づいて購入、更新している。観測データの公開については、2013 年 1 月 1 日より演習林ホームページでの公開を大幅に早め、翌々月には公開するようにしている。2013 年のデータは観測体制とともに「演習林」57 号（2015 年 1 月発行予定）に 2013 年気象年報として掲載する。

2013年 各地方演習林の観測地と観測項目（2013年末現在）

演習林名	千葉演			北海道演			秩父演				田無演	生態水文学研			富士癒しの森研	樹芸研		
	I	II	II	I	II	II	I	II	II	II	I	II	II	II	I	II		
観測地	札幌	清澄	新田	前山	山部	山部事務所	小赤沢	栃本	大血川	ワサビ沢	第一苗畑	白坂	東山	穴の宮	山中湖	青野	加納	
観測項目	気温 地温 湿度 降水量 日射量 風速 風向 降雪 積雪 降雪深 積雪深	○(○) ○(-) ○(-)	○(●) ○(-)	○(○) ○(-)	○(-) ○(-)	○(-) ○(-)	○(○) ○(○) ○(○) ○(○)	○(-) ○(-) ○(-) ○(-)	○(○) ○(○) ○(○) ○(○)	○(-) ○(-)	○(○) ○(-) ○(-)	○(○) ○(-) ○(-)	○(○) ○(-) ○(-)	○(○) ○(-) ○(-)	○(○) ○(○) ○(○)	○(○) ○(○) ○(○)	○(○) ○(-) ○(-)	○(○) ○(-) ○(-)

○は観測を行っている項目、●は設置予定の項目、()内は代替機器観測の有無を示す。

<生物部門>

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物（自生種・導入植栽種）をリストアップし、同時にさく葉標本を 1 種につき 3 点作成することを目標に資料の収集にあたっている。

目録作成用の調査は 2011 年に概ね終了し、2012 年はリストの整理と追加調査に充てられた。2013 年はリストのとりまとめが主な作業であり、同年 7 月の「演習林」54 号に各演習林の植物目録が掲載され、これまでの調査に関する成果を報告した。各演習林の活動については以下の通りである。

千葉演習林：I 種の活動は行わなかった。II 種の活動として、古いさく葉標本の画像を撮影し、リストの作成を行った（作業日数 14 日、作業人工数 27 人工、登録点数 1,149 点）

北海道演習林：Ⅰ種の活動としては、目標数に達していない種について継続して標本採取を行った。また、特殊な植物群落について、前回の調査時期と違う時期に調査を行い、出現種の確認作業を行った。

秩父演習林：Ⅰ種の活動は行わなかった。Ⅱ種の活動として自動撮影カメラによるフェノロジー調査（開芽・展葉・落葉）を行った。

田無演習林：担当者の変更があり、確認の意味を含めた再調査、標本収集を行った。Ⅱ種の活動として、樹木園で自動撮影カメラによるフェノロジー調査を行った。

生態水文学研究所：Ⅰ種・Ⅱ種ともに活動は行わなかった。

富士癒しの森研究所：Ⅰ・Ⅱ種ともに活動は行わなかった。

樹芸研究所：通常業務中に調査を行った。標本情報整理を行った。

研究報告

東京大学演習林基盤データ整備委員会生物部門植物分野：東京大学演習林維管束植物目録。演習林（東大）54号。P1-3

藤平晃司・軽込勉・三次充和・久本洋子：千葉演習林維管束植物目録。演習林（東大）54号。P5-57

堀江健二・宮本義憲・木村徳志・及川希：北海道演習林維管束植物目録。演習林（東大）54号。P59-106

五十嵐勇治・吉田弓子：秩父演習林維管束植物目録。演習林（東大）54号。P107-155

栗田直明・楠本大：田無演習林維管束植物目録。演習林（東大）54号。P157-190

渡部賢：生態水文学研究所維管束植物目録。演習林（東大）54号。P191-251

西山教雄・五十嵐勇治・吉田弓子・算用子麻未・千島茂・斉藤暖生：富士癒しの森研究所維管束植物目録。演習林（東大）54号。P253-280

辻和明：樹芸研究所維管束植物目録。演習林（東大）54号。P281-337

演習林名	調査日数	調査人員	標本種数	標本点数
千葉演習林	0	0.0	0	0
北海道演習林	2	7.0	26	54
秩父演習林	0	0.0	0	0
田無演習林	24	24.0	52	137
生態水文学研究所	0	0.0	0	0
富士癒しの森研究所	0	0.0	0	0
樹芸研究所	0	0.0	0	0
全演習林合計	26	31.0	78	191

○鳥類分野

各演習林でみられる鳥類のリストアップとモニタリングを目的に教育研究計画のⅠ種、Ⅱ種の調査項目を実施した。隔年で行う田無演習林、樹芸研究所の繁殖期のポイントセンサスは、今年度は実施しなかった。2013年度の確認種数、調査回数等は、下記表の通りである。全演で初記録が2種、地方演習林での初記録が6種あった。また、調査結果をもとにした研究発表が1件あった。次年度も組織的に調査体制を維持していきながら、計画を実行していく予定である。

	確認種 ^{※1}		調査回数		調査人員		確認種数	
	科	種	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査
千葉演	29	46(10)	31	5	31	5	22	38
北演	34	89(7)	24	2	48	6	56	73
秩父演	30	66(0)	25	56	26	70	53	44
生態水文	29	48(14)	40	9	40	9	29	43
富士癒し	29	63(14)	11	32	11	32	35	61
樹芸研	-	-	-	-	-	-	-	-
田無演	-	-	-	-	-	-	-	-

確認種の分類は日本鳥類目録改訂第6版2000を参照

任意調査は公式調査以外の野外業務の際、一時的に任意で行った調査、観察

※1 括弧内は演習林外周辺地域でのみ確認した種数

研究報告

才木道雄・原口竜成・木村恒太・守口海・高野充広 ヨタカにおける抱雛行動と孵化後のヒナの移動 山階鳥類学雑誌 45:98-101,2014

○昆虫類分野

(1) 全演共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008年から各演共通の方法による定期的・定量的採集を行っており、採集された標本は北演に集められている。千葉、北海道、秩父、田無演習林、生態水文学研究所、樹芸研究所では、2013年より、調査地を移動した。富士癒しの森研究所では別の調査地がないため当初から同じ場所で調査している。

2008-2010年の標本については同定結果が出ているものの、2011-2013年は未同定である。2011-2012年の同定が済んだところで、2008-2012年の5年分のデータの解析を行い「演習林」に投稿する予定である。

(2) 各演を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各演を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各演で進めている。

また、千葉演習林では2012年4月より千葉県立中央博物館と共同で月2回の任意採集を実施している。

○脊椎動物（鳥類を除く）分野

本年度はこれまで行ってきたセンサーカメラでのモニタリングに加え、より鮮明な画像が記録できるセンサーカメラでの小型哺乳類調査を北海道演習林、富士癒しの森研究所、樹芸研究所で行った。秩父演習林では昨年度作成した調査計画を基にコウモリ目の調査を行った。このほかに各演で死亡個体が得られた場合は、担当者が標本作製のテストを行い、

仕事量の目安などノウハウの蓄積に努めた。また昨年度の担当者会議での議論を基に、各演不足していた図鑑・書籍の整備を行った。

各演で行われたⅠ種の成果およびⅡ種調査の内訳と成果は以下の通りである。

演習林名	Ⅰ種調査（センサーカメラ）			Ⅱ種調査			
	設置場所	調査日数	確認種数	調査方法（実施月）	確認種数	収集件数	備考
千葉	林内	365	6	目撃情報記録（通年）	10		
				ラインセンサス（8～10月） 両性爬虫魚類調査	22		河川
北海道	林道・林内	365	8	自動撮影調査（6・10月）	7	280	林道モニタリング
				目撃ノート（通年）	8	111	
				エゾシカライトセンサス（11月）	5		エゾシカ計134頭
秩父	歩道・林道	365	11	ライトセンサス（6月）	3	29	
				コウモリ調査（6・7・9月）	3	10	
				標本作製（5月）			ハクビシ
				目撃ノート（通年）	8	45	
				両生類調査（8月）	1		
生態水文	歩道・沢地	365	8	目撃情報シート（通年）	3	6	
富士	林内・歩道	365	7	目撃情報記録（通年）	4	11	
樹研	青野研究林内・加納観察林内	365	9	目撃情報記録（通年）	21	56	
				小型哺乳類調査（6・3月）	2	26	
				ニホンジカ区画法調査（3月予定）	—	—	
田無	モウソウチク林内・第一苗畑内	344	6	動物観察ノート（通年）	7	14	
				標本作製（11月）			アズマモグラ※1

※1 但し、隣接する生態調和農学機構で採集された個体

<水文水質部門>

千葉演習林・北海道演習林・秩父演習林・生態水文学研究所・樹芸研究所において、流量と定時の水質サンプリングとその分析が砂防研究室からの支援も求めながら実行する体制が組まれている。その骨子は、下記の3点からなる。2013年度の活動は、このような体制の下、5つの地方演習林で地道な観測の継続と分析が実行され、その成果が生態水文学研究所に逐一報告され記録されたことである。

1. 生態水文学研究所におけるデータの管理
2. 基盤データ整備委員会管轄下の試験流域での水位測定・降水量測定

3. 降雨および溪流の水質サンプリング・分析の分担

上記に加えて、降雨の空間的起源をさぐる目的で降雨の安定同位体観測 2013 年限定の週 1 回の通年観測が開始した。日本水文科学会同位体マッピングワーキンググループ (Isotope Mapping Working Group; JAHS-IMWG) への観測参加という形で 4 つの降水観測点 (東京大学演習林だけの観測項目として同時期の溪流の安定同位体観測を含む) が参加した。

観測項目

1. 流量・雨量の観測と日流量・日雨量への整理：各地方演習林の責任で実施
2. 降水・溪流水の水質サンプリング：月 1 度採水し、分析担当の地方演習林へ送付
3. 水質化学分析：溪流水 (Na^+ , K^+ , Mg^{2+} , Ca^{2+} , SO_4^{2-} , NO_3^- , Cl^- , pH, EC の 9 項目)
降水 (上記 9 項目 + NH_4^+ の 10 項目)

流量・水質観測地点：

1. 流量観測地点・溪流水質観測地点：千葉演習林 (袋山沢 A)，北海道演習林 (丸山沢)，秩父演習林 (バケモノ沢)，生態水文学研究所 (白坂本谷)，樹芸研究所 (青野 3 号沢)
2. 溪流水質分析：千葉は砂防研究室で、北海道と樹芸は樹芸研究所で、他は生態水文学研究所で分析 (分析担当は機器の不調で若干の変更あり)

雨量観測地点：

千葉演習林 (新田)，北海道演習林 (東郷ダム)，秩父演習林 (ワサビ沢)，生態水文学研究所 (白坂)，樹芸研究所 (加納)

降水水質観測地点：

雨量観測地点と同一，樹芸研究所は加納

降水水質分析：

千葉 (砂防研究室)，北海道と樹芸研究所 (樹芸研究所)，他 (教育研究センター経由で砂防研究室)

データ公開

日降水量，日流出量，月 1 回の水質データ：生態水文学研究所がとりまとめ
雑誌「演習林」・演習林ホームページ上で公開予定タイムテーブルのアナウンス

<GIS 部門>

演習林基盤データ整備委員会 GIS 部門は、本年度から第 3 期 (2013~2015 年度) の活動を開始した。前期の成果をさらに発展させるべく、①GIS データの整備，②GIS 操作技術の向上，③GIS データの活用，の 3 つを当期における GIS 部門の活動方針とした。

活動方針①に関して、当期はリモートセンシングデータの整備・拡充を全演的に進めることとした。当部門では 2010 年度に、生水研、富士癒しの森研、樹芸研の ALOS 衛星画像を整備したが、森林の経年変化抽出等の解析を可能とするため、当期中に 2 時点の衛星画像を整備していくこととし、本年度は生水研と富士癒しの森研の ALOS 衛星画像 (AVNIR-2, PRISM) を購入した。千葉では、本年度の保育間伐地と 2018 年度までの間伐予定地の主題図を作成した。北海道では、ヘリコプターによる航空レーザ測量の実施、航空機レーザ測量データを用いた樹高分布図の作成、GPS を用いた風害復旧試験地の位置情報取得、過去図面を用いた林道位置の抽出とシェープファイルの作成を行った。秩父で

は、測地系（JGD2011）の更新，マップドキュメントの一括リンク修正・変更プログラムの作成，林小班ポリゴンの細分化，林班別等高線図・微地形図の作成，林班図の更新，小班ベクタデータの修正・更新，歩道現況の更新，空中写真を用いた奥地境界調査を行った。田無では，立木位置図（1，20，21，23，25 小班）と下刈り履歴図面の作成を行った。生水研では，既存林班図のスキャニングと幾何補正を行い，管内地図を新たに作成した。富士癒しの森研では，公道沿いにある危険木の位置図作成と測量図データの整理を行った。樹芸研では，レーザーコンパス測量システムを用いた作業道・作業路・歩道・LTER サイト内樹木の位置情報取得，GPS を用いた記念樹（候補木）・量水堰の位置情報取得を行った。また，教育研究センターが管理する全演共有レーザーコンパス測量システム（2 台）のソフトウェアをバージョンアップした。

活動方針②に関して，GIS 操作技術を指導可能な職員を新たに養成するため，10 月

29 日～11 月 1 日に千葉と北海道の職員 3 名を対象とした GIS 指導者養成研修を実施した（写真 1）。北海道の中川雄治技術専門職員が講師を務めた。1 日目（29 日）は北海道にある GIS サーバ・測量機器・GNSS 受信機を紹介し，ネットワークに講義を実施した。2 日目（30 日）は，GIS 初心者へ GIS 指導者の指導における注意点とポイント，北海道での GIS 導入の経緯，写真データの取扱いと ArcGIS での管理の方法，ラスタデータ，紙図面を GIS に取り込む方法，DEM データの応用についてそれぞれ研修を行った。3 日目（31 日）は，GNSS について技術的解説を行い，GNSS 測量の方法，衛星配置の飛来予測，ハンディ GPS の応用，3D データの作成，座標変換について研修を行った。4 日目（1 日）は研修のまとめと確認，情報交換を行った。また，12 月 9～13 日に田無および富士癒しの森研の教職員計 5 名を対象とした GIS 内部研修会を実施した（写真 2）。田無（10～13 日）では，千葉の軽込勉技術専門職員が講師を務め，レーザーコンパスによる測量と GeoSketch3 へのデータ取り込み，ArcGIS へのデータの転送から位置図作成の実習を行った。富士癒しの森研（9～10 日）では，秩父の原口竜成技術専門職員が講師を務め，既存データの確認，境界杭確認と撮影記録，境界杭の属性データ入力，ArcGIS 上での表示と操作について実習した。本研修会の開催を通じて，各地方演習林の実情に合った内容で GIS 関連技術の向上が図られた。

活動方針③に関して，千葉では林野庁補助事業「デジタル森林空間情報利用技術開発事業」により全域で撮影されたデジタル空中写真と 3D 立体視システムを利用し，架線集材



写真 1 北海道演習林で行われた
養成研修の様子



写真 2 富士癒しの森研究所（左）と田無演習林（右）で行われた内部研修会

による皆伐予定地の先柱・元柱位置の検討を行った。北海道では、伐採許可申請図面の作成、デジタル立体視ソフト「もりったい」を用いた林種区分測定の参考資料作成、冠雪害を受けた林道の倒木処理業務発注にかかる林道路線距離の算出を行った。秩父では、演習林利用者 11 件に対する GIS データの提供、栃本作業所における Quantum GIS の試験運用を行った。富士癒しの森研では、立木位置データを利用して実証林試験区における調査・伐採計画の検討を行った。樹芸研では、GIS データを利用してユーカリ植伐計画と利用者用ハザードマップを作成した。

<固定試験地部門>

東京大学の 7 地方演習林には数多くの試験地が設定され測定が行われている。試験地部門では、2011 年度に決めた「試験地データの整備と公開に向けての具体的なスケジュールと方法についての基本的な方針」に基づいて一部のデータのデジタル化を順次進めていく計画である。2013 年度は、調査データの入力フォーマットや公開方法に関する検討を行ったが最終的な方法は確立できなかった。そのため、作業として調査データと並行して公開を計画している調査野帳のスキャンを先行して開始し、初年度として秩父演習林の試験地調査野帳 757 枚のスキャンを試行した。また、試験地資料とは別件の作業として地下倉庫から見つかった戦前を中心とした演習林の古い写真のスキャンを行い、写真帳 6 冊分のデジタル化を完了した。

【研究推進委員会】

演習林研究推進委員会は 2007 年度より演習林教員を中心とした研究活動を組織的にバックアップすると同時に、研究プロジェクトの組織的な獲得、演習林の蓄積してきたデータの研究成果としての公表の促進を図るために設置された。2013 年度は教員総会において研究推進委員会としての今後の方向性について議論を行うにとどまった。その内容は次のとおりである。

- ①演習林構成教員による研究の現状の相互理解（Newsletter など）
- ②自発的でしかるべき構成員で共同研究を進めるための環境づくり
予算獲得などの後方支援
- ③演習林が組織として構造的に抱えている問題の解決
（教員が集中して研究に没頭できる時間・環境の確保、技術職員との間で双利的な協力関係の構築）
- ④教員の演習林外の研究活動の正当な評価
- ⑤研究シードの発掘とリスト化

【教育推進委員会】

(1) 委員会の開催

2013年5月22日(水), 10月23日(水), 2014年2月21日(金)の3回開催した。
旅費節約の観点からTV会議を行った。

(2) 活動報告

教育推進委員会の活動は, 「教育研究計画 2011~2020」に定めた以下の6項目について行っているのので, それぞれについて報告する。

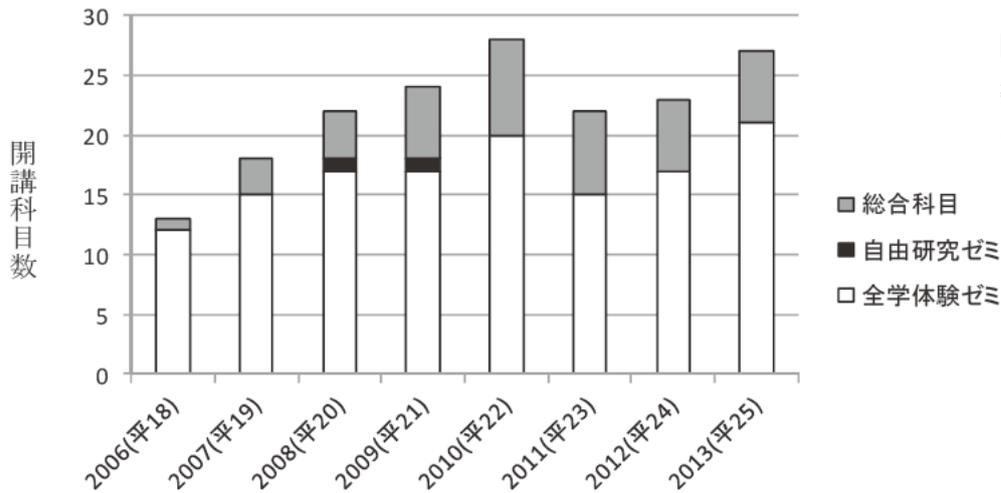


図-1. 演習林における教養学部開講科目数の推移

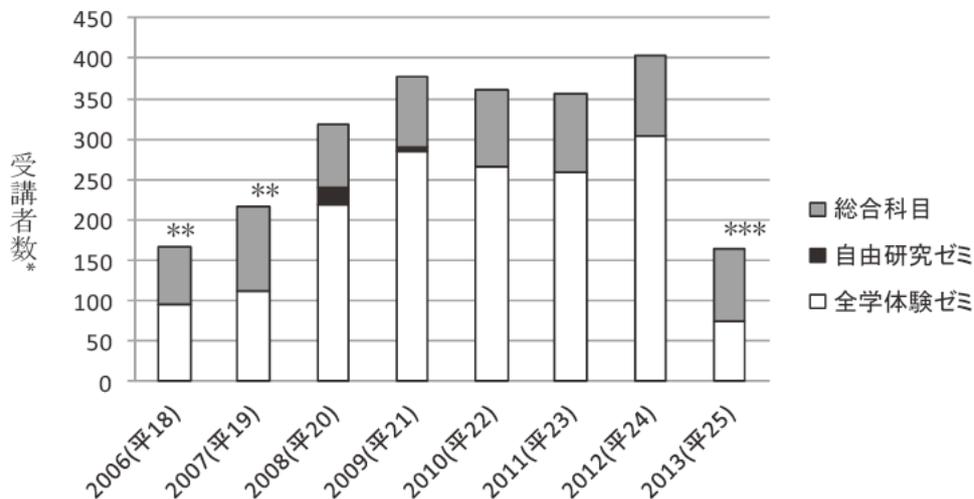


図-2. 演習林における教養学部開講科目受講者の推移

注) *受講者数は、履修登録者数ではなく、実際に講義を受けた学生数。**2006年度、2007年度の全学体験ゼミは集計されていない科目が含まれる。***2013年度の冬学期開講科目は未集計。

(2-1) 教養学部講義の組織的取り組み

演習林では, 2006年度より, 教養学部における講義の開講に積極的に取り組んでいる。近年は, 全学体験ゼミ, 総合科目が年に20科目以上開講されている(図1)。これらの講義を通じて演習林を訪れ, 森林・農山村の現状を学ぶ機会を持った学生は毎年のべ300人以上にのぼる(図2)。それに加えて今年度は「教育研究計画 2011~2020」に例示された「演習林として戦略的な題目の設定」を目指して, 3つ以上の地方演習林を巡回するゼミ企画を提案したが, 演習林会議および教員総会で多様な意見があったことを踏まえ, 来年

度，引き続き検討する。

(2-2) 教育推進委員会予算

教育推進委員会予算として，教員経費の2% (36.4万円) と欠員分半額 (54.5万円) に運営費からの補てん分を加え (総額 240.9万円)，演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種，指導学生の多少，講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために，教養学部前期課程の教育 (全学体験ゼミ等) にかかる経費 (遠隔地教員の講義のための旅費については研究科負担)，演習林ゼミに出席するための最低限の旅費，「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費，助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費等を賄った。

(2-3) 広報情報委員会との連携

来年度から全演協の公開森林実習が開始されることに伴い，連携を強化していく計画である。

(2-4) 演習林ゼミ

演習林ゼミは，教育目的で，卒業論文，修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。2013年度は例年通り4研究室ごとのアレンジおよび卒論，修論，技術職員の発表で計11回開催した。

(2-5) 学生の確保

「科学の森で学ぼう」パンフレットをPDFで発行し，ガイダンスの場では印刷して配

布した。演習林ホームページに教員紹介の英語版を広報情報委員会と連携しつつ作成した。

(2-6) 教員総会

2013年度の教員総会の運営を，研究推進委員会・企画部・教育研究センターとともに担当した。「助教の教育技術の向上をはかるうえで重要な学部実習の担当に必要な旅費」に

ついて、現在の制度とその目的、背景、歴史的経緯について教員総会で説明の時間を設け、情報共有を行った。また実態を把握するため、教員総会の前に助教に対してアンケート調査を行った。

(3) その他

全国大学演習林協議会（全演協）では、各大学が持っている演習林相互の有効活用を促進することを目的に教育関係共同利用として「公開森林実習」を実施している。各大学の学生は他大学で実施されている「公開森林実習」を受講することで、自大学の演習林とは生態系や環境が異なる他大学の演習林における実習や造林・搬出・測量などの技術的な実習、地域の伝統的な林業を対象とした実習など、多様で特色ある内容の実習を選択して受講することができる。「公開森林実習」は原則として「全国農学系学部相互間における単位互換に関する協定（以下、全演協協定）」に参加する大学の農学部の学生が他大学の「公開森林実習」を受講できる単位互換制度だが、東京大学のような単位互換制度を持っていない大学も、単位の取得にかえて「成績証明書・履修証など」を発行することで、「公開森林実習」に参加することが可能である。演習林としても他大学の学生に東大演習林で学ぶ機会を提供するとともに、本学学生に他大学の演習林で行われるさまざまな「公開森林実習」に参加する機会を提供するため、森林科学2専修の「森林科学総合実習」と国際開発農学専修の「森林実習」を「公開森林実習」として位置づけることを両専修にお認めいただき、2014年度から開始される運びとなった。

【環境安全管理委員会】

毎月開催される農学部環境安全管理室会議に出席して、情報の収集にあたり、演習林会議を通して情報の共有をはかった。

安全衛生に関わる各種研修、講習については、演習林外部の研修、講習へ職員が参加するとともに、演習林内部でも実施した。

北海道演習林で行われたスノーモバイル講習会を研究科環境安全管理室が視察した。その際、先の湿雪害のような異常事態時に演習林が研究科に何を望むかという問いかけが松本環境安全管理室長より北海道演習林職員に投げかけられ、これに関する意見交換が行われた。演習林は、特に災害時にあっては自助努力で解決を探るばかりではなく、研究科と連携して職員の安全衛生の確保を図ることが肝要である。

教育研究安全衛生マネジメントシステムについては 2007 年度より研究部（現教育研究センター）および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2013 年度も継続して、各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる各種研修、講習を行った。

2014 年 2 月 4 日に千葉演習林においてシカ生息数調査に際して、元職員で現在千葉演習林の活動に協力するボランティア団体に所属する方が、崖から落ちて亡くなる事故が発生した。すぐに研究科に事故調査委員会が立ち上げられた。地方演習林の実情に合った十分な理解のもとに調査・報告が進められるようにとの研究科の配慮から、演習林長と演習林環境安全管理委員長（研究科環境安全管理室室員）が事故調査委員会に加わることとなった。調査委員会の目的は以下の 2 点である。

①直接の事故原因調査と防止対策の策定

②学外者を含めた活動での安全確保の体制、心構え等のあり方を明らかにして広い意味での再発防止対策として貢献すること

【広報情報委員会】

演習林会議の前の週に毎月1回のTV会議を行い、広報、情報、ネットワーク等の各担当から報告を行うとともに、必要に応じて審議・議論を行った。すべてTV会議で行うことにより、千葉、生態水文、富士など遠隔地からの参加がしやすくなったが、後半はTV会議システムが不調で1か所しかつながらない場合もあり、今後の会議のあり方に検討を要することとなった。

○広報活動

演習林編集委員会と連携して、雑誌「演習林報告」129号、130号、「演習林」54号、55号、56号を発行した。通常、「演習林」は年1回の発刊となっている。このうち54号は、全演習林の基盤データ植物部門が取りまとめた植物目録で、昨年度に既に投稿されていたが、編集出版の都合で今年度出版したものである。また、今年度に「演習林」に投稿された原稿は、投稿数とページ数が多かったため、55号と56号の2冊に分けることとなった。その他の印刷物では、科学の森ニュース62～65号、技術職員等試験研究・研修会議報告の編集、印刷、発行と各所への配布を行った。科学の森ニュースでは、従来、ワードで原稿作成をしていたが、業務効率が悪かったため、アドビ社のインデザインという組版ソフトを導入し、広報担当で使用できる体制を整えた。「科学の森で学ぼう」については、PDF納品の形を取り、利用者がホームページからダウンロードできるようにした。企画出版では、千葉演習林の120周年を記念した「わが国最古の大学の森 東京大学千葉演習林のすべて」の出版を支援した(図1)。



図1 「わが国最古の「大学の森」 東京大学千葉演習林のすべて」の表紙

また、全演ホームページの更新とコンテンツの管理を定期的に行い、ホームページにおける教員紹介の英語版を作成した。また、演習林シンボルマークを焼き印で使えるようにモノクロで使用したいという意見があり、モノクロ版およびモノクロ焼き印バージョンを作成した(図2)。



図2 モノクロ焼き印バーの演習林シンボルマーク

毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか、各演習林と協力しながら、広報誌（学内広報、淡青、弥生など）への原稿の投稿、国立大学フェスタなど情報の提供を積極的に行った。2013年度（2013年4月～2014年3月）の演習林出版局の出版物（ポストカード含む）の販売実績は、ジュンク堂書店で91冊、生協農学部店で60冊、多摩六都科学館で6冊、地方演習林合計で871冊、全体では1,028冊、656,618円（消費税込）となった（別表1）。出版局の書籍については、2014年4月1日からの消費税引き上げに伴い、その対応を経理課等と協議しながら各書籍の本体価格を改定し、企画・販売に関する内規を定めた。

別表1 書籍販売実績（2013年4月～12月）

2013年度(2013年4月～2014年3月) 書籍販売実績	学生分						千歳		北野道		秩父		田舎		生水新		富士		鶴巻	
	ジュンク堂		生協		各演習林		冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
五演習林公式発行ブック「たんけん」科学の森	2	¥1,920	1	¥762			89	¥93,000												
オリジナルポストカード「演習林の植物①」							53	¥15,900												
オリジナルポストカード「演習林の植物②」							47	¥14,100												
オリジナルポストカード「演習林の鳥類①」							30	¥9,000												
オリジナルポストカード「演習林の鳥類②」							26	¥7,800												
おもしろ研究「ちんぷの森」	11	¥10,892	3	¥2,742							5	¥6,000								
「科学の森たんけん」シリーズ ①「秋父のフナ林」	0	¥0	2	¥458							1	¥300								
「科学の森たんけん」シリーズ ②「水辺の森林」	2	¥488	1	¥229							0	¥0								
「科学の森たんけん」シリーズ ③「森の心が秋になるまで」	1	¥243	3	¥687							0	¥0								
「科学の森たんけん」シリーズ ④「秋父演習林の歴史」	1	¥243	2	¥458							4	¥1,200								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑤「秋父演習林の植物」	1	¥405	3	¥1,146							11	¥3,000								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑥「秋父演習林のキノコ類」	0	¥0	3	¥687							3	¥900								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑦「森の身体測定」	2	¥488	4	¥916							1	¥300								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑧「秋父演習林の甲虫」	0	¥0	1	¥229							1	¥300								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑨「秋父演習林の四季」	0	¥0	2	¥458							4	¥1,200								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑩「産婆山の森林」	2	¥488	1	¥229							3	¥900								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑪「木を育てる」	1	¥243	1	¥229							11	¥3,000								
「科学の森たんけん」シリーズ ⑫「冬を待つ」	0	¥0	1	¥229							103	¥10,900								
東京大学演習林・ブックレット① 樹木研究、植物研究、鳥類研究、動物研究、水辺研究、演習林ワークショップの記録	0	¥0	1	¥762									1	¥1,000						
東京大学演習林・ブックレット② 樹木研究、植物研究、鳥類研究、動物研究、水辺研究、演習林ワークショップの記録	1	¥1,215	0	¥0									1	¥1,500						
東京大学演習林・ブックレット③ 樹木研究、植物研究、鳥類研究、動物研究、水辺研究、演習林ワークショップの記録	4	¥3,240	0	¥0									8	¥6,000						
東京大学演習林生態水文学研究所・ブックレット④「カラダと森のつながり」	4	¥3,240	0	¥0									3	¥3,000						
東京大学演習林・リーフレット① 樹木研究の記録	1	¥405	1	¥382									151	¥75,500						
東京大学演習林・リーフレット② 樹木研究の記録	4	¥1,620	1	¥382									10	¥5,000						
東京大学演習林・リーフレット③ 樹木研究の記録	4	¥1,620	1	¥382									11	¥5,500						
東京大学演習林・リーフレット④ 樹木研究の記録	4	¥1,620	2	¥764									26	¥13,000						
東京大学演習林生態水文学研究所・リーフレット⑤ 樹木研究の記録	1	¥405	1	¥382									4	¥2,000						
東京大学演習林生態水文学研究所・リーフレット⑥ 樹木研究の記録	6	¥2,430	1	¥382									37	¥18,500						
東京大学演習林の80年―軌跡と未来―	0	¥0	1	¥914														3	¥3,600	
民衆野「大学の森をたずねて」田舎試験地の80年～	3	¥2,916	6	¥5,484	1	¥972							31	¥37,200						
マの森をまもる	3	¥2,916	2	¥1,828																
「森たんけん」東京大学演習林の見どころ100	14	¥11,900	6	¥4,800	5	¥4,250	57	¥58,850	33	¥33,000	4	¥4,150	17	¥17,000	9	¥9,450	2	¥2,000	15	¥15,000
東京大学演習林生態水文学研究所「森のあそび場」	19	¥16,150	8	¥7,200																
小計(送料)	91	¥84,581	80	¥33,121	8	¥5,222														
消費税		¥3,228		¥1,654																
ジュンク堂・生協分巻合計(税込)	81	¥67,610	80	¥34,776	8	¥5,483	301	¥194,050	33	¥33,000	141	¥31,450	46	¥64,200	287	¥173,850	6	¥6,000	58	¥56,000
学生分合計	167	¥108,088																		
各演習林分合計	871	¥648,550																		
学生・各演習林合計	1,028	¥656,618																		

また、昨年度に発行した樹芸研究所「温室本」に合わせて、樹芸研究所でも温室本が来演者に直接販売できるよう、その手続きを支援した。

○情報活動

各演習林の利用実績の収集・報告およびデータベースの維持管理、演習林年報のとりまとめ、演習林サイボウズの管理、演習林ホームページやサイボウズ、データベースの入っているサーバの保守を行った。また、基盤データ整備委員会と連携し、試験地部門におけるデータベースの構築、公開についての作業分担協力、各演で観測された気象データの収集と取りまとめ、公開支援を行った。

広報情報委員会の下部組織として演習林ネットワーク委員会があり、メールアカウントの管理業務・演習林 Web/データベースサーバの管理・部局 CERT における担当としてコンピュータセキュリティに関する業務、地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。特に今年度は、特に情報基盤センターのメールホスティングシステムの変更にとともなうアナウンスと管理作業などを行った。最近、ネッ

トワーク関連では、地方演習林の作業所等が UT ネットにつながらないという問題が改善されないまま、出退勤、出張申請、給与閲覧など UT ネットのみで利用可能なウェブでの申請登録等が進んでいることから、マルチメディア室と協力してその対応を検討した。

【国際交流委員会】

演習林国際交流委員会は、おもに、各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2013年度は、マレーシアサバ大学学生24名の実習の受け入れを行った。千葉演習林、富士癒しの森研究所、秩父演習林と周辺施設の見学、弥生キャンパスでの本学森林科学専攻学生との学生交流会がその主たる内容である。また、10月には韓国のソウル国立大学が主催したシンポジウム「大学演習林の役割」に鈴木林長と国際交流委員会委員長が出席した。また、11月には、ソウルで開催されたアジア女性環境会議に、教員3名と学生1名が参加した。アジア演習林コンソーシアムの会議は、2014年度あるいは2015年度にソウル国立大学が主催して開催する方向で、また2014年10月のIUFRO世界大会（アメリカ合衆国ソルトレイクシティ）では小集会を開催することを諸大学と調整した。

【森林病虫害委員会】

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。2013年度は対応が必要な病虫害発生案件はなかった。生態水文学研究所74林班で2010年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地（注入木約130本）についても2013年度は枯死木がなかったため、調査は実施しなかった。本試験地では今後数年間、予防効果について経過観察し、注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行う予定である。

【「東京大学の森」育成資金委員会】

東大基金・渉外本部が主催した東大寄付者フォローアップセミナーを樹芸研究所で12月4日に開催した（参加者12名）。今後の育成資金関連の取り組み方針の再検討などについて、渉外本部と打ち合わせを行った。今年度3月末までに42人から263万円（本部取り分含む）の寄付があった。

演習林規則に則って開催された委員会・会議

運営委員会

演習林規則第5条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授（10名以内）と演習林統括技術長，研究科事務部長であり，演習林長が委員長を務める。今年度は2014年3月19日（水）に開催され，2013年度の演習林の管理および運営に関する報告と2014年度の予算編成方針等「教育研究計画2011-2020」に則った地方演習林と常置委員会を軸とする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行った。

演習林会議

演習林規則第6条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する期間である。議員は演習林長，演習林長補佐，演習林所属の教授，准教授，講師，演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者となる（今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された）。演習林長が議長を務める。原則として毎月1回（8月をのぞく）教授会開催日の前日に開催する。今年度は11回開催し，演習林の管理，運営に関する具体的な事項の審議・報告を行った。

その他の委員会・会議

技術主任会議

統括技術長と地方演習林技術主任により森林管理・技術主任組織等に関する諸問題を検討する。今年度は7月30日（火）に開催し，あわせて7月31日（水）に事務担当者・技術主任合同会議を開催した。

事務担当者連絡会議

大学院農学生命科学事務担当者による会議であり地方演習林事務担当者を含めて事務処理遂行上の問題点等について報告，意見交換を行う。通常年1回，当初予算決定後に開催する。今年度は7月30日（火）に開催した。

技術職員等試験研究・研修会議

技術職員等による研究報告と情報交換，技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は10月17日（木）から19日（土）にかけて北海道演習林を会場に開催した。

演習林編集委員会

「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授(7名)と編集委員長が指名する者となる。原則として2ヶ月おきの奇数月に開催し、今年度は予定通り6回開催した。

科学の森ニュース編集委員会

常置委員会のひとつである広報情報委員会のもとで広報誌「科学の森ニュース」の編集にあっている。今年度も4回の発行にあわせて電子メールでの審議を行い、科学の森ニュース62～65号を発行した。

ネットワーク委員会

演習林内のネットワークに関する問題の対応、メールアドレス管理等の他、研究科マルチメディア委員会への対応等を行っている。今年度は千葉演習林のネットワーク不調への対応や地方演習林と研究科マルチメディア室との間の調整などの活動を行った。

JVERワーキング

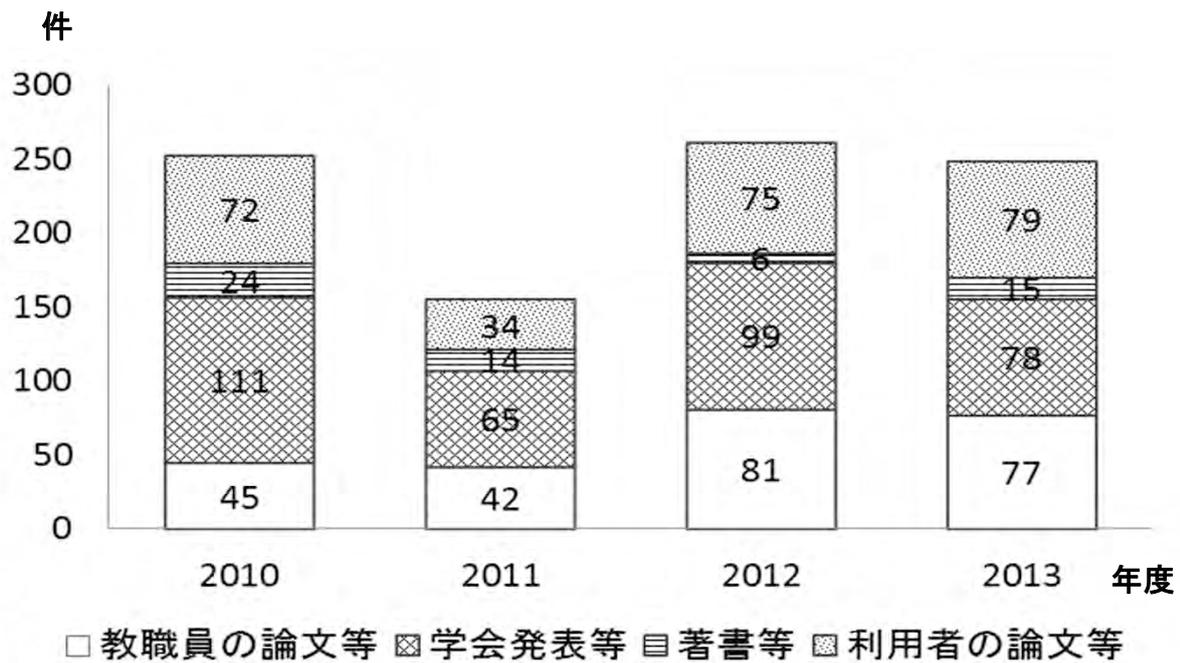
演習林は、環境省カーボン・オフセット制度を活用して、演習林森林が吸収したCO₂を可視化・認証し、東京大学が排出したCO₂の一部を相殺することで、低炭素社会キャンパスの実現に貢献している。この活動は、東京大学において、全学行動シナリオFOREST2015の重点テーマ別行動シナリオ（「経営の機動性向上と基盤強化」－「環境を重視した経営の先導的実践を図る」－「東京大学サステイナブルキャンパスプロジェクト」）、および農学生命科学研究科部局行動シナリオの重点項目（「教育研究施設」－「資源環境保全型の教育研究施設運営」－「演習林森林の二酸化炭素吸収による低炭素社会キャンパスへの貢献とその可視化」）に位置づけられる。2013年度には以下の通り認証を取得した。

○認証取得

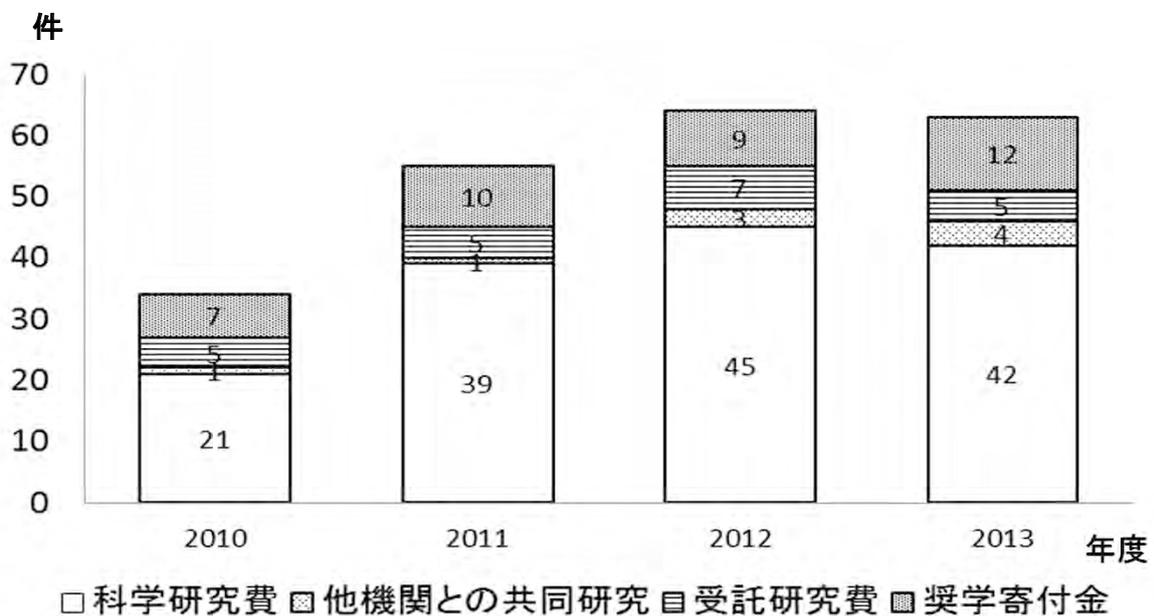
2013年9月	千葉演習林 (1,119 t-CO ₂)
2013年12月	秩父演習林 (342 t-CO ₂)
	樹芸研究所 (216 t-CO ₂)
	生態水文学研究所 (86 t-CO ₂)

○成果の広報

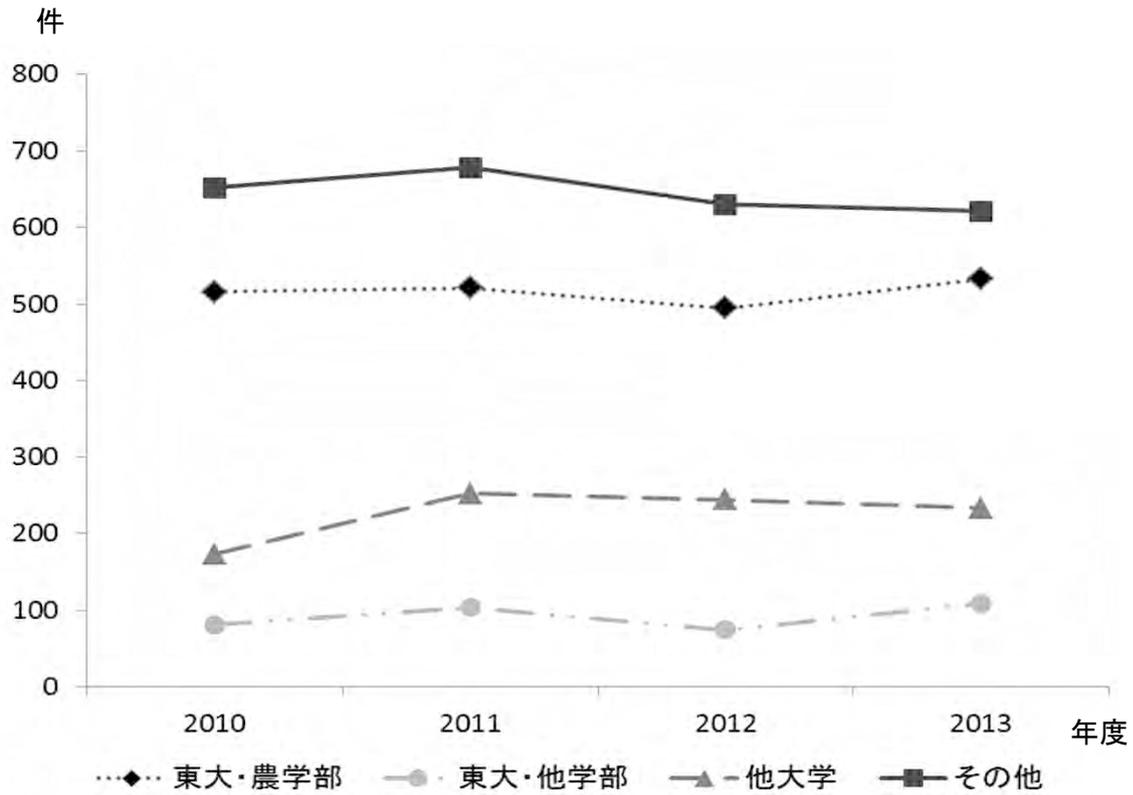
- 「東大環境報告2013」にて演習林のJ-VERプロジェクトを紹介
- 「科学の森ニュース65号」にて演習林のJ-VERプロジェクトを紹介
- 東京国際フォーラムで開催の「カーボンマーケットEXPO2014」にて演習林のJ-VERプロジェクトを紹介



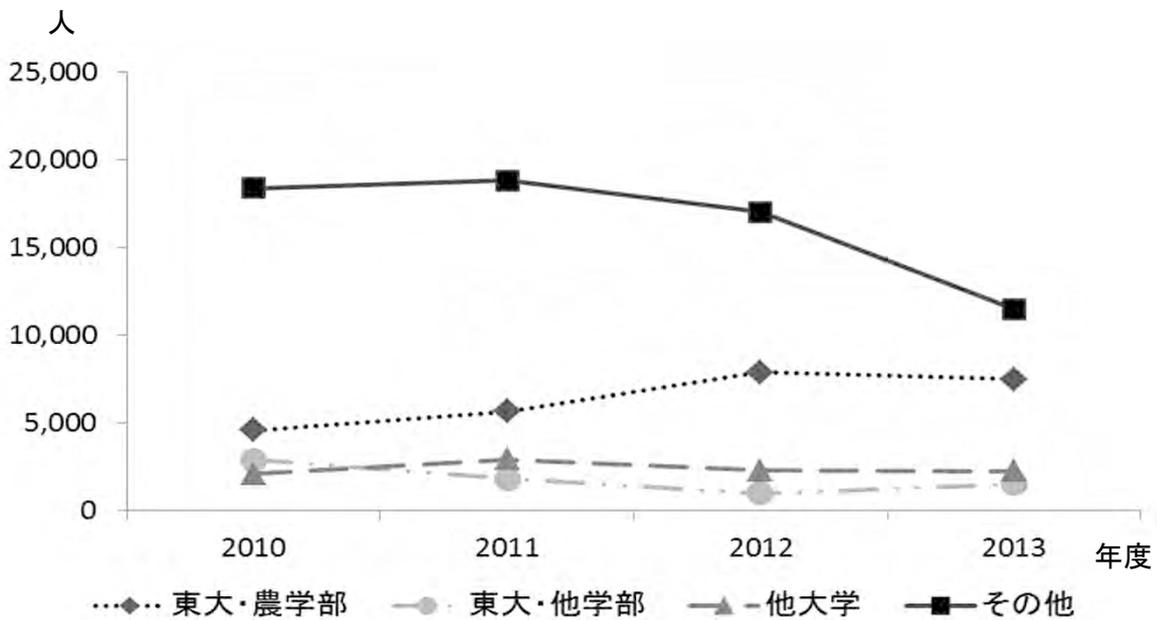
論文等の本数



外部研究費の獲得数



利用者述べ人数
秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く



利用者述べ人数
秋の一般公開(千葉)、ロードレース(富士)の利用を除く

■資料■

■教育活動■

大学院講義等
大学院農学生命科学研究科

生圏システム学専攻修士課程

教 員 名				講 義 名	
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学演習
浅野友子	田中延亮				森林圏水循環機能学
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学演習
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	生圏システム学実験・研究
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本 大	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

森林科学専攻修士課程

教 員 名				講 義 名	
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎					国際森林学特論
浅野友子	田中延亮				森林圏水循環機能学
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	森林科学特別実験
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本 大	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	森林科学特別演習
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本 大	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

農学国際専攻修士課程

教 員 名		講 義 名	
鎌田直人		Foerst Insect Ecology	森林昆虫生態学
尾張敏章		International Forest Certification	国際森林認証論

生圏システム学専攻博士課程

教 員 名				講 義 名	
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学特別演習
石橋整司	蔵治光一郎	安村直樹			森林圏生態社会学特別演習
芝野博文	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学特別演習
鎌田直人	山田利博	石橋整司	芝野博文	後藤 晋	生圏システム学特別実験・研究
鴨田重裕	蔵治光一郎	尾張敏章	平尾聡秀	楠本 大	
安村直樹	浅野友子	廣嶋卓也			

森林科学専攻博士課程

教 員 名				講 義 名	
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別演習Ⅰ
楠本 大					
石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	森林生態圏管理学特別演習Ⅱ
浅野友子	廣嶋卓也				
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別実験Ⅰ
楠本 大					
石橋整司	芝野博文	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	森林生態圏管理学特別実験Ⅱ
浅野友子	廣嶋卓也				

農学部講義・演習・実験実習

教員名			講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・学期
鎌田直人 芝野博文 蔵治光一郎 楠本 大 浅野友子	山田利博 後藤 晋 尾張敏章 安村直樹	石橋整司 鴨田重裕 平尾聡秀 廣嶋卓也	森林科学概論	応用生命科学課程・環境 資源科学課程	3年次・冬学期
鎌田直人 芝野博文 蔵治光一郎 楠本 大 浅野友子	山田利博 後藤 晋 尾張敏章 安村直樹 山本博一	石橋整司 鴨田重裕 平尾聡秀 廣嶋卓也	森林生態圏管理 学	応用生命科学課程・環境 資源科学課程	3, 4年次・夏学 期
永田信	古井戸宏通 安村直樹		森林政策学	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・夏学期
後藤 晋			森林遺伝育種学	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・冬学期
小林和彦 松下範久 久本洋子	森田茂紀 吳 炳雲 平尾聡秀	石橋整司 楠本 大	国際農業生態学 森林植物学実験	国際開発農学専修 森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・冬学期 3年次・夏学期
富樫一巳 前原 忠	久保田耕平 加賀谷隆		森林動物学実験	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 楠本 大	益守眞也 久本洋子	大澤裕樹	造林学実験	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・夏学期
永田 信 竹本太郎	古井戸宏通 齋藤暖生	安村直樹	森林政策学演習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・夏学期
鈴木雅一	田中延亮 蔵治光一郎		測量学実習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・夏学期
丹下 健 平尾聡秀	益守眞也 大澤裕樹		森林土壌学実験	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	4年次・夏学期
鈴木雅一 浅野友子	大手信人 蔵治光一郎		森林保全学実習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	4年次・夏学期
酒井秀夫	桜井 倫 平尾聡秀		森林土木学実習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	4年次・夏学期
白石則彦 中島 徹	廣嶋卓也 當山啓介	藤原章雄	森林経理学実習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	4年次・夏学期
龍原 哲 藤原章雄	廣嶋卓也 當山啓介	中島 徹	森林計測学実習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・冬学期
白石則彦 坂上大翼	芝野博文 尾張敏章		森林科学総合実 習	森林生物学専修・森林 環境資源科学専修	3年次・夏学期
石橋整司			国際農学実験・実 習 I 個別実験	国際開発農学専修	3年次・夏学期
鴨田重裕 平尾聡秀	廣嶋卓也 井上広喜		森林実習	国際開発農学専修	3年次・夏学期

教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講学期
石橋整司 齋藤暖生	前原 忠 久本洋子	井上広喜	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	夏学期
山田利博 鈴木 牧	石田 健 久本洋子	廣嶋卓也 當山啓介	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	夏学期
芝野博文	藤原章雄		全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「森に学ぶ(伊豆)」	夏学期
鴨田重裕	芝野博文	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	夏学期
鴨田重裕	井出雄二		全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ1」	夏学期
鴨田重裕	岡本 研		全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ2」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系さらに伊豆に学ぶ1」	夏学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ3」	夏学期
安村直樹	楠本 大	前原 忠	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験」	夏学期
浅野友子 藤原章雄	石橋整司 齋藤暖生	後藤 晋 三浦直子	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(夏)」	夏学期
鎌田直人	浅野友子	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	夏学期
嶋田 透 勝間進 東原和成 鎌田直人	田付貞洋 長澤寛道 富樫一巳 宮下 直	石川幸男 永田晋治 久保田耕平	全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	夏学期
鴨田重裕			総合科目D(人間・環境一般)「伊豆に学ぶプラス1」	夏学期
石橋整司 藤原章雄	蔵治光一郎 齋藤暖生	安村直樹 當山啓介	総合科目D(人間・環境一般)「癒しの森を考える」	夏学期
蔵治光一郎	田中延亮	岩井紀子	総合科目D(人間・環境一般)「ダムと森林」	夏学期
富樫一巳 鎌田直人 松下範久	丹下 健 久保田耕平	寶月岱造 益守眞也	総合科目D(人間・環境一般)「森の生物学:共存する森林生物」	夏学期
尾張敏章	芝野博文	坂上大翼	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	冬学期
山田利博 當山啓介	廣嶋卓也	久本洋子	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	冬学期
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1」	冬学期
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	冬学期
鴨田重裕	下村彰男		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	冬学期
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「企画系、さらに伊豆に学ぶ」	冬学期
蔵治光一郎 菊池 潔	田中延亮	岩井紀子	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	冬学期
浅野友子 齋藤暖生	石橋整司 三浦直子	藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森を創る(冬)」	冬学期
鎌田直人 鈴木智之	浅野友子	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	冬学期
石橋整司	露木 聡		全学自由研究ゼミナール「古典落語から知る江戸の自然・文化」	冬学期
鴨田重裕			総合科目D(人間・環境一般)「伊豆に学ぶプラス2」	冬学期
安村直樹	齋藤暖生	當山啓介	総合科目D(人間・環境一般)「森のエネルギーを使いこなす」	冬学期
石橋整司	露木 聡	藤原章雄	総合科目D(人間・環境一般)「森をはかる」	冬学期

他大学の非常勤講師等

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
石橋整司	エコロジー	造形学部	デザイン学科	2,3,4	東京造形大学
蔵治光一郎	環境学のフロンティア2	大学院環境学研究科	地球環境科学専攻 都市環境学専攻 社会環境学専攻	博士前期課程	名古屋大学
齋藤暖生	地域資源管理論	文学部	社会学科	2,3,4	都留文科大学
鎌田直人	森林病虫害論(虫害)	農学部		3,4	宇都宮大学
鈴木智之	自然科学3(生物)	法学部	通信教育課程	1,2,3,4	中央大学

2013年度 小中高等学校への対応

小中高等学校への対応

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
松井理生	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	4/19、6/7、11/19
松井理生	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市	5/8、11/6、2/12
山田利博・軽込勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	5/29
丹羽悠二	ふるさと体験学習	秩父市立大滝小学校	秩父演習林	5/31
坂上大翼・井口和信・算用子麻未・中川雄治・遠國正樹・井上崇・渡邊良広・小池征寛・犬飼慎也・江口由典	宿泊研修(北海道コース)	東京大学教育学部附属中等教育学校	北海道演習林	7/2-7/4
平尾聡秀・千嶋武・齋藤俊浩・丹羽悠二・吉田弓子	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第一中学校「仕事発見DAY」	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	7/10-12
久本洋子	卒業生による大学紹介	鎌倉女学院高等学校	鎌倉市	7/13
鶴見康幸・三次充和	スクールミュージアム「東大演習林見学会」	坂畑小学校	千葉演習林	7/23
澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行	公開講座「子ども樹木博士」	樹芸研究所	樹芸研究所	7/27
芝野博文・尾張敏章・坂上大翼・小池征寛・中川雄治・福岡 哲・算用子麻未	サマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」	科学技術振興機構(北海道演習林共催)	北海道演習林	7/30-8/2
蔵治光一郎・田中延亮・岩井紀子・後藤太成・井上淳・渡部賢・松井理生	地学部野外巡検	海城中学高等学校	生態水文学研究所	7/31-8/2
當山啓介・鶴見康幸・阿達康真・塚越剛史・里見重成	2013年課題別「生物多様性」宿泊授業	東京大学教育学部附属中等教育学校	千葉演習林	8/7-9
坂上大翼・木村徳志・及川希・犬飼慎也	平成25年度スーパーサイエンスハイスクール事業視察研修「北海道の針広混交天然林の構造」	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	8/8
五十嵐勇治・丹羽悠二	生物実習	墨田川高校	秩父演習林	8/18-19
平尾聡秀・齋藤俊浩・吉田弓子	中学生社会体験チャレンジ事業・秩父第二中学校「職場体験学習」	秩父市立秩父第二中学校	秩父演習林	8/27-28
岡平卓巳・遠國正樹	東京大学北海道演習林の森林施業と研究活動	北海道帯広農業高等学校(森林科学科)	北海道演習林	8/28
齋藤俊浩	SSH高大連携等林間実習	埼玉県立川越女子高等学校	秩父演習林	9/27-28
平尾聡秀・守口海	熊谷高校SSH講義・野外実習「生物の多様性を知る」	埼玉県立熊谷高等学校	秩父演習林	10/6
安村直樹・楠本大・栗田直明・相川美絵子	職場体験	西東京市立田無第二中学校	田無演習林	10/22-24
栗田直明・相川美絵子	生活科授業	自由学園初等部	田無演習林	10/31

教員名	講演名	主催	開催場所	日程
山田利博・廣嶋卓也・當山啓介・村川功雄・梁瀬桐子・塚越剛史・軽込勉・阿達康真・三次充和・藤平晃司・大石諭・鶴見康幸・里見重成	鴨川市天津小学校・緑の教室	千葉演習林・天津小学校PTA	千葉演習林	11/12
楠本大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	自然に興味を持つ秋のものを探す	西東京市立住吉小学校	田無演習林	11/19
安村直樹・相川美絵子	校外実習	西武学園文理小学校	田無演習林	11/20
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立南中学校	田無演習林	1/28-29
安村直樹・楠本大・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	職場体験	東久留米市立下里中学校	田無演習林	1/29-31
齋藤暖生	模擬講義	岩手県立盛岡第一高校・一関第一高校	東京大学工学部1号館	3/21
軽込勉	校外実習	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	3/25

2013年度 その他の講義・実習対応

その他の講義・実習対応(学内で担当教員以外で対応した場合/他大学で委嘱のない場合)

教員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
岩井紀子・松井理生・渡部賢	総合政策学外体験プログラムA	総合政策学部	総合政策学科		南山大学
尾張敏章	森林資源利用学セミナー	大学院生命農学研究科	森林資源利用学研究分野	修士課程	名古屋大学
尾張敏章・算用子麻未	森林資源経済学特論・森林資源社会学特論	大学院生命環境科学研究科	生物資源科学専攻	修士課程	筑波大学
坂上大翼	森林生物機能学	大学院農学生命科学研究科	森林科学専攻、生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
坂上大翼	インターンシップⅡ:北海道における森林のあり方と開発	現代社会学部	社会システム学科	3、4	同志社女子大学
坂上大翼	美術特別研究 庭園表現A	大学院美術研究科	環境デザイン領域	修士課程	愛知県立芸術大学
坂上大翼	歴史遺産調査演習B	芸術学部	歴史遺産学科	3	東北芸術工科大学
鈴木智之	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部	学部前期課程	1、2	東京大学
鈴木智之	森林圏生態学	農学生命科学研究科	森林科学専攻、生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
田中延亮	山地保全学実習	大学院農学生命科学研究科	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4	東京大学
田中延亮・岩井紀子	生物環境科学基盤実験実習	生命農学研究科	生物環境科学科	2	名古屋大学
久本洋子	樹木学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	宇都宮大学
久本洋子	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3	東京大学
廣嶋卓也・當山啓介	フィールド科学総合演習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
山田利博・當山啓介	造林学実験	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
山田利博・廣嶋卓也	自然環境学野外総合実習	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	修士課程	東京大学
齋藤暖生	環境マネジメント特別講義Ⅱ	国際文理学部	環境科学科	3	福岡女子大学
千葉演習林・秩父演習林・生態水文学研究所・富士癒しの森研究所・教育研究センター・企画部	国際学生実習	国際熱帯林業学部	国立公園レクリエーション学科、木材技術・工業学科	4	マレーシアサバ大学
千葉演習林・秩父演習林・北海道演習林・田無演習林・生態水文学研究所・富士癒しの森研究所・教育研究センター・企画部	Industrial Training Program Semester 2	School of International Tropical Forestry		4	マレーシアサバ大学

森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回(2013年4月26日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室) 後藤晋(演習林教育研究センター) 遺伝、環境? どちらの要因が針葉樹実生の生存に重要なのか? 鎌田直人(秩父演習林) 森林葉食性昆虫の大発生と密度変動 久本洋子(千葉演習林) タケ類の一斉開花過程における 花成制御遺伝子の発現解析
第2回(2013年5月24日(金)13:00-14:45/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林生物機能学研究室) 山田利博(千葉演習林) 東大演習林における野生キノコの放射性セシウム汚染状況-2年間の測定から- 鴨田重裕(樹芸研究所) 樹芸研究所のユーカリについて
第3回(2013年6月21日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態社会学研究室) 陳元君(生圏博士3年) 中国・海南省熱帯林自然保護区における住民連携型管理手法の開発 齋藤暖生(富士癒しの森研究所) ラオス天水田地帯におけるシロアリ塚分布に関する一考察 富山啓介(千葉演習林) 千葉演のシカ・ヒル問題と対策 藤原章雄(富士癒しの森研究所) 環境センシングとフィジカルコンピューティング 安村直樹(田無演習林) 都市林と身体活動~市民の健康づくりとの関わりについて~ 石橋整司(演習林企画部) アンケートに基づく富士癒しの森研究所特別ガイド参加者の分析
第4回(2013年7月19日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林流域管理学研究室) 尾張敏章(北海道演習林) Management and research of conifer-hardwood mixed forests at the University of Tokyo Hokkaido Forest 広嶋卓也(千葉演習林) 東京大学演習林におけるJ-VERプロジェクトの紹介 藤枝(佐藤)樹里(新領域・自然環境) 木曾ヒノキ天然林における択伐後約30年の成長量評価-天然更新促進試験地の事例- 浅野友子(秩父演習林) 日本の山地流域の降雨流出データ-収集データの概要と観測の課題-
第5回(2013年9月20日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室) 梯公平(生圏博士3年) 幼虫の生態から考えるヒメボタルの保全:移動分散、および局所分布と活動性に影響を与える環境要因の解明 Thwe Thwe Win(生圏博士2年) Current genetic structure of Myanmar teak revealed at chloroplast DNA markers and nuclear microsatellite markers 鈴木智之(秩父演習林) 縞枯れ林:森林動態の非平衡性の視点から
第6回(2013年10月25日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林生物機能学研究室) 井上広喜(樹芸研究所) ヒヤクダン培養細胞における心材成分生産の試み 竹本周平(田無演習林) これまでの研究とこれからの計画 楠本大(田無演習林) マツノザイセンチュウを接種した抵抗性クロマツと感受性クロマツにおける組織破壊の拡大と防御反応の比較
第7回(2013年11月22日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林流域管理学研究室) 辰巳晋一(森林博士3年) 針葉樹の成木がササ抑制を介して樹木更新を間接促進する 三浦直子(演習林教育研究センター) 地上型グリーンレーザを用いた山地河川の河床計測 田中延亮(生態水文学研究所) ヒノキ林の林内雨量分布のイベント内変動 鈴木雅一(森林科学) 自然環境の保全と再生-丹沢山地を事例として- 芝野博文(北海道演習林) 無降雨日流量の減水曲線の物理的意味付けについて-双曲線関数で近似した場合の低減係数-
第8回(2013年12月20日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/修士論文発表・森林圏生態社会学研究室) 田神悠介(生圏修士2年) 北山川河川敷において洪水が森林の成長へ与える影響 蔵治光一郎(生態水文学研究所) 遠州灘の海岸林の過去、現在、未来 平林毅一郎(森林修士2年) Ni、Mgストレスに対するシラカンバ等の生育特性 齋藤馨(新領域・自然環境) 世界文化遺産建造物の桧皮葺屋根の景観特性 宮部涼太郎(森林修士1年) 環境教育から見た森の施業と森の景観・構造
第9回(2014年1月24日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/卒業論文発表・森林流域管理学研究室) 岩城常修(森林4年) 鳥類とコウモリ類が下層木の葉食性昆虫に与える影響 小山奈々(森林4年) 水田に生物がいると水質とイネはどう変化するか ~ドジョウ、タニシ、オタマジャクシが果たす役割~ 野添雄介(森林4年) 林業分野を中心としたオープンデータによるデータの視覚化 坪池泰生(森林4年) シカの摂食による下層植生の退行と土壌からの硝酸イオンの流亡について 岩井紀子(東京農工大学) 動物が引き起こす水陸間の資源移動とその生態系への影響
第10回(2014年2月21日(金)13:00-17:00/農学部1号館2階 森林科学会議室/森林圏生態学研究室) 堀田遼(生圏修士1年) カラマツハラアカハバチ死亡要因としての小哺乳類の捕食効果の推定 Syaiful Amri Saragih(森林修士1年) Real time PCR-based tool for detection and quantification of Cordyceps militaris in the soil 滝川寛之(森林研究生) ウダイカンバ二次林の 更新補助に適した地がき方法の検討 平尾聡秀(秩父演習林) カエゲ類の多様化と葉圏生物群集の関係
第11回(2014年2月28日(金)13:15-17:00/農学部1号館1階 6番教室/技術職員研究発表) 村川功雄(千葉演習林) 千葉演習林の昆虫相調査 井上崇(北海道演習林) 北海道演習林が取り組む公開事業-神社山自然観察路の一般公開について- 小林徹行(樹芸研究所) 樹芸研究所での公開講座実施状況 相川美絵子(田無演習林) 田無演習林における子ども樹木博士認定活動 吉田弓子(秩父演習林) 防鹿柵による植生回復と希少種の保護

2013年度 演習林教育研究センターゼミ

演習林教育研究センターゼミ

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第1回	2013.04.19	滝川寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材の実態と成長パターン
第2回	2013.05.10	Syaiful Amri Saragih 陳元君	Real Time PCR - based Tool for Quantification of Entomopathogenic Fungi 中国・海南島Yinggeling自然保護区における住民連携型森林管理の可能
第3回	2013.05.31	堀田遼 宮部涼太郎	生命表解析・メタ個体群論文レビュー 環境設計における意思決定と関係者の自然観の関係について
第4回	2013.06.07	田神悠介	河川内に成立した天然林と過去の洪水の相互作用の評価
第5回	2013.06.14	Thwethwe Win 梯公平	Genetic structure of teak from Myanmar detected at microsatellite and chloroplast marker ヒメボタル幼虫の移動分散と環境条件
第6回	2013.07.05	羽井佐冨彦 平林毅一郎	剪定を受けた樹体の防御反応を促進する要因及び治療方法 Niストレスに対するシラカンバ等の生育特性
第7回	2013.07.12	小山奈々 坪池泰生	水田における生物の影響～おたまたがえるプロジェクト～ シカの摂食による下層植生の退行と土壌からの硝酸イオンの流失について
第8回	2013.07.26	岩城常修 野添雄介	植食者に対する飛行性脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価 森林科学における科学コミュニケーションツールの開発
第9回	2013.10.11 2013.10.18	陳元君 滝川寛之	中国・海南島における熱帯林自保護区住民連携型管理手法に関する研究 ウダイカンバ二次林の更新補助に適した地がき方法の検討
第10回	2013.11.08	梯公平	生息条件と移動性の解明による陸生ホタル7種の順応的生息地探索手法の確立
第11回	2013.11.15	宮部涼太郎	環境教育を森林から考える
第12回	2013.11.29	田神悠介 小山奈々	北山川河川敷において洪水が森林成立プロセスへ与える影響 水田に生物がいると水質とイネはどう変化するか～ドジョウ、タニシ、オタマジャクシが果たす役割～
第13回	2013.12.06	岩城常修 野添雄介	鳥類とコウモリ類が下層木の葉食性昆虫に与える影響 オープンデータをを用いた各国林業の類型化
第14回	2013.12.13	坪池泰生	シカの摂食による下層植生の退行と土壌からの硝酸イオンの流亡について
第15回	2013.12.20	(修士2年全員練習) 田神悠介 平林毅一郎	北山川河川敷において洪水が森林の成長へ与える影響 Ni、Mgストレスに対するシラカンバ等の生育特性
第16回	2013.12.24	平林毅一郎	Ni、Mgストレスに対するシラカンバ等の生育特性
第17回	2014.01.10	羽井佐冨彦 Thwethwe Win	ケヤキおよびクスノキ枝剪定後の防御反応に対する塗布剤処理の影響 Investigation genetic structure of teak plantations currently established in Myanmar
第18回	2014.01.17	堀田遼	カラマツハラアカハバチ死亡要因としての小哺乳類の捕食効果の推定
第19回	2014.01.23	平林毅一郎	Ni、Mgストレスに対するシラカンバ等の生育特性
第20回	2014.01.24	(学部4年全員練習) 岩城常修 小山奈々 野添雄介 坪池泰生	鳥類とコウモリ類が下層木の葉食性昆虫に与える影響 水田に生物がいると水質とイネはどう変化するか～ドジョウ、タニシ、オタマジャクシが果たす役割～ 林業分野を中心としたオープンデータによるデータの視覚化 シカの摂食による下層植生の退行と土壌からの硝酸イオンの流亡について
第21回	2014.01.26	(修士2年全員練習) 田神悠介 平林毅一郎	北山川河川敷に成立した森林の動態に洪水が及ぼす影響 Ni、Mgストレスに対するシラカンバ等の生育特性
第22回	2014.02.07	Syaiful Amri Saragih	Real Time PCR-based Tool for Detection and Quantification of Cordyceps militaris in the soil
第23回	2014.02.10	(学部4年全員練習) 岩城常修 小山奈々 野添雄介	鳥類とコウモリ類が下層木の葉食性昆虫に与える影響 水田に生物がいると水質とイネはどう変化するか～ドジョウ、タニシ、オタマジャクシが果たす役割～ MotionChartAPIを使った世界の林業統計の視覚化とオープンデータの活用における課題
第24回	2014.02.14	(学部4年全員練習) 岩城常修 小山奈々 野添雄介	鳥類とコウモリ類が下層木の葉食性昆虫に与える影響 水田に生物がいると水質とイネはどう変化するか～ドジョウ、タニシ、オタマジャクシが果たす役割～ MotionChartAPIを使った世界の林業統計の視覚化とオープンデータの活用における課題

特別講座

回	月日	発表者氏名	発表タイトル
第1回	2013.05.17	後藤晋 (教育研究センター)	Rを用いたデータ解析講習
第2回	2013.06.28	後藤晋 (教育研究センター)	文献のレビュー、活用と整理
第3回	2013.12.13	後藤晋 (教育研究センター)	初心者のための論文執筆講座

実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉	東京大学	自然環境学野外総合実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	39	4月	1
千葉	サバ大学	国際学生実習	国際熱帯林業学部	国立公園レクリエーション学科、木材技術・工業学科	4年	21	4月	3
千葉	東京大学	造林学実験	農学部	森林系3専修	3-4年	19	5月	5
千葉	東京大学	森林植物学実験(野外実習)	農学部	森林系3専修	3-4年	16	5月	3
千葉	東京大学	森林経理学実習	農学部	森林系2専修	3-4年	13	5月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	教養学部		1-2年	19	6月	1
千葉	東京大学	地域自然誌論	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	4	6月	2
千葉	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	1-2年	36	6月	2
千葉	東京大学	地球惑星環境学野外調査Ⅰ	理学部	地球惑星環境学科	3-4年	19	7月	6
千葉	東京大学	フィールド科学総合演習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生	13	8月	2
千葉	京都大学	地球惑星科学課題演習E1	理学部	理学科	3-4年	17	8月	6
千葉	立正大学	フィールドワークA	地球環境科学部	環境システム学科	2年	22	8月	4
千葉	千葉大学	地質学野外実験Ⅱ	理学部	地球科学科	3年	23	8・9月	6
千葉	千葉大学	地殻構造学野外実験Ⅰ	理学部	地球科学科	3年	3	9月	1
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部		1-2年	11	9月	4
千葉	静岡大学	地質調査法実習Ⅱ	理学部	地球科学科	3年	5	10月	5
千葉	東京大学	森園管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3年	6	11月	2
千葉	東京大学	森林計測学実習	農学部	森林系2専修	3-4年	9	12月	4
千葉	東京大学	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部		1-2年	32	2月	4
千葉	東京学芸大学	地質学調査法実習	自然科学系	環境科学分野	2-3年	15	3月	3
北海道	東京大学	全学体験ゼミ「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部		1-2年	12	8月	4
北海道	筑波大学	林政分野大学生・大学院生実習	大学院生命環境科学研究科	生物資源科学専攻、生物資源学類	学生・院生	10	8月	3
北海道	同志社女子大学	北海道における森林あり方と開発	現代社会学部	社会システム学科	3-4年	20	8月	1
北海道	東京大学	森林科学総合実習	農学部	森林系2・3専修	3-4年生	12	9月	4
北海道	北海商科大学	アメリカ政治史研究富良野合宿			院生	9	9月	3
北海道	東京大学	陸域生態学実習	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	13	9月	4
北海道	東北芸術工科大学	「歴史遺産調査演習B」北海道研修	芸術学部	歴史遺産学	3年	7	9月	2
北海道	東京大学	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部		1-2年	35	2月	3
秩父	マレーシア・サバ大学	国際学生実習	国際熱帯林業学部	国立公園レクリエーション学科、木材技術・工業学科	4年	21	4月	3
秩父	東京大学	森林政策学演習および課題「山村社会における歴史と文化の価値の再考」	農学部	森林系2専修	3年	3	4月	2
秩父	東京大学	森林土木学実習	農学部	森林系2専修	4年	1	5月	4
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	教養学部		1-2年	21	5月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1-2年	6	5月	1
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1-2年	6	6月	2
秩父	早稲田大学	野生動物生態学実習	人間科学部		3-4年、院生	19	6月	2
秩父	東邦大学	野外基礎実習	理学部	生物学科	1年	23	6月	3
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部		1-2年	12	6月	1
秩父	東京大学	フィールドワーク実習	日本・アジアに関する教育研究ネットワーク機構		院生	5	7月	2
秩父	東京大学	フィールドワーク実習	医学部		4年	10	7月	2
秩父	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	5	8月	3
秩父	首都大学東京	動物系統学野外実習	理工学研究科		3年	5	8月	4
秩父	東京大学	フィールド科学総合演習(森園管理学実習)	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	院生	6	9月	4
秩父	東京大学	植物科学野外実習Ⅲ	大学院理学系研究科	生物化学専攻	4年	1	9月	4
秩父	東京大学	森林政策学演習および課題「山村社会における歴史と文化の価値の再考」	農学部	森林系2専修	3年	17	8月	4
秩父	東京大学	森林植物学実験野外実習	農学部	森林系2専修	3年	14	9月	3
秩父	東京大学	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学部		3年	12	10月	3
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ2	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	3	10月	2
秩父	東京大学	応用プロジェクト演習野外実習	工学部		3-4年	6	11月	2

2013年度 実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
秩父	東京大学	自然環境デザインスタジオ2	大学院新領域創成科学研究科	自然環境学専攻	院生	3	10月	2
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の秩父を巡る」	教養学部		1-2年	16	11月	1
秩父	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の秩父を巡る」	教養学部		1-2年	16	11月	2
秩父	東京大学	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1-2年	18	12月	2
田無	東京大学	造林学実験	農学部	森林系2専修	3	16	4・6・7月	3
田無	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	3	17	5・8月	2
田無	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4	7	4月	1
田無	東京大学	フィールド農学基礎実習	農学部	応用生物学専修	3	29	4・11・1	3
田無	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3	8	4・5・6・7・1月	5
田無	東京大学	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成—子どもに伝える自然体験—」	教養学部		1-2年	4	5・6月	3
田無	東京大学	全学体験ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」	教養学部		1-2年	3	8月	1
田無	東京大学	森林生物機能学	農学生命科学研究科	森林科学専攻・生圏システム学専攻	院生	8	9月	1
生態水文	東京大学	総合科目D(人間・環境一般)「ダムと森林」	教養学部		1-2年	20	6月	2
生態水文	東京大学	森林保全学実習	農学部	森林系2専修	4	18	6月	3
生態水文	南山大学	総合政策学部学外体験プログラムA(国内)	総合政策学部	総合政策学科	1-3年	15	6月	2
生態水文	東京大学	測量学実習	農学部	森林環境資源科学森林系2専修	3	9	9月	5
生態水文	名古屋大学	生物環境科学基盤実験実習	農学部	生物環境科学科	2	38	11月	1
生態水文	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部		1-2年	21	3月	2
富士	マレーシアサバ大学	国際学生実習	国際熱帯林業学部	国立公園レクリエーション学科、木材技術・工業学科	4年	21	4月	2
富士	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学生命科学研究科		院生	5	5月	1
富士	東京大学	全学体験ゼミ「景観としての森林生態系と人間の感覚」	教養学部		1-2年	19	5月	4
富士	東京大学	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	学生	6	6月	2
富士	東京大学	環境設計演習	農学部	森林系2専修	4年	5	7月	1
富士	東京大学	総合科目「癒しの森」を考える」	教養学部		1-2年	63	7月	2
富士	東京大学	森林動物学実験	農学部	森林系2専修	学生	19	8月	3
富士	東京大学	国際開発農学実験・個別実験	農学部	国際開発農学専修	学生	3	8月	2
富士	東京大学	総合科目「癒しの森を創る(夏)」	教養学部		1-2年	7	9月	3
富士	東邦大学	野外基礎実習	理学部		1年	25	9月	1
富士	東京大学	社会基盤フィールド演習	工学部	社会基盤学専攻	学生	51	9月	4
富士	東京大学	自然環境デザインスタジオ I	新領域創成科学研究科		院生	25	9月	5
富士	東京大学	水利環境工学研究室ゼミ	農学部		学生	4	10月	1
富士	東京農工大学	国際環境農学専攻国内実習「世界文化遺産富士山の文化・自然・環境保全」	農学研究院	国際環境農学専攻	院生	37	10月	1
富士	東京大学	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部		1-2年	18	11月	2
富士	東京大学	総合科目「森をはかる」	教養学部		1-2年	15	12月	2
富士	東京大学	総合科目「癒しの森を創る(冬)」	教養学部		1-2年	7	12月	2
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ1」	教養学部		1-2年	15	8月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ2」	教養学部		1-2年	24	8月	4
樹芸	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	19	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「夏版・伊豆に学ぶ3」	教養学部他		1-4年	7	9月	5
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「森に学ぶ・伊豆」	教養学部		1-2年	16	9月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ1」	教養学部		1-2年	20	2月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ2」	教養学部		1-2年	18	3月	4
樹芸	東京大学	全学体験ゼミ「伊豆に学ぶ3」	教養学部他		1-4年	7	3月	6

■研究活動■

演習林技術職員等試験研究・研修会議

場所 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林

日程 [2013年10月17日(木)]

試験研究研修会議(於:麓郷森林資料館講義室)

9:10 記念撮影

芝野博文 北海道演習林長挨拶

9:30 試験研究発表(○:発表者)

(司会:井口和信)

《共通テーマの部》『公開事業とPR事業の変遷と課題・今後の展望について』

「北海道演習林神社山自然観察路の一般公開」

○井上崇(北海道演習林)

「千葉演習林一般公開の変遷と今後の課題について」

○藤平晃司(千葉演習林)

「秩父演習林の公開事業の変遷と展望」

○丹羽悠二、高德佳絵、吉田弓子、齋藤俊浩、五十嵐勇治(秩父演習林)

「生態水文学研究所における公開講座」

○荒木田きよみ(生態水文学研究所)

10:50 休憩(10分)

「樹芸研究所での公開講座実施状況」

○小林徹行、辻良子、辻和明、澤田晴雄(樹芸研究所)

「田無演習林における公開事業の実績と課題ー地域からのニーズの高まりと連携による省力化ー」

○栗田直明、相川美絵子(田無演習林)

「田無演習林における子ども樹木博士認定活動」

○相川美絵子、栗田直明(田無演習林)

12:00 昼食

13:00 《自由テーマの部》

「ヨーロッパトウヒ高齢人工林における帯状皆伐後の植生の変化」

○宅間隆二、木村徳志、岡平卓巳、犬飼慎也(北海道演習林)、村川功雄(千葉演習林)、五十嵐勇治(秩父演習林)

「ユーカリ属植栽地における土壌養分収奪性の検証」

○渡邊良広(北海道演習林)、辻和明、辻良子、小林徹行(樹芸研究所)

「高芽接ぎ技術を用いたヒメコマツの他家受粉種子生産の試み」

○米道学(教育研究センター)、塚越剛史、里見重成、軽込勉(千葉演習林)

「防鹿柵による植生回復と希少種の保護」

○吉田弓子、五十嵐勇治、齋藤俊浩（秩父演習林）、相川美絵子（田無演習林）

「千葉演習林の昆虫相調査」

○村川功雄（千葉演習林）

「北海道内陸部におけるオオワシ・オジロワシ越冬個体の飛来実態」

○松井理生（生態水文学研究所）

「富士癒しの森研究所における利用者の実態と課題－利用申込書の分析と撮影調査から－」

○西山教雄、村瀬一隆（富士癒しの森研究所）

15：20 休憩（20分）

15：40 講評 石橋整司 企画部長

15：50 研修 芝野博文 北海道演習林長による講義

「北海道演習林と富良野地区の地域社会との関わり－富良野市史他および東京大学北海道演習林100周年記念誌から－」

16：30 鈴木雅一 演習林長

「土砂災害について」

犬飼浩 統括技術長

「蜂刺され災害について」

17：30 懇親会（麓郷セミナーハウス食堂）

[2013年10月19日（土）]

現地研修

9:00 麓郷セミナーハウス 出発

樹木園等の見学

12:00 解散

参加者

林長・企画部：鈴木雅一・石橋整司・犬飼浩

千葉演習林：村川功雄・藤平晃司

北海道演習林：芝野博文・尾張敏章・井口和信・岡村行治・笠原久臣・中川雄治・算用子
麻未・福土憲司・平田雅和・鈴木祐紀・遠國正樹・宅間隆二・高橋功一・
磯崎靖雄・及川希・小池征寛・渡邊良広・犬飼慎也・江口由典・岡平卓
巳・廣川俊英・大川あゆ子・井上崇・木村徳志・福岡哲

秩父演習林：丹羽悠二・吉田弓子・木村恒太

田無演習林：栗田直明・相川美絵子

生態水文学研究所：松井理生・荒木田きよみ

富士癒しの森研究所：西山教雄

樹芸研究所：小林徹行

教育研究センター：後藤晋・米道学・瀬戸祥子

生態調和農学機構：市川健一郎・手島英敏

教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Asano Y, Uchida T	Dynamic changes in flow depth, velocity and resistance during floods at steep mountain stream	Advances in River Sediment Research	ISBN 978-1-138-00062-9	737-742	2013
Hirao T, Murakami M, Kubota Y	Species abundance distributions of moth and beetle assemblages in a cool-temperate deciduous forest	Insect Conservation and Diversity	6	494-501	2013
Igarashi Y, Tanaka N, Tanaka K, Yoshifuji N, Sato T, Tantisarin C, Suzuki M	Seasonality of water and carbon dioxide exchanges at a teak plantation in northern Thailand	Ecohydrology	6	125-133	2013
Iwai N	HOME RANGE AND MOVEMENT PATTERNS OF THE OTTON FROG: INTEGRATION OF YEAR-ROUND RADIOTELEMETRY AND MARK-RECAPTURE METHODS	Herpetological Conservation and Biology	8	366-375	2013
Kakehashi R, Igawa T, Iwai N, Shoda-Kagaya E, Sumida M	Development and characterization of new microsatellite loci in the Otton frog (<i>Babina subaspera</i>) and cross-amplification in a congeneric species, Holst's frog (<i>B. holsti</i>).	Conservation Genetics Resources.	5	1071-1073	2013
Kanamori H, Yasunari T, Kuraji K	Modulation of the diurnal cycle of rainfall associated with the MJO observed by a dense hourly rain gauge network at Sarawak, Borneo	Journal of Climate	26	4858-4875	2013
Koyama K, Takemoto S	Morning reduction of photosynthetic capacity before midday depression	Scientific Reports	4-4389	1-6	2014
Kume T, Tanaka N, Yoshifuji N, Tantisarin C, Igarashi Y, Suzuki M, Hashimoto S	Soil respiration in response to year-to-year variations in rainfall in a tropical seasonal forest in northern Thailand	Ecohydrology	6	134-141	2013
Makoto K, Tani H, Kamata N	High-resolution multispectral satellite image and a postfire ground survey reveal prefire beetle damage on snags in Southern Alaska	Scandinavian Journal of Forest Research	28(6)	581-585	2013
Matsunaga SN, Niwa S, Mochizuki T, Tani A, Kusumoto D, Utsumi T, Enoki T, Hiura T	Seasonal variation in basal emission rates and composition of mono- and sesquiterpenes emitted from dominant conifers in Japan	Atmospheric Environment	69	124-130	2013
Miura N, Asano Y	Green-wavelength Terrestrial Laser Scanning of Mountain Channel	ISPRS Ann. Photogramm. Remote Sens. Spatial Inf. Sci.	II-5/W2	187-192	2013
Miura N, Goto S, Jones S	Estimation of the Volume of Coarse Woody Debris in Eucalyptus Forest using LiDAR Derived Forest Structure Variables	Journal of Environmental Science and Engineering B	2	501-506	2013
Ono K, Kazama S, Gunawardana LN, Kuraji	An investigation of extreme daily rainfall in the Mekong River Basin using a gridded precipitation dataset	Hydrological Research Letters	7(3)	66-72	2013
Owari T	MORIOKA 2013: Global Forest Products Marketing and Forest Certification in a Green Economy	IUFRO News	42(4/2013)	2-3	2013
Suzuki SN, Kachi N, Suzuki JI	Spatial variation of local stand structure in an Abies forest, 45 years after a large disturbance by the Isewan	Journal of Forest Research	18	139-148	2013
Takemoto S, Masuya H, Tabata M	Endophytic fungal communities in the bark of canker-diseased <i>Toxicodendron vernicifluum</i>	Fungal Ecology	7(1)	1-8	2014
Takemoto S, Nakamura H, Tabata M	The importance of wild plant species as potential inoculum reservoirs of white root rot disease	Forest Pathology	44(1)	75-81	2014
Tatsumi S, Owari T	Modeling the effects of individual-tree size, distance, and species on understory vegetation based on neighborhood analysis	Canadian Journal of Forest Research	43(11)	1006-1014	2013
Watanabe K, Murakami M, Hirao T, Kamata N	Species diversity estimation of ambrosia and bark beetles in temperate mixed forests in Japan based on host phylogeny and specificity	Ecological Research	29(2)	299-307	2014
安村直樹	新大陸林業演義(7) ニュージーランドの大気汚染対策 ニュージーランドその3	山林	1546	42-43	2013
遠國正樹・尾張敏章・平田雅和・鈴木祐紀・高橋功一・笠原久臣・芝野博文	森林内におけるハンディGNSS受信機の測位精度ー冬季と夏季の比較ー	北方森林研究	62	29-31	2014

2013年度 教職員の論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
会沢栄志・兼行民治郎・寺田珠実・鮫島正浩・鴨田重裕	Phylogenetic analysis of MADS-box genes in gymnosperms	東京大学農学部 演習林報告	129	15-24	2013
会沢栄志・兼行民治郎・寺田珠実・鮫島正浩・鴨田重裕	イチョウにおけるフラボノイドの生成と制御機構	東京大学農学部 演習林報告	129	25-35	2013
鴨田重裕・木村徳志・小川 瞳	エゾマツにおける床替え前の幼苗植栽の可能性	北海道の林木育 種	56(2) 2013	33-34	2014
岩井紀子	奄美大島住用町におけるカエルの鳴き声モニタリング結果(2010-2011年)	日本爬虫両生類 学会報			2013
岩井紀子・加藤敦美・鎌田幸子	生態水文学研究所に存在する「観察植物：白坂」に記録されたフェノロジーデータ報告	演習林 (東大)	56	133-145	2014
及川希・松井理生・平川浩文	秋に顕著な夜間行動—北海道中央部のハイマツ帯に生息するエゾナキウサギの日周活動—	哺乳類科学	53(1)	79-87	2013
栗田直明・楠本 大	田無演習林維管束植物目録	演習林 (東大)	54	157-190	2013
犬飼慎也・木村徳志・石塚航・後藤晋	北海道富良野市に隔離分布するハクサンシャクナゲ集団の遺伝的多様性と繁殖様式	森林遺伝育種	2	122-127	2013
五十嵐勇治・吉田弓子	秩父演習林維管束植物目録	演習林 (東大)	54	107-155	2013
五名美江・乙部みどり・加藤敦美・蔵治光一郎	生態水文学研究所の宮試験流域における自記雨量計による日降水量観測結果報告 (I)	演習林 (東大)	56	69-132	2014
五名美江・五名美恵・鎌田幸子・蔵治光一郎	生態水文学研究所白坂試験流域における自記雨量計による日降水量観測結果報告 (I)	演習林 (東大)	56	1-67	2014
五名美江・蔵治光一郎	過去の年降水量トレンドの年数依存性と地域代表性との相互関係—名古屋とその周辺地域を事例として—	水文・水資源学 会誌	26(4)	212-216	2013
五名美江・蔵治光一郎	ハゲ山に森林を再生した小流域における年損失量と年蒸発散量の長期変化	日本森林学会誌	95	109-116	2013
五名美江・蔵治光一郎	ハゲ山に森林を再生した小流域におけるピーク流出係数の長期変化	日本森林学会誌	95	313-320	2013
後藤 晋・小川 瞳・木村徳志・福岡 哲・尾張敏章	冷凍庫を用いたエゾマツ・コンテナ苗の冬期屋内保管	北海道の林木育 種	56(2) 2013	27-30	2014
後藤 晋・尾張敏章・遠國正樹・松井理生	東京大学北海道演習林の異なる4標高に植栽されてから45年以上が経過した11樹種の生存と成長	東京大学農学部 演習林報告	130	15-29	2014
広嶋卓也	緑のキーワード：高精度森林情報	森林技術	861	7	2013
黒丸 亮・田村 明・落合幸仁・木村徳志	エゾマツ種子の簡易選別と発芽率の向上	北海道の林木育 種	56(2) 2013	5-8	2014
才木道雄・原口竜成・木村恒太・守口海・高野充広	ヨタカにおける抱雛行動と孵化後のヒナの移動	山階鳥類学雑誌	45(2)	98-101	2014
山田 健・落合幸仁・小川 瞳・木村徳志	エゾマツ裸根幼苗のコンテナへの移植作業工程	北海道の林木育 種	56(2) 2013	13-14	2014
山田利博	演習林におけるキノコの放射能汚染	科学の森ニュー ス	No.62	3	2013
山田利博	五葉マツ類かさぶたがんしゅ病の発生状況	樹木医学研究	17(2)	58-59	2013
糸数哲・小杉賢一朗・恩田裕一・蔵治光一郎・田中延亮・後藤太成・太田岳史・水山高久	通常降雨イベントにより同定されたタンクモデルを用いた豪雨イベントの再現精度	水文・水資源学 会誌	26(2)	85-98	0:00
秋葉悠希・片山享輔・岡本実・大川あゆ子・長谷川英男・浅川満彦	東京大学北海道演習林に生息する小哺乳類から見出された内外寄生虫	日本生物地理学 会会報	68	129-133	2013
小川 瞳・木村徳志・福岡 哲	裸根幼苗のコンテナへの移植とその管理	北海道の林木育 種	56(2) 2013	15-16	2014
小川 瞳・木村徳志・福岡 哲・後藤 晋	セルの形状と容量がコンテナ苗の生存と成長に及ぼす影響	北海道の林木育 種	56(2) 2013	17-18	2014
小泉匡平・鎌田直人・小池孝良	北海道にナラ枯れは発生するか—積雪深から見たカシナガの越冬可能性からの考察—	北方林業	65(7)	205-208	2013
西山教雄・五十嵐勇治・吉田弓子・算用子麻未・千島茂・齋藤暖生	富士癒しの森研究所維管束植物目録	演習林 (東大)	54	253-280	2013
浅野友子	日本の山地流域の降雨流出データ—収集データの概要と観測の課題—	水文水資源学会 誌	27(1)	19-28	2014
蔵治光一郎・五名美江	70年以上の長期モニタリングが明らかにした治水計画の対象となるような大雨時の森林保水量の実態	科学	83(4)	397-402	2013

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
滝川寛之・松井理生・岡村行治・後藤晋 丹羽悠二・千嶋武・大村和也・相川美絵子・五十嵐勇治・吉田弓子・齋藤俊浩	東京大学北海道演習林の山火事後二次林に生育するウダイカンバの心材の実態と成長パターン	東京大学農学部演習林報告	130	31-43	2014
辻和明 梯公平・倉西良一・鎌田直人	秩父演習林における人工林固定測定試験地成長資料(2011, 2012年)	演習林 (東大)	56	147-190	2014
田村 明・小川 瞳・木村徳志・福岡 哲	樹芸研究所維管束植物目録	演習林 (東大)	54	281-337	2013
田中延亮	ヒメボタル幼虫の空間分布と活動性に影響を与える環境要因:高い土壌水分量による活性化	保全生態学研究	18(1)	45-54	2013
渡部賢	エゾマツコンテナ苗の施肥について	北海道の林木育種	56(2) 2013	19-22	2014
東京大学演習林基盤データ整備委員会生物部門植物分野	現地調査に基づくチーク人工林の水・炭素循環研究	海外の森林と林業	88	39-44	2013
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	生態水文学研究所維管束植物目録	演習林 (東大)	54	191-251	2013
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林維管束植物目録	演習林 (東大)	54	1-3	2013
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	東京大学演習林気象報告(自2012年1月至2012年12月)	演習林 (東大)	55	163-186	2014
藤井正典・平尾聡秀・鎌田直人	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2003年1月至2011年12月)	演習林 (東大)	55	51-162	2014
藤平晃司・軽込勉・三次充和・久本洋子	生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告 (IX)	演習林 (東大)	55	1-50	2014
畑憲治・鎌田幸子・澤田晴雄・岩井紀子	キクイムシ類に対する標本非破壊DNA抽出法の適用	森林防疫	62(5)	179-184	2013
尾張敏章	千葉演習林維管束植物目録	演習林 (東大)	54	5-57	2013
尾張敏章	モニタリングサイト1000の愛知赤津サイトにおける2012年度のリタートラップの調査手順記録	演習林 (東大)	56	191-195	2014
尾張敏章・坂上大翼・芝野博文・宮本敏澄	研究トピックス:東京大学大学院農学生命科学研究科附属北海道演習林	森林利用学会誌	28(3)	219-221	2013
尾張敏章・木村徳志・小川 瞳・福岡 哲・宅間隆二・犬飼慎也・高橋功一・佐々木尚三・後藤晋	林分施業法に基づく持続的・順応的森林管理とデータ基盤	統計数理	61(2)	201-216	2013
福岡哲・及川希・遠國正樹・磯崎靖雄・後藤晋	天然林内における積雪制御手法の適用が積雪深・期間と土壌凍結に及ぼす影響—積雪制御による天然更新促進技術の開発に向けて—	北方森林研究	62	17-18	2014
平尾聡秀・久保田康裕・村上正志	東京大学北海道演習林におけるエゾマツコンテナ苗の植栽試験	北海道の林木育種	56(2) 2013	35-36	2014
堀江健二・宮本義憲・木村徳志・及川希	東京大学北海道演習林の針広混交林における択伐施業がミズナラの個体群動態に及ぼす影響	東京大学農学部演習林報告	129	1-14	2013
来田和人・坂上大翼・山口岳広・木村徳志・秋本正信・今 博計・山田利博	生物多様性の維持機構の解明に中立理論が果たす役割	生物科学	64	242-249	2013
澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕・鎌田直人	北海道演習林維管束植物目録	演習林 (東大)	54	56-106	2013
澤田晴雄・平尾聡秀・鎌田直人	針葉樹3種の苗木に自然感染した暗色雪腐病菌に対する薬剤防除試験	北海道の林木育種	56(2) 2013	11-12	2014
當山啓介・広嶋卓也・村川功雄・塚越剛史・大石諭・軽込勉	東京大学樹芸研究所青野研究林におけるカシノナガキクイムシ穿入木の発生状況	中部森林研究	62	55-58	2013
齋藤俊浩・才木道雄・相川美絵子・栗田直明	東海地方の暖温帯二次林におけるカシノナガキクイムシ加害初期の穿入木の経年変化と空間分布	森林防疫	696	10-15	2013
	経営上の制約を満たす森林経営計画の検討—東京大学千葉演習林の事例—	関東森林研究	64(2)	1-4	2013
	秩父演習林における再生林固定試験地林分成長記録 (2007, 2012)	演習林 (東大)	56	197-286	2014

2013年度 学会発表等

学会発表等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
Itoh (Hisamoto) Y	2013 Asia Women Eco-Science Forum	Asia Women Eco-Science Forum			2013
Kamata N	Human activity and forest biodiversity in Japan	Asia Woman Eco-Science Forum.			2013
Iwai N	Our way to balance animal conservation and human life	Asia Woman Eco-Science Forum.			2013
Toyama K	Timber production planning under new Forest Management Plan system in Japanese private	Forest Sector modeling 2013			2013
Kamata N	Long-term research plans of the University of Tokyo Forests	International symposium of East Asia University Forests: Value of the university forests and social contributions			2013
Miura N, Asano Y	Green-wavelength terrestrial laser scanning of mountain channel	Laser Scanning 2013	ISSN 2194-9050		2013
Yamashita K, Katsuki T, Tabata M, Ota Y, Yamada T	Internal decay detection in standing Picea koyamae trees	Proceedings 18th International Nondestructive Testing and Evaluation of Wood Symposium	FPL-GTR-226	716-722	2013
Kuraji K, Gomyo M	Long-term variation of annual loss and annual evapotranspiration in small watershed with the forest restoration and succession on denuded	The sixth conference of The Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources		40	2013
Gomyo M, Kuraji K	Long-term variation of coefficients of peak discharge in small watershed with the forest restoration and succession on denuded hills	The sixth conference of The Asia Pacific Association of Hydrology and Water Resources		40	2013
Nilobol A, Kuraji K, Kiguchi M, Arthorn B, Suraphan I-K, Boonlert A, Pisit B, Phonchai K, Thada S, Patchara P	Effect of the climate change on the rainfall variability over the mountainous region : Mae Chaem Basin	The 2nd Asia - Pacific Water Summit			2013
升屋 勇人・服部 力・竹本 周平・太田 祐子・秋庭 満輝・佐橋 憲生	小笠原諸島父島・母島におけるクロサイワイタケ科菌類	日本菌学会第57回大会			2013
三次 充和・鈴木 廣志	千葉県外房地域の一河川より確認されたカワリヌスマエビ属の一種	日本甲殻類学会第51回大会	51	51	2013
竹本 周平・廣岡 裕吏・升屋 勇人・窪野 高德・佐橋 憲生・塚本 こなみ	フジの花房萎凋症状の病原菌の探索	樹木医学会第18回大会			2013
羽井 佐彦彦・楠本 大・山田 利博	ケヤキおよびクスノキ枝の剪定後の防御反応に対する塗布剤処理の影響—剪定1ヶ月後の観察—	樹木医学会第18回大会			2013
徳江 泉・米沢 洋・安部 鉄雄・池田 朋弘・小野 寺佳郎・後藤 直樹・高島 知晴・中田 玲子・羽切 俊勝・長谷川 芳男・平野 達也・山田 利博	ドクターウッズによる診断と伐採後の観察事例—横浜市瀬谷第2公園のサクラ—	樹木医学会第18回大会			2013
山田 利博	水ストレス下で傷害を与えた苗木における水分分布と反応帯形成	樹木医学会第18回大会			2013
岩井 紀子	消費者が資源を増やす?—水中でオタマジャクシが果たす役割	信州フィールド科学賞記念シンポジウム			2013
久保 守・清水 翔平・鎌田 直人	全天魚眼カメラの回転校正による多時期林冠画像の重ね合わせ	画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2013)			2013
藤井 正典・平尾 聡秀・小島 久弥・福井 学	土壌微生物多様性の標高勾配パターンに及ぼす植生の影響	第29回日本微生物生態学会大会			2013
高山 範理・齋藤 暖生・藤原 章雄・堀内 雅弘・遠藤 淳子・西山 教雄・村瀬 一隆	オンサイトにおける森林風景開放時と遮蔽時の違いからみた印象評価特性	第3回関東森林学会大会			2013
當山 啓介	スギ枝条を用いた簡易筋工による皆伐地の表土保全効果	第3回関東森林学会大会			2013
岩井 紀子	タゴガエル幼生の成長発育における温度の影響	第52回日本爬虫両生類学会			2013
尾張 敏章・坂上 大翼・芝野 博文・宮本 敏澄	天然林内における積雪制御手法の適用が積雪深・期間と土壌凍結深に及ぼす影響—積雪制御による天然更新促進技術の開発に向けて—	第62回北方森林学会大会要旨集		Pa-03	2013
久本 洋子	東京大学千葉演習林のモウソウチク開花年限試験林の現状と今後の管理について	竹林景観ネットワーク第13回研究集会			2013
江上 浩・久本 洋子・鈴木 重雄・尾川 新一郎・遠藤 良太	伐採と薬剤処理の組み合わせによる放置されたマダケの防除	竹林景観ネットワーク第13回研究集会			2013
畑 憲治・岩井 紀子・澤田 晴雄	コナラへのカシノナガキクイムシの侵入はコナラの成長を促進する?	中部森林学会第3回大会			2013

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
堀内雅弘・遠藤淳子・高山範理・村瀬一隆・西山教雄・齋藤暖生・藤原章雄	森林視覚刺激が生理および心理指標に及ぼす影響—同一森林内での比較検討—	日本生理人類学会第69回大会			2013
鈴木智之・西村尚之・鈴木準一郎	空中写真による北八ヶ岳の伊勢湾台風風倒跡地の抽出と現在の森林構造	日本地球惑星科学連合2013年大会			2013
鈴木 亮・坂本信介・鈴木智之	森林性ネズミ2種の生育地分割パターンと寒冷地特異的繁殖行動	日本地球惑星科学連合2013年大会			2013
藤原菜生子・浅野友子	Kinectセンサーを用いた山地小河道の河床構造の把握	平成25年度砂防学会研究発表会			2013
内田太郎・林真一郎・岡本敦・友村光秀・佐藤悠・浅野友子	山地流域の流出特性に関する比較研究	平成25年度砂防学会研究発表会		B : R1-01	2013
奥田裕規・横田康裕・井上真・齋藤暖生・狩谷健一	共有林利用の変質と活性化—柵沢共有林と五反沢共有林を事例に—	林業経済学会2013年秋季大会			2013
三俣学・齋藤暖生	広域地方行政下における財産区運営の自律性の獲得—愛知県豊田市を事例に—	林業経済学会2013年秋季大会			2013
齋藤暖生	財産区連合化への試みと背景—山梨県富士吉田市における3財産区の事例から—	林業経済学会2013年秋季大会			2013
Takayama N, Fujiwara A, Saito H, Horiuchi M	Influence of existing scenery in an on-site forest environment in terms of Subjective Appraisal, Restorativeness, Affect	Japan Geoscience Union Meeting 2014			2014
辰巳晋一・尾張敏章	Indirect plant-plant facilitation: 成木はササ抑制を介して樹木更新を促進する	2013年度日本生態学会北海道地区大会			2014
藤平晃司	千葉演習林の一般公開の変遷と今後の課題について	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	22-23	2014
丹羽悠二・齋藤俊浩・高德佳絵・吉田弓子	秩父演習林の地域貢献	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	30-31	2014
小林徹行・辻良子・辻和明・澤田晴雄	樹芸研究所での公開講座実施状況	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	32-33	2014
西山教雄・村瀬一隆	癒しの森プロジェクトにおける地域貢献事業	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	34-35	2014
荒木田きよみ	生態水文学研究所における公開講座	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	38-39	2014
村川功雄	千葉演習林の昆虫相調査	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	42-43	2014
宅間隆二・木村徳志・岡平卓巳・犬飼慎也・村川功雄・五十嵐勇治	ヨーロッパトウヒ高齢人工林における帯状皆伐後の植生の変化	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	44-45	2014
原口竜成・才木道雄・守口海・千嶋武・高野赤広・木村恒太	剥皮害を受けたヒノキ人工林の現状と施業方針の検討	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	46-47	2014
澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行	温泉熱を利用した温室におけるユーカリ苗木生産技術の確立に向けて	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	48-49	2014
松井理生・鎌田幸子・岩井紀子	樹木7種における展葉・開花時期の70年前との比較	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	52-53	2014
黒岩真弓・高橋友継・佐々木潔州・堀吉満・澤田晴雄・白井深雪・曾我竜一・池田正則・野山一郎・藤田真志	2013年度 第1回 分析技術グループ研修「pH測定技術」の紹介	農学生命科学研究科技術職員研修会報告集	2013年度	70-71	2014
松井理生・鎌田幸子・岩井紀子	樹木6種における展葉・開花時期の70年前との比較	生物学技術研究会報告	25	P23	2014
澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕	熱源に温泉熱を利用した温室におけるユーカリ苗木の生産技術	生物学技術研究会報告	25		2014
※ 安村直樹	住宅の温熱環境と健康に関する先行研究レビュー	第124回日本森林学会			2013
※ 磯辺山河・久本洋子・軽込勉・中山ちさ・逢沢峰昭・大久保達弘	千葉県房総丘陵におけるヒメコマツ実生の生育環境と遺伝的組成	第124回日本森林学会大会			2013
※ 廣瀬可恵・遠藤良太・久本洋子・山田利博・田野井慶太郎・中西友子	千葉県内の竹林における放射性セシウム濃度—千葉県中部地域の竹林の調査事例—	第124回日本森林学会大会			2013
※ 當山啓介	環境や間伐の制約と森林経営計画の関係	第124回日本森林学会大会			2013
※ 石塚航・後藤晋	標高に沿った適応形質の遺伝様式を探る—遺伝的背景の異なるトドマツF2個体群を用いて	第124回日本森林学会大会			2013
※ 久本洋子	タケ類の一斉開花過程における花成制御遺伝子の発現解析	第124回日本森林学会大会			2013

2013年度 学会発表等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一号	頁	年
※	軽込勉・米道学・塚越剛史・里見重成・梁瀬桐子・久本洋子・山田利博	房総半島におけるヒメコマツ実生苗のマツ材線虫病抵抗性について	第124回日本森林学会大会			2013
※	浅野友子・内田太郎	山地河道における降雨時の水の流れとマニングの粗度係数の実測	第124回日本森林学会大会			2013
※	内田太郎・浅野友子・林真一郎・岡本敦・友村光秀	山地流域の流出特性に関する比較研究	第124回日本森林学会大会			2013
※	廣瀬可恵・遠藤良太・久本洋子・山田利博・田野井慶太郎・中西友子	千葉県内の竹林における放射性セシウム濃度－千葉県中部地域の竹林の調査事例－	第124回日本森林学会大会			2013
※	楠本 大・平尾知士・渡辺敦史・山田利博	マツ材線虫病抵抗性クロマツと感受性クロマツの解剖学的比較	第124回日本森林学会大会			2013
※	福原一成・米道学・遠藤良太・軽込勉・里見重成・塚越剛史・山田利博	千葉県の海岸砂地と内陸畑土でのマツノザイセンチュウ接種試験による生存率の関係	第124回日本森林学会大会			2013
※	山田利博・村川功雄・齋藤俊浩・大村和也・高德佳絵・井口和信・井上 淳・才木道雄・齋藤暖生・辻 和明・田野井慶太郎・中西友子	福島第一原子力発電所事故に起因する野生キノコへの放射性セシウムの蓄積－東京大学演習林における事例－	第124回日本森林学会大会			2013
※	松浦孝憲・福原一成・遠藤良太・本山直樹・唐 常源・孫 静・張 翹鵬・韓志偉・小林弘和・田畑勝洋・山田利博	千葉県における無人ヘリコプターと地上からの薬剤散布による松くい虫防除の効果の検討	第124回日本森林学会大会			2013
※	中村 仁・竹本 周平・田端雅進・佐々木 厚子・市原優・相川 拓也・小岩 俊行	岩手県のウルシ栽培林の衰退に紋羽病は関与するか	第124回日本森林学会大会			2013
※	竹本 周平・市原 優・相川拓也・田中 功二・飯田 昭光・小岩 俊行・高田 守男・松本 則行・田端 雅進	ウルシ樹液異常漏出被害の実態と病原菌	第124回日本森林学会大会			2013
	堀田 遼・Panisara Pinkantayong・鈴木智之・鎌田直人	東京大学生態水文学研究所長期生態系プロットにおけるカシノナガキクイムシ加害初期の穿入木と枯死木の空間分布と経年変化	第125回日本森林学会大会			2014
	佐藤孝吉・上月涼平・石井保成・安村直樹・石井哲	簡易軽量炭化炉の補完的利用について	第125回日本森林学会大会			2014
	磯辺山河・齋藤央嗣・遠藤良太・久本洋子・軽込勉・逢沢峰昭・大久保達弘	ヒメコマツ衰退個体群の遺伝的多様性	第125回日本森林学会大会			2014
	内田莉紗・梅木清・平尾聡秀・鈴木智之・川田清和・大橋春香・本條毅	航空機LiDARデータを使用した林床のササ稈密度の推定	第125回日本森林学会大会			2014
	岩城常修・平尾聡秀	鳥類とコウモリ類が下層木の葉食性昆虫に与える影響	第125回日本森林学会大会			2014
	久本洋子・梁瀬桐子・塚越剛史	東京大学千葉演習林の開花年限試験モウソウチク林における稈の空間分布構造	第125回日本森林学会大会			2014
	山田利博・広嶋卓也・久本洋子・當山啓介・須藤智博・前田清人・江上浩	野外調査区での薬剤散布実験によるヤマビル駆除効果の検討	第125回日本森林学会大会			2014
	藤井正典・平尾聡秀	カエデ属の葉圏菌類の多様性	第125回日本森林学会大会			2014
	浅野友子・内田太郎	山地流域における水・土砂動態解明に向けての2つの空間問題	第125回日本森林学会大会			2014
	當山啓介	人工林における保残帯、保残木の経済性の検討	第125回日本森林学会大会			2014

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行・井上広喜・嶋田重裕	東京大学樹芸研究所内22年生ユーカリ属6種造林地の成長経過	第125回日本森林学会大会			2014
鈴木智之・西村尚之・鈴木準一郎	北八ヶ岳の伊勢湾台風風倒跡地の空中写真による抽出と現在の森林構造	第125回日本森林学会大会			2014
鳥居正人・松田陽介・Sang Tae Seo・Kyung Hee Kim・伊藤進一郎・Myung Jin Moon・Seong Hwan Kim・山田利博	モンゴリナラに対する <i>Raffaëlea quercus-mongolicae</i> の多点・1点接種試験	第125回日本森林学会大会			2014
松浦孝憲・福原一成・遠藤良太・本山直樹・唐常源・孫静・張翹鵬・韓志偉・小林弘和・田畑勝洋・山田利博	千葉県における無人ヘリコプターと地上からの薬剤散布による松くい虫防除の効果の検討と散布方法の特徴について	第125回日本森林学会大会			2014
山田利博・當山啓介・久本洋子・広嶋卓也・須藤智博・前田清人・江上 浩	野外調査区での薬剤散布実験によるヤマビル駆除効果の検討	第125回日本森林学会大会			2014
藤原章雄・齋藤暖生・高山範理・堀内雅弘	針葉樹林の密度の違いと保健休養機能の関係に関する地域住民参加型の調査研究に向けて	第125回日本森林学会大会学術講演集		66	2014
齋藤暖生	アクセス権と生態系サービスに関する試論	第125回日本森林学会大会学術講演集		67	2014
辰巳晋一・尾張敏章	択伐作業に伴う支障木発生のベイズモデリング：空間明示的個体ベースアプローチ	第125回日本森林学会大会学術講演集		136	2014
宮本敏澄・尾張敏章・坂上大翼・芝野博文	積雪の制御が土壌伝染性菌類のエゾマツ・トドマツ種子への加害に及ぼす影響	第125回日本森林学会大会学術講演集		145(P1-248)	2014
高橋由紀子・小笠真由美・坂上大翼・福田健二	<i>Ceratocystis polonica</i> 接種がエゾマツ苗の水分通道に与える影響	第125回日本森林学会大会学術講演集		147(P1-257)	2014
蔵治光一郎・北山兼弘	熱帯山岳の森林限界付近における気象特性	第125回日本森林学会大会学術講演集		209	2014
尾張敏章・辰巳晋一	北海道における森林蓄積の地域分布：森林生態系多様性基礎調査データを用いた分析	第125回日本森林学会大会学術講演集		222	2014
広嶋卓也・五十嵐勇治・井口和信・井上淳・大村和也・澤田晴雄・渡邊良広・迫田一昭	東京大学5演習林によるJ-VERの取得	第125回日本森林学会大会学術講演集		223	2014
梯公平・倉西良一・鎌田直人	房総半島のヒメボタル(<i>Luciola parvula</i>): 生息条件と分布推定	第61回日本生態学会大会			2014
原正利・青木慎哉・富田瑞樹・軽込勉	常緑広葉樹林帯における温帯性樹木の遺存分布—千葉県清澄山の例—	第61回日本生態学会大会		PA1-005	2014
渡邊謙二・村上正志・平尾聡秀・鎌田直人	植物の進化履歴が材食性昆虫の宿主特異性に与える影響	第61回日本生態学会大会			2014
後藤晋・石塚航・北村系子・上野真義・久本洋子・岩田洋佳・永野惇・工藤洋	高標高×低標高トドマツF2苗を用いた適応的遺伝子の探索～RADシーケンス法を利用したQTLマッピングの試み～	第61回日本生態学会大会			2014
鈴木智之	縞枯れ林の58年間の動態：大規模攪乱の影響と非平衡性	第61回日本生態学会大会			2014
辰巳晋一・尾張敏章	Indirect plant-plant facilitation: 成木はササ抑制を介して樹木更新を促進する	第61回日本生態学会大会		PB2-124	2014

※は、これまで発行の年報に未掲載の学会発表等である

2013年度 著書

著書

著者名	題 目	書名・編者	出版社名	頁	年
Yamada T	Chapter 15 Mushrooms: Radioactive Contamination of Widespread Mushrooms in Japan	Agricultural Implications of the Fukushima Nuclear Accident Nakanishi TM & Tanoi K (eds)	Springer	163-176	2013
Kamata N, Takeuchi Y	6 Pine Wilt Disease and Other Nematode Diseases.	Infectious Forest Diseases Gonthier P & Nicolotti G (eds)	CAB International	115-127	2013
齋藤 暖生	分担執筆	菌類の事典 日本菌学会 編	朝倉書店		2013
齋藤 暖生	分担執筆	生き物文化の地理学 池谷和信 編	海青社		2013
蔵治 光一郎	森林再生の課題と取組み	都市・地域・環境概論—持続可能な社会の創造に向けて— 大貝彰・宮田譲・青木伸一 編著	朝倉書店	138-143	2013
當山 啓介・山田 利博・廣嶋 卓也・久本 洋子	分担執筆	わが国最古の「大学の森」東京大学千葉演習林のすべて 千葉演習林120周年記念出版実行委員会 編	東京大学演習林出版局		2014
廣嶋 卓也	第1部2講：分布—森はどこにあるのか	教養としての森林学 井出雄二・大河内 勇・井上真 編	文永堂	11-17	2014
坂上 大翼・尾張 敏章・廣嶋 卓也	分担執筆	樹海をゆく～富良野・東京大学演習林の森づくり～ 東京大学演習林出版局 編	東京大学演習林出版局		2014
堀 大才・阿部恭久・内田 均・田畑勝洋・富樫一巳・福田健二・堀江博道・松下範久・三戸久美子・山田利博		樹木診断調査法	講談社	352pp	2014
竹本周平	Rosellinia necatrix Prillieux	植物病原菌類の見分け方第1編(上巻)植物病原菌類の所属と形態的特徴 堀江博道 編著	大誠社	29, 162-163	2014

外部資金によって行われた研究 科学研究費

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
楠本 大	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	鎌田直人	東京大学
蔵治光一郎	基盤研究(A)(海外)	ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	北山兼弘	京都大学
齋藤暖生	基盤研究(A)(海外)	熱帯の産米林農村に在来する生物の機能を活用した農業生産と資源利用との調和	宮川修一	岐阜大学
楠本 大	基盤研究(A)	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死機構の統合的理解	福田健二	東京大学
坂上大翼	基盤研究(A)	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死機構の統合的理解	福田健二	東京大学
山田利博	基盤研究(A)	生体分子の相互作用に基づいたマツ材線虫病発病機構の解明	佐橋憲生	森林総合研究所
楠本 大	基盤研究(A)	生体分子の相互作用に基づいたマツ材線虫病発病機構の解明	佐橋憲生	森林総合研究所
岩井紀子	基盤研究(A)	水田の生物がもたらす生態系サービスの賢い利用を導く技術と社会の総合研究	夏原由博	名古屋大学
浅野友子	基盤研究(A)	森林-農地移行帯における放射性核種の移動・滞留と生態系濃縮の評価	五味高志	東京農工大学
田中延亮	基盤研究(B)(海外)	タイ国チーク人工林における間伐が水循環、炭素循環に与える影響の研究	鈴木雅一	東京大学
田中延亮	基盤研究(B)	熱帯落葉林の生物季節に及ぼす水ストレス効果の実験観測と植生モデルの高度化	田中克典	海洋研究開発機構
後藤晋・久本洋子	基盤研究(B)	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	後藤晋	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	鎌田直人	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	農林生態系における天敵多様性の生態系機能	村上正志	千葉大学
浅野友子	基盤研究(B)	山地河道の水理特性の時空間分布解明	浅野友子	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(B)	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	鎌田直人	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(B)	農林生態系における天敵多様性の生態系機能	村上正志	千葉大学
楠本 大	基盤研究(B)	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	松下範久	東京大学
山田利博	基盤研究(B)	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	服部力	森林総合研究所
尾張敏章	基盤研究(C)	積雪制御による天然更新促進技術の開発	尾張敏章	東京大学
坂上大翼	基盤研究(C)	積雪制御による天然更新促進技術の開発	尾張敏章	東京大学
芝野博文	基盤研究(C)	積雪制御による天然更新促進技術の開発	尾張敏章	東京大学

2013年度 外部資金によって行われた研究

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
尾張敏章	基盤研究(C)	時系列三次元リモートセンシングによる広域森林資源シミュレーションシステムの開発	露木聡	東京大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	時系列三次元リモートセンシングによる広域森林資源シミュレーションシステムの開発	露木聡	東京大学
藤原章雄	基盤研究(C)	インターネット森林観察サイトの構築と運用試験	斎藤馨	東京大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	皆伐・利用間伐量の都道府県別積み上げによる国産材生産量予測モデルの開発	広嶋卓也	東京大学
鎌田直人	挑戦的萌芽研究	地球環境観測データベースの水平・垂直統合化	村本健一郎	石川高専
平尾聡秀	挑戦的萌芽研究	多目的最適化アルゴリズムを用いた自然保護区の空間配置分析ツールの開発	久保田康裕	琉球大学
平尾聡秀	挑戦的萌芽研究	GenBankデータに基づく全球スケールでの微生物多様性分布の解明	村上正志	千葉大学
安村直樹	基盤研究(C)	補助金に代わる林業支援の在り方に関する研究	安村直樹	東京大学
平尾聡秀	若手研究(B)	樹木との共進化を考慮した植食性昆虫群集の多様性形成機構の解明	平尾聡秀	東京大学
齋藤暖生	若手研究(B)	森林における採集活動の排除と共存に関する比較研究	齋藤暖生	東京大学
畑憲治	若手研究(B)	海洋島における外来木本種の侵入とその駆除が森林生態系の水循環に及ぼす影響	畑憲治	東京大学
鈴木智之	若手研究(B)	大規模風倒が森林の長期的な炭素蓄積と動態に及ぼす影響の解明	鈴木智之	東京大学
久本洋子	若手研究(B)	温帯性タケ類の一斉開花現象に関与する花成制御遺伝子の網羅的探索	久本洋子	東京大学
岩井紀子	研究活動スタート支援	奄美大島の森林生態系保全-森林性カエルの保全に配慮した森林管理手法の提言	岩井紀子	東京大学
里見重成	奨励研究	キョスミミツバツツジのさし木最適条件の検討	里見重成	東京大学
軽込 勉	奨励研究	房総半島南部におけるヒノキ漏脂病の発生要因の解明	軽込 勉	東京大学
才木道雄	奨励研究	ヨタカの生息環境に関する研究	才木道雄	東京大学
米道 学	奨励研究	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けたとりくみ	米道学	東京大学

その他補助金

氏名	補助金等名称	研究課題	研究代表者	代表者所属
岩井紀子	知の頂点に向かって 加速！東大プラン		岩井紀子	東京大学
山田利博	二国間交流事業 (日本学術振興会)	日本と韓国で発生しているブナ科樹 木萎凋病に関する比較研究	山田利博	東京大学
鈴木智之	公共財団法人日本 生命財団 環境問 題研究助成	なぜ野生植物は病原菌に耐性があるの か？－無農薬農業への応用を目指した 野生植物の植物病理に関する生態・遺 伝学的研究	鈴木智之	東京大学
鈴木智之	公益財団法人自然 保護助成基金 プ ロ・ナトゥーラ・ファン ド助成	縞枯れ林におけるシカ食害の現状とそ の10年間の変化	鈴木智之	東京大学

2013年度 外部資金によって行われた研究

奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
鎌田直人	学術研究の経費	サントリー
芝野博文	天然林におけるミズナラの動態解明とミズナラ育林技術の開発	サントリー酒類株式会社
芝野博文	農学研究助成金／研究助成のため	(株)ユニヴァーシティ・プレス
平尾聡秀	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
蔵治光一郎	学術研究の経費(研究課題:環境省モニタリング1000)	(財)自然環境研究センター
山田利博	松くい虫防除に関する研究	(公社)ゴルフ緑化促進会
山田利博	農学研究助成金／研究助成のため	日鉄住金テックスエンジ(株)
鈴木智之	秩父演習林に自生する木本類の化学特性データベースの構築	サントリーホールディングス株式会社
鈴木智之	シカ排除柵による植生保護活動のための植生調査	山口育英奨学会
浅野友子	山地河川における洪水流出観測精度の向上にむけた研究	一般財団法人河川情報センター研究助成
當山啓介	環境配慮型の高齢人工林主伐・天然林移行技術の開発	山口育英奨学会
齋藤暖生	林木の密度管理が森林の保健休養機能に与える影響—生理指標と心理指標の検討—	山口育英奨学会

受託研究費

氏名	研究課題名	委託機関
後藤晋・山田利博・鴨田重裕・尾張敏章・楠本大・坂上大翼	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立	農林水産技術会議
広嶋卓也	森林伐採・更新と木材利用に関わる炭素収支モデルの開発(伐採・更新方法決定モデルの開発)	森林総合研究所
蔵治光一郎	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	独立行政法人科学技術振興機構
蔵治光一郎	愛知フィールドにおける間伐による水・土砂流出の変化	独立行政法人科学技術振興機構
浅野友子	上流域水系ネットワークにおける森林-溪流生態系の放射性物質移動と生物濃縮の評価	環境省

他機関との共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
芝野博文	北海道演習林と周辺の農地および河川に関する景観生態学的研究	王子木材緑化(株)北海道支店
蔵治光一郎	湿原の集水域を含む森林水文特性を踏まえた湿原管理方策の研究	(株)ネイチャースケープ
山田利博・広嶋卓也・久本洋子・當山啓介	新規ヤマビル防除剤に関する研究	住化グリーン(株)
鈴木智之	北方林の更新維持機構の生態学的・遺伝学的解析(代表 西村尚之(群馬大学))	北海道大学低温科学研究所

学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
山田利博	樹木医研修カリキュラム委員会	(財)日本緑化センター
山田利博	千葉県森林審議会	千葉県
山田利博	千葉県国土利用計画地方審議会	千葉県
山田利博	千葉県土砂採取対策審議会	千葉県
山田利博	鴨川市文化財保護審議会	鴨川市
山田利博	樹木医学研究編集委員会	樹木医学会
広嶋卓也	英文誌編集委員	日本森林学会
広嶋卓也	事務局長	森林GISフォーラム
広嶋卓也	千葉県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)検討会	千葉県
広嶋卓也	次期約束期間に向けた体制整備等(自然攪乱に関する検討等)検討委員会	国際緑化推進センター
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
久本洋子	千葉県ヒメコマツ保全協議会	千葉県
當山啓介	事務局	木材利用システム研究会
當山啓介	英文誌編集主事	日本森林学会
芝野博文	富良野市環境審議会委員	富良野市
芝野博文	「地域管理経営計画等に関する懇談会」委員	北海道森林管理局
芝野博文	重点課題評価会議における評価委員	森林総合研究所
尾張敏章	「林業に新規参入する労働者に係る労働災害防止対策推進事業」に伴う林業労働災害防止対策検討委員	株式会社森林環境リアライズ
浅野友子	埼玉県森林審議会委員	埼玉県
平尾聡秀	モニタリングサイト1000コアサイト検討会	環境省
平尾聡秀	JaLTER代表者委員会	JaLTER
平尾聡秀	JaLTER運営委員会	JaLTER
五十嵐勇治	秩父地域鳥獣被害対策協議会委員	埼玉県
鎌田直人	特別天然記念物カモシカ保護事業 通常調査の指導委員	埼玉県
鎌田直人	兼六園マツ等保全対策指導者	石川県
鎌田直人	埼玉県レッドデータブック検討会委員	埼玉県
鎌田直人	ナラ枯れ被害防止技術開発事業委員	日本森林技術協会
鎌田直人	日本森林学会JFR編集委員	日本森林学会
鎌田直人	日本森林学会代議員	日本森林学会
鎌田直人	第125回日本森林学会大会運営委員会委員	日本森林学会
鎌田直人	日本森林学会100周年記念事業実行委員会委員	日本森林学会
鎌田直人	森林野生動物研究会事務局代表	森林野生動物研究会
鎌田直人	日本生態学会和文誌編集委員	日本生態学会
鎌田直人	日本昆虫学会編集委員	日本昆虫学会
鎌田直人	D7.03.08 "Forest protection in Northeast Asia" Deputy Coordinator	IUFRO
鈴木智之	日本生態学会大規模長期生態学専門委員会	日本生態学会
相川美絵子	技術部会	一般社団法人日本樹木医会
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	大阪府森林の保全及び都市の緑化の推進に関する調査検討会議	大阪府
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会	愛知県
蔵治光一郎	長良川河口堰合同会議準備会	愛知県
蔵治光一郎	設楽ダム連続公開講座運営チーム	愛知県
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会	岡崎市
蔵治光一郎	環境審議会	瀬戸市
蔵治光一郎	せと環境塾運営委員会	瀬戸市
蔵治光一郎	せとまるっと環境クラブ監事	瀬戸市
蔵治光一郎	環境審議会	犬山市

2013 年度 学外各種委員会等委員

氏 名	委 員 会 等 名 称	委 員 会 等 所 属 機 関
蔵治光一郎	低コスト造林等導入促進事業検討会	根羽村森林組合
蔵治光一郎	代議員会	日本森林学会
蔵治光一郎	国際委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	研究推進委員会	水文・水資源学会
蔵治光一郎	共同代表	矢作川森の研究者グループ
蔵治光一郎	監事	認定NPO法人才の木
蔵治光一郎	理事	ニッセイ緑の財団
蔵治光一郎	編集委員会	不知火海・球磨川流域圏学会

■社会連携■

公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
千葉演習林・鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」(巣箱観察会)	鴨川市/千葉演習林	千葉演習林	2013.4.6
千葉県森林インストラクター会・千葉演習林ボランティア会Abies「交流会」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2013.4.13～14
内浦山県民の森森事「春の猪ノ川溪谷ハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2013.4.18
千葉演習林「春の一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2013.4.20～21
千葉県森林インストラクター会Abies「植物観察会」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2013.4.22
日本樹木医学会二樹会「研修会」	日本樹木医学会二樹会	千葉演習林/清澄寺	2013.5.26
日本地質学会「地質調査研修」	日本地質学会	千葉演習林	2013.5.28～31
JICA課題別研修「国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」	国際緑化推進センター	千葉演習林	2013.6.2～6
東京大学農学部林産学科昭和37年卒OB会「千葉演習林見学会」	東京大学農学部林産学科昭和37年卒OB会	千葉演習林	2013.6.6～7
鴨川市立天津小学校「環境教育研修 森林博物資料館見学」	鴨川市立天津小学校	千葉演習林	2013.6.12
千葉演習林「第18回利用者説明会」	千葉演習林	千葉演習林	2013.6.17～19
千葉演習林ボランティア会Abies「林業作業サポート」	千葉演習林ボランティア会Abies	千葉演習林	2013.6.25
竹林景観ネットワーク「第12回研究集会」	竹林景観ネットワーク	千葉演習林	2013.7.7～8
戸村学園コスモス幼稚園「林間学校 一杯水ハイキング」	戸村学園コスモス幼稚園	千葉演習林	2013.7.18
千葉演習林ボランティア会Abies「自然観察会」	千葉演習林ボランティア会Abies	千葉演習林	2013.7.20
NPO法人房総の野生生物調査会「総会及び自然観察会」	NPO法人房総の野生生物調査会	千葉演習林	2013.8.3～4
日本地質学会関東支部「清澄フィールドキャンプ」	日本地質学会関東支部	千葉演習林	2013.8.19～24
森林総合研究所多摩森林科学園「千葉演習林見学」	森林総合研究所	千葉演習林	2013.8.31～9.1
NPO法人やまぼうし自然学校12期会「自然観察・苗畑見学」	NPO法人やまぼうし自然学校	千葉演習林	2013.9.21
かわさき市民アカデミー「自然観察会」	かわさき市民アカデミー	千葉演習林	2013.10.10～11
ちば里山センター「ちば里山カレッジ 講義&フィールド研修」	ちば里山センター	千葉演習林	2013.10.12
JX日鉱日石開発(株)「地質研修会」	JX日鉱日石開発(株)	千葉演習林	2013.10.15～18
千葉演習林ボランティア会Abies「お月見研修会」	千葉演習林ボランティア会Abies	千葉演習林	2013.10.19～20
千葉演習林・鴨川市交流事業「東大キャンパスツアー」	鴨川市/千葉演習林	本郷キャンパス・小石川植物園	2013.10.27
千葉演習林・鴨川市交流事業「野鳥の巣箱をかけよう」(巣箱作り)	鴨川市/千葉演習林	千葉演習林	2013.11.2
子ども110番ネットワーク木更津「青少年健全育成事業・ハイキング」	子ども110番ネットワーク木更津	千葉演習林	2013.11.3
日本地質学会「地質調査研修会」	日本地質学会	千葉演習林	2013.11.19～22
千葉演習林「秋の一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2013.11.22～23・30
自然観察会富川グループ「森林博物資料館見学」	自然観察会富川グループ	千葉演習林	2013.11.25

2013 年度 公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
東大図書館千葉演習林の会「秋の自然観察会」	東大図書館千葉演習林の会	千葉演習林	2013.11.24～25
木更津市教育委員会 岩根西公民館「ハイキング」	木更津市教育委員会	千葉演習林	2013.11.29
内浦山県民の森催事「ロングハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2013.11.29
千葉演習林「秋の一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2013.12.1
千葉県勤労者山岳連盟「交流集会・紅葉ハイク」	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	2013.12.4～5
内浦山県民の森「秋の猪ノ川溪谷ハイキング」	内浦山県民の森	千葉演習林	2013.12.6
樹木医第16期勉強会	樹木医第16期	千葉演習林	2013.12.9～10
フォーラムネット「林業現場視察」	フォーラムネット	千葉演習林	2013.12.11
内浦山県民の森催事「清澄山系の源流をゆく①」	内浦山県民の森	千葉演習林	2014.1.19
内浦山県民の森催事「清澄山系の源流をゆく②」	内浦山県民の森	千葉演習林	2014.1.20
千葉県森林インストラクター会野外講座「南房総 会所の森から清澄寺へ」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	2014.1.22
君津市上総公民館趣味教養講座「森林博物資料館見学」	君津市上総公民館	千葉演習林	2014.1.23
千葉県勤労者山岳連盟「第30回ロングハイク」	千葉県勤労者山岳連盟	千葉演習林	2014.1.26
千葉演習林「森林博物資料館一般公開」	千葉演習林	千葉演習林	2014.2.3
千葉演習林ボランティア会Abies「総会・演習林を歩こう」	千葉演習林ボランティア会Abies	千葉演習林	2014.3.8～9
神社山自然観察路春季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	2013.5.26
北海道演習林公開セミナー	北海道演習林	北海道演習林	2013.6.23
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	2013.7.3
JSTサマー・サイエンスキャンプ「森林の未来は？～森を知り、持続的な取り扱いを考える～」	科学技術振興機構	北海道演習林	2013.7.30～8.2
神社山自然観察路秋季一般公開	北海道演習林	北海道演習林	2013.10.6
平成25年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学演習林	北海道演習林	2013.10.17～19
富良野地区合同ワークショップ	北海道演習林	上富良野町	2013.11.15
春の自由見学日	秩父演習林	秩父演習林	2013.5.17～18
夏の公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	2013.8.2～3
教職員特別ガイド「紅葉の樹木園と森林鉄道跡を訪ねる」	秩父演習林	秩父演習林	2013.11.2
紅葉の自由見学日・ワサビ沢展示室特別開室	秩父演習林	秩父演習林	2013.11.1～2
利用者説明会	秩父演習林	秩父市福祉女性会館	2013.11.29
影森祭	秩父演習林	秩父演習林	2013.12.8
春の休日公開	田無演習林	田無演習林	2013.4.28 2013.5.5
東大演習林の生きもの観察探検隊！	多摩六都科学館/田無演習林	田無演習林	2013.5.12
「子ども樹木博士」認定会	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	2013.6.2 2013.10.27
特別ガイド「リース・クラフト作り体験会」	田無演習林	田無演習林	2013.12.1
秋の休日公開	田無演習林	田無演習林	2013.12.1
記念樹見学会	生態水文学研究所	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.4.16
犬山研究林利用者協議会「総会」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.4.20
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.4.20
シデコブシの会「総会と植物観察撮影会」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.4.21

講座名	主催	開催場所	日程
犬山研究林利用者協議会「ギフチョウ観察」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.5.2・9・16・23
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.5.10
利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	生態水文学研究所	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.5.10
シデコブシの会「勉強会(見学コースを歩く)」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津研究林	2013.5.19
「犬山の森」春のふれあい自然観察会	犬山市/ 犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.5.26
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.6.7
赤津研究林案内人養成試験	生態水文学研究所	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.6.23
シデコブシの会「スキルアップ講習会」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.7.21
中学高校地学部の野外活動	海城中学・高等学校	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.7.31～8.2
こども環境大学	地域環境活性化協議会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.8.17
「水」をテーマにした親子体験教室	愛知中部水道企業団	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.8.24
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.8.25
森林環境 I 「森林の機能と水循環」	あいち海上の森大学	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.9.14
シデコブシの会「勉強会」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津研究林	2013.9.22
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.10.12
せと環境塾 大人の林間学校ー森と水のエネルギーを考えるー	瀬戸市/生態水文学研究所	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.10.12～13
総合学習	犬山市立南部中学校	生態水文学研究所	2013.11.7
犬山研究林利用者協議会との「交流会と犬山研究林見学」	シデコブシの会	生態水文学研究所	2013.11.9
シデコブシの会との「交流会と犬山研究林見学」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.11.9
みんなの森の樂校2013	持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク	生態水文学研究所	2013.11.10
シデコブシの会「赤津自然観察会」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.11.17
コープあいちの森づくり	生活協同組合コープあいち	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.11.23
「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市/ 犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.11.24
シデコブシの会「標石を探そうツアー」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2013.12.1
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.12.13
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2013.12.22
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2014.1.11・26

2013年度 公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
シデコブシの会「見学コース看板設置」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2014.1.18
犬山研究林利用者協議会「自然観察及び歩道整備」	犬山研究林利用者協議会	生態水文学研究所	2014.2.8・23
シデコブシの会「勉強会(見学コースを歩く)」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2014.2.16
シデコブシの会「スキルアップ講習会」	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津宿泊施設	2014.3.16
新規採用職員研修	東京大学	富士癒しの森研究所	2013.4.4～5
特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2013.4.20
学生との共同作業	富士癒しの森研究所/東京大学学生部運動会	富士癒しの森研究所	2013.8.5
学生との共同作業 特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2013.10.12
フットパスってなんだろう-みんなのできる道づくり-	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2013.11.6
第1回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2013.4.17
第2回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2013.4.20
春の散策	樹芸研究所	樹芸研究所	2013.5.12
子ども樹木博士	樹芸研究所	樹芸研究所	2013.7.27
第3回温室特別公開日	樹芸研究所	樹芸研究所	2013.10.23

講師の派遣等

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
當山啓介	春の研修会「千葉演習林の概要と林業業務・人工林系の研究について」	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	201.4.13
廣嶋卓也・當山啓介・鶴見康幸・阿達康真	JICA 課題別研修:国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成コース「東京大学千葉演習林の紹介」・「破壊的バイオマス測定法について」	独立行政法人国際協力機構(JICA)	千葉演習林	2013.6.3~7
山田利博・當山啓介	ちば里山カレッジ 平成25年度里山活動ボランティア養成コース「自然環境問題 里山ー自然と人間の関わり」	NPOちば里山センター	千葉演習林	2013.10.12
山田利博	野生キノコの放射性セシウム汚染状況2年目の変化ー演習林の例から	東京大学大学院農学生命科学研究科	東京大学弥生講堂	2013.4.20
山田利博	千葉演習林の概要	樹木医16期会	千葉演習林	2013.12.9
山田利博	技術研修会:「スギの材変色と腐朽」	日本樹木医会千葉県支部	千葉演習林	2013.3.16
山田利博	樹木医研修「幹の外科技術と機器による診断」	(財)日本緑化センター	筑波研修センター	2013.10.1・15
井口和信・木村徳志	富良野の自然に親しむ集い	富良野市生涯学習センター	北海道演習林	2013.5.12
尾張敏章・岡村行治	アカエゾ松人工林の現状及び今後の展望に関する見学・相談	北見木材株式会社	北海道演習林	2013.5.17
坂上大翼・算用子麻未	美術特別研究「園庭表現A」	愛知県立芸術大学	北海道演習林	2013.6.13~15
算用子麻未	総合的な学習の時間「樹海の森へ」自然観察学習	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2013.7.5
井口和信	旭川木工コミュニティキャンプ 森づくりワークショップ	旭川木工コミュニティキャンプ	北海道演習林	2013.7.5
木村徳志	「コンテナ苗栽培施設」及び「苗木栽培の見学」	下川町役場	北海道演習林	2013.7.31
井口和信	2013年度タイ政府職員訪日研修	公益財団法人地球環境戦略研究機関	北海道演習林	2013.8.1
坂上大翼	札幌啓成高等学校SSH道内研修A(自然環境)	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林・十勝岳周辺フィールド	2013.8.7~9
坂上大翼	北海道における森林のありかたと開発	同志社女子大学	北海道演習林	2013.8.21
岡平卓巳・遠国正樹	帯広農業高校 森林科学1年見学	北海道帯広農業高校	北海道演習林	2013.8.23
芝野博文	東京大学北海道演習林及び周辺箇所への砂防等状況調査	筑波大学	北海道演習林	2013.8.29
井口和信	東京大学北海道演習林で森林・林業を学ぶ	NOP法人とかちキムンカムイの森	北海道演習林	2013.9.6
芝野博文	アメリカ政治史研究富良野合宿	北海道商科大学	北海道演習林	2013.9.11~13
芝野博文	地域住民の参加による多様な森林保全	海外林業コンサルタント協会	北海道演習林	2013.9.24
坂上大翼	「歴史遺産調査演習B」北海道演習林	東北芸術工科大学	北海道演習林	2013.9.24~25
算用子麻未	総合的な学習の時間「樹海の森へ」自然観察学習	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2013.10.4
及川 希	北海道の天然林と生態系保全・野生動物管理に果たす獣医師の役割	とわの森三愛高等学校	北海道演習林	2013.10.9
芝野博文・笠原久臣	岐阜県議会農林関係議員道内農林業事情調査	北海道森林調査官	北海道演習林	2013.10.17
尾張敏章・岡村行治	「緑の雇用」フォレストワーカー2年次集合研修	北海道演習林整備担い手支援センター	北海道演習林	2013.10.30
尾張敏章・算用子麻未	森林資源利用学セミナー	名古屋大学	北海道演習林	2013.11.7~8
鎌田直人	JICA研修会「ベトナム国国家生物多様性データベース開発プロジェクト」	JICA	秩父演習林	2013.11.4
安村直樹・楠本 大・栗田直明・相川美絵子	多摩北部広域子ども体験塾	多摩六都科学館	田無演習林	2013.8.7

2013年度 講師の派遣等

氏名	講演名	主催	開催場所	日程
楠本 大・竹本周平	たま発！シンポジウム《第1回》残 したい多摩の素晴らしい自然「残 したい多摩の素晴らしい自然」	東京都	田無演習林・多摩六 都科学館	2013.11.16
楠本 大・竹本周平	「地域の再発見」講座	保谷駅前公民館	田無演習林	2013.11.19 2014.2.4
蔵治光一郎	森と川と人との深いつながり	矢作川「川会議」	古巣水辺公園	2013.5.11
蔵治光一郎	森からの発信 ー川や海から森を 語る際に知っておきたい森の知識	豊かな森川海を育てる会	コープこうべ生活文 化センター	2013.5.19
蔵治光一郎	水源の森を考える講演会	エコネットあじょう	安城市市民会館	2013.5.25
蔵治光一郎	森林セミナー「森林の持つ公益的 機能」	とよた森林学校	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2013.6.9
蔵治光一郎・田中延 亮・井上淳・荒木田き よみ	赤津研究林案内人養成講習	シデコブシの会	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2013.6.16・23
蔵治光一郎	環境保全と税 ～清流の国ぎふ森 林・環境税～	岐阜県地方自治研究セン ター	岐阜市 ワークプラザ	2013.6.30
蔵治光一郎	「講演1、2と講演3の見解の何が異 なっているかの解説」	とよがわ流域県民セミナー	愛知大学豊橋キャン パス	2013.8.3
蔵治光一郎	森林と水	放送大学 愛知学習セン ター	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2013.8.22
蔵治光一郎	遠州灘の海岸林の過去・現在・未 来	遠州灘沿岸保全対策促進 期成同盟会	浜名湖競艇場サン ホール	2013.9.6
蔵治光一郎	水とみどりの講演会 これからの森 と人との付き合い方	岡崎きこり塾	ぬかた会館	2013.10.6
田中延亮・井上淳・松 井理生	矢作川「森と川の健康診断」	愛知県立豊田東高等学校	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2013.11.13
蔵治光一郎	低コスト造林等導入促進事業に係 る林業講演会 矢作川流域におけ る森づくり・木づかいを考える	根羽村林業組合	根羽村老人福祉セ ンター	2014.2.12
蔵治光一郎	東大演習林の説明、森林の作用や 機能、日本が抱えている問題、農 山村地域の再生とそれに向けた市 民の運動の課題	愛知県弁護士会公害環境 委員会	生態水文学研究所 赤津宿泊施設	2014.2.13
算用子麻未	総合的な学習の時間「樹海の森 へ」自然観察学習	富良野市立樹海小学校	北海道演習林	2014.2.28

■ 国際交流 ■

交流事業

相手大学および 機関名	国名	協定締結 の有無	交流期間	目的
マレーシアサバ大学	マレーシア	有	2013.4.8～14	国際学生実習受け入れのため
マレーシアサバ大学	マレーシア	有	2013.7.1～8.16	インターンシップ学生受け入れのため
農業研究開発庁 (ARDA)	タイ	有	2013.8.1～10.30	論文博士取得支援奨学金による共同研究
北華大学/吉林林業 庁	中国	無	2013.9.24～10.5	複層林視察
韓国国立樹木園	韓国	無	2013.11.14～15	特別講演及び韓国山林研究院の 長期生態系プロット見学

国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主 催	開催地	日 程
五名美江	アジア太平洋水文水資源協会 (AP HW) 第6回国際会議	アジア太平洋水文水資源 協会 (APHW)	韓国ソウル市	2013.8.19～21
蔵治光一郎	アジア太平洋水文水資源協会 (AP HW) 第6回国際会議	アジア太平洋水文水資源 協会 (APHW)	韓国ソウル市	2013.8.19～21
當山啓介	Sustainable Forest Ecosystem Management in Rapidly Changing World	森林計画学会、鹿児島大 学農学部、九州大学東ア ジア環境研究機構、統計 数理研究所リスク解析戦略 研究センター、FORMATH 研究グループ	鹿児島	2013.9.5～7
鈴木雅一	International Symposium of East Asia University Forests	ソウル国立大学演習林	韓国ソウル市	2013.10.7
鎌田直人	International Symposium of East Asia University Forests	ソウル国立大学演習林	韓国ソウル市	2013.10.7
蔵治光一郎	IMPAC-T国際シンポジウム	Integrated Study Project	仙台市	2013.11.11～15
鎌田直人	Asia Women Eco-Science Forum	Korea Federation of Women's Science & Technology Associations	韓国ソウル市	2013.11.12.～13
久本洋子	Asia Woman Eco-Science Forum	Korea Federation of Women's Science & Technology Associations、 AMOREPACIFIC Corporation	韓国ソウル市	2013.11.12～14
岩井紀子	Asia Woman Eco-Science Forum	Korea Federation of Women's Science & Technology Associations、 AMOREPACIFIC Corporation	韓国ソウル市	2013.11.12～14
広嶋卓也	Forest Resource Management and Mathematical Modeling International Symposium - FORMATH AKITA 2014 -	Risk Analysis Research Center (RARC), ISM	Akita	2014.3.8～3.9

共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍	
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木 萎凋病の国際的なリスク評価に必 要な基礎データの収集	New Guinian Binatang Research Center	Joseph Kua	パプア・ニューギ ニア	
		Kassetsart University	Sunisa Sanguansub	タイ	
		Chaing Mai University	Sawai	Buranapanichpan Teerapong Saowaphak	タイ
			タイ国王室局	Sirin Kawla-ierd	タイ
			台湾食品工業発展研究所	李涵葯	台湾
		国立中興大学	陳啓予	台湾	
		行政院農業委員会林業試 験所	施欣慧	台湾	
鎌田直人	森林と昆虫の多様性研究	南ボヘミア大学	Vojtech Novotny	チェコ	
山田利博	日本と韓国で発生しているブナ科 樹木萎凋病に関する比較研究	壇国大学校	Kim, Seon Hwan	韓国	
蔵治光一郎	クローカー山脈公園における気象生 態水文学調査	マレーシアサバ大学	Maznah Mahali	マレーシア	
蔵治光一郎	北タイ山岳地帯における降雨と将 来予測	王立灌漑局	Nilobol Aranvabhaga	タイ	

2013年度 海外渡航

海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰国日
鎌田直人	秩父演習林	パプア・ニューギニア	調査	2013.4.13	2013.4.20
蔵治光一郎	生態水文学研究所	タイ	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	2013.5.7	2013.5.9
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2013.6.5	2013.6.15
山田利博	千葉演習林	ソウル、天安(韓国)	ナラ枯れ被害調査と研究とりまとめ(二国間共同研究)	2013.6.12	2013.6.14
田中延亮	生態水文学研究所	カンボジア	熱帯雨林の水・熱・炭素交換量の観測	2013.6.30	2013.7.7
蔵治光一郎	生態水文学研究所	マレーシア	キナバル山およびランビル国立公園における気象水文観測	2013.7.2	2013.7.8
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	ラオス	シロアリ塚由来資源の利用に関する調査	2013.7.24	2013.8.2
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査	2013.8.6	2013.8.16
蔵治光一郎	生態水文学研究所	韓国	アジア太平洋水文水資源協会(APHW)第6回国際会議発表	2013.8.19	2013.8.22
五名美江	生態水文学研究所	韓国	アジア太平洋水文水資源協会(APHW)第6回国際会議発表	2013.8.19	2013.8.22
鎌田直人	秩父演習林	台湾	調査	2013.9.1	2013.9.6
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林の気象水文の調査・研究打ち合わせ	2013.9.4	2013.9.8
鈴木雅一	企画部	韓国	特別講義・シンポジウム招待講演	2013.10.6	2013.10.8
鎌田直人	秩父演習林	韓国	特別講義・シンポジウム招待講演	2013.10.6	2013.10.8
當山啓介	千葉演習林	リレハンメル(ノルウェー)	国際学会“Forest Sector Modeling 2013”にて発表	2013.10.14	2013.10.21
岩井紀子	生態水文学研究所	ソウル(韓国)	国際フォーラム“2013 Asia Women Eco-Science Forum”に参加	2013.11.12	2013.11.15
久本洋子	千葉演習林	ソウル(韓国)	国際フォーラム“2013 Asia Women Eco-Science Forum”に参加	2013.11.12	2013.11.15
鎌田直人	秩父演習林	ソウル(韓国)	国際フォーラム“2013 Asia Women Eco-Science Forum”に参加	2013.11.12	2013.11.15
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	チーク間伐についての資料収集と熱帯季節林の水文気象の現地調査	2013.12.1	2013.12.14
蔵治光一郎	生態水文学研究所	マレーシア	クロッカー山脈公園における気象水文観測	2013.12.2	2013.12.9
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2013.1.4	2013.1.18
蔵治光一郎	生態水文学研究所	タイ	水災害リスク評価のための準リアルタイム水循環観測網の展開	2014.1.6	2014.1.12
安村直樹	田無演習林	ニュージーランド	ニュージーランドにおける小規模森林経営の実態調査	2014.2.9	2014.2.16
鎌田直人	秩父演習林	タイ	調査	2013.2.28	2013.3.8
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	英国	カントリーサイドにおける通行と環境・施設の維持管理に関する調査	2013.3.3	2013.3.11
田中延亮	生態水文学研究所	タイ	熱帯季節林・ゴムの水文気象の調査、研究打ち合わせ	2014.3.4	2014.3.15
蔵治光一郎	生態水文学研究所	エクアドル	ウォーカー循環系における大気振動と山岳の森林限界の形成	2014.3.8	2014.3.17
蔵治光一郎	生態水文学研究所	マレーシア	キナバル山およびランビル国立公園における気象水文観測	2014.3.31	2014.4.6

■ 出版広報活動 ■

演習林報告

「演習林報告」129号・130号を発行した。

演習林報告第129号 2013年7月25日発行

福岡哲・及川希・遠国正樹・磯崎靖雄・後藤晋

東京大学北海道演習林の針広混交林における択伐施業がミズナラの個体群動態に及ぼす影響 …………… 1-14

会沢栄志・兼行民治郎・寺田珠実・鮫島正浩・鴨田重裕

裸子植物におけるMADS-box遺伝子群の系統解析—英文— …………… 15-24

会沢栄志・兼行民治郎・寺田珠実・鮫島正浩・鴨田重裕

イチョウにおけるフラボノイドの生成と制御機構 …………… 25-35

演習林報告第130号 2014年2月25日発行

孫芝英・櫻井倫・仁多見俊夫・酒井秀夫

流れ盤斜面の判別と回避を組み込んだGISによる森林路網計画手法の開発 …………… 1-13

後藤晋・尾張敏章・遠国正樹・松井理生

東京大学北海道演習林の異なる4標高に植栽されてから45年以上が経過した11樹種の生存と成長 …………… 15-29

滝川寛之・松井理生・岡村行治・後藤晋

東京大学北海道演習林内の山火事後二次林に生育するウダイカンパの成長パターンと心材の実態 …… 31-43

ラッダワー・リアントラクターン・酒井秀夫

ゴムブランテーションにおける更新時の短材収穫およびピックアップトラック運材システム—英文— …………… 45-58

演習林

「演習林」54号・55号・56号を発行した。

演習林第54号 2013年7月25日発行

東京大学演習林基盤データ整備委員会生物部門植物分野

東京大学演習林維管束植物目録 …………… 1-3

藤平晃司・軽込勉・三次充和・久本洋子

千葉演習林維管束植物目録 …………… 5-57

堀江健二・宮本義憲・木村徳志・及川希

北海道演習林維管束植物目録 …………… 59-106

五十嵐勇治・吉田弓子

秩父演習林維管束植物目録 …………… 107-155

栗田直明・楠本大

田無演習林維管束植物目録 …………… 157-190

渡部賢

生態水文学研究所維管束植物目録 …………… 191-251

西山教雄・五十嵐勇治・吉田弓子・算用子麻未・千島茂・齋藤暖生

富士癒しの森研究所維管束植物目録 …………… 253-280

辻和明

樹芸研究所維管束植物目録 …………… 281-337

演習林第55号 2014年2月25日発行

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所

生態水文学研究所日降水量・日流出量観測結果報告(IX) …………… 1-50

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文学水質部門

東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2003年1月至2011年12月) …………… 51-162

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門

東京大学演習林気象報告(自2012年1月至2012年12月) …………… 163-186

演習林第56号 2014年2月25日発行

五名美江・五名美恵・鎌田幸子・蔵治光一郎

生態水文学研究所白坂試験流域における自記雨量計による日降水量観測結果報告(Ⅰ) …………… 1-67

五名美江・乙部みどり・加藤敦美・蔵治光一郎

生態水文学研究所穴の宮試験流域における自記雨量計による日降水量観測結果報告(Ⅰ) …………… 69-132

岩井紀子・加藤敦美・鎌田幸子

生態水文学研究所に存在する「観察植物:白坂」に記録されたフェノロジーデータ報告 …………… 133-145

丹羽悠二・千嶋武・大村和也・相川美絵子・五十嵐勇治・吉田弓子・齋藤俊治

秩父演習林における人工林固定測定試験地成長資料(2011, 2012年) …………… 147-190

畑憲治・鎌田幸子・澤田晴雄・岩井紀子

モニタリングサイト1000の愛知赤津サイトにおける2012年度のリタートラップの調査手順記録 …………… 191-195

齋藤俊浩・才木道雄・相川美絵子・栗田直明

秩父演習林における再生林固定試験地林分成長資料(2007, 2012) …………… 197-286

科学の森ニュース



■第62号■ 2013年6月10日発行

【表紙記事】70周年を迎えた樹芸研究所が「温室本」を発刊しました（樹芸研究所）

＜記事＞

- ・宮部さん農学部長賞受賞（教育研究センター）
- ・マレーシアサバ大学国際熱帯林業学部4年生海外実習を受け入れました（国際交流委員会）
- ・千葉県立君津青葉高校が「第3回高校生環境活動発表会全国大会」で優秀賞を受賞（千葉演習林）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2013年4月～2013年9月

＜クローズアップ＞

演習林におけるキノコの放射能汚染（千葉演習林 山田利博）

＜科学の森の動植物紹介＞

エゾヒグマ（北海道演習林）

＜名所・名物紹介＞

古在ヶ原（富士癒しの森研究所）



■第63号■ 2013年9月10日発行

【表紙記事】マレーシアサバ大学より初めてのインターンシップ学生来日

＜記事＞

- ・2013年度 大麓山ハイキング登山会（北海道演習林）
- ・運動会学生との共同奉仕作業「アルバイト・ヂンスト2013」（富士癒しの森研究所）
- ・とよた森林学校2013「森林セミナー」『森林の持つ公益的機能』（生態水文学研究所）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2013年6月～2013年12月

＜クローズアップ＞

心材以外の組織で芳香成分をつくる!?—ビャクダン培養細胞を用いた試み—

（樹芸研究所 井上広喜）

＜科学の森の動植物紹介＞

ヨトカ（秩父演習林）

＜コラム＞

縮枯れ現象（秩父演習林 鈴木智之）



■第64号■ 2013年12月10日発行

【表紙記事】秋の一般公開、彩り鮮やか

＜記事＞

- ・演習林教職員が相次いで受賞
- ・中国北華大学の劉先生ら来演
- ・演習林のイベントダイジェスト 2013年9月～2014年3月

＜クローズアップ＞

ヤマビル駆除剤の研究（千葉演習林）

＜科学の森の動植物紹介＞

ヤマトリカブト（富士癒しの森研究所）

＜名所・名物紹介＞

岩樟園クスノキ人工林（樹芸研究所）



■第65号■ 2014年3月10日発行

【表紙記事】5つの演習林で森林吸収CO₂クレジット2,450トンの取得が完了

＜記事＞

- ・日本の林学のさきがけ 松野先生の記念碑（千葉演習林）
- ・東京大学基金特別セミナー「自然散策と石窯ビザ作り体験」（樹芸研究所）
- ・赤津研究林で「標石を探そうツアー」を行っています（生態水文学研究所）
- ・演習林のイベントダイジェスト 2013年12月～2014年6月

＜クローズアップ＞

クマ剥ぎ（企画部 石橋整司）

＜科学の森の動植物紹介＞

イノシシ（樹芸研究所）

＜コラム＞

白紋羽病菌の病原性はどのように進化した？（田無演習林 竹本周平）

演習林出版物

■ 生態水文学研究所 リーフレット⑦ 犬山研究林の自然－秋・冬－ ■

2014年3月1日 発行

編集 東京大学演習林生態水文学研究所 井上淳、荒木田きよみ
犬山研究林利用者協議会

発行 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 生態水文学研究所

定価 463円＋税 A5判 30頁

<目次>

森に入る前に

紅葉の美しい樹木

秋に見かける昆虫

秋のキノコ

枯れたコナラに生えるキノコ

種子がひつつく植物

赤い小さな実をつける樹木

縁起もの

黒い小さな実をつける樹木

ドングリのなる樹木

食料として利用される植物

食料以外に利用する植物

秋や冬に花の咲く樹木

冬の足元に注目！！

常緑のシダ植物



■ わが国最古の「大学の森」 東京大学 千葉演習林のすべて ■

2014年3月31日 発行

編集 千葉演習林120周年記念出版実行委員会

発行 東京大学演習林出版局

定価 1,000円＋税 四六判 245頁

<目次>

巻頭言

第1章 千葉演習林の歴史といま

第1節 千葉演習林の概要

第2節 千葉演習林の歴史

第2章 千葉演習林における近年の取り組み－森林学あれこれ

序説

第1節 森林の管理と林業

森林管理の計画－人工林の持続的管理

高齢人工林の管理

外部認証－森林施業計画、森林経営計画とJ-VERについて

往年の生業としての森林利用－薪炭林管理と炭焼き

「造林学」の研究－立地、土壌と樹木生理

第2節 森林の主役、植物の実態とその保全、改良

森林を構成する植物たちの生態とその保全

林床植物－とくに低木とシダ類

房総丘陵に生育するヒメコマツの保全活動

課題に立ち向かう「種苗ゼミ」

第3節 森林に住む動物たちの世界

森林に生息する野生動物の保護管理

身近な森に暮らす陸生吸血ビルーヤマビルへのぞに迫る

第4節 森林から見る水と物質の循環－森林水文学

袋山沢水文試験地の総合対照流域法

第5節 木材を使うための機械と技術－森林利用学

林業機械と道

おわりに

まとめと今後の展望



コラム一覧

学生実習

教育の概要,造林学実験,森林植物学実験,森林計測学実習,
森林経理学実習,夏の全学体験ゼミナール,冬の全学体験ゼミナール,
技術職員の業務,事務職員の業務,ボランティア会Abiesの活動,
地域との密接な関係,長期成長測定試験地,植物相の調査,
千葉演習林の鳥類,千葉演習林の両生類,千葉演習林の昆虫,
地層・地質－沢歩きのおすすめ!

注の一覧

執筆者一覧

■ 樹海をゆく～富良野・東京大学演習林の森づくり～ ■

2014年3月31日 発行

編集・発行 東京大学演習林出版局

定価 1,000円＋税 四六判 194頁

<目次>

巻頭言

第1章 東京大学北海道演習林の天然林施業

第1節 天然林とは何か

- (1) 天然林の定義
- (2) 世界に広がる天然林, 日本に広がる天然林, 北海道演習林の天然林
- (3) 天然林の管理

第2節 天然林の生態学

- (1) 天然林の組成と構造
- (2) 人手の加わらない天然林の動態
- (3) 天然林の更新様式と更新阻害因子
- (4) 樹木の年齢(樹齢)と直径サイズ

第3節 北海道演習林の林分施業法

- (1) 林分施業法とは
- (2) 林分施業法のルーツ
- (3) 林分施業法の6原則
- (4) 林分施業法の方法

第2章 北海道演習林の森林に学ぶ

第1節 天然林を学ぶ

- (1) 天然林の樹木たち
- (2) 天然林の動物たち

第2節 林分施業法を学ぶ

- (1) 林分の種類
- (2) 林分施業法の作業手順
- (3) 伐採木の選定方法
- (4) 択伐が行われた森林の推移

第3節 人と森の関わりを学ぶ

- (1) 木材を通じた関わり
- (2) 水と土を通じた関わり
- (3) 生物を通じた関わり

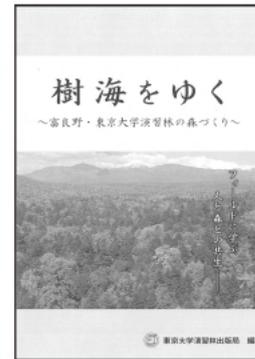
第3章 北海道演習林環境教育マップ

第1節 天然林の多様性に触れるコース

- (1) ヨーロッパトウヒ高齢人工林
- (2) エゾマツ人工林
- (3) 西ノ沢ウダイカンバ再生林
- (4) 平沢湿地林
- (5) 前山保存林
- (6) 風害跡地
- (7) 経歳鶴
- (8) 岩魚沢保存林

第2節 天然林の成り立ちを見るコース

- (1) 森のすがた－水無沢出合・原生的天然林
- (2) 古いゆく森－水無沢出合・原生的天然林
- (3) キノコの森－水無沢出合・原生的天然林
- (4) 新たな息吹, 若返る森－水無沢出合・原生的天然林
- (5) 森林の遷ろいを科学する－前山大面積プロット
- (6) 針葉樹の森－前山林道



(7) ダケカンバの林を抜け, 天空のほとりへー大麓登山道

(8) 森の時間ー神社山・大規模災害を乗り越えて

第3節 人間と森林との関わりを知るコース

(1) 山部事務所

(2) 苗畑とカラマツ高齢人工林

(3) 神社山とポン田前の森林景観

(4) エゾマツ人工林

(5) ヨーロッパトウヒ高齢人工林

(6) 地がき

(7) 優良広葉樹とウダイカンバ

(8) 森林資料館

(番外1) どろ亀ヒュッテ

(番外2) 林業機械と森林施業

コラム

恒続林思想と照査法

旧御料木・道有林の天然林施業

択伐と択伐林

新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
生態水文学研究所	東海テレビ「スーパーニュース」	2013.4.4	特集番組「森は生きている」「森の役割・間伐の必要性」について 犬山研究林と第124回日本森林学会にて蔵治准教授への取材
千葉演習林	房日新聞	2013.4.12	“マイ巣箱を観察”東大演習林で親子37人
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.4.17	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	矢作川新報	2013.4.26	矢作川「川会議」5月11日開催(蔵治准教授)
生態水文学研究所	東海テレビ「スーパーニュース」	2013.5.2	シリーズ「森は生きている」森林環境税について
生態水文学研究所	朝日新聞	2013.5.12	豊田で「川会議」基調講演で指摘(蔵治准教授)
樹芸研究所	伊豆新聞	2013.5.14	樹齢100年の大木林立 東大樹芸研公開講座 芳香包まれ自然観察
生態水文学研究所	矢作新報	2013.5.17	河川愛護の官民18団体 矢作川「川会議」に刺激(蔵治准教授)
北海道演習林	北海道新聞	2013.5.28	夏鳥の鳴き声聞き散策 東大演習林を公開
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.5.29	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
秩父演習林	埼玉新聞	2013.6.7	未来の夢森で語る 大滝小 音声でタイムカプセル
生態水文学研究所	中日新聞	2013.7.29	森林衰退で関心薄れる森林 相続しても境界分からず(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.8.16	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	朝日小学生新聞	2013.8.31	水と森はなかよし ～水はすべての命の源～(蔵治准教授)
生態水文学研究所	静岡新聞	2013.9.7	海岸林保護へ協働呼び掛け(蔵治准教授)
生態水文学研究所	中日新聞	2013.9.7	松林で津波被害軽減 海岸林保全で講演会(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.9.13	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
秩父演習林	読売新聞	2013.9.24	蛾の素顔を紹介
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.10.18	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
秩父演習林	北日本新聞	2013.10.19	カシナガ被害激減 県内ピークの0.5%に 厳冬で繁殖抑制(鎌田教授)
樹芸研究所	伊豆新聞	2013.10.24	植物で香り袋作り 大温室特別公開で体験
千葉演習林	船橋よみうり	2013.11.2	お色直しの季節です(東大千葉演習林一般開放)
千葉演習林	房日新聞	2013.11.8	交流事業で鴨川市民東大キャンパス見学
北海道演習林	北海道新聞	2013.11.16	地域の自然どう生かす 中富良野住民ら100人意見交換
千葉演習林	房総ファミリア新聞	2013.11.16	千葉演習林一般公開
田無演習林	毎日新聞	2013.11.19	多摩の自然を歩いて再発見
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.11.22	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	尾張東部放送	2013.12.13	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
田無演習林	中日新聞	2014.1.13	環境と暮らし エネルギー再考 普及に向け排ガス規制を 木材活用で注目 まきストーブ(安村講師)
樹芸研究所	伊豆新聞	2014.1.19	「芸のある植物」紹介 東大樹芸研温室本出版
樹芸研究所	伊豆新聞	2014.1.21	「潮の響」伊豆のユーカリ
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.1.24	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
生態水文学研究所	テレ朝チャンネル2「ニュースの深層」	2014.1.22,25	なぜ土砂崩れは多発するか～林業政策“失敗”の責任と結果 犬山研究林を取材し、その映像をVTRで使用 蔵治准教授がスタジオ収録に参加
樹芸研究所	朝日新聞	2014.2.14	林業再生、伊豆のユーカリで 東大樹芸研成長早く良質
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.2.14	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)

演習林名	メディア	日付	内容
生態水文学研究所	尾張東部放送	2014.3.7	「蔵治先生の環境講座」(蔵治准教授)
富士癒しの森研究所	朝日新聞	2014.3.9	地元の緑歩いて守る 行政とNPO連携(町田フットパス視察)
田無演習林	毎日新聞	2014.3.19	我がまち再発見 多摩の魅力発信プロジェクトー たま発!シンポジウム 第1回「残したい多摩の素晴らしい自然」武蔵野の森林見て触れて

2013年度 演習林を利用して行った論文等

■ 利用状況 ■

演習林を利用して行った論文等

	発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
	江草智弘	Study on relationship between spatial variability in streamwater characteristics and catchment scale in forested headwaters (森林流域における渓流水の流量・水質の空間分布と集水面積との関係に関する研究)	東京大学博士論文		116pp	2014
	渡邊悠介	千葉演習林に生息するモミの葉内生菌の群集構造	東京大学卒業論文		27pp	2014
	斎藤遼介	東京大学千葉演習林の林相変化にみる薪炭利用の衰退時期の把握	東京大学卒業論文		15pp	2014
	大谷奈津子	田無演習林のクロマツ苗畑における外生菌根菌の種構成とその成長促進効果	東京大学卒業論文		38pp	2014
	石垣裕一	温帯性モミ・ツガ天然林の稚幼樹数に影響を与える要因	千葉大学卒業論文		20pp	2014
	鈴木宏佳	昆虫によるインドール酢酸の生合成に関する研究	茨城大学卒業論文		23pp	2014
※	高木俊	Time-scale dependency of plant biomass- and trait-mediated indirect effects of large herbivores on phytophagous insects (大型草食獣が植物の量と質の変化を介して植食性昆虫に与える影響の時間スケール依存性)	東京大学博士論文		93pp	2012
	山口大貴	シバヤナギにハバチが形成する虫えい(シバヤナギハウラタマフシ)の形成機構に関する研究	茨城大学修士論文		76pp	2013
※	田中弘毅	シバヤナギハウラタマフシの形成機構に関する研究	茨城大学修士論文		99pp	2012
※	徳元信彦	暖温帯性モミ・ツガ天然林における群集構造と環境要因の関係	千葉大学卒業論文		18pp	2012
※	西又鼓	暖温帯性モミ・ツガ天然林下層植生に対するシカの影響	千葉大学卒業論文		36pp	2012
	伊藤つかさ	昆虫によるオーキシシン生合成に関する研究	茨城大学卒業論文		17pp	2013
	貫井光太	サイトカイニンの生合成酵素IPTに対する抗体の調整	茨城大学卒業論文		10pp	2013
※	岩上千尋	シバヤナギハウラタマフシにおける虫えい組織の性状解析	茨城大学卒業論文		38pp	2012
※	横倉淳平	昆虫における植物ホルモン、インドール酢酸の生合成研究	茨城大学卒業論文		24pp	2012
※	山口大貴	シバヤナギハウラタマフシを用いた虫えい形成機構の解析	茨城大学卒業論文		20pp	2011
	JiYoung Son, Rin Sakurai, Toshio Nitami, Hideo Sakai	Development of a Method of Forest Road Network Planning Using GIS that Discriminates and Avoids Dip Slopes	東京大学農学部演習林報告	130	1-13	2014
	Suzuki Maki, Miyashita Tadashi, Kabaya Hajime, Ochiai Keiji, Asada Masahiko,	Deer herbivory as an important driver of divergence of ground vegetation communities in temperate forests	Oikos	122	104-110	2013
	Etsuro Takagi, Katsumi Togashi	Distribution patterns of <i>Macrodasyces hirsutum</i> (Hymenoptera: Torymidae) eggs among <i>Ilex integra</i> (Aquifoliaceae) seeds and berries	The Canadian Entomologist	145	639-646	2013
	Suguru Watanabe, Satoshi Tatsuhara	A Long-Term Harvest Scheduling Model Involving Two Types of Rotation and Variable Labour Requirements	Journal of Forest Planning	19	17-26	2013
	Etsuro Takagi, Norihisa Matsushita, Katsumi Togashi, Taizo Hogetsu	Isolation and characterization of 14 microsatellite markers in <i>Macrodasyces hirsutum</i> (Hymenoptera: Torymidae)	Applied Entomology and Zoology	49	197-200	2014
※	Shun Takagi, Tadashi Miyashita	Variation in utilization of young leaves by a swallowtail butterfly across a deer density gradient	Basic and Applied Ecology	13(2)	260-267	2012
※	Etsuro Takagi, Katsumi Togashi	Evidence of sex change in <i>Ilex integra</i>	Botany	90	75-78	2012
※	Mohammad Reza MANSOURNIA, Bingyun WU, Norihisa MATSUSHITA, Taizo HOGETSU	Genotypic analysis of the foliose lichen <i>Parmotrema tinctorum</i> using microsatellite markers: association of mycobiont and photobiont, and their reproductive modes	The Lichenologist	44(3)	419-440	2012
※	Tomoki Oda, Nobuhito Ohte, Masakazu Suzuki	Importance of frequent storm flow data for evaluating changes in stream water chemistry following clear-cutting in Japanese headwater catchments	Forest Ecology and Management	262	1305-1317	2011
	鈴木義人	昆虫による植物ホルモン生産とゴール形成	科学と生物	52(3)	153-158	2014
	鈴木義人	ヤナギのゴール形成ハバチにおける植物ホルモン合成	昆虫と自然	48(13)	8-11	2013
	横山新紀	千葉県における窒素化合物実態調査	全国環境研会誌	39(1)	31-38	2014
	高木悦郎	身近な樹木の生物間相互作用-モチノキとモチノキタネオナガコバチ-	山林	1553	10-17	2013
	尾崎煙雄・斎藤明子	千葉県清澄山で58年ぶりにアダチアカサシガメを採集	月刊むし	506	44	2013
	斎藤明子・鈴木勝	東京大学千葉演習林で採集した甲虫類(Ⅰ)	房総の昆虫	51	38-40	2013
	斎藤 修	東京大学千葉演習林でヒメアケビコノハを採集する	房総の昆虫	51	46	2013
	諏訪文二	館山市稲地区に成育するクスノキについて	千葉生物誌	63(2)	41-45	2013
	諏訪文二・小林洋生・刈込辰也	東京大学千葉演習林における暖地性樹木ホルトノキ・オガタマノキ及びバクチノキの分布	冬虫夏草	53	17-20	2014

2013年度 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
滝川寛之	二次林に生育するウダイカンバの心材の実態と成長パターン	東京大学修士論文		48pp	2013
吉本隆雄	素材生産業者50年の記憶から（続報前半）—森林の立地と樹木の形質及び生育(各論)・その他思いつくままに—	森林計画研究会 會報	451	19-27	2013
秋葉悠希・片山享輔・岡本実・大川あゆ子・長谷川英男・浅川満彦	東京大学北海道演習林に生息する小哺乳類から見出された内外寄生虫	日本生物地理学会 會報	68	129-133	2013
吉本隆雄	素材生産業者50年の記憶から（続報後半）—森林の立地と樹木の形質及び生育(各論)・その他思いつくままに—	森林計画研究会 會報	452	17-23	2013
Tatsumi S., Owari T.	Modeling the effects of individual-tree size, distance, and species on understory vegetation based on neighborhood analysis.	Canadian Journal of Forest Research	43(11)	1006-1014	2013
黒丸 亮・田村 明・落合幸仁・木村徳志	エゾマツ種子の簡易選別と発芽率の向上	北海道の林木育種	56 No.2 2013	5-8	2014
来田和人・坂上大翼・山口岳広・木村徳志・秋元正信・今 博計・山田利博	針葉樹3種の苗木に自然感染した暗色雪腐病菌に対する薬剤防除試験	北海道の林木育種	56 No.2 2013	11-12	2014
山田 健・落合幸仁・小川 瞳・木村徳志	エゾマツ裸根幼苗のコンテナへの移植作業工程	北海道の林木育種	56 No.2 2013	13-14	2014
田村 明・小川 瞳・木村徳志・福岡 哲	エゾマツコンテナ苗の施肥について	北海道の林木育種	56 No.2 2013	19-22	2014
加藤由華	エゾモモンガの非侵襲的試料を用いたマイクロサテライトDNAの利用可能性に関する研究	帯広畜産大学卒業 論文		11pp	2014
吉川悠太	エゾモモンガの巣材利用性—巣材の運搬に関する研究	帯広畜産大学卒業 論文		39pp	2014
宮路武俊	北海道山間部天然林における巣箱を用いた樹上性小型哺乳類の貯食に関する研究	帯広畜産大学卒業 論文		15pp	2014
滝川寛之・松井理生・岡村行治・後藤 晋	東京大学北海道演習林の山火事後二次林に生育するウダイカンバの心材の実態と成長パターン	演習林報告	130	31-43	2014
田村繁明	トゲマダラカゲロウ属幼虫の体色班変異と河床地質の関係	東京大学修士論文		23pp	2014
平林毅一郎	Ni、Mg ストレスに対するシラカンバとケヤマハンノキの生育特性	東京大学修士論文		52pp	2014
Shinichi Tatsumi	Individual-based forest dynamics modeling of mixed conifer-broadleaf stands under selection system	東京大学博士論文		91pp	2014
福島貴昭	トウヒ属樹木の立ち枯れ病関連菌に対する防御機構の解明	東京大学卒業論文		33pp	2014
猪島康雄	野生ニホンカモシカにおけるパラボックスウイルス感染症	日本獣医師会雑誌	66 (8)	557-563	2013
山崎敦史・川崎弘子	秩父産新規 <i>Lipomyces</i> 属酵母の分離とその性質	日本生物工学会大 会講演要旨集	65	2P-009	2013
水上久雄	埼玉県初確認の蛾2種の記録	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	148	25	2013
水上久雄	東京大学秩父演習林にて2011年に採集した蛾	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	148	26-40	2013
阿部 功	東京大学秩父演習林等で採集された蛾(2010・2011年)	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	148	45-63	2013
岩田泰幸・加藤 学・岩田 朋文	埼玉県におけるチャイロスズメバチの既知・追加記録	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	149	1-5	2013
新井浩二	埼玉県から新たに記録される甲虫類(20)	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	149	7-16	2013
櫛引陸奥男	埼玉県初記録の蛾類36種	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	149	44-53	2013
田俣敏弘	<東京大学秩父演習林の昆虫類データベース>東京大学秩父演習林および周辺地で記録した昆虫-1.双翅類-II-	寄せ蛾記(埼玉昆 虫談話会誌)	152	11-42	2013
高橋拓史	工法の異なる林内路網の路面支持力	東京大学修士論文		128pp	2013
関達太郎	シカの食害によるアカネズミとヒメネズミの生息状況への影響	早稲田大学修士論 文		31pp	2013
近藤 泉	東京大学秩父演習林におけるニホンリスの生息地と餌資源の利用	早稲田大学修士論 文		49pp	2013
※ 小作知愛	田無演習林における樹冠から土壌までの溶存有機物の動態	東京農業大学卒業 論文		39pp	2012
杉原由加子	植栽後のスギコンテナ苗、裸根苗の生理状態について	東京大学卒業論文		24pp	2014
森内健生	土壌有機物の化学的性質が土壌呼吸速度におよぼす影響	東京大学卒業論文		15pp	2014
大脇琴美	電気インパルスを用いたナラ枯れ防除の試み—カシノナガキクイムシの生態と樹木生理からのアプローチ—	名古屋大学修士論 文		109pp	2014
山田 薫	都市近郊の孤立二次林および市街地に生育するコブシの遺伝的特徴：埼玉県所沢市周辺における事例	東京大学修士論文		50pp	2014
今村直広	Study on atmospheric inputs of dissolved ions to temperate forests on the Kanto Plain, Japan	東京大学博士論文		157pp	2014
南光一樹	ヒノキ人工林における林内雨の運動エネルギーと樹高・生枝下高・樹冠長の関係	日本森林学会誌	95	234-239	2013

2013年度 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年
山田 晋・根本正之	張りシバ地に播種された数種の半自然草地構成種の初期生育に関する実験的研究	日本緑化工学会誌	39	33-38	2013
Kojima W, Sugiura S, Makihara H, Ishikawa Y, Takanashi T	Rhinoceros Beetles Suffer Male-Biased Predation by Mammalian and Avian Predators	Zoological Science	31	109-115	2014
Liao SM, Kasuga S, Togashi K	Suppressive effects of <i>Bursaphelenchus mucronatus</i> on pine wilt disease development and mortality of <i>B. xylophilus</i> -inoculated pine seedlings	Nematology	16	219-227	2014
Sato M, Nishijima S, Miyashita T	Differences in refuge function for prey and tolerance to crayfish among macrophyte species	Limnology	15	27-35	2014
今村直広・大手信人・石 瑠・鈴木雅一	林内雨法を用いた関東地方のスギ林への湿性、乾性沈着の観測	第54回大気環境学会年会	54	P044	2013
今村直広・大手信人・Shi, Jun・田中延亮・鈴木雅一	常緑針葉樹林と落葉広葉樹林における乾性沈着量と樹冠での吸収・溶脱量の季節変化	第125回日本森林学会大会学術講演集		H06	2014
大島誉史	南西諸島に発生している南根腐病の病原菌の同定と樹体内での菌糸蔓延様式の解明	東京大学修士論文		49pp	2014
佐藤 拓	スギ実生苗に対する接種源としてのアーバスキュラー菌根菌の単孢子系統の確立	東京大学卒業論文		29pp	2014
佐藤 拓・松下範久・呉 炳雲	スギ実生苗に対する接種源としてのアーバスキュラー菌根菌の単孢子系統の確立	第125回日本森林学会大会学術講演集		P1-268	0:00
太田修平	ナラ枯れ被害木の経過年数に伴う枯死材性甲虫相の変化	名城大学卒業論文		24pp	2014
太田修平・澤田晴雄・日野輝明	ナラ枯れ被害木の経過年数に伴う枯死材性甲虫相の変化	日本森林学会大会第125回大会学術講演集		P1-233	2014
小野 優	森林ライブ音が聞き手に与える印象に関する研究	東京大学修士論文		59pp	2014
小林直人	富士癒しの森研究所におけるニホンジカの生息密度推定および植生被害	東邦大学卒業論文		67pp	2014
宮部涼太郎	環境教育から見た森の施業と森の景観・構造	日本森林学会大会第125回大会学術講演集		P1-017	2014
藤原章雄・齋藤暖生・高山範理・堀内雅弘	針葉樹林の密度の違いと保健休養機能の関係に関する地域住民参加型の調査研究に向けて	日本森林学会大会第125回大会学術講演集		T3-05	2014
斎藤 馨・藤原章雄・中村和彦・小林博樹・岩岡正博・中山雅哉	多地点型森林ライブモニタリングシステムの構築	日本森林学会大会第125回大会学術講演集		B03	2014
高山範理・藤原章雄・齋藤暖生・村瀬一隆・西山教雄・遠藤淳子・堀内雅弘	オンサイトにおける森林風景開放時と遮蔽時の違いからみた印象評価特性	日林関東森林研究	65(1)	157-158	2014
Shinohara Tadashi	Evaluation Methods for Atmospheric Corrosion Behaviors	NACE International East Asia and Pacific Rim Area Conference	EAP13-4606	14pp	2013
Shinohara Tadashi	Evaluation of Corrosion Rates of Carbon Steel in an Atmospheric Environment by an Atmospheric Corrosion Monitor (ACM) Type Corrosion Sensor	15th Middle East Corrosion Conference	144-CR-20	6pp	2014
室 紀行	ツツジグンバイ属の系統関係およびナシグンバイのホストへの反応	東京大学卒業論文		40pp	2014
梶浦雅子	湿潤気候下の森林流域における表層土壌の撥水性の時空間的変動	東京大学博士論文		82pp	2014

※は、これまで発行の年報に未掲載の論文である。2013年度の集計には反映されていない

2013年度 演習林を利用して行った論文等の数	
千葉	23
北海道	17
秩父	16
田無	18
生態水文	4
富士	9
樹芸	1

全利用者

演習林名：千葉演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	15	鴨川市有害鳥獣対策協議会				17	17	有害鳥獣捕獲	日帰り
2	4	3	君津市経済部農林振興課				3	3	わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
3	4	1	東大 農・造林学研究室	1				1	「造林学実験」実習地の下見・実習内容打合せ	日帰り
4	4	1	エーゼットプロモーション				3	3	TV番組収録（清澄山の自然）	日帰り
5	4	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
6	4	1	日本鳥類標識協会				2	2	鳥類相，鳥類標識調査	日帰り
7	4	1	東大 農・千葉演習林	3			42	45	鴨川市との共催事業（公開講座）「野鳥の巣箱をかけよう」	日帰り
8	4	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	鴨川市との共催事業（公開講座）「野鳥の巣箱をかけよう」サポート	日帰り
9	4	1	東大 新領域創成科学研究科	16		39		55	自然環境学野外総合実習	日帰り
10	4	3	東大 農・生態水文学研究所	12 (9)	63 (63)			75	マレーシアサバ大学 国際熱帯林業学部4年生「国際学生実習」	清澄宿泊施設
11	4	1	内浦山県民の森				3	3	平成25年度催事「春の猪ノ川渓谷ハイキング」下見	日帰り
12	4	2	千葉県立中央博物館	4			4	8	昆虫調査	札郷宿泊施設
13	4	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
14	4	2	千葉県森林インストラクター会	2			41	43	もりこん107・研修合宿（演習林での研究，演習林内の植物・地質・動物等の研修）	清澄宿泊施設
15	4	2	千葉演習林ボランティア会Abies				8	8	FIC・Abies交流会	清澄宿泊施設
16	4	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	日帰り
17	4	1	千葉県森林インストラクター会				9	9	房総半島猪ノ川渓谷の植物観察会の下見	日帰り
18	4	1	内浦山県民の森				3	3	平成25年度催事「春の猪ノ川渓谷ハイキング」下見	日帰り
19	4	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	森林植物学実験野外実習の下見	日帰り
20	4	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明	日帰り
21	4	2	千葉県立中央博物館	9				9	昆虫調査	清澄宿泊施設2
22	4	1	内浦山県民の森				30	30	平成25年度催事「春の猪ノ川渓谷ハイキング」実施	日帰り
23	4	2	東大 農・千葉演習林				149	149	公開講座「春の一般公開」開催	日帰り
24	4	2	千葉演習林ボランティア会Abies				8	8	公開講座「春の一般公開」サポート	日帰り
25	4	1	千葉県立中央博物館	2				2	昆虫調査	日帰り
26	4	5	東大 新領域創成科学研究科	5				5	ヒノキ楡皮剥皮試験地における伐倒試験後の解析作業	清澄宿泊施設2
27	4	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
28	4	1	千葉県森林インストラクター会				50	50	房総半島猪ノ川渓谷の植物観察	日帰り
29	4	1	東大 農・森林理水及び砂防光学研究室	3	2			5	森林流域における水文観測	日帰り
30	4	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
31	4	1	住化グリーン 研究開発部				1	1	ヤマビル防除剤の研究開発	日帰り
32	4	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカー植物－昆虫相互作用系に与える影響	清澄宿泊施設2
33	5	1	東邦大学 理学部	1				1	植物の防御戦略がシカー植物－昆虫相互作用系に与える影響	
34	5	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
35	5	3	君津市経済部農林振興課				4	4	箱わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
36	5	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査（5/1） 化学物質大気環境調査（5/28-29）	日帰り
37	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林水文に関する研究	日帰り
38	5	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
39	5	5	東大 農・造林学研究室	10	92	2		104	造林学実験	清澄宿泊施設
40	5	4	東大 新領域創成科学研究科	4		4		8	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	清澄宿泊施設2
41	5	3	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	3			3	6	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
42	5	2	千葉県立中央博物館	8			4	12	昆虫調査	札郷宿泊施設

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
43	5	3	東大 農・森林植物学研究室	9	48	3		60	森林植物学実験の野外実習	清澄宿泊施設
44	5	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
45	5	1	千葉大学 大学院理学研究科	8				8	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（メンテナンスと見学）	日帰り
46	5	4	東大 農・森林経理学研究室	11	52			63	森林経理学実習	札郷宿泊施設
47	5	1	東大 農・森林動物学研究室			1		1	森林の断片化による樹木－種子食性昆虫－鳥類間相互作用系の崩壊プロセスの解明	清澄宿泊施設
48	5	2	東大 新領域創成科学研究科 自然環境学専攻			2		2	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	清澄宿泊施設2
49	5	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	札郷宿泊施設
50	5	1	黄和田畑山の駅				1	1	炭材買い付けのための下見	日帰り
51	5	1	森林総合研究所 多摩森林科学園	2				2	サクラの系統保全と活用に関する研究	日帰り
52	5	3	立正大学 地球環境学部	3			3	6	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
53	5	1	東大 新領域創成科学研究科	1		1		2	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	日帰り
54	5	1	千葉県立中央博物館	2				2	昆虫調査	日帰り
55	5	1	東大 農・千葉演習林	22				22	春の研修会開催	日帰り
56	5	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	「春の研修会」聴講	日帰り
57	5	9	京都大学 理学研究科地球惑星科学分野地質学鉱物学教室			9		9	修論	清澄宿泊施設2
58	5	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1				1	福島原発事故で森林内の材に沈着した137CS量の実態把握	日帰り
59	5	1	住化グリーン 研究開発部				1	1	ヤマビル防除剤の研究開発	日帰り
60	5	1	日本樹木医会 二樹会				9	9	巨樹古木（清澄寺大スギ倒伏樹切断面）	日帰り
61	5	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			8		8	森林水文研究に関する現地観測	清澄宿泊施設2
62	5	4	日本地質学会	8			24	32	地質の調査研修	日帰り
63	5	2	千葉県立君津青葉高等学校 総合学科	4			40	44	樹木の種類とその特徴を学習し、樹木に対する興味・関心を高めるとともに、さらにその過程で起こるさまざまな体験を通して、生きる力を育てる。	清澄宿泊施設
64	5	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明（苗畑の土壌採取）	日帰り
65	5	1	千葉県立中央博物館	2				2	房総丘陵の地質及び古生物に関する基礎的研究	日帰り
66	5	1	日本鳥類標識協会				2	2	鳥類相、鳥類標識調査	日帰り
67	6	9	鴨川市有害鳥獣対策協議会				9	9	有害鳥獣捕獲	日帰り
68	6	2	君津市経済部農林振興課				2	2	箱わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
69	6	1	東大 農・演習林企画部	2	21			23	教養学部全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	日帰り
70	6	4	日本鳥類標識協会				8	8	鳥類相及び鳥類標識調査	日帰り
71	6	5	国際緑化推進センター	20			55 (55)	75	JICA課題別研修「国家森林モニタリングシステム整備のための人材育成」	清澄宿泊施設
72	6	1	東大 農・演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
73	6	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査（6/3） 化学物質大気環境調査（6/10-11）	日帰り
74	6	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	札郷宿泊施設
75	6	2	昭和37年東大農学部林産学科卒				12	12	同級生一同で50年前の実習の跡を訪ねる。	清澄宿泊施設2
76	6	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
77	6	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明（苗畑のキノコ調査）	日帰り
78	6	2	千葉県立中央博物館	7				7	昆虫調査	郷台宿泊施設
79	6	2	東大 教育学部附属中等教育学校	2				2	中・高校生宿泊実習のための下見と打合せ	清澄宿泊施設2
80	6	1	鴨川市立天津小学校	2				2	環境教育のための研修	日帰り
81	6	2	東大 農・保全生態学研究室	4				4	水生昆虫の生態学的研究	日帰り
82	6	1	千葉県立中央博物館	2				2	昆虫調査	日帰り
83	6	3	東大 農・千葉演習林	14		16	7	37	第18回利用者説明会	清澄宿泊施設
84	6	2	千葉演習林ボランティア会Abies				7	7	千葉演習林利用者説明会参加のため。	清澄宿泊施設
85	6	2	東大 新領域創成科学研究科	2				2	広葉樹二次林の生態系に対するシカ排除と伐採の影響	清澄宿泊施設
86	6	4	東大 新領域創成科学研究科（自然環境学専攻）			4		4	広葉樹二次林伐採区の昆虫相に対するシカ排除の影響	清澄宿泊施設
87	6	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明（苗畑のキノコ調査）	日帰り

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
88	6	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室			4		4	森林水文研究に関する現地観測	日帰り
89	6	1	森林総合研究所 立地環境研究領域	1				1	森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発	日帰り
90	6	1	筑波大学 生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
91	6	2	東大 新領域創成科学研究科 環境学専攻 自然環境学専攻	4		8		12	自然環境学専攻夏学期授業科目「地域自然誌論（47151-27）」	清澄宿泊施設
92	6	1	千葉演習林ボランティア会Abies				6	6	Abies活動林内作業サポート「植え付け」	日帰り
93	6	3	住化グリーン 研究開発部				6	6	ヤマビル防除剤の研究開発	日帰り
94	6	1	千葉大学 園芸学専攻	1	2			3	年輪採取をするモミ・ツガ林の選定	日帰り
95	6	2	東大 農・生圏システム学専攻 緑地創成学研究室	8				8	演習林周辺住民による炭焼利用に関する窯跡調査	清澄宿泊施設2
96	6	2	東大 理学系研究科地球惑星システム科学講座	4		6		10	実習下見（地球惑星環境学野外調査?）	清澄宿泊施設2
97	6	2	宇都宮大学 農学部森林科学科	4	72	2		78	樹木学実習	清澄宿泊施設
98	7	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害鳥獣捕獲	日帰り
99	7	3	君津市経済部農林振興課				3	3	箱わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
100	7	1	住化グリーン 研究開発部	1			1	2	ヤマビル防除剤の研究開発	日帰り
101	7	11	千葉県環境生活部大気保全課				14	14	非汚染地域大気環境調査（7/1） 化学物質大気環境調査（7/3-4） ダイオキシン類大気環境調査（7/16-23）	日帰り
102	7	1	東大 農・秩父演習林	2				2	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
103	7	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明（苗畑のキノコ調査）	日帰り
104	7	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	清澄宿泊施設2
105	7	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
106	7	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	生態観察用のヤマビル飼育管理	日帰り
107	7	2	立正大学 地球環境科学部（竹林景観ネットワーク）	9			2	11	竹林景観ネットワーク第12回研究集会	清澄宿泊施設
108	7	1	君津市教育委員会 文化振興課	3			3	6	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム自然観察会下見	日帰り
109	7	2	東大 農・秩父演習林	4				4	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	清澄宿泊施設2
110	7	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	郷台宿泊施設
111	7	1	千葉大学 大学院園芸学専攻	3	3		1 (1)	7	モミ・ツガ林の森林構造調査及び年輪採取	日帰り
112	7	6	日本鳥類標識協会（山階鳥類研究所強力調査員）				12	12	鳥類相、鳥類標識調査	日帰り
113	7	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
114	7	1	筑波大学 生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
115	7	1	(学)戸村学園 コスモス幼稚園	36			152	188	ハイキング（清澄寺～一杯水林道～麻綿原天拝園間往復）	日帰り
116	7	1	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	Abies活動「花の開花確認」	日帰り
117	7	3	東大 教育学部附属中等教育学校	6			48	54	附属中等教育学校夏季生物教室を開催し、自然と林業に触れ合う	札郷宿泊施設
118	7	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2		4	2	8	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	清澄宿泊施設2
119	7	1	君津市教育委員会 文化振興課	8			20	28	君津市立坂畑小学校スクールミュージアム 自然観察会	日帰り
120	7	1	森林総合研究所 森林微生物研究領域森林病理研究室	2				2	スギ辺材腐朽発生に関わる生物学的環境要因の解明	日帰り
121	7	6	東大 理学系研究科地球惑星システム科学専攻	18	114	18		150	地球惑星環境学野外調査	清澄宿泊施設
122	7	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明（苗畑のキノコ調査）	日帰り
123	7	3	国立歴史民俗博物館	3				3	生業調査	清澄宿泊施設2
124	7	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	札郷宿泊施設
125	7	1	東大 新領域創成科学研究科 自然環境学専攻	1		1		2	二次林伐採跡地における飛翔性・地表徘徊性昆虫相調査	清澄宿泊施設2
126	8	4	東大 新領域創成科学研究科 自然環境学専攻	2		6		8	二次林伐採跡地における飛翔性・地表徘徊性昆虫相調査	清澄宿泊施設2

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
127	8	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
128	8	18	鴨川市有害鳥獣対策協議会				18	18	有害鳥獣捕獲	日帰り
129	8	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
130	8	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査 (8/1) 化学物質大気環境調査 (8/20-21)	日帰り
131	8	5	日本鳥類標識協会 (山階鳥類研究所協力調査員)				10	10	鳥類相, 鳥類標識調査	日帰り
132	8	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
133	8	10	京都大学 大学院理学研究科地質学鉱物学教室			10		10	演習林内の地質学的研究 (小断層解析による古応力の推定)	清澄宿泊施設2
134	8	2	NPO法人房総の野生生物調査会				13	13	自然観察会及びNPO総会	札郷宿泊施設
135	8	3	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	6		6		12	森林流域における水文観測	札郷宿泊施設
136	8	2	東大 農・生圏システム学専攻	10		26		36	フィールド科学総合演習	清澄宿泊施設2
137	8	1	千葉大学 大学院理学研究科	4				4	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究 (機器メンテナンス)	日帰り
138	8	2	東大 農・生圏システム学専攻森林管理理学研究室			2		2	イチイガシの遺伝構造	清澄宿泊施設
139	8	3	東大 教育学部附属中等教育学校	8			54	62	植生毎木調査, 昆虫採集, 水生昆虫採集・観察など	清澄宿泊施設
140	8	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	郷台宿泊施設
141	8	2	東大 農・千葉演習林	2				2	タケ類における日周・季節的変動を示す遺伝子発現解析	郷台宿泊施設
142	8	1	宇都宮大学 大学院農学研究科森林科学専攻			1		1	ヒメコマツ繁殖量調査	清澄宿泊施設
143	8	1	東大 農・千葉演習林	3			3	6	ヒメコマツ研究グループ繁殖状況モニタリング調査	日帰り
144	8	2	東大 新領域創成科学研究科			3		3	自然環境学研究	清澄宿泊施設2
145	8	1	東大 農・附属演習林企画部	1	2 (2)			3	マレーシアサバ大学インターンシップ研修	日帰り
146	8	1	千葉県立中央博物館	2				2	昆虫調査	日帰り
147	8	1	千葉県衛生研究所 医動物研究室	3				3	千葉県におけるマダニ類等の生息調査及び日本紅班熱等マダニ媒介感染症の浸潤状況	日帰り
148	8	6	京都大学 理学部地質学鉱物学教室	18	102	12		132	課題演習E2 (地質調査法野外実習)	日帰り
149	8	6	日本地質学会 関東支部 清澄フィールドキャンプ実行委員会	18	12	12		42	フィールド調査の継承・発展のための地質調査の基礎的訓練	清澄宿泊施設
150	8	4	立正大学 地球環境科学部	4	88	4		96	立正大学地球環境科学部「フィールドワークA」の実施	札郷宿泊施設
151	8	1	千葉大学 大学院理学研究科	3				3	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究 (機器メンテナンス)	日帰り
152	8	1	子ども110番木更津支部				2	2	地域青少年育成事業として長距離ハイクの下見と安全確認	日帰り
153	8	1	筑波大学 生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類相互作用系の解明	日帰り
154	8	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	札郷宿泊施設
155	8	3	千葉大学 理学研究科地球科学	13	69	6		88	地質学野外実験・地殻構造学野外実験	清澄宿泊施設
156	8	1	東大 農・森林植物学研究室	1				1	外生菌根菌間の相互作用の解明 (苗畑のキノコ調査)	日帰り
157	8	1	森林総合研究所 多摩森林科学園	6				6	千葉演習林の見学	札郷宿泊施設
158	8	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2		1		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り
159	8	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
160	8	1	朝日新聞社 館山支局				1	1	新聞記事の素材となりそうな話題に関する取材	日帰り
161	8	1	千葉県立中央博物館 分館 海の博物館	1				1	房総丘陵に分布する温帯性植物の立地と生態 (打合せ)	日帰り
162	9	1	鴨川市有害鳥獣対策協議会				1	1	有害鳥獣捕獲	日帰り
163	9	4	千葉大学 理学研究科地球科学	14	72	6	2	94	地質学野外実験・地殻構造学野外実験	清澄宿泊施設
164	9	1	森林総合研究所 多摩森林科学園	6				6	千葉演習林の見学	
165	9	19	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害獣捕獲	日帰り
166	9	2	君津市経済部農林振興課				2	2	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
167	9	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	非汚染地域大気環境調査 (9/2) 化学物質大気環境調査 (9/5-6)	日帰り
168	9	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
169	9	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	郷台宿泊施設
170	9	2	首都大学東京 植物系統分類学研究室			2		2	オオモミジの紅葉についての経過観察	清澄宿泊施設
171	9	1	小木曾グリーンターフ 樹木医事務所				1	1	樹木医16期同期会の下見	日帰り
172	9	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
173	9	2	日本鳥類標識協会				4	4	鳥類相、鳥類標識調査	日帰り
174	9	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2	1	1		4	森林水文に関する研究	日帰り
175	9	4	東大 農・千葉演習林	24	48			72	全学体験ゼミ「フィールドで考える野生動物の保護管理」	清澄宿泊施設
176	9	1	千葉県立中央博物館	2				2	昆虫調査	日帰り
177	9	1	NPO法人やまぼうし自然学校12期会				4	4	自然観察会及び郷台畑の見学	日帰り
178	9	1	東大 アジア生物資源環境研究センター	1				1	富士山のゴヨウマツの種同定	日帰り
179	9	3	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室		2	5	3	10	森林水文に関する研究	札郷宿泊施設
180	9	1	千葉県衛生研究所 医動物研究室	2				2	演習林敷地内の山林で捕獲した小型～大型哺乳類のマグニ保有状況調査とマグニ類の採取	日帰り
181	9	1	朝日新聞館山支局				1	1	全学体験ゼミの取材	日帰り
182	9	1	鴨川市立天津小学校	2			24	26	1年生生活科 木の実ひろい落葉ひろい	日帰り
183	9	1	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	NPO法人やまぼうしの自然観察会案内	日帰り
184	9	2	NPO法人房総の野生生物調査会				2	2	ブナ科植物の堅果落下量の経年変化調査	日帰り
185	9	1	東大 農・森林植物学研究室	1	1			2	外生菌根菌間の相互作用の解明	日帰り
186	9	1	筑波大学 生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
187	9	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	札郷宿泊施設
188	9	1	千葉大学 大学院園芸学研究科	1	5			6	モミ・ツガ林の森林構造調査及び年輪採取	清澄宿泊施設2
189	10	2	千葉大学 大学院園芸学研究科	2	10			12	モミ・ツガ林の森林構造調査及び年輪採取	清澄宿泊施設2
190	10	17	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害鳥獣捕獲	日帰り
191	10	3	君津市経済部農林振興課				3	3	箱わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
192	10	4	千葉県環境生活部大気保全課				7	7	非汚染地域大気環境調査 (10/1, 31)	日帰り
193	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	Abies活動 試験研究補助 (ドングリ拾い)	清澄宿泊施設
194	10	3	慶應大学 経済学部生物学教室	6				6	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	郷台宿泊施設
195	10	3	住化グリーン株式会社 研究開発部				9	9	ヤマビル防除剤の研究開発	清澄宿泊施設
196	10	2	千葉県立中央博物館	10				10	昆虫調査	郷台宿泊施設
197	10	1	東大 農・秩父演習林	1				1	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
198	10	2	千葉県立中央博物館 分館海の博物館	6				6	千葉演習林内の保護樹木の調査	清澄宿泊施設
199	10	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
200	10	1	千葉県立中央博物館	2				2	昆虫調査	日帰り
201	10	1	東大 新領域創成科学研究科鈴木研究室	1		1	1	3	二次林伐採跡地における飛翔性・地表徘徊性昆虫相測定	日帰り
202	10	1	住化グリーン 研究開発部				1	1	ヤマビル防除剤の研究開発	日帰り
203	10	1	千葉県衛生研究所	3				3	千葉演習林内で捕獲した小型～大型哺乳類のマグニ保有状況調査とマグニ類の採取	日帰り
204	10	2	森林総合研究所 森林微生物研究領域	5				5	スギ辺材腐朽の発生機構	清澄宿泊施設
205	10	2	かわさき市民アカデミー				52	52	「環境とみどり」現地研修	清澄宿泊施設
206	10	1	東大 新領域創成科学研究科鈴木研究室			1		1	二次林伐採跡地における飛翔性・徘徊性昆虫相調査	日帰り
207	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	かわさき市民アカデミー案内	日帰り
208	10	1	特定非営利活動法人 ちば里山センター				47	47	ちば里山カレッジ 講義&フィールド研修「地球温暖化・生物多様性と里山の果たす役割」	日帰り
209	10	1	東大 農・森林植物学研究室	1	1			2	樹木内生菌の伝播・繁殖機構及び樹体内共生機構の解明	日帰り
210	10	4	JX日鉱日石開発	4			32	36	地層の見方と地質の調査法習得のための研修	日帰り
211	10	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林流域における流量・水質の空間分布形成要因についての研究	日帰り

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
212	10	2	千葉演習林ボランティア会Abies	2			20	22	Abies活動「お月見研修会」	札郷宿泊施設
213	10	5	静岡大学 理学部地球科学科	10		25		35	地質調査法実習	清澄宿泊施設
214	10	1	NPO法人房総の野生生物調査会				1	1	ブナ科植物の堅果落下量の経年変化	日帰り
215	10	3	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	3		10	3	16	森林水文に関する現地観測	清澄宿泊施設2
216	10	1	東京女子大学 名誉教授				2	2	ゲジゲジの倍数体形成に関する研究	日帰り
217	10	2	立正大学 地球環境学部	2				2	第三紀層における岩盤の侵食と風化	札郷宿泊施設
218	10	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	秋の研修会聴講後のAbies活動（自然観察会）のための下見	日帰り
219	11	10	鴨川市有害鳥獣対策協議会				11	11	有害鳥獣捕獲	日帰り
220	11	2	君津市経済部農林振興課				2	2	箱わなによる有害鳥獣捕獲を実施するため	日帰り
221	11	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
222	11	1	東大 農・千葉演習林	3			19	22	鴨川市との共催事業「野鳥の巣箱をかけよう！」	日帰り
223	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				3	3	Abies活動「野鳥の巣箱をかけよう！」サポート	日帰り
224	11	1	子ども110番ネットワーク木更津				6	6	青少年健全育成としての亀山〜鴨川までの徒歩（ハイク）	日帰り
225	11	1	首都大学東京 都市教養学部 理工学系 植物系統分類学研究室			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
226	11	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	清澄宿泊施設2
227	11	1	東大 農・千葉演習林	19				19	千葉演習林 秋の研修会	日帰り
228	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				5	5	秋の研修会聴講	日帰り
229	11	1	君津市上総公民館	2				2	公民館主催事業の下見	日帰り
230	11	2	千葉県立中央博物館分館 海の博物館	6				6	千葉演習林内の保護樹木の調査	清澄宿泊施設
231	11	1	森林総合研究所 林木育種センター	2				2	林野庁で実施している林木のジーンバンク事業の一環	日帰り
232	11	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2	1	4	森林水文に関する現地観測	日帰り
233	11	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全苗生産に向けた取り組み	日帰り
234	11	3	千葉大学 大学院園芸学研究科	3	15			18	モミ・ツガ林の森林構造調査及び年輪採取	清澄宿泊施設2
235	11	1	鴨川市立天津小学校	3			52	55	「みどりの教室」実施のため	日帰り
236	11	1	千葉演習林ボランティア会Abies				2	2	天津小学校「みどりの教室」サポート	日帰り
237	11	1	理化学研究所 環境資源科学研究センター	2				2	微生物資源としての土壌サンプル採集及び植物の植栽	日帰り
238	11	2	東京貝類同好会				16	16	千葉演習林及び周辺の陸産貝類相を明らかにする	清澄宿泊施設
239	11	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（11/14-15） 非汚染地域大気環境調査（11/28）	日帰り
240	11	1	国立歴史民俗博物館	3				3	千葉演習林保管の帳簿類調査	日帰り
241	11	2	東大 農・生圏システム学専攻森圏管理学研究室	3	12	2		17	森圏管理学実習	清澄宿泊施設
242	11	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「ロングハイキング」（11/29実施）下見	日帰り
243	11	1	筑波大学 生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
244	11	4	日本地質学会	12			24	36	地質調査研修	日帰り
245	11	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り
246	11	3	東大 農・千葉演習林				3337	3,337	「秋の一般公開」開催のため	日帰り
247	11	3	千葉演習林ボランティア会Abies				12	12	秋の一般公開サポート	日帰り
248	11	1	千葉県立中央博物館	3			1	4	昆虫調査（地中トラップ設置）	日帰り
249	11	2	東大総合図書館千葉演習林の会	8			9	17	秋の自然観察会	札郷宿泊施設
250	11	1	自然観察会富川グループ（東大千葉演習林職員）	1			2	3	清澄作業所構内「森林博物資料館」見学	日帰り
251	11	1	NPO法人房総の野生生物調査会				1	1	ブナ科植物の堅果落下量の経年変化	日帰り
252	11	1	千葉県衛生研究所医動物研究室	2				2	敷地内の山林で捕獲した小型～大型哺乳類のマダニ保有状況調査とマダニ類の採取	日帰り
253	11	1	（石工「宮龜年」作品調査）				2	2	「松野先生記念碑」拓本採取	日帰り
254	11	1	千葉県森林インストラクター会				4	4	野外事業の下見	日帰り
255	11	1	安房生物愛好会・千葉県生物学会				2	2	クスノキの樹齢と幹周囲長との関係についての調査（館山市稲地区に生育するクスノキについての調査）	日帰り

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
256	11	1	内浦山県民の森	2			2	4	平成25年度催事「ロングハイキング」下見	日帰り
257	11	1	内浦山県民の森	5			22	27	平成25年度催事「ロングハイキング」実施	日帰り
258	11	1	木更津市教育委員会 岩根西公民館				40	40	ハイキング及び自然観察会	日帰り
259	11	1	千葉県立中央博物館分館海の博物館	4				4	千葉演習林秋の一般公開日の展示ブース設置	日帰り
260	12	1	東大 農・千葉演習林				2329	2,329	「秋の一般公開」開催のため	日帰り
261	12	1	千葉演習林ボランティア会Abies				8	8	秋の一般公開サポート	日帰り
262	12	1	千葉県立中央博物館分館海の博物館	4				4	千葉演習林秋の一般公開日の展示ブース設置	日帰り
263	12	20	鴨川市有害鳥獣対策協議会				23	23	有害鳥獣捕獲	日帰り
264	12	6	君津市経済部農林振興課				6	6	箱わなによる有害獣駆除を実施	日帰り
265	12	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2				2	森林流域における水文観察	日帰り
266	12	2	千葉県立中央博物館	8				8	昆虫調査	札郷宿泊施設
267	12	2	千葉県勤労者山岳連盟				54	54	山岳連盟所属各会委員の交流集会・紅葉ハイク	清澄宿泊施設
268	12	1	国立歴史民俗博物館	2				2	東大演習林内の炭窯跡調査	日帰り
269	12	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「秋の猪ノ川溪谷ハイキング」下見	日帰り
270	12	4	NPO法人房総の野生生物調査会				4	4	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
271	12	1	内浦山県民の森				38	38	平成25年度催事「秋の猪ノ川溪谷ハイキング」実施	日帰り
272	12	1	日本鳥類標識協会（山階鳥類研究所）				2	2	鳥類相，鳥類標識調査	日帰り
273	12	3	東大 農・附属生態調和機構	3				3	森林林床に生息する造網性クモ類の生態に関する研究	清澄宿泊施設
274	12	2	樹木医16期				16	16	樹木医16期勉強会	清澄宿泊施設
275	12	2	千葉県立中央博物館	8				8	フロラ調査（地衣類）	清澄宿泊施設
276	12	1	フォーラムネット				4	4	木材利用拡大の具体を検討するため森林現状を勉強する。	日帰り
277	12	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（12/12-13）非汚染地域大気環境調査（12/27）	日帰り
278	12	1	房総丘陵トレイルラン実行委員会事務局				7	7	トレイルランレースのコース下見	日帰り
279	12	4	東大 農・森林経理学研究室	12	36			48	森林計測学実習	清澄宿泊施設
280	12	1	千葉大学 大学院理学研究科	2				2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（メンテナンス）	日帰り
281	12	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	平成25年度野外講座「南房総会所の森から」下見	日帰り
282	12	2	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	2	2	4	2	10	森林水文に関する現地観測	清澄宿泊施設2
283	12	1	千葉県森林インストラクター会				5	5	平成25年度野外講座「南房総会所の森から」下見	日帰り
284	12	2	渋谷教育学園幕張中学高等学校 ワンダーフォーゲル部	9			20	29	東大演習林周辺での自然散策と登山活動	清澄宿泊施設
285	12	1	NPO法人房総の野生生物調査会				1	1	ブナ科植物の堅果落下量の経年変化	日帰り
286	12	1	千葉県衛生研究所 医動物研究室	3				3	演習林内の山林で捕獲した小型-大型哺乳類のマダニ保有状況調査とマダニ類の採取（マダニに関する講義を千葉演習林運営会議にて行う）	日帰り
287	1	12	鴨川市有害鳥獣対策協議会				16	16	有害鳥獣捕獲	日帰り
288	1	8	君津市経済部農林振興課				8	8	箱わなによる有害獣捕獲を実施するため	日帰り
289	1	5	NPO法人房総の野生生物調査会				5	5	生態観察用のヤマビルの飼育管理	日帰り
290	1	12	千葉県環境生活部大気保全課				16	16	化学物質大気環境調査（1/15-16）ダイオキシソ類大気環境調査（1/6-14）	日帰り
291	1	1	千葉県森林インストラクター会				5	5	ハイキングコース選定のための下見	日帰り
292	1	2	統計数理研究所	4 (2)				4	3次元測定技術による幹材積測定方法の構築	清澄宿泊施設2
293	1	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り
294	1	2	森林総合研究所	6				6	研究会プロ・地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価	日帰り
295	1	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り
296	1	1	内浦山県民の森				4	4	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り
297	1	1	国立歴史民俗博物館	3	2			5	東大演習林内の炭窯跡調査	日帰り
298	1	1	内浦山県民の森				3	3	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
299	1	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	平成25年度野外講座「南房総会所の森から」下見	日帰り
300	1	1	筑波大学 生命環境系	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り
301	1	1	内浦山県民の森				2	2	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」下見	日帰り
302	1	2	千葉県立中央博物館	2			6	8	フロラ調査（地衣類）	清澄宿泊施設
303	1	1	東大 農・森林理水及び砂防工学研究室	1		2	1	4	森林水文に関する現地観測	日帰り
304	1	1	首都大学東京 植物系統分類学研究室			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
305	1	1	NHKエデュケーショナル				2	2	教育番組撮影下見	日帰り
306	1	1	内浦山県民の森				35	35	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」実施	日帰り
307	1	1	慶應義塾大学 経済学部生物学教室	1				1	映像モニタリングによるカエル類の生息調査	日帰り
308	1	1	内浦山県民の森				35	35	平成25年度催事「清澄山系の源流をゆく」開催	日帰り
309	1	2	森林総合研究所 森林微生物研究領域	5				5	スギ辺材腐朽の発生機構	清澄宿泊施設
310	1	1	統計数理研究所	1 (1)				1	3次元測定技術による幹材積測定方法の構築	日帰り
311	1	2	国立歴史民俗博物館	14	1	2		17	生業調査	清澄宿泊施設2
312	1	1	千葉県森林インストラクター会				39	39	野外講座「南房総会所の森から清澄寺へ」実施	日帰り
313	1	1	東大 農・附属演習林教育研究センター	1				1	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
314	1	1	君津市上総公民館				15	15	上総公民館松丘分館趣味教養講座「炭焼き体験教室」	日帰り
315	1	1	東大 農・事務部総務係長	3				3	奥技事務部長による千葉演習林視察	日帰り
316	1	1	千葉県勤労者山岳連盟				55	55	第30回ロングハイク	日帰り
317	1	2	統計数理研究所	4 (2)				4	3次元測定技術による幹材積測定方法の構築	清澄宿泊施設2
318	1	1	千葉県衛生研究所 医動物学研究室	2				2	敷地内の山林で捕獲した小型～大型哺乳類のマダニ保有状況調査とマダニ類の採取	日帰り
319	1	1	マジックデスク（農学部広報誌「弥生」制作室）				3	3	広報誌「弥生」の表紙写真撮影候補ロケハン	日帰り
320	1	1	千葉県森林インストラクター会				6	6	東大千葉演習林において南房総の樹木、草本の植生を観察する野外講座の下見のため。	日帰り
321	2	4	鴨川市有害鳥獣対策協議会				5	5	有害鳥獣捕獲	日帰り
322	2	1	君津市経済部農林振興課				1	1	箱わなによる有害獣捕獲を実施	日帰り
323	2	1	東大 農・千葉演習林				23	23	森林博物資料館一般公開	日帰り
324	2	3	東大 農・千葉演習林	18				18	平成25年度技術職員研修会開催	清澄宿泊施設
325	2	3	東大 農・千葉演習林（千葉演習林+NPO法人房総の野生生物調査会+千葉演習林ボランティア会）	34			20	54	ニホンジカ生息数調査	清澄宿泊施設
326	2	1	統計数理研究所	1 (1)				1	3次元測定技術による幹材積測定方法の構築	日帰り
327	2	2	日本大学文学部地理学科		2	2		4	千葉演習林の炭窯跡の分布調査	札郷宿泊施設
328	2	1	千葉県環境生活部大気保全課				1	1	化学物質大気環境調査（2/12-13） 非汚染地域大気環境調査（2/27）	日帰り
329	2	4	東大 農・千葉演習林	14	112			126	全学体験ゼミナール「房総の森と生業（なりわい）を学ぶ」	清澄宿泊施設
330	2	3	国立歴史民俗博物館	29		6		35	生業調査	清澄宿泊施設2
331	2	2	東大 農・附属演習林教育研究センター	2				2	高芽接ぎによるヒメコマツ孤立木からの健全種苗生産に向けた取り組み	日帰り
332	2	1	房総丘陵トレイルラン事務局				3	3	房総丘陵トレイルラン開催のための林道及びトレイルの状況確認	日帰り
333	2	2	千葉大学 大学院理学研究科	2				2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究（メンテナンス）	日帰り
334	2	2	東京学芸大学 環境科学分野	2	24	5		31	地質調査法の実習	札郷宿泊施設
335	3	1	東京学芸大学 環境科学分野	1	12	3		16	地質調査法の実習	
336	3	10	鴨川市有害鳥獣対策協議会				12	12	有害鳥獣捕獲	日帰り
337	3	3	千葉県環境生活部大気保全課				4	4	化学物質大気環境調査（3/3-4） 非汚染地域大気環境調査（3/31）	日帰り
338	3	1	東大 農・附属演習林企画部	1				4	本多静六記念館企画展示への協力	日帰り
339	3	1	筑波大学 生命環境系（菅平高原実験センター）	1				1	照葉樹天然林におけるモチノキの存在様式と樹木-種子食性昆虫-鳥類間相互作用系の解明	日帰り

2013年度 全利用者（千葉演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
340	3	1	東大 総合文化研究科 広域科学専攻広域システム 科学系伊藤元己研究室	1				1	日本産ミズミソウ属植物についての 系統地理学的研究	日帰り
341	3	2	千葉演習林ボランティア 会Abies	4			19	23	Abies活動 総会と演習林を歩こう	札郷宿泊施設
342	3	1	東大 環境安全本部産業 医	2				2	産業医による千葉演習林巡視	日帰り
343	3	1	NPO法人樹の生命を守る会	1			29	30	清澄寺大スギの保全並びにスギカミ キリ防除について	日帰り
344	3	2	東大 農・富士癒しの森	2				2	演習林コンピュータネットワークシ ステム委員会業務	清澄宿泊施設
345	3	1	千葉県立君津青葉高等学 校 総合学科	6			8	14	ヒメコマツの保全、森林科学、演習 林で育苗されているヒメコマツの穂 木を譲渡し、青葉高校演習林内で挿 し木試験を実施し、衰退が懸念され ているヒメコマツの保全につなげる。	日帰り
346	3	2	千葉県立中央博物館	6			4	10	昆虫調査	札郷宿泊施設
347	3	1	千葉県立中央博物館	1			3	4	フロラ調査（地衣類）	日帰り
348	3	1	東大 農・造林学研究室	1				1	「造林学実験」実習地の下見及び実 習内容打合せ	日帰り
349	3	1	東大 農・環境安全管理 室	3			2	5	千葉演習林事故現場見分のため。	日帰り

※カッコ内の数字は外国人利用数を示す

利用者数合計 10,213
利用件数 349

2013年度 全利用者（北海道演習林）

演習林名：北海道演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
2	5	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
3	5	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	宿泊なし
4	5	3	農林総合研究センター茶業研究所	3				3	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	宿泊なし
5	5	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	宿泊なし
6	5	2	北海道大学	2				2	積雪制御による天然更新促進技術の開発	山部宿泊施設
7	5	1	富良野市生涯学習センター				30	30	博物館事業・富良野の自然に親しむ集い	日帰り
8	5	1	東京大学総合文化研究科	1				1	トドマツ標高別集団の適応形質の探索と環境条件の計測	山部宿泊施設
9	5	4	東京大学秩父演習林	8		8 (4)		16	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
10	5	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	8	4		14	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	日帰り
11	5	1	北見木材株式会社				2	2	アカエゾマツ人工林の現状及び今後の展望に関する見学・相談	日帰り
12	5	2	北海道立皇后研究機構地質研究所	2				2	旧石綿鉱山跡地の現地調査	セミナーハウス
13	5	1	富良野市立麓郷小中学校	1				1	新入生植樹のための苗木提供	山部宿泊施設
14	5	1	富良野市立東山保育所	10			31	41	春の遠足	
15	5	1	東京大学北海道演習林				20	20	神社山自然観察路春季一般公開	日帰り
16	5	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
17	5	1	北海道大学	1				1	積雪制御による天然更新促進技術の開発	日帰り
18	6	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
19	6	2	東京大学寿芸研究所	2				2	エゾマツの暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設
20	6	4	附属演習林	4				4	ウダイカンバ二次林の地がき地における更新実態の解明	山部宿泊施設
21	6	3	帯広畜産大学生命科学研究部	3		14		17	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	日帰り
22	6	5	演習林教育研究センター			5		5	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
23	6	4	秩父演習林	8		4		12	葉食性昆虫カラマツアカラハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
24	6	1	北海道演習林	2				2	ナキウサギの保全に関する基礎調査	日帰り
25	6	2	東京大学教育学部附属中等教育学校	2				2	7/2～7/5の修泊研修に伴う研修計画の現地確認	宿泊なし
26	6	2	森林総合研究所	2				2	カバノキ類の着花量・開花時期に関する研究調査	山部宿泊施設
27	6	3	森林科学専攻森林動物学研究室	3		3		6	花岡岩溪流における底生動物の形態特性	宿泊なし
28	6	3	愛知県立芸術大学	9		12		21	美術特別研究「庭園表現A」	山部宿泊施設
29	6	1	東京大学北海道演習林				18	18	公開セミナー	日帰り
30	6	1	森林総合研究所				2	2	ミズナラ産地試験地をもちいた局所適応と山地間交配に関する研究	日帰り
31	7	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
32	7	3	東京大学樹芸研究所	3				3	エゾマツの暗色雪腐れ病等の病害防除に関する研究	山部宿泊施設
33	7	4	東京大学教育学部附属中等教育学校	12			161	173	修泊研修 北海道コース	セミナーハウス
34	7	7	北海道大学地球環境科学院	7		14		21	外来種カワマスと在来種アメモサスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
35	7	1	旭川木工コミュニティキャンプ				60	60	旭川木工コミュニティキャンプ 森づくりワークショップ	日帰り
36	7	1	富良野市立樹海小学校	3			16	19	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	日帰り
37	7	1	東京大学北海道演習林	7			31	38	大麓山ハイキング登山会	日帰り
38	7	1	北海道演習林	2			1	3	ナキウサギの保全に関する基礎調査	日帰り
39	7	21	北海道演習林			42 (42)		42	マレーシアサバ大学インターンシップ受入	山部宿泊施設
40	7	5	筑波大学生命環境系	5		10		15	亜高山帯針葉樹に侵入する樹皮キイムシと関係する <i>Grosmania piceiperda</i> complex の分類学的研究	山部宿泊施設
41	7	2	帯広畜産大学生命科学研究部	4	10	4		18	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
42	7	3	農林総合研究センター茶業研究所	3				3	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	宿泊なし

2013年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
43	7	1	北海道大学	1				1	積雪制御による天然更新促進技術の開発	日帰り
44	7	1	博士山ブナ林を守る会				1	1	森林施業と野生生物保護の見学	日帰り
45	7	1	[東京大学の森]育成資金寄付者				1	1	記念樹の見学	日帰り
46	7	2	秩父演習林	2		2 (2)		4	葉食性昆虫カラマツアカハラハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
47	7	12	演習林教育研究センター			12		12	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	日帰り
48	7	2	東京大学農学部森林科学専攻	2				2	多様な施業を組み合わせた時空間森林計画に関する研究	日帰り
49	7	4	東京大学演習林教育研究センター	8		8 (4)		16	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
50	7	2	北海道造林協会				4	4	林業技術研修の事前打ち合わせ	山部宿泊施設
51	7	2	東京大学北海道演習林				34	34	サマーサイエンスキャンプ2012「森林の未来は？～森を知り、持続的な取扱いを考える」	セミナーハウス
52	7	1	下川町役場				2	2	コンテナ苗栽培施設及び苗木栽培の見学	日帰り
53	8	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
54	8	31	演習林教育研究センター			31		31	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
55	8	2	東京大学北海道演習林				34	34	サマーサイエンスキャンプ2012「森林の未来は？～森を知り、持続的な取扱いを考える」	セミナーハウス
56	8	1	公益財団法人地球環境戦略研究機関				16 (13)	16	北海道演習林にて実施されているJ-VERプロジェクト概要を知るとともに現地を視察	日帰り
57	8	2	東京大学演習林教育研究センター	2		2		4	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
58	8	5	東京大学樹芸研究所	5	48			53	全学体験ゼミ「森に学ぶ（ふらの）」	山部宿泊施設
59	8	1	個人				1	1	樹木状況	日帰り
60	8	7	信州大学総合工学系研究科	8 (8)		7		15	緯度傾度に沿った種多様性を形成するメカニズムを理解するため、東南アジアから日本の北海道まで標高傾度に沿った群集構造の変化を多スケールの調査・解析を明らかにする	宿泊なし
61	8	13	明治コンサルタント株式会社				208	208	測量調査及び環境調査	山部宿泊施設
62	8	3	筑波大学大学院生命環境科	9	12	18		39	筑波大学林政学分野大学生・大学院生実習	セミナーハウス
63	8	3	北海道札幌啓成高等学校	12			57	69	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修A（自然環境）	セミナーハウス
64	8	1	韓国 忠南大学	1 (1)		1 (1)		2	DMZ植物園の運営計画に関する研究	日帰り
65	8	2	東京大学	2			2	4	林内視察	山部宿泊施設
66	8	6	東京大学演習林教育研究センター	12		18 (6)		30	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
67	8	6	東京大学演習林教育研究センター	6				6	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
68	8	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	20	2		24	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	宿泊なし
69	8	12	北海道大学地球環境科学院			24 (12)		24	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
70	8	1	同志社女子大学現代社会学部	1	18			19	インターンシップ2	日帰り
71	8	3	東京大学千葉演習林	3				3	トドマツF1雑種における由来標高が繁殖に及ぼす影響と遺伝的変異の解明	山部宿泊施設
72	8	1	北海道帯広農業高等学校	2			40	42	帯広農業高校 森林科学科1年 見学	日帰り
73	8	1	筑波大学大学院生命環境科	1		3		4	東京大学北海道演習林及び周辺箇所の砂防等状況調査	セミナーハウス
74	9	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
75	9	6	演習林教育研究センター			6		6	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	山部宿泊施設
76	9	1	帯広畜産大学生命科学研究部	1	10	1		12	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	宿泊なし
77	9	5	北海道大学地球環境科学院			10		10	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
78	9	4	東京大学農学部森林科学専攻	4	40	8		52	森林科学総合実習	セミナーハウス
79	9	2	名古屋大学生命農学研究科			2		2	樹木根見学（試験地下見）	山部宿泊施設
80	9	8	東京大学森林科学専攻演習林				8	8	地がきによるウダイカンバ更新施業に関する研究	山部宿泊施設
81	9	1	NPO法人とかちキムカムイの森				16	16	東大演習林で森林・林業を学ぶ	日帰り

2013年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
82	9	3	東京大学農学生命科学研究科森林経理学研究室			3		3	リモートセンシングを用いた針広混交林の樹種判別および林種区分の開	宿泊なし
83	9	4	秩父演習林	12		4		16	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
84	9	3	北海商科大学商学部	24		27		51	アメリカ政治史研究富良野合宿	セミナーハウス
85	9	1	北海道水源林造林協議会				38	38	北海道水源林造林協議会道内林業技術研修	日帰り
86	9	2	帯広畜産大学生命科学研究部	2	14	2		18	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	山部宿泊施設
87	9	4	東京大学新領域創成科学研究科	16		52 (4)		68	陸域生態学実習	セミナーハウス
88	9	2	東京大学総合文化研究科	2				2	北方針葉樹における標高適応に関わるフェノロジーの分子遺伝機構	山部宿泊施設
89	9	2	東京大学総合文化研究科	2				2	カツラ属局物間での遺伝子浸透に関する分子生態学的研究	宿泊なし
90	9	1	旭川林産協同組合				1	1	北海道産銘木市ポスター掲載写真の撮影	日帰り
91	9	1	海外林業コンサルタント協会				13 (12)	13	地域住民の参加による多様な森林保全（JICA研修）	日帰り
92	9	2	東北芸術工科大学	4	14			18	「歴史遺産調査演習B」北海道研修	セミナーハウス
93	9	2	森林科学専攻森林動物学研究室			2		2	花岡岩溪流における底生動物の形態特性	山部宿泊施設
94	9	3	秩父演習林	3				3	食葉被害の程度と穿孔虫により加害状況の関係調査	山部宿泊施設
95	9	1	帯広畜産大学生命科学研究部	3		1		4	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	日帰り
96	9	5	東京大学北海道演習林		10 (5)			10	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献する一持続可能な森づくりへの挑戦」	山部宿泊施設
97	9	1	オックスフォード大学付属植物園	3 (3)				3	オックスフォード大学付属植物園の日本原産植物コレクションの充実	セミナーハウス
98	10	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
99	10	4	東京大学北海道演習林		8 (4)			8	東京大学体験活動プログラム「森が社会に貢献する一持続可能な森づくりへの挑戦」	山部宿泊施設
100	10	6	オックスフォード大学付属植物園	18 (18)				18	オックスフォード大学付属植物園の日本原産植物コレクションの充実	セミナーハウス
101	10	2	富良野市立樹海小学校	6			27	33	総合的な学習の時間「樹海の森へ」	日帰り
102	10	3	北海道大学理学研究院附属地震火山研究観測センター	3		3		6	GPS観測により、十勝岳の火山活動に伴う地殻変動を明らかにする。	宿泊なし
103	10	1	東京大学北海道演習林	4			38	42	神社山自然観察路秋季一般公開	日帰り
104	10	1	森林総合研究所				2	2	北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツ早出し健全苗生産システムの確立	日帰り
105	10	1	北海道環境生活部環境局	2				2	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	日帰り
106	10	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			15	17	道内研修	日帰り
107	10	11	秩父演習林	44 (12)		22		66	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部長期宿泊施設
108	10	14	北海道大学地球環境科学院			42 (14)	14	56	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
109	10	1	北海道森林管理局				13	13	岐阜県議会農林関係議員道内農林業事情調査	日帰り
110	10	1	附属演習林	1				1	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの種および雑種識別法の確立	宿泊なし
111	10	3	東京大学北海道演習林	66				66	平成25年度 技術職員等試験研究・研究会議	セミナーハウス
112	10	1	北海道演習林	1			1	2	ナキウサギの保全に関する基礎調査	宿泊なし
113	10	1	帯広畜産大学生命科学研究部	1		2		3	樹上性小型ほ乳類の森林利用性に関する基礎生態学研究	日帰り
114	10	3	農林総合研究センター茶業研究所	6				6	茶樹の極寒冷地育種・栽培企画試験	日帰り
115	10	3	東京大学千葉演習林	3				3	基盤データ整備委員会GIS部門での指導方法の研修	日帰り
116	10	1	北海道森林整備担い手支援センター				20	20	「緑の雇用」フォレストワーカー2年次集合研修	日帰り
117	11	30	森林科学専攻			30		30	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
118	11	1	東京大学千葉演習林	1				1	基盤データ整備委員会GIS部門での指導方法の研修	日帰り
119	11	6	東京大学国際農業開発学コース			6 (6)		6	天然林の林種区分に関する修士論文打合せと現地見	山部宿泊施設
120	11	4	秩父演習林	4		4		8	葉食性昆虫カラマツハラアカの個体郡動態の時空間解析	山部宿泊施設
121	11	2	名古屋大学森林資源利用学研究分野	2	8	4		14	森林資源利用セミナー	山部宿泊施設

2013年度 全利用者（北海道演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
122	11	4	附属演習林	4		4		8	冬期屋内保管したエゾマツコンテナ苗の現地調査	山部宿泊施設
123	11	4	北海道環境生活部環境局				16	16	北海道中央山系ヒグマ高密度生息密度の推定調査	宿泊なし
124	12	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
125	12	10	北海道大学地球環境科学院		20	10		30	外来種カワマスと在来種アメマスの種間競争と交雑調査	山部宿泊施設
126	1	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
127	1	1	独立行政法人森林総合研究所林木育種センター				3	3	カラマツ族のホルモン着花促進処理のスクリーニング	日帰り
128	2	28	森林科学専攻			28		28	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設
129	2	2	北海道地方環境事務所				8	8	シマフクロウ保護増殖事業に係るシマフクロウ生息状況調査及び巣箱の上京調査	宿泊なし
130	2	3	北海道演習林		105			105	教養学部全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ	セミナーハウス
131	3	31	森林科学専攻			31		31	針広混交林の動態を予測する個体ベース森林動態モデルの開発と将来予測	山部長期宿泊施設

※カッコ内の数字は外国人利用数を示す

利用者数合計 2,616
利用件数 131

2013年度 全利用者（秩父演習林）

演習林名：秩父演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	特定非営利活動法人 バードリサーチ	1			1	2	モニタリングサイト1000森林コアサ イト鳥類調査	日帰り
2	4	3	東京大学生態水文学研究 所	12 (9)	53 (53)	63 (63)		128	マレーシアサバ大学国際熱帯林業学 部4年生「国際学生実習」	川俣学生宿舎 (食事あり)
3	4	1	千葉大学大学院理学研究 科生物学コース		1	2		3	シカ食害調査	日帰り
4	4	3	東京大学大学院新領域創 成科学研究科自然環境学 専攻斎藤研	9		6		15	ロボットカメラシステムメンテナン スとマイク設置など	栃本宿舎(自炊 泊)
5	4	1	秩父山塊イヌワシ調査グ ループ				1	1	秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
6	4	1	新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究セ ンター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
7	4	1	秩父山塊イヌワシ調査グ ループ				2	2	秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
8	4	1	埼玉県農林総合研究セン ター茶業研究所 栽培担 当	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
9	4	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林環境科学 専修・演習林	4	2	2		8	シカの食害が硝酸体窒素の流出に及 ぼす影響に関する研究	日帰り
10	4	1	演習林企画部	2				2	自動撮影カメラのメディア交換およ び星野写真の撮影	日帰り
11	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林科学専攻	1				1	森林土壌学実習下見	日帰り
12	4	2	東京大学大学院新領域創 成科学研究科自然環境学 専攻斎藤研	2				2	ロボットカメラメンテナンス、早朝 調査	テント・幕営
13	4	1	東京大学大学院新領域創 成科学研究科自然環境学 専攻	2				2	カスミザクラ観察システムのメンテ ナンス作業	日帰り
14	4	1	秩父山塊イヌワシ調査グ ループ				2	2	秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
15	4	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調 査（確認）	日帰り
16	4	2	埼玉昆虫談話会	2			10	12	秩父演習林及びその周辺の昆虫相 データベース構築	川俣学生宿舎 (自炊泊)
17	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林動物学研 究室	1		1	2	4	科研「森林昆虫-共生微生物の共進 化と温度反応及び気候変動から予測 される動態予測」の研究のためのサ ンプル採集	日帰り
18	4	1	東京大学大学院新領域創 成科学研究科自然環境学 専攻	2		3		5	フェノロジー撮影メンテナンスおよ び見学	日帰り
19	4	1	東京大学大学院総合文化 研究科広域科学専攻広域 システム科学系			1		1	日本産ヒキガエルの幼生期における 社会行動	日帰り
20	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
21	4	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科	4	6	12 (4)		22	森林政策学演習および課題「山村社 会における歴史と文化の価値の再 考」	川俣学生宿舎 (食事あり)
22	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科生物材料科学専 攻木材科学研究室	1				1	樹木組織等に含まれる多糖フィブリ ルの性状分析	日帰り
23	4	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科長付 フィールド研究支援石田研 究室	1				1	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、 長期生態系調査	日帰り
24	4	1	秩父山塊イヌワシ調査グ ループ				1	1	秩父地域における大型猛禽類の生 息実態調査	日帰り
25	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
26	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科附属演習林富 士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
27	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林科学専攻	1				1	「LiDARデータを使用した森林作業道 路面侵食傾向分析」における必要資 料の閲覧	日帰り
28	5	2	東京大学大学院農学生命 科学研究科生態システム 学専攻森園管理学研究室	2	2	2		6	修士論文作成：シオジ(<i>Fraxinus spaethiana</i> Ling.)の遺伝的多様性に 関する研究	日帰り
29	5	1	東京大学大学院農学生命 科学研究科森林利用学研 究室	2			34	36	急傾斜地作業道作設技術研修見学	日帰り
30	5	2	NPO法人 房総の野生生 物調査会	2			12	14	秩父演習林・荒川源流域の自然観察 会	栃本宿舎(自炊 泊)
31	5	2	早稲田大学人間科学学術 院	2		4		6	野生動物（クマ・シカ・リス・ネズ ミ）の生態学的研究	栃本宿舎(自炊 泊)
32	5	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調 査（確認）部材撤去	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
33	5	2	埼玉県高体連登山専門部				272	272	学校総合体育大会登山の部開催のため	テント・幕営
34	5	1	埼玉県立大滝げんきプラザ	4				14	主催事業 山で遊ぼう「新緑の荒川源流ハイクと秩父小昼飯作り」実施	日帰り
35	5	6	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻木材科学研究室	6				6	樹木組織等に含まれる多糖フィブリルの性状分析	日帰り
36	5	1	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	フェノロジー撮影メンテナンス	日帰り
37	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	8	4	12		24	森林土壌学実習	川俣学生宿舎(食事あり)
38	5	2	富士癒しの森研究所	6	42			48	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」	川俣学生宿舎(食事あり)
39	5	2	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	2				2	シオジの開花結実特性	日帰り
40	5	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オープンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認	日帰り
41	5	1	富士癒しの森研究所	2				2	全学体験ゼミナール「危険生物の知識」の下見と準備	日帰り
42	5	2	特定非営利活動法人 パードリサーチ	4				4	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣自炊宿舎
43	5	5	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	5				5	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
44	5	2	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		2			2	シカの食害が硝酸体素素の流亡に及ぼす影響に関する研究	栃木宿舎(自炊泊)
45	5	1	東京大学空間情報科学研究センター	1				1	フェノロジー撮影メンテナンス	日帰り
46	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻齋藤研	2				2	大滝小学校打ち合わせ、ロボットカメラメンテナンス、早朝調査	日帰り
47	5	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
48	5	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
49	5	1	東京大学総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系	2		1		3	カツラ属植物間での遺伝子浸透に関する分子生態学的研究	日帰り
50	5	2	埼玉県環境部秩父環境管理事務所 企画調整・自然公園担当	6				6	秩父多摩甲斐国立公園登山道巡視	日帰り
51	5	4	早稲田大学 人間科学学術院	4		8		12	野生動物（クマ・シカ・リス・ネズミ）の生態学的研究	栃木宿舎(自炊泊)
52	5	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
53	5	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
54	5	1	埼玉県立自然の博物館	4				4	資料収集（昆虫類）、奥秩父の標高1000m付近の植生調査	日帰り
55	5	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担当	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
56	5	6	東京大学秩父演習林	19	42	11		72	シカ柵試験地測量・毎木調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
57	5	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
58	5	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1	5	1		7	シカ柵調査地土壌調査に関する事前調査、モノレール講習	日帰り
59	5	3	独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所滝川ダム管理所				15	15	河川水辺の国勢調査の陸上昆虫、クモ類調査	日帰り
60	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻木材科学研究室	4				4	樹木組織等に含まれる多糖フィブリルの性状分析	日帰り
61	5	2	東京大学秩父演習林	3			35	38	春の自由見学日	日帰り
62	5	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
63	5	1	東京大学秩父演習林		6			6	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	日帰り
64	5	1	秩父市立大滝小学校	8 (1)			11	19	小学生への学習指導	日帰り
65	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	ロボットカメラデータ回収	日帰り
66	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	ロボットカメラデータ回収	日帰り
67	6	2	早稲田大学人間科学部人間環境学科野生動物(三浦)ゼミ	4	32	6		42	ゼミ学生のフィールド実習	川俣学生宿舎(食事あり)
68	6	1	森林総合研究所 多摩森林科学園 教育的資源研究グループ	2				2	サクラの系統保全と活用に関する研究	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
69	6	3	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	3	69	3	6	81	学部1年生 野外基礎実習	川俣学生宿舎(食事あり)
70	6	2	東京大学秩父演習林	8	14	4		26	シカ柵試験地測量・毎木調査	川俣学生宿舎(食事あり)
71	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻木材科学研究室	4				4	樹木組織等に含まれる多糖フィブリンの性状分析	日帰り
72	6	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	4				4	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
73	6	2	東京大学秩父演習林		12			12	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	外部宿泊
74	6	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			8(2)		8	シカ食害調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
75	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	2		4		6	作業道路面の土壌支持力調査	栃本宿舎(自炊泊)
76	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	2(1)		5		7	秩父演習林見学、観測機器の撤収	日帰り
77	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	2				2	森林流域からの水・土砂流出にともなう放射生各種の流出量の把握	日帰り
78	6	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
79	6	2	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		2			2	シカの食害が硝酸体窒素の流亡に及ぼす影響に関する研究	日帰り
80	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長付フィールド研究支援石田研究室	4				4	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	入川コンテナハウス1
81	6	1	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物資源科学専攻	2		1		3	国立公園地域の森林管理と施業について聞き取り調査	日帰り
82	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	3		6		9	作業道路面の土壌支持力調査	栃本宿舎(自炊泊)
83	6	1	埼玉県農林総合研究センター 森林・緑化研究所 木材利用・林産担当	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
84	6	1	埼玉県環境部秩父環境管理事務所	4				4	シカ害調査	日帰り
85	6	3	東京大学秩父演習林	6	2			8	コウモリ類のモニタリングのための捕獲調査地・音声調査	日帰り
86	6	2	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	4				4	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認、アサガオ移植場所下見、雁坂峠周辺で環境データ収集	外部宿泊
87	6	1	株式会社野生動物保護管理事務所、東京大学大学院農学生命科学研究科農学共同研究員	1				1	ニホンジカの生息状況と試験捕獲	日帰り
88	6	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
89	6	2	横浜国立大学環境情報研究員土壌生態学研究室	2				2	気温上昇がヤスデの食性に及ぼす影響	栃本宿舎(自炊泊)
90	6	4	早稲田大学 人間科学学術院	4	4	8		16	野生動物(クマ・シカ・リス・ネズミ)の生態学的研究	栃本宿舎(自炊泊)
91	6	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
92	6	1	東京大学樹芸研究所	1	12			13	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	日帰り
93	6	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認、アサガオ移植場所下見、雁坂峠周辺で環境データ収集	日帰り
94	6	3	千葉大学園芸学研究科環境園芸学専攻緑地生態学研究室			3		3	食肉目種によるサクラ属の捕食と、発芽率の関係について	栃本宿舎(自炊泊)
95	6	2	東京大学農学部森林生物学専修		2			2	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
96	6	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	日帰り
97	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
98	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻木材科学研究室	1				1	樹木組織等に含まれる多糖フィブリンの性状分析	日帰り
99	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長付フィールド研究支援石田研究室	3				3	長期生態系調査、モニタリング1000森林調査	日帰り
100	6	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調査(確認) 部材撤去	日帰り
101	7	1	(社)秩父観光協会大滝支部				500	500	入川溪谷ハイキング	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
102	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
103	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
104	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
105	7	1	埼玉県立秩父農工科学高等学校 森林科学科	3			41	44	樹木採取実習	日帰り
106	7	2	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		2			2	シカの食害が硝酸体窒素の流出に及ぼす影響に関する研究	日帰り
107	7	1	埼玉県農林総合研究センター 森林・緑化研究所 木材利用・林産担当	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
108	7	1	秩父演習林	1				1	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
109	7	1	秩父演習林	1				1	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
110	7	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
111	7	1	(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター(NBRC)生物資源課	4 (2)				4	産業有用糸状菌・酵母・藻類の探索と収集	日帰り
112	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	1			3	4	森林流域からの水・土砂流出にともなう放射生各種の流出量の把握	日帰り
113	7	3	千葉大学園芸学研究科環境園芸学専攻緑地生態学研究室			3		3	食肉目種によるサクラ属の捕食と、発芽率の関係について	川俣学生宿舎(自炊泊)
114	7	2	千葉大学園芸学研究科環境園芸学専攻緑地生態学研究室			2		2	食肉目種によるサクラ属の捕食と、発芽率の関係について	川俣学生宿舎(自炊泊)
115	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	長期生態系調査、モニタリング1000森林調査	日帰り
116	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻森園管理学研究室	3		6		9	修士論文作成：シオジ(<i>Fraxinus spaethiana</i> Ling.)の遺伝的多様性に関する研究	川俣学生宿舎(食事あり)
117	7	1	東京大学空間情報科学研究センター	2		1		3	電気さく故障箇所検出技術のフィールド評価	日帰り
118	7	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
119	7	1	演習林企画部	4 (2)				4	インターンシップ学生見学および自動撮影カメラのメディア交換	日帰り
120	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	3				3	鳥類標識疾病調査、ミズナラ結実、長期生態系調査	日帰り
121	7	4	早稲田大学 人間科学学術院	4	4	8		16	野生動物(クマ・シカ・リス・ネズミ)の生態学的研究	栃本宿舎(自炊泊)
122	7	4	和歌山大学地域創造支援機構	4			16	20	コウモリ調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
123	7	2	千葉大学大学院園芸学研究科	4 (2)			2 (2)	6	シカ柵調査地視察	日帰り
124	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	栃本宿舎(食事あり)
125	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	森林作業道の工法と路体支持力の特徴	日帰り
126	7	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	日帰り
127	7	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			6		6	シカ食害調査	栃本宿舎(自炊泊)
128	7	2	大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学	6	20	10		36	フィールドワーク実習	川俣学生宿舎(食事あり)
129	7	2	埼玉昆虫談話会	10	2		38	50	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎(食事あり)
130	7	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担当	5				5	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
131	7	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター 森林分子生態学研究室	1				1	シカ不採食樹木アセビ(<i>Pieris japonica</i>)の分布拡大に関する研究	日帰り
132	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	電気柵故障箇所検出技術のフィールド評価に関する機器調整	日帰り
133	7	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	4 (1)				4	オンブデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認、アサガオ移植場所下見	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
134	7	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラの調整	日帰り
135	7	1	株式会社野生動物保護管理事務所、東京大学大学院農学生命科学研究科農学共同研究員	1				1	ニホンジカの生息状況と試験捕獲	日帰り
136	7	1	特定非営利活動法人パードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	日帰り
137	7	1	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	電気さく故障箇所検出技術のフィールド評価	日帰り
138	7	2	東京大学農学部森林生物学専修		2			2	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	川俣自炊宿舎
139	7	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	2 (1)	2		5	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
140	7	1	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	電気さく故障箇所検出技術のフィールド評価	日帰り
141	7	1	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻植物生態学研究室			1		1	秩父演習林の見学（特に根食性昆虫に関連して）	日帰り
142	7	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
143	7	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1	2			3	シカ柵調査地土壌調査方法の検討	日帰り
144	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
145	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
146	8	2	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		2			2	シカの食害が硝酸体窒素の流出に及ぼす影響に関する研究	日帰り
147	8	1	埼玉県農林総合研究センター 森林・緑化研究所 木材利用・林産担当	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
148	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林科学専攻	5	15			20	森林土壌学実験	川俣学生宿舎（食事あり）
149	8	4	首都大学東京理工学研究科生命科学専攻	8	20	8		36	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎（食事あり）
150	8	3	日本テレビ放送網株式会社報道局映像取材部				54	54	慰霊登山	日帰り
151	8	2	秩父演習林	6			38	44	公開講座「東大の森林で昆虫採集」	川俣学生宿舎（食事あり）
152	8	2	独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所滝川ダム管理所				10	10	河川水辺の国勢調査の陸上昆虫、クモ類調査	日帰り
153	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	2				2	鳥類標識疾病調査、長期生態系調査	テント・幕営
154	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
155	8	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラメディアの交換	日帰り
156	8	1	秩父宮記念三峰山博物館 客員研究員				1	1	野生動物調査	日帰り
157	8	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	2				2	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認	日帰り
158	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1		1		2	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	日帰り
159	8	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
160	8	4	早稲田大学 人間科学学術院	4	4	8		16	野生動物（クマ・シカ・リス・ネズミ）の生態学的研究	栃木宿舎（自炊泊）
161	8	1	東京大学空間情報科学研究センター	1	1 (1)	3 (1)		5	フェノロジー撮影メンテナンスおよび見学	日帰り
162	8	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1		2		3	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
163	8	2	千葉大学大学院園芸学研究科	2		6		8	シカ柵調査地土壌調査方法の検討	川俣自炊宿舎
164	8	2	筑波大学生命環境系	4				4	秩父演習林におけるシカ排除柵内外での植生調査	川俣自炊宿舎
165	8	3	株式会社野生動物保護管理事務所関西分室	6				6	ニホンジカGPS首輪装着個体のGPS首輪脱落及び捕獲のための誘因餌設置	日帰り
166	8	2	埼玉昆虫談話会	2			6	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
167	8	1	株式会社野生動物保護管理事務所、東京大学大学院農学生命科学研究科農学共同研究員	1				1	ニホンジカの生息状況と試験捕獲	日帰り
168	8	2	東京都立墨田川高等学校	18			40	58	生物実習	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
169	8	1	秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
170	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	16	68	16(4)		100	森林政策学演習及び課題「山村社会における歴史と文化の価値の再考」	川俣学生宿舎(食事あり)
171	8	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース		2	4		6	シカ食害調査	川俣自炊宿舎
172	8	2	千葉大学園芸学部緑地環境学科	2	2	2		6	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
173	8	2	東京大学農学部森林生物学専修		2			2	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
174	8	3	和歌山大学地域創造支援機構			1	8	9	コウモリ調査	川俣自炊宿舎
175	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	1				1	水質をトレーサに用いた秩父山地の水移動の解明	日帰り
176	8	1	筑波大学生命環境系	4				4	秩父演習林シカ柵モニタリング調査	日帰り
177	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林				5	5	森林流域からの水・土砂流出にともなう放射生各種の流出量の把握	日帰り
178	8	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調査(確認)	日帰り
179	8	1	東京大学空間情報科学研究センター	1		1		2	フェノロジー撮影メンテナンス	日帰り
180	8	1	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	電気柵故障箇所検出技術のフィールド評価	日帰り
181	9	2	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		2			2	シカの食害が硝酸体窒素の流出に及ぼす影響に関する研究	日帰り
182	9	1	埼玉県農林総合研究センター 森林・緑化研究所 木材利用・林産担当	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
183	9	2	(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター(NBRC)生物資源課	10				10	産業有用糸状菌・酵母・藻類の探索と収集	日帰り
184	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
185	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	ロボットカメラデータ回収	日帰り
186	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	6		24	2	32	フィールド科学総合演習(森圏管理実習)	川俣学生宿舎(食事あり)
187	9	1	森林総合研究所林木育種センター遺伝資源部	3				3	チチブミネバリ及びその他の球果採取	日帰り
188	9	4	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	8	8	8		24	野外の植物で生理生態学的測定を行う(植物科学野外実習)	川俣学生宿舎(食事あり)
189	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	9	45	6		60	森林植物学実験 野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
190	9	4	千葉大学園芸学部緑地環境学科	4	4	4		12	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
191	9	1	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
192	9	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
193	9	11	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	33	46	5		84	サントリーシカ柵下層植生調査	栃本宿舎(自炊泊)
194	9	4	早稲田大学 人間科学学術院	4	4	8		16	野生動物(クマ・シカ・リス・ネズミ)の生態学的研究	栃本宿舎(自炊泊)
195	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	日帰り
196	9	1	NPO もりと水の源流文化塾				22	22	環境学習	日帰り
197	9	1	東京大学空間情報科学研究センター	1		2		3	埼玉県立川越女子高校林間実習の受け入れのための現地見	日帰り
198	9	3	東京大学アジア生物資源環境研究センター 森林分子生態学研究室	3				3	シカ不採食樹木アセビ(<i>Pieris japonica</i>)の分布拡大に関する研究	日帰り
199	9	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担当	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
200	9	1	個人				18	18	入川軌道散策	日帰り
201	9	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎(自炊泊)
202	9	2	千葉大学大学院理学研究科生物学コース			6		6	シカ食害調査	川俣自炊宿舎
203	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	2				2	鳥類標識疾病調査、長期生態系調査	川俣自炊宿舎

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
204	9	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認	日帰り
205	9	2	東京都立豊島高等学校定時制	24				24	バイオームをどう教えるかを協議するための教員研修コース下見	日帰り
206	9	3	埼玉県立川越女子高等学校	11		11	36	58	S S H（スーパーサイエンスハイスクール）高大連携等林間実習	川俣学生宿舎（食事あり）
207	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	山地林生態系における湿性・乾性沈着量の定量化とそれらに影響している要因の解明	日帰り
208	9	1	秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
209	9	1	千葉大学大学院園芸学研究科	1		1		2	シカ柵調査地土壌調査方法の検討	日帰り
210	9	2	和歌山大学地域創造支援機構	2			10	12	コウモリ群集動態モニタリングのための音声調査システムの構築	川俣自炊宿舎
211	10	2	東京大学農学生命科学研究科森林環境科学専修・演習林		2			2	シカの食害が硝酸体窒素の流出に及ぼす影響に関する研究	日帰り
212	10	1	埼玉県農林総合研究センター 森林・緑化研究所 木材利用・林産担当	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
213	10	1	埼玉県立熊谷高等学校	3			8	11	熊谷高校 S S H 講義・演習	日帰り
214	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学	3	36	6		45	バイオマス科学実習・森林科学実習	外部宿泊
215	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
216	10	9	秩父演習林	18 (18)				18	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	外部宿泊
217	10	1	和歌山大学地域創造支援機構	1			4	5	コウモリ群集動態モニタリングのための音声調査システムの構築	日帰り
218	10	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラメディアの交換	日帰り
219	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
220	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
221	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
222	10	2	東京大学秩父演習林	4	4	2		10	サントリーシカ柵下層植生調査	川俣学生宿舎（自炊泊）
223	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	2				2	鳥類標識疾病調査、長期生態系調査	テント・幕営
224	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻森圏管理学研究室	3		4		7	修士論文作成：シオジ(<i>Fraxinus spaethiana</i> Ling.)の遺伝的多様性に関する研究	川俣学生宿舎（食事あり）
225	10	1	千葉大学大学院理学研究科生物学コース	1	2	4		7	シカ食害調査	日帰り
226	10	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻齊藤研	6		6		12	自然環境デザインスタジオ2	テント・幕営
227	10	1	独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所滝川ダム管理所				5	5	河川水辺の国勢調査の陸上昆虫、クモ類調査	日帰り
228	10	1	東京大学大学院理学系研究科附属植物園日光分園	2				2	ホソエカエデの稚樹・種子の分譲依頼	日帰り
229	10	4	早稲田大学 人間科学学術院	4	4	8		16	野生動物（クマ・シカ・リス・ネズミ）の生態学的研究	栃本宿舎（自炊泊）
230	10	1	東京大学秩父演習林	2	3	3		8	サントリーシカ柵下層植生調査	日帰り
231	10	2	埼玉昆虫談話会	2			8	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣自炊宿舎
232	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
233	10	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
234	10	2	千葉大学大学院園芸学研究科	2	6			8	シカ柵調査地土壌基礎特性の測定	栃本宿舎（自炊泊）
235	10	1	秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
236	10	1	秩父演習林			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
237	10	1	秩父演習林	2 (2)				2	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	日帰り
238	10	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	1	3 (1)		5	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
239	10	2	森林利用学研究室			6		6	林内作業車の走行自動化に関する研究	栃本宿舎(自炊泊)
240	10	1	東京大学空間情報科学研究センター	2				2	京都大学名誉教授山田勇演習林案内	日帰り
241	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	ミズナラ結実動態の遺伝特性	日帰り
242	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	ミズナラ結実動態の遺伝特性	日帰り
243	11	1	埼玉県農林総合研究センター 森林・緑化研究所 木材利用・林産担当	2				2	ナラ枯れを防ぐ武蔵野の森再生・循環利用システム技術の確立	日帰り
244	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
245	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
246	11	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
247	11	2	工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター	10	12	6		28	秩父鉾山周辺の地質調査	川俣学生宿舎(自炊泊)
248	11	2	東京大学秩父演習林		32 (4)			32	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	外部宿泊
249	11	1	東京大学秩父演習林		16 (2)			16	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	日帰り
250	11	1	しおじの会				1	1	野生動物に対する忌避剤の効果の調査(確認)	日帰り
251	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1				1	樹木内生菌の伝播・繁殖機構および樹体内共生機構の解明	日帰り
252	11	1	秩父演習林				7	7	入川軌道見学	日帰り
253	11	2	千葉大学大学院園芸学研究科	2	6			8	シカ柵調査地土壌基礎特性の測定	栃本宿舎(自炊泊)
254	11	1	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
255	11	1	埼玉県農林総合研究センター森林・緑化担当	2				2	有用広葉樹採取母樹確保事業	日帰り
256	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	リモートセンシング等を用いた二酸化炭素の森林吸収量の評価	日帰り
257	11	1	田無演習林	1				1	教養学部総合科目「森のエネルギーを使いこなす」下見	日帰り
258	11	8	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	8				8	ミズナラ結実動態の遺伝特性	日帰り
259	11	4	早稲田大学 人間科学学術院	4	4	8		16	野生動物(クマ・シカ・リス・ネズミ)の生態学的研究	栃本宿舎(自炊泊)
260	11	1	秩父演習林	10			6	16	教職員特別ガイド	日帰り
261	11	2	秩父演習林				43	43	秋の自由見学日	日帰り
262	11	2	秩父演習林				47	47	ワサビ沢展示室特別開室	日帰り
263	11	1	森林科学専攻(演習林教育研究センター)			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
264	11	4	演習林教育研究センター			4 (4)		4	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
265	11	2	埼玉昆虫談話会				4	4	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築	川俣学生宿舎(自炊泊)
266	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	ケヤキ、イヌシデ、チドリノキ、アワブキ、イヌブナの葉リターを林小より採取する	日帰り
267	11	1	秩父演習林	6 (6)			2	8	国際協力機構(JICA)「ベトナム国家生物多様性データベースシステム開発」	日帰り
268	11	3	秩父演習林	3 (3)				3	スイス国立樹木園内の日本見本林用植物採取	外部宿泊
269	11	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター 森林分子生態学研究室	1				1	シカ不採食樹木アセビ(<i>Pieris japonica</i>)の分布拡大に関する研究	日帰り
270	11	1	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
271	11	1	埼玉県秩父環境管理事務所	1				1	登山道の現場調査のため	日帰り
272	11	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻 斉藤研	6		6		12	自然環境デザインスタジオ2	テント・幕営
273	11	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2		2		4	リモートセンシング等を用いた二酸化炭素の森林吸収量の評価	日帰り
274	11	3	東京大学農学部森林生物学専修		3			3	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
275	11	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オゾンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
276	11	1	秩父演習林	1			1	2	入川軌道視察	日帰り
277	11	1	早稲田大学 人間科学学術院	1		1		2	野生動物（クマ・シカ・リス・ネズミ）の生態学的研究	日帰り
278	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			3		3	ケヤキ、イヌシデ、チドリノキ、アワブキ、イヌブナの葉リターを林小より採取する	日帰り
279	11	1	生圏システム学専攻（演習林教育研究センター）			1 (1)		1	葉食性昆虫カラムツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	日帰り
280	11	4	東京大学農学部森林生物学専修		4			4	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
281	11	1	演習林教育研究センター			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
282	11	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター 森林分子生態学研究室	1				1	シカ不採食樹木アセビ (<i>Pieris japonica</i>) の分布拡大に関する研究	日帰り
283	11	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター 森林分子生態学研究室	1				1	シカ不採食樹木アセビ (<i>Pieris japonica</i>) の分布拡大に関する研究	日帰り
284	12	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラメディアの交換	日帰り
285	12	2	田無演習林	6	36			42	教養学部総合科目「森のエネルギーを使いこなす」	川俣学生宿舎（食事あり）
286	12	1	千葉大学園芸学部緑地環境学科	1	1	3 (1)		5	生態系の物質循環特性に基づく緑地の「自然らしさ」の評価手法に関する研究	日帰り
287	12	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
288	12	1	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻			1		1	オオモミジの紅葉についての経過観察	日帰り
289	12	1	株式会社野生動物保護管理事務所、東京大学大学院農学生命科学研究科農学共同研究員	1				1	ニホンジカの生息状況と試験捕獲	日帰り
290	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科長付フィールド研究支援石田研究室	1				1	ミズナラ結実動態の遺伝特性	日帰り
291	12	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1		1		2	リモートセンシング等を用いた二酸化炭素の森林吸収量の評価	日帰り
292	12	4	演習林教育研究センター			4 (4)		4	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
293	12	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
294	12	1	株式会社野生動物保護管理事務所、東京大学大学院農学生命科学研究科農学共同研究員	1				1	ニホンジカの生息状況と試験捕獲	日帰り
295	12	1	森林科学専攻		1	1		2	スマートフォン材積測定アプリケーション動作実験	日帰り
296	12	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
297	12	1	森林科学専攻		1	1		2	木質バイオマス焼却灰の活用に関する研究	日帰り
298	12	1	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当	1				1	オープンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢確認	日帰り
299	12	6	演習林教育研究センター			6 (6)		6	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
300	12	1	演習林教育研究センター			1 (1)		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
301	12	1	秩父演習林				80	80	影森祭	日帰り
302	1	1	秩父宮記念三峰山博物館 客員研究員				1	1	野生動物調査	日帰り
303	1	2	特定非営利活動法人 バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣自炊宿舎
304	1	1	演習林企画部	1				1	自動撮影カメラメディアの交換	日帰り
305	1	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリ	日帰り
306	1	1	演習林企画部	3				3	本多静六記念館企画展示への協力	日帰り
307	1	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション	1				1	シオジの開花結実特性	日帰り
308	1	1	北海道大学大学院農学研究員環境資源学専攻昆虫体系学研究室	1				1	雌による精子の選択から生じる隠蔽された生殖的隔離：サッポロフキバッタの事例	日帰り
309	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
310	1	2	演習林教育研究センター			2 (2)		2	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
311	1	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				2	2	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	日帰り
312	1	1	日本女子大学理学部物質生物科学科			1		1	シダ植物カラクサシダ配偶体の成長動態解析及び微環境の長期モニタリ	日帰り

2013年度 全利用者（秩父演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
313	1	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	リモートセンシング等を用いた二酸化炭素の森林吸収量の評価	日帰り
314	2	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000森林コアサイト鳥類調査	川俣自炊宿舎
315	2	1	演習林企画部	2				2	星野写真の撮影および自動撮影カメラメディアの交換	日帰り
316	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長付フィールド研究支援石田研究室	4				4	環境省モニタリングサイト1000森林調査、奄美大島リター調査	日帰り
317	2	8	演習林教育研究センター			8 (8)		8	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
318	2	1	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担当	4				4	茶の山間冷涼地育種・栽培比較試験	日帰り
319	2	1	生圏システム学専攻(演習林教育研究センター)			1 (1)		1	葉食性昆虫カラマツハラアカハバチの個体群動態の時空間解析	日帰り
320	3	1	東京大学農学部森林生物学専修		1			1	植食者に対する脊椎動物捕食者のトップダウン効果の定量評価	日帰り
321	3	1	東京大学秩父演習林	1				1	ホタルミミズの探索	日帰り
322	3	5	演習林教育研究センター	3		5 (5)		8	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り

※カッコ内の数字は外国人利用数を示す

利用者数合計 3,452
利用件数 322

2013年度 全利用者（田無演習林）

演習林名：田無演習林

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	日本大学生物資源科学部 造林・風致学研究室		1			1	ニワウルシの根萌芽についての研究	日帰り
2	4	12	演習林教育研究センター		12			12	エサの固さによるおたまじゃくしの 口の変形	日帰り
3	4	1	生態調和農学機構	1	29			30	フィールド農学基礎実習	日帰り
4	4	1	造林学研究室	1				1	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
5	4	4	造林学研究室	4				4	大気湿度環境が樹液流速に与える 影響	日帰り
6	4	8	総合文化研究科 伊藤元 巳研究室	8		17		25	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエ コタイプ間比較	日帰り
7	4	4	演習林教育研究センター	4				4	分子マーカーを用いたミズナラとカ シワの識別法および産地推定法の確 立	日帰り
8	4	11	演習林教育研究センター			11		11	分子マーカーを用いたチークの系統 地理学的研究	日帰り
9	4	2	東京農業大学国際食料情 報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたス ギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
10	4	1	NHK学園くにたちオー プンスクール				12	12	アウトドア講座、植物観察	日帰り
11	4	2	森林動物学研究室	2				2	マツノマダラカミキリ成虫の形質に 及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
12	4	1	演習林教育研究センター	1				1	森林生態圏管理学の講義資料の採取	日帰り
13	4	1	造林学研究室	2	16			18	造林学実験	日帰り
14	4	1	造林学研究室	1	7			8	森林土壌学実験	日帰り
15	4	1	森林生物機能学研究室			1		1	アスベスト鉱山跡地におけるシラカ ンバの生育特性の解明	日帰り
16	4	1	附属牧場	2				2	サクラの苗木の植樹による畜産環境 の景観の維持・回復	日帰り
17	4	1	総合文化研究科伊藤元巳 研究室				2	2	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複 合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
18	4	1	日刊木材新聞社				1	1	取材	日帰り
19	4	2	新日本開発工業（株）				4	4	環境調査	日帰り
20	4	1	個人				1	1	樹木の同定	日帰り
21	4	1	一般個人見学者				226	226	見学	日帰り
22	4	1	一般個人見学者				83	83	見学	日帰り
23	5	5	演習林教育研究センター		5			5	エサの固さによるおたまじゃくしの 口の変形	日帰り
24	5	2	造林学研究室	2				2	大気湿度環境が樹液流速に与える 影響	日帰り
25	5	3	演習林教育研究センター	3				3	分子マーカーを用いたミズナラとカ シワの識別法および産地推定法の確 立	日帰り
26	5	7	演習林教育研究センター			7		7	分子マーカーを用いたチークの系統 地理学的研究	日帰り
27	5	1	東京農業大学国際食料情 報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたス ギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
28	5	1	練馬区立関町リサイクル センター				30	30	区民を対象とした自然観察会の実施	日帰り
29	5	1	自然観察の会・杉並				20	20	植物の勉強	日帰り
30	5	1	シニアピアーズ 玄暉				20	20	植物の勉強	日帰り
31	5	3	森林植物学研究室	3		1		4	地下部における外生菌根菌の相互作 用の解明	日帰り
32	5	9	森林生物機能学研究室			9		9	アスベスト鉱山跡地におけるシラカ ンバの生育特性の解明	日帰り
33	5	1	造林学研究室	1				1	造林学実験	日帰り
34	5	1	自然環境評価学研究室 （福田研）	2				2	樹木の水分生理特性と萎凋病の枯死 機構の統合的理解	日帰り
35	5	3	木材化学研究室	3			3	6	樹木組織等に含まれる多糖フィブリ ルの性状分析	日帰り
36	5	8	総合文化研究科伊藤元巳 研究室			12	16	28	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複 合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
37	5	2	新日本開発工業（株）				4	4	環境調査	日帰り
38	5	1	西東京市生活文化スポ ーツ部協働コミュニティ課 男女平等推進係				20	20	西東京市男女平等推進センター企画 講座 第2回「男の地域デビュー！～男たち の土曜塾」	日帰り
39	5	1	ゆいまある南沢ケアセン ター				2	2	見学	日帰り
40	5	1	西東京市立西原保育園	15			61	76	見学	日帰り
41	5	5	演習林教育研究センター	3		5		8	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成 と塗布剤の関係	日帰り
42	5	1	東大農場・演習林の存続 を願う会				31	31	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
43	5	1	東大農場・演習林の存続 を願う会				12	12	田無演習林の生きものたち（主とし て動物）観察、調査、記録	日帰り
44	5	2	森林植物学研究室		9			9	五月祭植木市	日帰り
45	5	1	森林動物学研究室	3	17	1		21	森林動物学実験	日帰り
46	5	3	田無演習林	6				6	ピットホールトラップを使った地表 徘徊性甲虫相の調査	日帰り

2013年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
47	5	1	生態環境調査室			2		2	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
48	5	1	元気で歩こう会				35	35	見学	日帰り
49	5	2	多摩六都科学館	8	5		61	74	観察会「東大演習林の生き物観察探検隊」	日帰り
50	5	1	東京大学教育学部附属中等教育学校				1	1	卒業研究に必要なカブトムシの個体数確保のため幼虫を採集	日帰り
51	5	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類調査	日帰り
52	5	1	一般個人見学者				296	296	見学	日帰り
53	5	2	一般個人見学者				194	194	見学	日帰り
54	5	2	田無演習林	4	10			14	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成—子どもに伝える自然体験—」	日帰り
55	5	1	生態調和農学機構	4				4	竹垣材料下見	日帰り
56	6	1	一般個人見学者				14	14	見学	日帰り
57	6	1	一般個人見学者				128	128	見学	日帰り
58	6	1	昆虫遺伝学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの育成	日帰り
59	6	1	生態調和農学機構	1	29			30	緑地環境学実地実習	日帰り
60	6	2	演習林教育研究センター	2		1		3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
61	6	5	演習林教育研究センター			5		5	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
62	6	1	森林動物学研究室	1	1			2	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
63	6	1	造林学研究室	2	16			18	造林学実験	日帰り
64	6	2	森林植物学研究室	2		1		3	地下部における外生菌根菌の相互作用の解明	日帰り
65	6	8	森林生物機能学研究室			8		8	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育特性の解明	日帰り
66	6	3	総合文化研究科伊藤元巳研究室				3	3	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
67	6	1	新日本開発工業（株）				1	1	環境調査	日帰り
68	6	1	西東京市みどり環境部みどり公園課				100	100	みどりの散策路めぐり	日帰り
69	6	1	楽しく歩くわかばの会				30	30	見学	日帰り
70	6	6	演習林教育研究センター			6		6	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
71	6	2	東大農場・演習林の存続を願う会				45	45	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
72	6	2	大気汚染測定運動西東京市連絡会				2	2	大気汚染測定（二酸化窒素NO2測定）	日帰り
73	6	1	田無演習林	6	4		74	84	「第22回子ども樹木博士」認定会	日帰り
74	6	7	生態環境調査室			7		7	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
75	6	1	西東京市小学校教育研究会 生活科・総合的な学習研究部	15				15	教職員研修、教材研究	日帰り
76	6	1	田無演習林	2	4			6	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成—子どもに伝える自然体験—」	日帰り
77	6	2	アジア生物資源環境研究センター	2				2	取り木を利用したマツタケとアカマツの菌根合成に関する研究	日帰り
78	6	1	生態調和農学機構	5				5	緑地環境学実地実習・造園実習	日帰り
79	6	1	演習林教育研究センター	1				1	UMSのインターンシップ対応について	日帰り
80	6	1	総合文化研究科嶋田研究室				1	1	カブトムシの捕食者の捕食行動の解明	日帰り
81	6	1	西東京市立田無第三中学校				20	20	見学	日帰り
82	6	1	(株)地域開発コンサルタンツ				1	1	猛禽類調査 東京都環境局「平成25年度希少猛禽類生息状況等調査委託」	日帰り
83	6	1	田無演習林	11	2	3		16	平成25年度田無演習林利用者交流会	日帰り
84	7	2	造林学研究室	2				2	大気湿度環境が樹液流速に与える影響	日帰り
85	7	2	演習林教育研究センター	2		1		3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
86	7	3	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	3				3	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
87	7	2	森林動物学研究室	2		1		3	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
88	7	1	造林学研究室	2	13			15	造林学実験	日帰り
89	7	3	森林植物学研究室	3		3		6	地下部における外生菌根菌の相互作用の解明	日帰り

2013年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
90	7	12	森林生物機能学研究室			12		12	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育特性の解明	日帰り
91	7	4	総合文化研究科伊藤元巳研究室				4	4	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
92	7	1	演習林教育研究センター			1		1	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
93	7	2	東大農場・演習林の存続を願う会				47	47	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
94	7	2	田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	日帰り
95	7	5	生態環境調査室			5		5	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
96	7	1	演習林教育研究センター	1			2 (2)	3	マレーシアサバ大学インターンシップ研修	日帰り
97	7	1	総合文化研究科嶋田研究室				1	1	カブトムシの捕食者の捕食行動の解明	日帰り
98	7	1	恵寿友会歴史散策会				16	16	同じ会社の定年退職者のサークル歴史・自然を勉強している。	日帰り
99	7	1	田無演習林	1				1	ナラ菌接種に対するブナ科樹木の反応に関する研究	日帰り
100	7	1	造林学研究室	1	1			2	温暖化が土壌有機物分解に与える影響	日帰り
101	7	1	新領域創成科学研究科自然環境評価学研究室				1	1	ブナ科樹木萎凋病菌 <i>Raffaella quercivora</i> とカシノナガキイムシの共生菌との微生物間相互作用	日帰り
102	7	1	アジア生物資源環境研究センター	1				1	植物の環境ストレス耐性機構の解明	日帰り
103	7	1	宇都宮大学雑草研究センター	1				1	針葉樹の生産するストリゴラクトンの探索	日帰り
104	7	1	一般個人見学者				104	104	見学	日帰り
105	7	1	アジアセンター森林分子生態学研究室	1				1	ニワウルシの花粉観察	日帰り
106	7	2	東京都建設局北多摩南部工事事務所				4	4	都道建設現場線引き下見	日帰り
107	7	1	東京大学産業医	2				2	産業医の巡視	日帰り
108	7	2	多摩六都科学館	6			8	14	多摩北部広域子ども体験塾	日帰り
109	8	3	造林学研究室	3				3	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
110	8	1	造林学研究室	1				1	大気湿度環境が樹液流速に与える影響	日帰り
111	8	5	演習林教育研究センター	5		4		9	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
112	8	1	環境地水学研究室	1		1		2	降雨による土壌呼吸と溶剤性物質の溶脱に関する研究	日帰り
113	8	2	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
114	8	1	森林動物学研究室	1		1		2	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
115	8	2	森林植物学研究室	2				2	地下部における外生菌根菌の相互作用の解明	日帰り
116	8	5	森林生物機能学研究室			5		5	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育特性の解明	日帰り
117	8	2	総合文化研究科伊藤元巳研究室				2	2	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
118	8	6	演習林教育研究センター			6		6	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
119	8	1	東大農場・演習林の存続を願う会				35	35	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
120	8	1	森林動物学研究室	3	18	3		24	森林動物学実験	日帰り
121	8	3	生態環境調査室			3		3	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
122	8	1	総合文化研究科嶋田研究室				1	1	カブトムシの捕食者の捕食行動の解明	日帰り
123	8	1	エコプラザ西東京				50	50	エコプラザ西東京主催事業「夏休みによきよきワークショップ」	日帰り
124	8	1	多摩六都科学館	6			59	65	多摩北部広域子ども体験塾	日帰り
125	8	1	森林動物学研究室		1			1	グンバイムシ科ツツジグンバイ属の多様化プロセス	日帰り
126	8	2	森林動物学研究室	4	3			7	教養学部全学一般研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外実習	日帰り
127	8	1	田無演習林	1				1	木部通水機能に及ぼす活性酸素種の影響	日帰り
128	8	1	西東京市立住吉小学校	4				4	自然に興味を持つ秋のものを探す	日帰り
129	8	1	いであ株式会社				1	1	東京大学西東京キャンパス（仮称）整備計画モニタリング調査猛禽類と保全対象植物の確認	日帰り
130	8	1	一般個人見学者				167	167	見学	日帰り

2013年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
131	9	1	造林学研究室	1				1	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
132	9	3	演習林教育研究センター	3				3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
133	9	2	演習林教育研究センター			2		2	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
134	9	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
135	9	2	森林動物学研究室	2		2		4	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
136	9	2	森林植物学研究室	2		1		3	地下部における外生菌根菌の相互作用の解明	日帰り
137	9	11	森林生物機能学研究室			11		11	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育特性の解明	日帰り
138	9	2	総合文化研究科伊藤元巳研究室			4	4	8	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
139	9	5	演習林教育研究センター			5		5	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
140	9	2	東大農場・演習林の存続を願う会				47	47	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
141	9	2	生態環境調査室			2		2	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
142	9	3	森林理水及び砂防工学研究室	1		7		8	都市近郊森林における土壌中の窒素ダイナミクスに関する研究	日帰り
143	9	1	西東京市立けやき小学校	3			98	101	総合的な学習「西東京市の自然を守る」で、自然を体感する。	日帰り
144	9	1	西東京市立保谷小学校	7			124	131	1、2年生 生活科	日帰り
145	9	2	新領域創成科学研究科奈良研究室	2				2	イチヤクソウ類の生理生態	日帰り
146	9	1	千葉演習林	3				3	森林生物機能学	日帰り
147	9	1	アジア生物資源環境研究センター	1				1	樹液中の溶材ガス濃度の測定法の検討	日帰り
148	9	2	秩父演習林	2		2		4	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
149	9	1	一般個人見学者				105	105	見学	日帰り
150	9	3	多摩六都科学館				6	6	多摩の魅力発信プロジェクト	日帰り
151	9	1	いであ株式会社				1	1	東京大学西東京キャンパス（仮称）整備計画モニタリング調査 猛禽類と保全対象植物の確認	日帰り
152	10	1	演習林教育研究センター		1			1	エサの固さによるおたまじゃくしの口の変形	日帰り
153	10	2	造林学研究室	2	2			4	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
154	10	1	造林学研究室	1				1	大気湿度環境が樹液流速に与える影響	日帰り
155	10	3	演習林教育研究センター	3				3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
156	10	7	演習林教育研究センター			7		7	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
157	10	2	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	2				2	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
158	10	2	森林植物学研究室	2		1		3	地下部における外生菌根菌の相互作用の解明	日帰り
159	10	9	森林生物機能学研究室			9		9	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育特性の解明	日帰り
160	10	1	西東京市田無公民館				35	35	地域の自然観察会	日帰り
161	10	1	西東京市立西原保育園	5			40	45	見学	日帰り
162	10	3	演習林教育研究センター			3		3	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
163	10	2	東大農場・演習林の存続を願う会				48	48	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
164	10	4	生態環境調査室			4		4	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
165	10	1	総合文化研究科嶋田研究室				1	1	カブトムシの捕食者の捕食行動の解明	日帰り
166	10	1	東京都建設局北多摩南部工事事務所	1			2	3	都道建設現場線引き下見 猛禽類調査の打ち合わせ	日帰り
167	10	1	サフラン愛児園	4			39	43	園外保育、自然観察	日帰り
168	10	4	西東京市立田無第二中学校				28	28	職場体験学習	日帰り
169	10	12	演習林教育研究センター	1		12		13	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
170	10	2	自由学園 初等部	4			23	27	生活科の授業として東大演習林の木や草と仲良くなり秋の1日を満喫する	日帰り
171	10	3	多摩六都科学館				12	12	多摩の魅力発信プロジェクト	日帰り
172	10	1	東大農場・演習林の存続を願う会				9	9	田無演習林由来の絶滅危惧種調査	日帰り
173	10	4	名古屋大学大学院生命農学研究科森林保護学研究室			4		4	電気インパルスを用いたナラ枯れ防除の試み	日帰り

2013年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
174	10	1	西東京市立田無小学校わかば学級1~2年	7			32	39	歩行学習、秋をさがそう（生活単元）	日帰り
175	10	1	田無演習林	6	1		71	78	「第23回子ども樹木博士」認定会	日帰り
176	10	1	一般個人見学者				8	8	見学	日帰り
177	10	1	一般個人見学者				125	125	見学	日帰り
178	11	2	造林学研究室	2	2			4	コンテナ苗の育苗・植栽方法の検討	日帰り
179	11	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
180	11	6	演習林教育研究センター			6		6	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
181	11	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
182	11	1	森林動物学研究室	1		1		2	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
183	11	1	森林植物学研究室	1				1	地下部における外生菌根菌の相互作用の解明	日帰り
184	11	8	森林生物機能学研究室			8		8	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンパの生育特性の解明	日帰り
185	11	3	総合文化研究科伊藤元巳研究室			4	2	6	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
186	11	2	演習林教育研究センター			2		2	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
187	11	2	東大農場・演習林の存続を願う会				47	47	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
188	11	1	生態環境調査室			1		1	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
189	11	1	西東京市立住吉小学校	5			91	96	自然に興味を持つ 秋のものを探す	日帰り
190	11	1	気になる木（小平市中央公民館サークル）				26	26	樹木についての学習	日帰り
191	11	1	名古屋大学大学院生命農学研究科森林保護学研究室			1		1	電気インパルスを用いたナラ枯れ防除の試み（修士論文研究）	日帰り
192	11	1	生態調和農学機構	4	30			34	フィールド農学基礎実習	日帰り
193	11	1	放送大学東京文京同窓会				30	30	研修	日帰り
194	11	1	所沢高齢者大学32期ウォーキングクラブ				20	20	自然観察	日帰り
195	11	1	トロロウォーキング愛好会				24	24	見学	日帰り
196	11	2	東京都総務局行政部				12	12	東京都移管120周年 多摩の魅力発信プロジェクト～残したい多摩の素晴らしい自然 準備打合せ	日帰り
197	11	1	一般個人見学者				376	376	見学	日帰り
198	11	1	食品生物構造学研究室	2	1		1	4	NMRを用いた楡皮のうま味評価	日帰り
199	11	1	応用生物専修 3年		1			1	駒場祭での演劇用小道具作成	日帰り
200	11	1	演習林教育研究センター	1				1	森林遺伝育種学の講義	日帰り
201	11	1	田無演習林	2			13	15	地域を再発見講座、季節の変化を見つめる	日帰り
202	11	1	なし				1	1	試料の分譲	日帰り
203	11	1	いであ株式会社				2	2	東京大学西東京キャンパス（仮称）整備計画モニタリング調査 移植植物の移植選定の生育条件の調査	日帰り
204	11	1	西東京市立西原保育園	5			22	27	園外保育	日帰り
205	11	1	東京都総務局行政部	2			149	151	東京都移管120周年 多摩の魅力発信プロジェクト～残したい多摩の素晴らしい自然	日帰り
206	11	1	西東京市立けやき保育園	3			42	45	園外保育	日帰り
207	11	1	西武学園文理小学校2年生	6			65	71	校外学習	日帰り
208	11	1	泉小学校 1, 2年	3			61	64	校外学習	日帰り
209	11	1	ゆいまある南沢ケアセンター				2	2	見学	日帰り
210	11	1	西東京市立けやき保育園	3			17	20	園外保育	日帰り
211	11	1	トバズ山の会				17	17	見学	日帰り
212	11	1	北海道演習林	2				2	野鳥調査	日帰り
213	11	1	生態調和農学機構	3				3	竹垣材料下見 動物剥製の作製	日帰り
214	11	1	農学部事務部	3				3	研究室キャラバン2013	日帰り
215	11	1	農学部事務部	3				3	林内見学	日帰り
216	11	1	生態調和農学機構	1				1	モウソウチクの分譲	日帰り
217	11	1	生態調和農学機構	2				2	重機もメンテナンス、回送	日帰り
218	12	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
219	12	1	東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科	1				1	安全性の高い界面活性剤を用いたスギ花粉形成抑制技術の確立	日帰り
220	12	12	演習林教育研究センター			12		12	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンパの生育特性の解明	日帰り

2013年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
221	12	3	総合文化研究科伊藤元巳研究室				3	3	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
222	12	4	演習林教育研究センター			4		4	枝剪定時の広葉樹の被覆組織の形成と塗布剤の関係	日帰り
223	12	4	生態環境調査室			4		4	異質なグラウンドカバーに対する地表徘徊性昆虫の反応についての研究	日帰り
224	12	2	生態調和農学機構	6				6	緑地環境実地実習	日帰り
225	12	2	大気汚染測定運動西東京市連絡会				2	2	大気汚染測定の為	日帰り
226	12	1	神代植物公園ボランティアガイド				2	2	植物公園でお客様に展示及び供与	日帰り
227	12	1	東京近郊ハイキング「こまくさ」				13	13	見学	日帰り
228	12	4	千葉演習林	12				12	基盤データGIS部門によるGIS指導整備研修のため	日帰り
229	12	1	西東京市立けやき保育園	4			41	45	園外保育	日帰り
230	12	4	株式会社緑生研究所				12	12	希少猛禽類調査	日帰り
231	12	1	田無演習林	28			30	58	学内教職員向けリース・クラブ作り体験会	日帰り
232	12	1	一般個人見学者				76	76	見学	日帰り
233	12	1	一般個人見学者				104	104	見学	日帰り
234	12	1	農学系事務部	3				3	見学	日帰り
235	1	2	演習林教育研究センター	2				2	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
236	1	1	森林動物学研究室	1		1		2	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
237	1	1	演習林教育研究センター			1		1	アスベスト鉱山跡地におけるシラカンバの生育特性の解明	日帰り
238	1	1	総合文化研究科伊藤元巳研究室				1	1	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
239	1	3	東久留米市立下里中学校				6	6	職場体験学習	日帰り
240	1	1	演習林教育研究センター			1		1	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
241	1	2	東久留米市立南中学校2年				6	6	職場体験学習	日帰り
242	1	2	新日本開発工業（株）				4	4	環境調査	日帰り
243	1	4	株式会社緑生研究所				12	12	希少猛禽類調査	日帰り
244	1	1	演習林教育研究センター	1				1	森林遺伝育種学における花粉の少ないスギ品種の雄花観察	日帰り
245	1	1	生態調和農学機構	4				4	緑地環境実地実習	日帰り
246	1	1	東久留米市立下里中学校				4	4	職場体験学習 事前訪問	日帰り
247	1	1	東久留米市立南中学校2年				3	3	職場体験学習 事前訪問	日帰り
248	1	1	生態調和農学機構	3	30			33	フィールド農学基礎実習	日帰り
249	1	1	生態調和農学機構	3	8			11	緑地環境実地実習	日帰り
250	1	1	一般個人見学者				33	33	見学	日帰り
251	2	3	演習林教育研究センター	3				3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確立	日帰り
252	2	5	演習林教育研究センター			5		5	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
253	2	1	森林植物学研究室	1				1	樹木病原菌の伝播・繁殖様式の解明	日帰り
254	2	1	総合文化研究科伊藤元巳研究室				1	1	共通圃場実験に基づく豪州ヒノキ複合種の形質変異の遺伝的基盤の解析	日帰り
255	2	2	演習林教育研究センター			2		2	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
256	2	1	田無演習林	2			6	8	地域を再発見講座、季節の変化を見つめる	日帰り
257	2	1	森遊倶楽部				30	30	演習林内の樹木観察・散策	日帰り
258	2	1	新日本開発工業				1	1	環境調査	日帰り
259	2	1	東大大学院農学生命科学研究科製紙科学研究室	1				1	樹木における二酸化炭素同化産物の輸送と材形成に関する研究	日帰り
260	2	2	筑波大学菅平高原実験センター	2				2	モチノキタネオナガコバチ寄主植物間相互作用の解明	日帰り
261	2	1	東大フィールドボランティア会事務局				4	4	農場博物館の展示解説板の支え台作製	日帰り
262	2	1	いであ株式会社				1	1	整備計画及びオオタカモニタリング調査	日帰り
263	2	3	(株)緑生研究所				11	11	希少猛禽類調査	日帰り
264	2	1	新日本開発工業（株）				1	1	環境調査	日帰り
265	2	1	東芝研究開発センターネットワークシステムラボラトリー				6	6	森林環境における無線伝搬距離の測定	日帰り
266	2	2	農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	2				2	H25年度農学部技術職員研修会 土壌サンプル採取	日帰り
267	2	2	田無演習林	2				2	スエヒロタケのポプラ樹に対する病原性の検討	日帰り

2013年度 全利用者（田無演習林）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
268	2	1	一般個人見学者				47	47	見学	日帰り
269	2	1	東大農場・演習林の存続を願う会				10	10	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
270	2	1	東京大学本部事務施設部	9				9	キャンパス整備のための視察	日帰り
271	3	1	昆虫遺伝学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの育成	日帰り
272	3	1	造林学研究室	1				1	大気湿度環境が樹液流速に与える影響	日帰り
273	3	3	演習林教育研究センター	3				3	分子マーカーを用いたミズナラとカシワの識別法および産地推定法の確認	日帰り
274	3	2	演習林教育研究センター			2		2	分子マーカーを用いたチークの系統地理学的研究	日帰り
275	3	1	森林動物学研究室	1				1	マツノマダラカミキリ成虫の形質に及ぼす幼虫密度の影響	日帰り
276	3	1	西東京市立西原保育園	5			40	45	見学	日帰り
277	3	1	東大農場・演習林の存続を願う会				6	6	田無演習林の生きものたち（主として動物）観察、調査、記録	日帰り
278	3	1	アジア生物資源環境研究センター	1				1	樹液中の溶材ガス濃度の測定法の検討	日帰り
279	3	4	演習林教育研究センター			4		4	葉食性昆虫の大発生に強い健全な森林生態系に関する研究	日帰り
280	3	1	練馬区緑化協力員Dブロック				23	23	緑化協力員の学習活動としての自然観察会	日帰り
281	3	1	筑波大学菅平高原実験センター	1				1	モチノキタネオナゴコバチ寄主植物間相互作用の解明	日帰り
282	3	1	東大フィールドボランティア会事務局				2	2	農場博物館の展示解説板の支え台作製	日帰り
283	3	2	田無演習林	2				2	スエヒロタケのボブラ樹に対する病原性の検討	日帰り
284	3	1	東大農場・演習林の存続を願う会				21	21	田無演習林の植物観察、調査、記録	日帰り
285	3	3	(株) 緑生研究所				9	9	希少猛禽類調査	日帰り
286	3	2	新日本開発工業(株)				2	2	環境調査	日帰り
287	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学	1				1	フェノール性物質を介した樹木根の根圏形成機構の解明	日帰り
288	3	1	いであ株式会社				1	1	東京大学西東京キャンパス（仮称）整備計画及びオオタカモニタリング	日帰り
289	3	1	生態調和農学機構	1		1		2	チガヤ型草地における外来種抜き取り後のギャップへの在来種導入試験	日帰り
290	3	1	谷戸すくすく保育園	2			13	15	園外保育	日帰り
291	3	1	一般個人見学者				99	99	見学	日帰り
292	3	1	農学系事務部経理課経費執行チーム	1				1	重機納車確認	日帰り
293	3	1	生態調和農学機構	1				1	セリバヒエンソウの開花確認	日帰り

※カッコ内の数字は外国人利用数を示す

利用者数合計 5,615
利用件数 293

演習林名：生態水文学研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	名城大学農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室	1	1			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
2	4	2	東京大学農学生命科学研究科 森林動物学研究室			2		2	花崗岩渓流における底生動物の形態特性	赤津宿泊施設2
3	4	1	大山研究林利用者協議会				15	15	定例自主活動（自然観察及び歩道整備）ほか	日帰り1
4	4	2	東京大学 農学生命科学研究科付属演習林森林圏生態社会学研究室			2		2	北中川の中州における水害痕跡の調査	五位塚宿泊施設3
5	4	10	森林総合研究所 水保全研究領域 水保全研究室	10				10	長期水文データの解析	日帰り1
6	4	1	シデコブシの会				4	4	コープあいち「森の観察会」 イベント補助	日帰り1
7	4	1	生活協同組合 コープあいち				17	17	「森の学習会」の開催	日帰り1
8	4	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り1
9	4	1	東京大学農学生命科学研究科 生態水文学研究所				8	8	記念樹見学会	日帰り1
10	4	1	大山研究林利用者協議会				20	20	定例自主活動（自然観察会）ほか	日帰り1
11	4	1	シデコブシの会				24	24	シデコブシの会 植物観察撮影会・総会	日帰り1
12	4	1	北海道大学理学系研究科	2			1	3	森林植物中の天然同位体トレーサーを用いた窒素同化過程の新解析法の開発	日帰り1
13	4	1	愛知教育大学教育学部理科教育講座	1		1		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り1
14	4	1	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室	1	2			3	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
15	5	1	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
16	5	8	森林総合研究所 水保全研究領域 水保全研究室 日本学術振興会特別研究員	8				8	長期水文データの解析	日帰り1
17	5	4	大山研究林利用者協議会				12	12	定例自主活動（ギフチョウ観察）	日帰り1
18	5	1	愛知教育大学教育学部理科教育講座	1		1		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り1
19	5	1	シデコブシの会				5	5	愛知中部水道企業団 イベント下見と打ち合わせ	日帰り1
20	5	2	名城大学 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
21	5	1	東京大学 総合文化研究科 広域科学専攻	1				1	ハマダイコンの環境勾配に沿ったエコタイプ間比較	日帰り1
22	5	1	大山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動（自然観察及び歩道整備）ほか	日帰り1
23	5	2	東京大学 生態水文学研究所	11	4	3	1	18	H25年度利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	日帰り1
24	5	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会 定例会	日帰り1
25	5	2	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
26	5	2	愛知教育大学教育学部理科教育講座	2		2		4	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
27	5	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会 勉強会（見学コースを歩く）	日帰り1
28	5	2	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
29	5	10	京都大学 霊長類研究所 国際共同先端研究センター	10	(10)			10	コウモリの生態調査	日帰り1
30	5	2	東京大学農学生命科学研究科 森林科学・森林動物学研究室	2		2		4	花崗岩渓流における底生動物の形態特性	日帰り1
31	5	1	大山市生活環境部公園緑地課				18	18	「大山の森」春のふれあい自然観察会のため	日帰り1
32	5	1	大山研究林利用者協議会				13	13	「大山の森」春のふれあい自然観察会のため 定例自主活動	日帰り1
33	5	2	愛知教育大学 教育学研究科理科内容専攻			2		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
34	5	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林保護学研究分野	1		1		2	ナラ枯れ状況の視察と実験デザインの相談	日帰り1
35	5	1	東京大学 教養学部	1	7			8	2013年度「ダムと森林」フィールドワーク	赤津宿泊施設2
36	5	5	東京大学 農学生命科学研究科付属演習林森林圏生態社会学研究室			5		5	修論打ち合わせ	五位塚宿泊施設3

2013年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
37	5	1	名古屋大学 生命農学研究科・森林環境資源学研究分野	1		3		4	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
38	6	2	東京大学 教養学部	5	40			45	2013年度「ダムと森林」フィールドワーク	赤津宿泊施設2
39	6	6	名城大学農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		6			6	ナラ枯れが昆虫層に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
40	6	3	東京大学 農学生命科学研究科 森林科学専攻・森林理水及び砂防工学研究室	2	54	3		59	森林保全学実習	赤津宿泊施設2
41	6	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例活動	日帰り1
42	6	2	愛知教育大学教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			2		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
43	6	5	東京大学 農学生命科学研究科 生態水文学研究所	5				5	データ入力・印刷・その他	日帰り1
44	6	1	シデコブシの会				7	7	とよた森林学校 森林セミナー イベント補助	日帰り1
45	6	1	豊田森林組合 総務課 とよた森林学校事務局				47	47	とよた森林学校 森林セミナー	日帰り1
46	6	1	シデコブシの会				8	8	シデコブシの会定例会	日帰り1
47	6	2	名古屋大学 生命農学研究科 森林環境資源学研究分野		2	4		6	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
48	6	2	東京大学 農学生命科学研究科 生態水文学研究所	2		6 (2)		8	大学院講義「森林圏水循環機能学」の現地見学	赤津宿泊施設2
49	6	4	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			4		4	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
50	6	1	シデコブシの会				21	21	赤津研究林案内人養成講習（1日目）	日帰り1
51	6	1	シデコブシの会				23	23	赤津研究林案内人養成講習（2日目）	日帰り1
52	6	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り1
53	6	4	東京大学 附属演習林森林圏生態社会学研究室			4		4	修士研究の相談	五位塚宿泊施設3
54	6	2	筑波大学生命環境系土壌環境化学研究室	4		2		6	CRESTプロジェクト犬山サイトにおける土壌調査	赤津宿泊施設2
55	6	1	名古屋大学 生命農学研究科・森林保護学研究分野			2		2	ナラ枯れ状況の視察と実験機器の設置	日帰り1
56	6	2	南山大学総合政策学部	4	30			34	総合政策学部学外体験プログラムA	赤津宿泊施設2
57	7	2	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		4			4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
58	7	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林保護学研究分野	1		1		2	ナラ枯れ状況の視察と実験機器の設置	日帰り1
59	7	2	生態水文学研究所	2				2	データ入力・印刷 他	日帰り1
60	7	8	東京大学農学部		8			8	水田における生物の影響解明	五位塚宿泊施設3
61	7	1	フォーラム東明21				16	16	瀬戸設楽線の清掃活動	日帰り1
62	7	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り1
63	7	2	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			2		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
64	7	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林保護学研究分野	1		1		2	ナラ枯れ状況の視察と実験機器の設置	日帰り1
65	7	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林環境資源学研究分野			2		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
66	7	2	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
67	7	1	シデコブシの会				5	5	地域環境活性化協議会 イベント下見と打合せ	日帰り1
68	7	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例活動	日帰り1
69	7	1	名古屋大学 生命農学研究科・森林保護学研究分野			3		3	ナラ枯れ状況の視察と実験機器の設置	日帰り1
70	7	1	名古屋大学 生命農学研究科・森林保護学研究分野	1		1		2	ナラ枯れ状況の視察と実験機器の設置	日帰り1
71	7	2	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			2		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
72	7	1	シデコブシの会				12	12	スキルアップ講習会	日帰り1
73	7	9	東京大学農学部		9			9	水田における生物の影響解明	五位塚宿泊施設3
74	7	4	東京大学 農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態社会学研究室			4		4	北山川の洪水と中洲の関係	五位塚宿泊施設3
75	7	1	名古屋大学 生命農学研究科・森林保護学研究分野			2		2	ナラ枯れ状況の視察と実験機器の設置	日帰り1

2013年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
76	7	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	定例自主活動	日帰り1
77	7	2	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫層に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
78	7	2	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			2		2	ツチガエルの越冬幼生の採取	赤津宿泊施設2
79	7	1	私立 海城中学高等学校 地学部	2			18	20	中高地学部の野外実習	赤津宿泊施設2
80	7	4	東京大学 生態水文学研究所		8 (8)			8	マレーシアサバ大学インターンシップ研修	赤津宿泊施設2
81	8	1	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			1		1	ツチガエルの越冬幼生の採取	日帰り1
82	8	2	私立 海城中学高等学校 地学部	4			36	40	中高地学部の野外実習	赤津宿泊施設2
83	8	9	東京大学 生態水文学研究所		18 (18)			18	マレーシアサバ大学インターンシップ研修	赤津宿泊施設2
84	8	1	梅村学園三重中学校・高等学校	1				1	海城中高の取り組みの見学	日帰り1
85	8	1	名古屋大学 農学研究科・森林環境資源学研究分野		1	1		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
86	8	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り1
87	8	1	愛知淑徳中学校・高等学校	5				5	生徒引率行事の下見	日帰り1
88	8	4	湧水湿地研究会				12	12	湧水湿地の分布調査	日帰り1
89	8	2	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		2			2	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
90	8	4	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			4		4	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
91	8	1	シデコブシの会				4	4	地域環境活性化協議会「こども環境大学」イベント補助	日帰り1
92	8	1	地域環境活性化協議会				30	30	「こども環境大学」イベント	日帰り1
93	8	1	放送大学愛知学習センター	1	17			18	「水・緑・土」ゼミで学んだことを現地見学で深める	日帰り1
94	8	1	シデコブシの会				1	1	愛知中部水道企業団 水源林ツアーのルート確認	日帰り1
95	8	1	愛知中部水道企業団				38	38	「水」をテーマにした親子体験教室	日帰り1
96	8	1	シデコブシの会				5	5	愛知中部水道企業団 《「水」をテーマにした親子体験教室》イベント補助	日帰り1
97	8	2	生態水文学研究所	2				2	白坂データのチェック作業	日帰り1
98	8	2	名古屋大学 生命農学研究科・森林保護学研究分野	5		2		7	ナラ枯れ状況の視察と実験処理	赤津宿泊施設2
99	8	2	東京大学 農学生命科学研究科附属演習林森林圏生態社会学研究室			2		2	河川内に孤立した天然林と過去の洪水相互作用の評価の打ち合わせ（修論）	五位塚宿泊施設3
100	9	1	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域	1		1		2	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り1
101	9	4	名城大学 生物環境科学科 環境動物学研究室		4			4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
102	9	4	湧水湿地研究会				6	6	湧水湿地の分布調査	日帰り1
103	9	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り1
104	9	1	あいち海上の森センター				29	29	あいち海上の森大学講座 森林環境「森林の機能と水環境、演習林視察」	日帰り1
105	9	1	シデコブシの会				4	4	あいち海上の森大学 講座イベント補助	日帰り1
106	9	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	定例自主活動	日帰り1
107	9	4	愛知教育大学 教育学研究科 理科教育専攻理科内容学領域			4		4	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
108	9	2	東京大学 農学生命科学研究科（森林科学・森林動物学研究室）	2				2	花崗岩溪流における底生動物の形態特性	外部宿泊施設4
109	9	1	同志社大学 経済学部 経済学科		1			1	京都府南丹市美山町における砂防堰堤建設の是非	日帰り1
110	9	1	シデコブシの会				17	17	シデコブシの会 勉強会「見学コースを歩く」	日帰り1
111	9	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り1
112	9	4	湧水湿地研究会				4	4	湧水湿地の分布調査	日帰り1

2013年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
113	9	2	東京大学 農学生命科学研究科森林理水及び砂防工学研究室	2				2	対照流域法調査資料の収集	赤津宿泊施設2
114	9	5	東京大学 農学生命科学研究科 森林科学専攻・森林理水及び砂防工学研究室		45	8		53	測量学実習	赤津宿泊施設2
115	9	5	東京大学 農学生命科学研究科 生態水文学研究所	7				7	測量学実習の現地実習	赤津宿泊施設2
116	10	4	名城大学 農学部 生物環境科学科 環境動物学研究室		4			4	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
117	10	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り1
118	10	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林環境資源学研究分野	1		1		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
119	10	3	愛知教育大学 教育学研究科理科教育専攻理科内容学領域			3		3	ツチガエルの越冬幼生の採集	赤津宿泊施設2
120	10	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例自主活動	日帰り1
121	10	2	生態水文学研究所	4				4	「せと環境塾2013講座」開催の対応	赤津宿泊施設2
122	10	2	瀬戸市役所 環境課	2			32	34	「せと環境塾2013講座」開催のため	赤津宿泊施設2
123	10	3	生態水文学研究所	3				3	データ入力・印刷・その他	日帰り1
124	10	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り1
125	10	1	愛知教育大学 教育学研究科理科教育専攻理科内容学領域			1		1	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り1
126	10	1	名城大学 農学部 生物環境科 環境動物学研究室		1			1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	赤津宿泊施設2
127	11	1	名城大学 農学部 生物環境科 環境動物学研究室		1			1	ナラ枯れが昆虫相に及ぼす影響調査	日帰り1
128	11	2	生態水文学研究所	2				2	データ入力・印刷・他	日帰り1
129	11	3	東京大学 農学生命科学研究科付属演習林森林圏生態社会学研究室			3		3	河川内に成立した森林と洪水の相互作用	五位塚宿泊施設3
130	11	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	犬山市立南部中学校による見学会の案内	日帰り1
131	11	1	犬山市立南部中学校				8	8	総合学習	日帰り1
132	11	1	地球温暖化観測推進事務局/環境省・気象庁	1				1	観測施設の共同利用に関する調査	日帰り1
133	11	1	シデコブシの会				7	7	犬山研究林見学会・犬山研究林利用者協議会と交流会	日帰り1
134	11	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	「シデコブシの会」との見学会・交流会	日帰り1
135	11	1	持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク				14	14	「みんなの森の楽校2013」	日帰り1
136	11	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	持続可能な豊かな社会をつくるネットワーク イベント案内	日帰り1
137	11	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り1
138	11	1	名古屋大学地球水循環研究センター	5 (1)				5	気象・量水観測・治山試験地の見学	日帰り1
139	11	1	愛知県立豊田東高等学校	3			15	18	持続可能な社会を考える ～矢作川流域の人工林の健康診断～	日帰り1
140	11	1	シデコブシの会				2	2	白坂量水堰の砂出し	日帰り1
141	11	1	愛知教育大学 教育学研究科理科教育専攻理科内容学領域			1		1	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り1
142	11	1	シデコブシの会				14	14	シデコブシの会 赤津自然観察会	日帰り1
143	11	1	東京大学 農学生命科学研究科 森林科学 森林動物学研究室			1		1	花崗岩溪流における底生動物の形態特性	日帰り1
144	11	1	シデコブシの会				2	2	東山量水堰 砂出し	日帰り1
145	11	1	生活協同組合コープあいち				11	11	イベント「森の学習会」の開催	日帰り1
146	11	1	犬山研究林利用者協議会				11	11	東京大学「犬山の森」秋のふれあい自然観察会 案内	日帰り1
147	11	1	犬山市生活環境部公園緑地課				30	30	市民対象 東京大学「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	日帰り1
148	11	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林環境資源学研究分野		1	1		2	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
149	11	1	矢作川水系森林ボランティア協議会				1	1	間伐林分の区域確認と間伐木チェック	日帰り1
150	11	1	名古屋大学 生命農学研究科	1	38	1		40	生物環境科学基盤実験実習	日帰り1
151	12	1	シデコブシの会				14	14	標石を探そうツアー	日帰り1
152	12	1	藤掛弘恭				5	5	間伐地の選定	日帰り1

2013年度 全利用者（生態水文学研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
153	12	1	シデコプシの会				7	7	シデコプシの会 定例会	日帰り1
154	12	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動（歩道整備と自然観察会）	日帰り1
155	12	1	シデコプシの会				7	7	見学コース整備・下見	日帰り1
156	12	1	猿投の森づくりの会				6	6	間伐木選定	日帰り1
157	12	1	愛知教育大学 教育学研究科理科教育専攻理科内容学領域			1		1	ツチガエルの越冬幼生の採集	日帰り1
158	12	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動（歩道整備と自然観察会）	日帰り1
159	12	3	生態水文学研究所			12		12	「国際森林学持論」集中講義	赤津宿泊施設2
160	12	2	矢作川水系森林ボランティア協議会				4	4	間伐林分の区域確認と間伐作業	日帰り1
161	12	5	東京大学 農学生命科学研究科付属演習林森林圏生態社会学研究室			5		5	北山川河川敷内の森林に対する洪水の影響	五位塚宿泊施設3
162	1	1	シデコプシの会				7	7	シデコプシの会 定例会	日帰り1
163	1	4	東京大学 農学生命科学研究科付属演習林森林圏生態社会学研究室			4		4	北山川河川敷による森林と洪水	五位塚宿泊施設3
164	1	2	犬山研究林利用者協議会				12	12	定例自主活動（歩道整備と自然観察）	日帰り1
165	1	2	矢作川水系森林ボランティア協議会				4	4	間伐作業	日帰り1
166	1	1	シデコプシの会				13	13	シデコプシの会 見学コース看板設置	日帰り1
167	1	2	猿投の森づくりの会				10	10	間伐作業	日帰り1
168	2	1	東京大学 農学部 環境資源科学課程 森林経理学研究室				1	1	水文学の勉強	日帰り1
169	2	2	猿投の森づくりの会				16	16	間伐	日帰り1
170	2	3	矢作川水系森林ボランティア協議会				6	6	コープあいちが受け持つ林分の間伐	日帰り1
171	2	2	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例自主活動（歩道整備と自然観察）	日帰り1
172	2	1	シデコプシの会				7	7	シデコプシの会定例会	日帰り1
173	2	1	シデコプシの会				10	10	シデコプシの会 勉強会	日帰り1
174	2	1	筑波大学 生命環境科学研究科環境科学専攻環境防災学講座	1		1		2	諸戸北郎博士の写真の撮影場所調査	日帰り1
175	2	2	筑波大学 生命環境科学研究科環境科学専攻環境防災学講座	2		2		4	諸戸北郎博士の写真の撮影場所調査	外部宿泊施設4
176	2	1	愛知県弁護士会 公害対策・環境保全委員会				9	9	森林の機能と中山間部の抱える課題についての研修	日帰り1
177	2	2	東京大学 農学生命科学研究科付属演習林森林圏生態社会学研究室			2		2	北山川河川敷に成立した森林の動態に洪水が及ぼす影響	五位塚宿泊施設3
178	2	1	東京大学 教養学部	1	12			13	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設2
179	3	2	東京大学 教養学部	3	42			45	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設2
180	3	1	瀬戸市東明連区自治連合会				11	11	瀬戸市設楽線沿線清掃活動	日帰り1
181	3	1	名古屋大学 生命農学研究科 森林環境資源学研究分野	1		2		3	CRESTプロジェクト「水資源の利用効率を最大化する森林管理手法の開発」	日帰り1
182	3	2	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例自主活動	日帰り1
183	3	1	シデコプシの会				7	7	シデコプシの会 定例会	日帰り1
184	3	1	シデコプシの会				12	12	シデコプシの会 スキルアップ講習会	日帰り1
185	3	2	猿投の森づくりの会				16	16	間伐材の集積と下見	日帰り1
186	3	1	創価大学工学部環境共生工学科 環境土壌学研究室		1			1	研究に関する相談	日帰り1

※カッコ内の数字は外国人利用数を示す

利用者数合計
利用件数

1,617
186

2013年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

演習林名：富士癒しの森研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	渋谷区教育委員会事務局				28	28	渋谷区小学校教職員が、移動教室の実地踏査を行うため	日帰り
2	4	1	演習林企画部	49			2	51	平成25年度東京大学新人研修見学	日帰り
3	4	1	千葉演習林ボランティア				4	4	見学	日帰り
4	4	2	富士癒しの森研究所	14	42			56	マレーシアサバ大学 国際熱帯林業学部4年生「国際学生実習」	日帰り
5	4	1	東邦大学・理学部・生物学科	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
6	4	2	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			2		2	自動撮影装置のデーター回収、シラビソの水分測定	富士山中宿泊施設
7	4	1	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			1		1	自動撮影装置のデーター回収、シラビソ稚樹の状態の観測	日帰り
8	4	1	アースバウンダー	15			55	70	中学生を対象とした環境教育プログラムの実施	日帰り
9	4	1	アースバウンダー	10			90	100	中学生を対象とした環境教育プログラムの実施	日帰り
10	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			1		1	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	日帰り
11	4	1	富士癒しの森研究所	19		4	3	26	東大教職員向け特別ガイド「春の彩を訪ねて」	日帰り
12	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	人為的あるいは自然的な環境変化がニホンリスの分布と生態に及ぼす影響に関する調査	富士山中宿泊施設
13	5	1	一般				2	2	林内見学	日帰り
14	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
15	5	1	演習林企画部	1		5		6	「森林生態圏管理学特論」	日帰り
16	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	日帰り
17	5	2	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			2		2	自動撮影装置のデーター回収、シラビソ稚樹の状態の観測	日帰り
18	5	1	農学生命科学研究科生態圏システム学専攻緑地創成学研究室			1		1	コブシの葉の採取のため	日帰り
19	5	1	東邦大学・理学部・生物学科	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
20	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生態圏システム学専攻森圏管理学研究室	1	1			2	聖ヒノキ試験地視察	日帰り
21	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
22	5	4	山中湖村村長				13060	13060	第33回スポニチ山中湖村ロードレース大会に伴う職員駐車場として	日帰り
23	5	2	京都大学フィールド科学教育研究センター	2				2	富士癒しの森研究所の見学	日帰り
24	5	1	演習林企画部	1		1		2	実証林伐採木の年輪サンプル採取	日帰り
25	5	1	一般				8	8	森の中の散策・見学	日帰り
26	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林北海道演習林	8	28		10	46	東京大学教養学部全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	日帰り
27	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林北海道演習林	8	28		12	48	東京大学教養学部全学体験ゼミナール「景観としての森林生態系と人間の感覚」	日帰り
28	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科生態圏システム学専攻	4	10	2		16	フィールド科学専修森圏管理学実習	日帰り
29	6	2	農学部環境資源科学課程フィールド科学専修		2			2	イタヤカエデ類の分類調査および葉の採取	日帰り
30	6	1	特定非営利活動法人バードリサーチ				1	1	ライブ音配信システム周辺の環境の視察	日帰り
31	6	1	NPO法人アースバウンダー	3			2	5	小学生を対象とした環境教育プログラムの為の下見	日帰り
32	6	2	東京大学農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
33	6	1	個人				2	2	村営文学の森公園の竹垣の支柱用ヒノキ材の提供	日帰り
34	6	3	東京大学農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	富士山中宿泊施設
35	6	2	東京大学農学生命科学研究科生態環境調査室			2		2	採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性に関する調査	日帰り
36	6	1	個人				2	2	林内見学	日帰り
37	6	1	私立目黒星美学園小学校	12			114	126	自然観察学習	日帰り
38	7	1	個人				3	3	散策と植物見学	日帰り

2013年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
39	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	球果の採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性	日帰り
40	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1	1	4		6	農学部4年「環境設計演習」における現地実習	日帰り
41	7	1	東京大学大学院理学系研究科 国際化推進室	2		28		30	本研究科主催サマープログラムに参加している海外大学所属学部学生の施設見学	日帰り
42	7	2	演習林企画部	12	126			138	総合科目「癒しの森」を考える	日帰り
43	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	球果の採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性	富士山中宿泊施設
44	7	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻修士課程	1		1		2	森林ライブ音の利用に関する研究	日帰り
45	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	球果の採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性	日帰り
46	7	1	東京大学農学生命化学・工学専攻三年/東大馬術部		6			6	8月の東大馬術部夏季合宿の下見および放馬止めテープの設営	日帰り
47	7	1	丸山幼稚園	17			93	110	休憩・昼食・散策	日帰り
48	7	1	丸山幼稚園	16			63	79	休憩・昼食・散策	日帰り
49	7	2	八幡幼稚園	36			132	168	夏期宿泊保育の体験学習	日帰り
50	7	1	個人				2	2	散策、植物・野鳥の観察	日帰り
51	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生態環境調査室			3		3	球果の採食状況から知るニホンリスの森林空間構造の選択性	日帰り
52	7	1	東邦大学・理学部・生物学科	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
53	7	1	野外学校FOS				17	17	湖畔の水遊び	日帰り
54	8	1	森のようちえん ウブントウ				55	55	ヨット体験での湖畔広場利用	日帰り
55	8	1	野外学校FOS				12	12	湖畔の水遊び	日帰り
56	8	1	野外学校FOS				20	20	湖畔の水遊び	日帰り
57	8	1	東大馬術部・東京大学農学部生命化学工学専攻		1			1	馬房のおが入れ	日帰り
58	8	2	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室			4		4	自動撮影装置のデーター回収、早朝のプレッシャーチェンバーによる測定	富士山中宿泊施設
59	8	1	東邦大学・理学部・生物学科	1				1	シラビソの水分収支・光合成特性についての成木と稚樹の比較	日帰り
60	8	1	東邦大学・理学部・生物学科	1				1	産地の異なるブナの下見	日帰り
61	8	17	東京大学馬術部(東京大学農学部生命化学工学3年)		315		17	332	馬術部の夏季合宿	日帰り
62	8	3	森林科学専攻森林動物学研究室	6	45	12		63	森林動物学実験	日帰り
63	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林秩父演習林	2			4	6	林内見学及び鳥類観測	富士山中宿泊施設
64	8	1	(独)物質・材料研究機構材料信頼性評価ユニット腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
65	8	1	東京大学新領域創成科学研究科自然環境学専攻修士課程	1	4	13		18	森林ライブ音の利用に関する研究	日帰り
66	8	1	富士癒しの森研究所	2	7	1	2	12	富士癒しの森研究所と運動会学生との山中寮整備のための共同作業	日帰り
67	8	2	演習林企画部	2	7			9	国際開発農学専修「国際開発農学実験・個別実験」	富士山中宿泊施設
68	8	1	海城中学高等学校 生物部	2			25	27	演習林内の植物観察	日帰り
69	8	1	筑波大学生命環境系	2		2		4	観測申請のための下見	日帰り
70	9	1	個人				4	4	見学のため	日帰り
71	9	1	渋谷区立長谷戸小学校	6			25	31	山中湖湖畔の見学、散策	日帰り
72	9	1	2013年度入学文科一、二類10組			4		4	駒場祭「演習林の材で足湯プロジェクト」のためのヒノキ植付	日帰り
73	9	3	秩父演習林	18		21		39	総合科目「癒しの森を創る(夏)」	日帰り
74	9	3	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室		5	3		8	自動撮影装置のデーター回収、早朝プレッシャーチェンバーによる測定	富士山中宿泊施設
75	9	1	東邦大学・理学部・生物学科	1	23	2		26	野外基礎実習(学部1年生)	日帰り
76	9	4	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	36	209			245	工学部社会基盤学科「フィールド演習」	日帰り
77	9	1	聖ヨゼフ学園小学校	7			69	76	体験学習 グループ活動	日帰り

2013年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
78	9	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科	23		125	5	153	自然環境デザインスタジオ I	日帰り
79	9	2	演習林企画部	9		2		11	吉林省林業技術者による二段林見学	日帰り
80	9	4	筑波大学 生命環境系 計算科学研究科センター	20				20	筑波大学 生命環境科学研究科 大気科学野外実験	日帰り
81	9	1	NPO法人 アースバウンダー				4	4	環境教育プログラム実施(10/3)にあたっての下見	日帰り
82	9	1	NPO木材・合板博物館				8	8	植物観察。農学部林産学科卒業50周年を記念してかつての林学実習を想定し、林内で学ぶ	日帰り
83	10	1	NPO木材・合板博物館				8	8	植物観察。農学部林産学科卒業50周年を記念してかつての林学実習を想定し、林内で学ぶ	日帰り
84	10	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
85	10	1	NPO法人 アースバウンダー	12			60	72	環境教育プログラムの実施	日帰り
86	10	1	農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	7			1	8	鳥類観察、林内見学	日帰り
87	10	1	帝京科学大学生命環境学部自然環境学科	3				3	菌根性キノコの発生状況の観察	日帰り
88	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻	3	1	3		7	水利環境工学研究室ゼミ	日帰り
89	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	3				3	東大教職員向け特別ガイド「キノコに親しむ」	日帰り
90	10	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	129		20		149	実証林における生理・心理テスト	日帰り
91	10	1	東京農工大学 国際環境農学専攻	10		37		47	平成25年度 国際環境農学専攻 国内実習「世界文化遺産富士山の文化・自然・環境保全」	日帰り
92	10	1	NPO法人富士山自然学校				4	4	海城高校エコツアーガイドの下見	日帰り
93	10	1	富士山ネイチャークラブ				2	2	下見	日帰り
94	10	1	富士山自然学校インストラクター				1	1	会場案内の下見	日帰り
95	10	2	東邦大学大学院生物学専攻植物生態学研究室		2	2		4	自動撮影装置のデーター回収、早朝プレッシャーチェンバーによる測定	富士山中宿泊施設
96	10	1	海城高等学校	3	82		82	167	演習林内の植物観察	日帰り
97	10	3	専修大学	3	60			63	研究ゼミ合宿のため	日帰り
98	10	1	個人				3	3	東大演習林散策	日帰り
99	10	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
100	11	1	東邦大学・理学部・生物学	1	1		1	3	産地の異なるブナの下見	日帰り
101	11	1	多摩市植物友の会				24	24	散策	日帰り
102	11	2	山梨県高等学校体育連盟 ヨット専門部(山梨県立吉田高等学校)				300	300	平成25年度関東高等学校選抜ヨット開催のため	日帰り
103	11	2	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室		2	2		4	自動撮影装置のデーター回収、早朝プレッシャーチェンバーによる測定	富士山中宿泊施設
104	11	2	富士癒しの森研究所	8	36			44	総合科目「森のエネルギーを使いこなす」の現地講義実施	日帰り
105	11	1	NPO法人富士山自然学校				2	2	演習林内の植物観察	日帰り
106	12	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
107	12	1	附属演習林教育研究センター	1				1	エゾマツにおけるコンテナ苗と裸苗の活着比較試験	日帰り
108	12	1	(独)日本原子力研究開発機構 福島技術本部 福島環境安全センター	3				3	地衣類を用いた環境中放射能性セシウムの生物指標適用性に係る基礎研究	日帰り
109	12	2	演習林企画部	6	30			36	総合科目「森をはかる」	日帰り
110	12	1	東邦大学院生物学専攻植物生態学研究室		1	1		2	自動撮影装置のデーター回収、シカ食害の評価	日帰り
111	12	2	秩父演習林	10	14			24	総合科目「癒しの森を創る(冬)」	日帰り
112	12	1	秩父演習林	9			8	17	落ち葉焚き作業	日帰り
113	1	1	(独)物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
114	1	1	個人				2	2	散策	日帰り
115	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	自然観察・下見	日帰り

2013年度 全利用者（富士癒しの森研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
116	3	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	2				2	インターネット森林観察サイトの構築と試験運用	富士山中宿泊施設
117	3	1	(独)物質・材料研究機構材料信頼性評価ユニット腐食研究所	1				1	山間部あるいは森林地帯での金属材料の腐食挙動調査	日帰り
118	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	「環境教育から見た森の施業と森の景観・構造」聞き取り	日帰り
119	3	1	NPO法人アースバウンダー	3				3	環境教育(5/2予定)プログラム実施のための下見	日帰り

※富士癒しの森研究所の外国人利用は不明

利用者数合計 16,474
利用件数 119

2013年度 全利用者（樹芸研究所）

演習林名：樹芸研究所

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	2	名古屋大学大学院・環境学 研究科・地球環境科学専攻	11	2			13	国産ユーカリ研究	加納事務所休憩施設
2	4	3	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林	9				9	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
3	4	1	一般				1	1	水生昆虫(トンボ幼虫)の調査・研究	日帰り
4	4	1	浦和実業学園高校	1			36	37	熱帯植物の見学	日帰り
5	4	1	樹芸研究所	6			14	20	第1回温室特別公開日	日帰り
6	4	1	樹芸研究所	5			11	16	第2回温室特別公開日	日帰り
7	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
8	5	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
9	5	3	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林	6			3	9	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
10	5	1	樹芸研究所	4			13	17	公開講座「春の散策」	日帰り
11	5	2	神奈川工科大学大学院・工学 研究科・応用化学・バイオサイエンス 専攻	2	2	2		6	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
12	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
13	5	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
14	6	2	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林	2			10	12	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
15	6	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
16	6	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
17	6	2	森林総合研究所水士保全 研究領域水保全研究室	4				4	森林流域における渓流水SO42-濃度 形成の比較検討	外部施設泊
18	6	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
19	6	2	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林				4	4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
20	7	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
21	7	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
22	7	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
23	7	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
24	7	2	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林				4	4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
25	7	1	一般				4	4	温室植物見学	日帰り
26	7	1	樹芸研究所	4			19	23	公開講座「子ども樹木博士」	日帰り
27	8	5	樹芸研究所	25	5			30	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
28	8	4	樹芸研究所	24	60 (8)			84	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・1」	スポーツティア下賀茂
29	8	2	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林	2				2	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
30	8	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
31	8	5	樹芸研究所	25	10			35	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
32	8	4	樹芸研究所	24	96 (8)			120	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・2」	スポーツティア下賀茂
33	8	1	日本大学生物資源科学部		30			30	温室植物見学	日帰り
34	8	1	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林	1				1	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
35	8	1	一般				1	1	水生昆虫(トンボ幼虫)の調査・研究	日帰り
36	8	1	森林総合研究所水士保全 研究領域水保全研究室	2				2	森林流域における渓流水SO42-濃度 形成の比較検討	スポーツティア下賀茂
37	9	5	森林総合研究所水士保全 研究領域水保全研究室	8				8	森林流域における渓流水SO42-濃度 形成の比較検討	スポーツティア下賀茂
38	9	4	樹芸研究所	29	76			105	森林実習	スポーツティア下賀茂
39	9	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
40	9	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
41	9	2	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林				4	4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
42	9	5	樹芸研究所	5	23			28	全学体験ゼミナール「夏版伊豆に学ぶ・3」	加納事務所休憩施設
43	9	4	樹芸研究所	22	64			86	全学体験ゼミナール「森に学ぶ・伊豆」	スポーツティア下賀茂
44	9	5	樹芸研究所	26	10			36	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
45	10	1	国立遺伝学研究所	20				20	温室植物見学	日帰り
46	10	1	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林				2	2	山地河道の水理特性解明のための調査	日帰り
47	10	2	樹芸研究所	3	2			5	体験活動	加納事務所休憩施設
48	10	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
49	10	1	樹芸研究所				9	9	第3回温室特別公開日	日帰り
50	10	2	樹芸研究所	2	2			4	体験活動	加納事務所休憩施設
51	10	1	大学院農学生命科学研究科 附属演習林秩父演習林	2			1	3	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊

2013年度 全利用者（樹芸研究所）

No.	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
52	11	1	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2			1	3	山地河道の水理特性解明のための調査	前月より利用(利用終了日)
53	11	1	樹芸研究所	1	1			2	体験活動	外部施設泊
54	11	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
55	11	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
56	11	1	一般				5	5	狩猟	外部施設泊
57	12	1	樹芸研究所	1	1			2	体験活動	前月より利用(利用終了日)
58	12	1	一般				5	5	狩猟	前月より利用(利用終了日)
59	12	1	社会連携部渉外・基金課	14		1	12	27	東大基金寄付者特別セミナー	日帰り
60	12	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
61	12	3	神奈川工科大学大学院・工学研究科・応用化学・バイオサイエンス専攻	3	3			6	パラゴムノキのゴム合成酵素系の解明	外部施設泊
62	12	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
63	12	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
64	12	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
65	1	4	一般				20	20	狩猟	外部施設泊
66	1	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
67	1	3	一般				15	15	狩猟	外部施設泊
68	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
69	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
70	1	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
71	1	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
72	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
73	1	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
74	1	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
75	1	2	一般				10	10	狩猟	外部施設泊
76	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
77	1	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
78	2	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
79	2	2	南伊豆町史編さん委員会(南伊豆町教育委員会内)				3	3	石造物(岩樟園石塔)調査	日帰り
80	2	5	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	13	2			15	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
81	2	2	一般				10	10	狩猟	日帰り
82	2	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
83	2	1	一般				5	5	狩猟	日帰り
84	2	1	一般				2	2	温室植物見学	日帰り
85	2	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
86	2	5	樹芸研究所	27	10			37	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
87	2	4	樹芸研究所	26	80(4)			106	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・1」	スポーティア下賀茂
88	3	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4				4	山地河道の水理特性解明のための調査	外部施設泊
89	3	4	樹芸研究所	28	80(4)			108	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・2」	スポーティア下賀茂
90	3	5	樹芸研究所	28	15			43	総合科目「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
91	3	1	東京大学赤津研究林サポーターズクラブ シデコブシの会	1			8	9	樹芸研究所青野研究林および温室の見学	日帰り
92	3	6	樹芸研究所	22	22	10		54	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ・3」	スポーティア下賀茂
93	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻 山本研究室	1			22	23	樹芸研究所青野研究林および温室の見学	日帰り
94	3	1	一般				6	6	温室植物見学	日帰り
95	3	1	一般				1	1	温室植物見学	日帰り
96	3	1	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	7	1			8	温室の見学	日帰り
97	3	1	一般				1	1	水生昆虫(トンボ幼虫)の調査・研究	日帰り
98	3	1	一般				1	1	水生昆虫(トンボ幼虫)の調査・研究	日帰り
99	3	2	東京農工大学大学院農学研究科物質循環環境科学部門	5	2			7	窒素過剰がもたらす植物の力学的強度への影響に関する研究	外部施設泊

※カッコ内の数字は外国人利用数を示す

利用者数合計 1,469
利用件数 99

■ 研修 ■

技術職員

研 修 名	開 催 機 関	開 催 月	参 加 人 数
平成25年度新規採用職員研修	東京大学	4	1
第54回北海道地区中堅係員研修	人事院北海道事務局	6	1
平成25年度東海地区農学部附属演習林等技術職員研修	岐阜大学	9	2
平成25年度技術職員等試験研究・研修会議	東京大学大学院農学 生命科学研究科附属 演習林	10	36
平成25年度中国・四国・近畿地区大学演習林等技術職員研修	京都大学	10	2
平成25年度北海道地区国立大学法人等技術職員研修	北海道大学	10	1
第22回九州地区国立大学法人農学部附属演習林等技術職員研修	宮崎大学	10	1
平成25年度関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	新潟大学	10	1
ミニショベル・トラクタ研修会	東京大学大学院農学 生命科学研究科技術 部機械技術グループ	11	5
平成25年度技術職員研修「野生動物管理を目的とした森林管理技術」	東京大学	2	5
第6回農学生命科学研究科技術職員研修	東京大学農学生命科 学研究科	2	22
第25回生物学技術研究会	基礎生物学研究所	2	2
第1回分析技術グループ研修「pH測定技術」	東京大学大学院農学 生命科学研究科技術 部分析グループ	2	3

事務職員

研 修 名	開 催 機 関 等	開 催 月	参 加 人 数
平成25年度北海道地区セクシュアル・ハラスメント防止研修（指導者要請コース）	人事院北海道事務局	10	1
平成25年度東京大学係長級研修（初任者）	東京大学	11	1
平成25年度東京大学係長級研修（5年経験者）	東京大学	11	1
平成25年度職員評価制度セミナー	東京大学	1	1

■安全衛生■

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施、あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

安全・防災のための講習会等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
平成25年度教育研究安全衛生マネジメントシステム説明会	農学生命研究科環境安全管理室	4	3
新規採用・異動転入者に対する雇い入れ時安全衛生教育	北海道演習林	4, 5, 7, 9	5
交通安全講習会	千葉演習林	5	21
高圧ガス安全講習会	北海道演習林	6	6
温泉管取扱講習会	樹芸研究所	6	4
エピペン講習会	北海道演習林	7	30
平成25年度消火訓練	秩父演習林	8	15
刈払い機安全講習	樹芸研究所	10	3
総合消防訓練及び救命法講習	千葉演習林	11	24
「一般救急講習」の受講	北海道演習林 富良野消防署協力	11	40
枝打ち講習会	秩父演習林	11	13
安全衛生講習(チェンソー)	生態水文学研究所	11	6
交通安全講習	秩父演習林	12	18
安全衛生講習会	樹芸研究所	12	9
冬道の自動車安全運転に対する講習会	北海道演習林 富良野警察署協力	1	31
平成25年度消火訓練	秩父演習林	1	19
防災訓練	生態調和農学機構	1	5
シカ区画法調査の安全検討会	樹芸研究所	3	8

資格取得のための講習等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
伐木等の業務に関わる特別教育(チェンソー)	日立建機教習センター	5	1
研削といし取替等業務特別教育(自由研削)	静岡県労働基準協会連合会	6	2
車両系建設機械(整地等)技能講習	キャタピラ教習所	9	1
甲種防火管理新規講習	富良野地区消防組合	11	1
乙種第4種危険物取扱者講習(再講習)	北海道危険物安全協会連合会	11	1
玉掛け技能講習	キャタピラ教習所	11	2
乙種第4類危険物取扱者	静岡県	11	3
アーク溶接等の業務特別教育	静岡県労働基準協会連合会	1	2
3級モノレール技士	光栄産業	2	3
小型移動式クレーン技能講習	キャタピラ教習所	2	1
玉掛け技能講習	住友建機教習所千葉教習センター	3	1
小型移動式クレーン運転技能講習	住友建機教習所千葉教習センター	3	2
伐木等の業務に係る安全衛生教育(再教育)	林業災害防止協会	3	4
不整地運搬車運転技能講習	富良野地域人材開発センター(日立建機教習センター北海道教習所)	3	2
車両系建設機械安全衛生教育	富良野地域人材開発センター(キャタピラ教習所北海道教習センター)	3	2
自由研削といし取替え等の業務特別教育	富良野地域人材開発センター(労災防止センター)	3	1
巻き上げ機特別教育	キャタピラ教習所	3	2

災害統計

2013年度は災害は24件、ヒヤリハットは9件であった。ハチ刺され16件、ダニ刺されが2件あった。また、演習林の調査業務に参加していたNPO法人メンバー(演習林OB)の転落による死亡事故が1件あった。本件については研究科内に事故調査委員会が設置され原因究明と再発防止策策定の作業を継続中である。

	教職員	学生	その他
重大及び休業災害(4日以上)			1件
休業災害(4日未満)			
不休災害	19件	3件	1件
災害合計	19件	3件	2件
ヒヤリハットなど	8件	1件	
そのうち設備災害	8件		

山火事予防活動

演習林名	名 称	開催場所	日 程	参加人数
北海道	林野火災消火訓練	北海道演習林	2013.4.21	3
北海道	緊急連絡網訓練	北海道演習林	2013.4.21	35
北海道	建物火災を想定した避難訓練	北海道演習林	2013.11.19	35
秩父	平成24年度消火訓練(大血川管内)	秩父演習林	2013.8.29	15
秩父	平成24年度消火訓練(栃本管内)	秩父演習林	2014.1.27	19

■ 人事異動 ■

日付	異動	新職名	氏名	旧職名
2013.4.1	配置換	附属生態調和農学機構 技術専門員	芝野 伸策	附属演習林田無演習林 技術専門員
2013.4.1	昇任	附属演習林北海道演習林 技術専門職員	中川 雄治	附属演習林北海道演習林 技術職員
2013.4.1	昇任	附属演習林北海道演習林 技術専門職員	高橋 功一	附属演習林北海道演習林 技術職員
2013.4.1	昇任	附属演習林北海道演習林 技術専門職員	小川 瞳	附属演習林北海道演習林 技術職員
2013.4.1	昇任	附属演習林秩父演習林 技術専門職員	丹羽 悠二	附属演習林秩父演習林 技術職員
2013.4.1	昇任	附属演習林千葉演習林 技術専門職員	三次 充和	附属演習林千葉演習林 技術職員
2013.4.1	採用	附属演習林秩父演習林 特任専門職員	木村 恒太	附属演習林秩父演習林 技術職員(高德佳絵の育休代員)
2013.4.1	臨時的採用	附属演習林秩父演習林 技術職員(大村和也の育休代員)	守口 海	株式会社 飯森林業
2013.4.1	配置換	附属演習林田無演習林 技術専門職員	相川 美絵子	附属演習林秩父演習林 技術専門職員
2013.4.1	配置換	附属演習林樹芸研究所 技術専門職員	澤田 晴雄	附属演習林生態水文学研究所 技術専門職員
2013.4.1	配置換	附属演習林北海道演習林 技術専門職員	渡邊 良広	附属演習林樹芸研究所 技術専門職員
2013.7.16	臨時的採用	附属演習林北海道演習林 技術職員(小川瞳の育休代員)	廣田 善己	
2013.10.1	採用	附属演習林田無演習林 特任助教	竹本 周平	森林総合研究所森林微生物研究領域 非常勤職員
2013.10.31	任期満了退職		瀬戸 祥子	附属演習林教育研究センター 技術職員(近澤静恵の代員)
2013.12.31	辞職	東京農工大学 特任准教授	岩井 紀子	附属演習林生態水文学研究所 助教
2014.1.1	昇任	附属演習林教育研究センター 技術専門職員	近澤 静恵	附属演習林教育研究センター 技術職員
2014.2.16	臨時的採用	附属演習林北海道演習林 技術職員(大川あゆ子の育休代員)	延 栄一	附属演習林北海道演習林 学術支援職員(短時間)
2013.4.1	配置換	研究推進部 博物館事業課 係長	依田 正明	総務課附属演習林秩父演習林 専門職員
2013.4.1	昇任	総務課千葉演習林事務室 係長	田山 勝則	総務課千葉演習林事務室 主任
2013.4.1	再雇用	総務課千葉演習林事務室(再雇用)	根上 昌久	総務課千葉演習林事務室 主査

2013 年度 予算配分と収入

■ 予算配分と収入 ■

予算配分

配 分	当初配分	単位:千円	
		2012年度	2013年度
		266,355 (前年赤字9,187減)	278,363 (前年繰越7,530千円分増額)
	追加配分、協力金等	2,945	2,859 (専攻協力金、学生経費、他)
運 営 費	小 計	269,300	281,222
事項指定経費	市町村交付金相当額	43,252	53,356 (計算方法修正で遡及配分含む)
	借 地 料	7,969	7,835 (秩父・富士借地料支払)
	特殊雇用経費	2,306	5,424 (障害者雇用対策費)
	災害復旧補填		2,742 (北演災害復旧費不足分補填)
合 計 (当初および追加)		322,827	350,579
	収入不足戻し	-3,319	-7,324 (年度末に研究科へ返還)
	指定経費残額、他口座への移算	-440	-379
最終配分額		319,068	342,876

予算執行

執行額	309,912	343,654	財務会計システムデータ
残額	9,156	-778	
次年度への繰越額	7,530 各演100万円まで	-778	演習林全体の繰越額

収 入

林産物収入	98,930	84,986	
損害賠償金	12,227	2,321	立木補償等
土地貸付料等	12,133	14,672	電線敷地貸、宿泊施設利用 費、私費分等
その他収入等	1,799	2,625	刊行物販売、講習料、不用品

合 計 125,089 H24経理課決算 104,604 H25経理課決算

演習林林産物収入細分表

区 分	立 木	素 材	そ の 他			合 計
			ヒサカキ	苗 木	残材等	
千葉演習林	766.070 m ³	m ³	24 束	本		1,803,000 円
	1,789,000 円	円	14,000 円	円		
北海道演習林	22,994.00 m ³	2,221.898 m ³				82,335,560 円
	38,869,000 円	43,466,560 円				
生態水文学研究所	158.900 m ³					218,000 円
	218,000 円					
合 計	23,918.97 m ³	2,221.898 m ³	24 kg	0 本		84,356,560 円
	40,876,000 円	43,466,560 円	14,000 円	0 円	0 円	

■ 組織図 ■

企画部・教育研究センター

組織(主任職員)	配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
演習林林長 教授 鈴木 雅 一		
企画部 部長 教授 石 橋 整 司 統括技術長 技術専門職員 犬 飼 浩		事務補佐員 柴 田 ゆ う 子
教育研究センター センター長 准教授 後 藤 晋	准教授 鴨 田 重 裕 (兼) 助教 前 原 忠 特任助教 三 浦 直 子 技術主任・技術専門職員 米 道 学 技術職員 瀬 戸 祥 子 技術専門職員 近 澤 静 恵 2013.10.31まで 2013.11.1より	事務補佐員 小 林 ひ と み 学術支援職員 藤 原 菜 生 子
農学系事務部 事務部長 紺 野 鉄 二 2013.10.30まで 事務部長 奥 抜 義 弘 2013.11.1より 総務課長 伊 藤 嘉 朗 経理課長 山 本 浩 教務課長 篠 田 恵 美	研究支援チーム 副課長 森 啓 介 係長 古 川 稔 子 他事務部各係	
学生等	氏名	
博士3年 博士3年 博士3年 博士2年 博士2年 博士1年 修士2年 修士2年 修士1年 修士1年 修士1年 修士1年 学部4年 学部4年 学部4年 学部4年 研究生	陳元君 辰巳晋一 梯公平 トウエ・トウエ・ウイン ドゥラン・ホルヘ 高田及倫予(10月まで) 田神悠介 平林毅一郎 羽井佐冨彦 宮部涼太郎 堀田遼 サイフル・アムリ・サラギー 岩城常修 坪池泰生 小山奈々 野添雄介 滝川寛之	

2013 年度 組織図 (千葉演習林)

千葉演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)	配置職員(非常勤職員)
林長	教授 山田 利博		
林長補佐	講師 廣嶋 卓也		
教育研究主任	助教 久本 洋子		
係長	田山 勝則		
技術主任	技術専門職員 村川 功雄		
技術副主任	技術専門職員 鶴見 康幸		
事務係	事務室係長 田山 勝則(兼) 事務室主任 野山 智 一般職員 根上 昌久(再)		
宿泊管理係	一般職員 根上 昌久(兼)		臨時用務員 糟谷 育代 特任専門職員 京極 道子
森林管理係	技術専門職員 塚越 剛史	技術専門職員 軽込 勉 技術職員 梁瀬 桐子	
施設係	事務室係長 田山 勝則(兼)	技術専門職員 村川 功雄(兼) 技術専門職員 鶴見 康幸(兼) 技術専門職員 里見 重成(兼)	
管財係	事務室係長 田山 勝則(兼)		
企画調整係	技術専門職員 藤平 晃司		
土木係	技術専門職員 大石 諭	技術専門職員 阿達 康真(兼)	
試験係	助教 當山 啓介		
資料管理係	講師 廣嶋 卓也(兼)	技術専門職員 三次 充和	
清澄作業所	技術専門職員 鶴見 康幸(兼)	技術専門職員 阿達 康真	特任専門職員 粕谷 善廣 特任専門職員 長谷川 二郎 特任専門職員 岡田 康則 特任専門職員 富川 勲 特任専門職員 加瀬 清己
札郷作業所	技術専門職員 里見 重成		臨時用務員 糟谷 育代(兼) 特任専門職員 宮原 はな 特任専門職員 吉田 龍三

北海道演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	芝野博文				
林長補佐	准教授	尾張敏章				
教育研究主任	助教	坂上大翼				
専門職員		幸路英吉				
技術主任	技術専門職員	井口和信				
技術副主任	技術専門職員	岡村行治				
庶務係	係長	横山和宏	主任	天山 学	事務補佐員	穴澤三恵子
会計係	係長	岡田教和	主任	本田貴一郎		
資産管理係	係長	米田久和				
企画調整係主任	技術専門職員	井口和信(兼)	技術職員	算用子麻未		
調査資料係主任	技術専門職員	笠原久臣	技術専門職員	中川雄治	特任専門職員	齊藤代糸子 2013.4.1から 2013.4.30まで
			技術専門職員	小川 瞳 2013.7.15まで (産休・育休)	特任専門職員	岡本ヒサヨ 2013.5.1から 2013.10.31まで
			技術職員	算用子麻未(兼)	特任専門職員	石崎敏幸 2013.5.1から 2013.10.31まで
			技術職員	廣田善己 2013.7.16から (代替職員)	特任専門職員	延 栄一 2013.9.16から 2014.2.15まで
種苗造林係主任	技術専門職員	宅間隆二	技術専門職員	高橋功一		
生産販売係主任	技術専門職員	福土憲司			特任専門職員	高橋可奈
土木生産係(土木担当)主任	技術専門職員	磯崎靖雄	技術職員	及川 希		
土木生産係(生産担当)主任	技術専門職員	平田雅和	技術専門職員	岡村行治(兼)		
			技術専門職員	鈴木祐紀		
			技術職員	遠國正樹		
調査第一係主任	技術専門職員	小池征寛	技術専門職員	渡邊良広		
			技術職員	犬飼慎也		
			技術職員	江口由典		
調査第二係主任	技術専門職員	岡平卓巳	技術専門職員	大川あゆ子 2014.1.24まで (産休)		
			技術職員	井上 崇		
			技術職員	廣川俊英(再)		
			技術職員	延 栄一 2014.2.16から (代替職員)		
試験係			教授	芝野博文		
			准教授	尾張敏章		
			助教	坂上大翼		
山部樹木園主任	技術専門職員	木村徳志	技術職員	福岡 哲	技能補佐員	内芝和江 2013.4.1から 2013.11.30まで
					技能補佐員	安藤佳子 2013.4.1から 2013.11.30まで
					技能補佐員	佐藤裕子 2013.4.1から 2013.11.30まで
					技能補佐員	中坪優子 2013.4.1から 2013.11.30まで

2013年度 組織図 (秩父演習林・田無演習林)

秩父演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	鎌田直人				
林長補佐	講師	浅野友子				
教育研究主任	講師	平尾聡秀	助教	鈴木智之		
事務室	係長	草開泰之	主任	亀原弥生	臨時用務員	浅見美津子
			主任	渡邊幸司		
技術主任	技術専門職員	五十嵐勇治	技術専門職員	大村和也 (育児休業)	事務補佐員	富沢貴志
森林管理チーム	技術専門職員	原口竜成	技術専門職員	才木道雄		
			技術職員	守口海		
利用促進チーム	技術専門職員	齋藤俊浩	技術専門職員	高德佳絵	特任専門職員	新井容子
			技術専門職員	丹羽悠二	特任専門職員	島崎雅美
			技術職員	吉田弓子		
作業所チーム	技術専門職員	千嶋 武	技術専門職員	高野充広	臨時用務員	山中五郎
			特任専門職員	木村恒太	臨時用務員	山中淑子
					臨時用務員	浅見美津子 (兼)
影森苗畑	技術専門職員	五十嵐勇治(兼)				

田無演習林

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	講師	安村 直樹				
教育研究主任	講師	楠本 大	特任助教	竹本周平 2013.10.1から		
技術主任	技術専門職員	栗田 直明	技術専門職員	相川美絵子	技能補佐員	前田 克人 2013.9.30まで
					技能補佐員	尾林 文男 2013.9.30まで
					特任専門職員	石浦恭子
					技術補佐員	後藤美津子

2013年度 組織図 (生態水文学研究所・富士癒しの森研究所・樹芸研究所)

生態水文学研究所

組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
所長	准教授	蔵治光一郎	所長補佐	田中延亮		
気象水文過去データ管理室	准教授	蔵治光一郎	助教	田中延亮	特任専門職員	加藤敦美(兼)
					特任専門職員	乙部みどり 2013.8.31まで
					特任専門職員	五名美恵
					学術支援職員	加藤純子 2013.9.1から
教育研究主任	助教	岩井紀子 2013.12.31まで	技術専門職員	松井理生	特任専門職員	鎌田幸子
教育研究推進係	助教	田中延亮 2014.1.1から			特任専門職員	加藤敦美
					学術支援職員	新實夏美
					特任研究員	畑 憲治 2013.9.30まで
					特任研究員	今村直広 2013.10.1から
事務主任	事務室係長	平野圭二			事務補佐員	加藤正勝
					事務補佐員	大地泰子
技術主任	技術専門職員	井上 淳	技術職員	渡部賢	技能補佐員	波多野八重子
研究林管理係			技術職員	後藤太成	技能補佐員	胡桃沢清
			技術職員	荒木田きよみ	技能補佐員	胡桃沢朝 2013.11.30まで
					特任専門職員	渡辺平和 2013.5.1から
					特任専門職員	鎌田幸子(兼)
環境安全推進者	事務室係長	平野圭二	技術専門職員	井上 淳		
			助教	岩井紀子 2013.12.31まで		
			助教	田中延亮 2014.1.1から		
					農学共同研究員	五名美江 2013.4.1から
					農学共同研究員	ニロボン アランヤハーガ 2013.8.1から 2013.10.31まで
					農学共同研究員	畑 憲治 2013.10.1から

富士癒しの森研究所

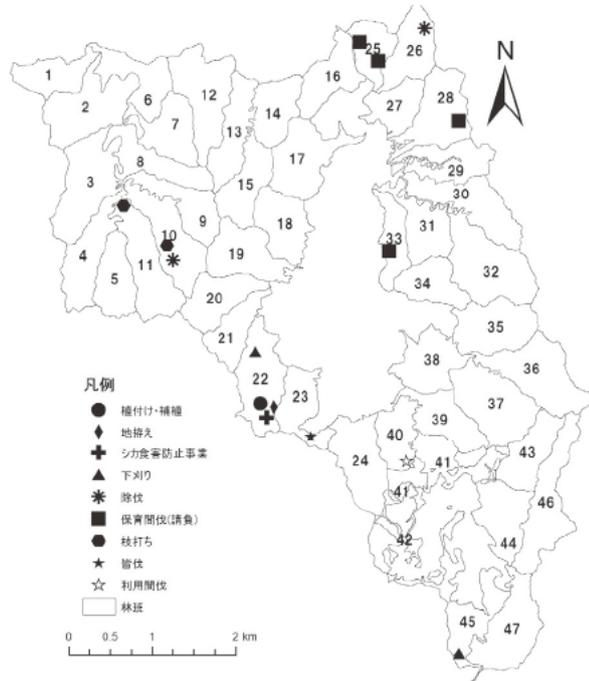
組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
所長	講師	浅野友子				
所長補佐	助教	藤原章雄				
教育研究主任	助教	齋藤暖生				
技術主任	技術専門職員	村瀬一隆	技術専門職員	西山教雄	臨時用務員	高村洋子
					事務補佐員	齋藤純子

樹芸研究所

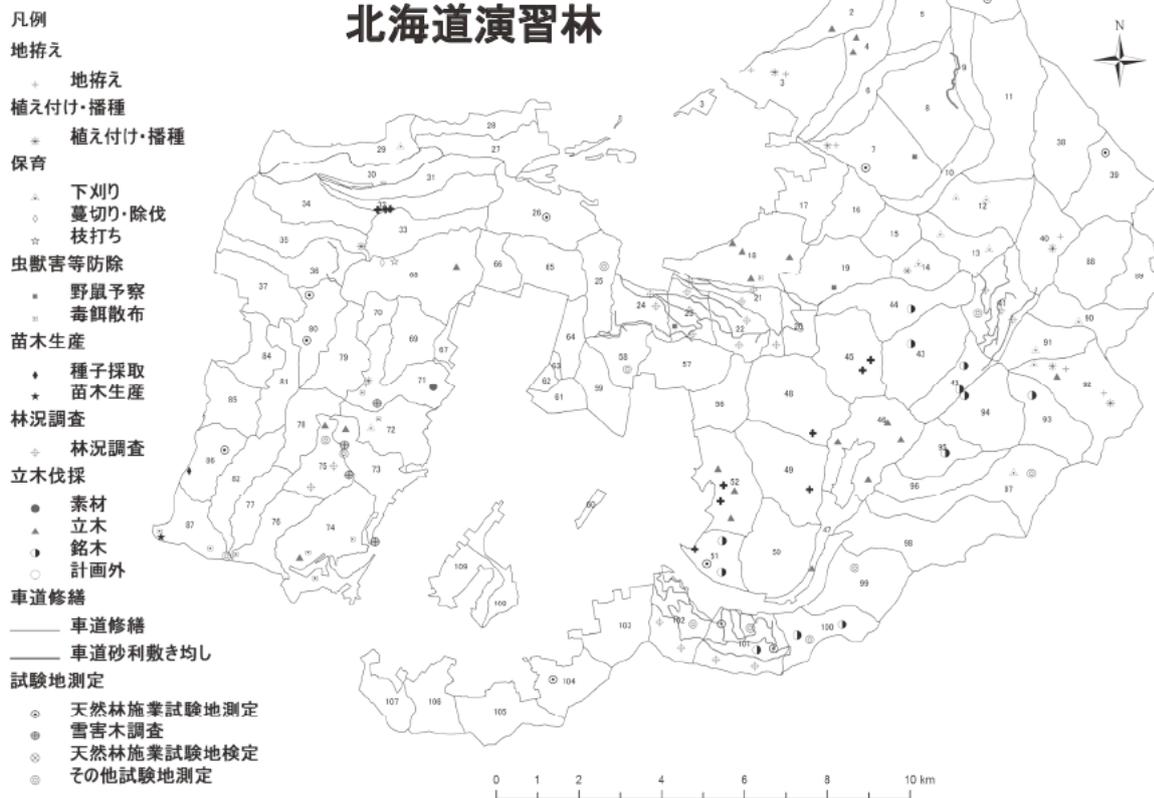
組織(主任職員)			配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
所長	准教授	鴨田重裕				
所長補佐	助教	井上広喜				
事務係	(主任不在)		技術専門職員	辻 良子(兼)		
技術主任	技術専門職員	澤田晴雄				
調査試験研究係			技術専門職員	辻 良子	技能補佐員	土屋福江
			技術職員	小林徹行	技能補佐員	渡邊沙希
森林管理係			技術専門職員	辻 和明	技能補佐員	大島浩子
					技能補佐員	高橋 誠

■ 管理 ■

千葉演習林



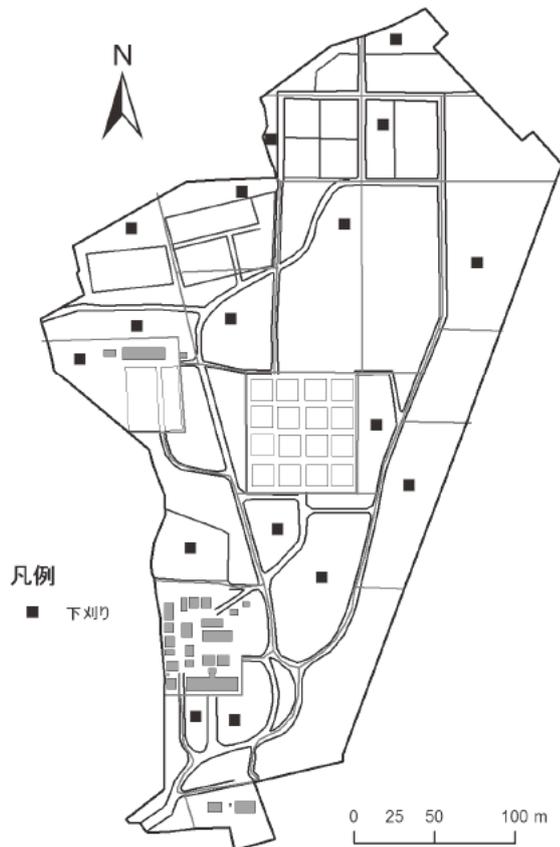
北海道演習林



秩父演習林



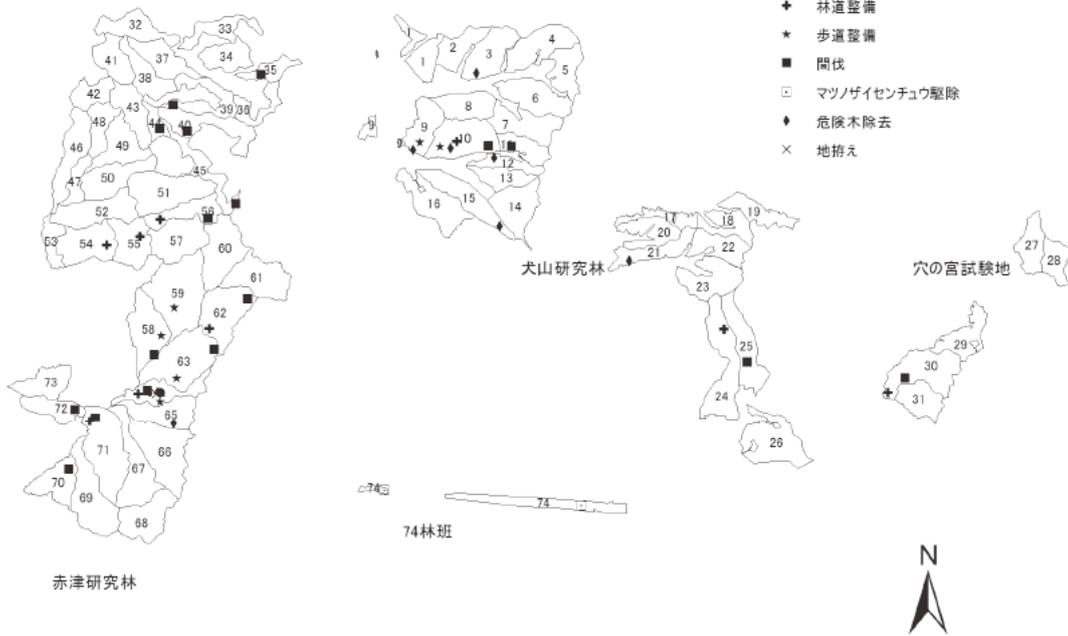
田無演習林



生態水文学研究所

凡例

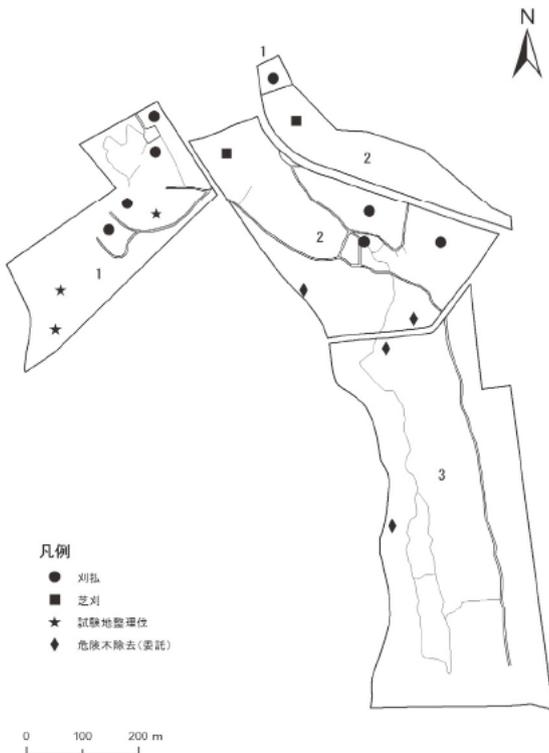
- 皆伐
- ▲ 下刈り
- ✦ 林道整備
- ★ 歩道整備
- 間伐
- マツノザイセンチュウ駆除
- ◆ 危険木除去
- × 地拵え



*各研究林、試験地の位置関係は実際とは異なっています

富士癒しの森研究所

樹芸研究所



凡例

- 刈払
- 芝刈
- ★ 試験地整備
- ◆ 危険木除去(委託)

0 100 200 m

凡例

- 撫育間伐(委託)
- 樹木園・見本林手入
- ▲ 試験地調査
- ★ 新植
- ✦ シカ補見回り
- 熱帯植物研究



管理面積集計表

2013年4月1日現在
ha

	合計	樹林地								竹林	伐採跡地	未立木地	その他
		人工林				天然林							
		小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林	小計	針葉樹林	混交林	広葉樹林				
千葉	2,170	858	826	17	15	1,302		377	925	1		9	
北海道	22,717	3,503	3,155	158	190	18,381		15,513	2,868		643	190	
秩父	5,812	767	749		18	4,986	199	778	4,009			59	
田無	9	6	2	3	1	0						3	
生態水文	1,292	304	302		2	949		949				39	
富士	38	38	34	1	3	0							
樹芸	246	109	50		59	106			106			31	
合計	32,284	5,585	5,118	179	288	25,724	199	17,617	7,908	1	0	643	331

※2012年度より、北海道演習林の針葉樹林は混交林へ区分した

林相別蓄積集計表

2013年4月1日現在

	m ³		
	計	人工林	天然林
千葉	810,611	252,212	558,399
北海道	4,963,759	644,037	4,319,722
秩父	1,462,189	360,322	1,101,867
田無	1,852	1,852	
生態水文	239,026	84,928	154,098
富士	11,462	11,462	
樹芸	74,797	51,153	23,644
合計	7,563,696	1,405,966	6,157,730

植栽樹種

本

千葉	スギ	ヒノキ	クス	
	1,620	550	30	
北海道	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	カラマツ(スーパーF1)
	9,433	10,137	7,164	1,930
秩父				
田無				
生態水文				
富士				
樹芸	ユーカリ			
	194			

立木伐採量(修正)

m³

	伐採材積							利用 間伐 材積	主間伐 合計	
	計	人工林			天然林					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹			
千 葉	立木販売	520	512	511	1	8	8	257	777	
	素材生産資材量									
	その他	426	426	426					426	
	合 計	946	938	937	1	8	8	257	1,203	
北 海 道	立木販売	14,896				14,896	10,476	4,420	8,098	22,994
	素材生産資材量	1,258				1,258	23	1,235	2,798	4,056
	その他									
	合 計	16,154				16,154	10,499	5,655	10,896	27,050
秩 父	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合 計									
田 無	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合 計									
生 態 水 文	立木販売	108	108	108				51	159	
	素材生産資材量									
	その他									
	合 計	108	108	108				51	159	
富 士	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合 計									
樹 芸	立木販売									
	素材生産資材量									
	その他									
	合 計									
合 計	立木販売	15,524	620	619	1	14,904	10,476	4,428	8,406	23,930
	素材生産資材量	1,258				1,258	23	1,235	2,798	4,056
	その他	426	426	426						426
	合 計	17,208	1,046	1,045	1	16,162	10,499	5,663	11,204	28,412

(本ページは、冊子体のものに誤りがあったため、訂正したページに差し替えています。)

素材生産総括表

	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)			m ³
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹	
	千葉									
北海道	4,055.87	2,820.32	1,235.55	2,219.90	1,154.83	1,065.07	63.57	40.95	86.20	
秩父										
田無										
生態水文										
富士										
樹芸										
合計	4,055.87	2,820.32	1,235.55	2,219.90	1,154.83	1,065.07	63.57	40.95	86.20	

土木実行総括表

	実行内容	実行数量			m		
		林道維持	歩道維持	林道開設	除雪	請負草刈	請負砂利敷
千葉	実行内容	林道維持	歩道維持	林道開設			
	実行数量	87,353	36,186	50.0			
北海道	実行内容	車道手入	砂利均し	除雪	請負草刈	請負砂利敷	
	実行数量	50,000	16,200	16,600	238,100	1,900	
秩父	実行内容	車道開設	車道維持	車道拡幅	歩道維持	モノレール維持	
	実行数量	1,201	13,859	51	51,606	3,067	
田無	実行内容	歩道維持	除雪				
	実行数量	50	1,590				
生態水文	実行内容	林道刈払	林道修繕	歩道刈払			
	実行数量	5,500	500	5,030			
富士	実行内容	車道草刈	歩道草刈				
	実行数量	600	900				
樹芸	実行内容	車道草刈	歩道草刈				
	実行数量	1,979	1,708				

道路現況

	車道延長				歩道延長		m
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)	
	千葉	31,428		31,428	14.1	125,361	
北海道	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3	
秩父	11,395	5,870	17,265	3.0	181,391	31.2	
田無					1,590	176.7	
生態水文	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6	
富士	2,087		2,087	54.9	3,009	79.2	
樹芸	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8	
合計	544,736	459,917	1,004,653		343,304		

各演習林所在地および連絡先

企画部・教育研究センター

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
FAX 03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県鴨川市天津770
電話 04-7094-0621
FAX 04-7094-2321

清澄作業所

〒299-5505
千葉県鴨川市清澄135
電話 04-7094-0585

札郷作業所

〒292-0537
千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1
電話 0439-39-3122

郷台作業所

〒292-0533
千葉県君津市折木沢字相ノ沢
電話 0439-39-3121

北海道演習林

〒079-1563
北海道富良野市山部東町9番61号
電話 0167-42-2111
FAX 0167-42-2689

セミナーハウス

〒076-0161
北海道富良野市字麓郷市街地1
電話 080-6066-8234

山部樹木園

〒079-7582
北海道富良野市字山部第一苗圃
電話 0167-39-6017

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
FAX 0494-23-9620

栃本作業所

〒369-1901
埼玉県秩父市大滝3450-2
電話 0494-55-0355
FAX 0494-55-0355

大血川作業所

〒369-1907
埼玉県秩父市大滝5198
電話 0494-54-1220

影森苗畑

〒369-1871
埼玉県秩父市大字下影森764
電話 0494-23-9768

生態水文学研究所

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
FAX 0561-85-2838

赤津作業所

〒489-0014
愛知県瀬戸市北白坂町1-1
電話 0561-21-1185

犬山作業所

〒484-0094
愛知県犬山市塔野地字大畔178-2

富士癒しの森研究所

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
FAX 0555-62-4798

樹芸研究所

〒415-0304
静岡県賀茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
FAX 0558-62-3170

青野作業所

〒415-0327
静岡県賀茂郡南伊豆町青野851
電話 0558-62-0254

田無演習林

〒188-0002
東京都西東京市緑町1-1-8
電話 042-461-1528
FAX 042-461-2302

演習林年報

平成26年7月31日

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林
文京区弥生1丁目1番1号

印刷・製本 明誠企画株式会社

